

平成28年度 神奈川区区民意識調査

調査結果報告書

平成28年11月

横浜市神奈川区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書の見方	4
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地区	8
(4) 居住年数	9
(5) 居住形態	9
(6) 家族構成	9
(7) 同居家族の人数	10
(8) 同居家族	10
(9) 世帯類型	10
(10) 就労状況	11
(11) 自治会町内会への加入状況	11
2. 定住意向について	15
(1) 定住意向	15
(2) 希望する移転先	18
3. 現在の住まいの環境について	19
(1) 現在の住まいの環境について	19
4. 神奈川区の行政サービスについて	48
(1) 神奈川区の行政サービスで満足しているもの、充実すべきもの	48
5. 防災について	58
(1) 知っている地域の避難場所	58
(2) 家庭での日ごろの防災対策（自助）	61
(3) 住まいの地域で心配なこと	65
(4) 災害が発生したときにできる手助け、期待する手助け	69
6. 健康づくりについて	79
(1) 健康の自覚	79
(2) 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと	81
(3) 健康のための取組に必要なこと	87
7. 高齢期について	92
(1) 高齢期に関して不安なこと	92

(2) 高齢期において受けてみたい支援（サービス）	94
(3) 人生の最期を迎えたい場所	96
8. ご近所との関わりについて	98
(1) 隣近所とのつき合い方	98
(2) 近所の助け合い	108
9. 買い物場所について	114
(1) 日常の買い物	114
(2) 商店街の魅力	118
10. 地域での活動について	120
(1) 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること	120
(2) 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと	122
(3) 地域の活動について	124
(4) 地域のために関わること	133
(5) 自治会町内会を必要と感ずる時	136
(6) 自治会町内会への加入促進に必要なこと	138
11. 神奈川区の魅力について	141
(1) 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴	141

第3章 調査票	145
----------------	------------

第1章 調査の概要

1. 調査目的

神奈川区民の生活意識や区政に対する要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 横浜市神奈川区全域 |
| (2) 調査対象 | 区内在住18歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 3,000人（うち外国人50人） |
| (4) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送による無記名調査（郵送配付・郵送回収・ハガキ督促1回） |
| (6) 調査期間 | 平成28年7月15日（金）～8月5日（金） |

3. 調査内容

- (1) 定住意向
- (2) 現在のお住まいの環境
- (3) 神奈川区の行政サービス
- (4) 防災
- (5) 健康づくり
- (6) 高齢期について
- (7) ご近所との関わり
- (8) 買い物場所
- (9) 地域での活動
- (10) 神奈川区の魅力
- (11) あなた自身について

4. 回収結果

- | | |
|-----------|------------------|
| (1) 標本数 | 3,000人（うち外国人50人） |
| (2) 有効回収数 | 1,363人 |
| (3) 有効回収率 | 45.4% |

5. 報告書の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベット n は、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ③ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ④ 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ⑤ クロス集計表の見方
濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、白抜き文字にしている。
薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

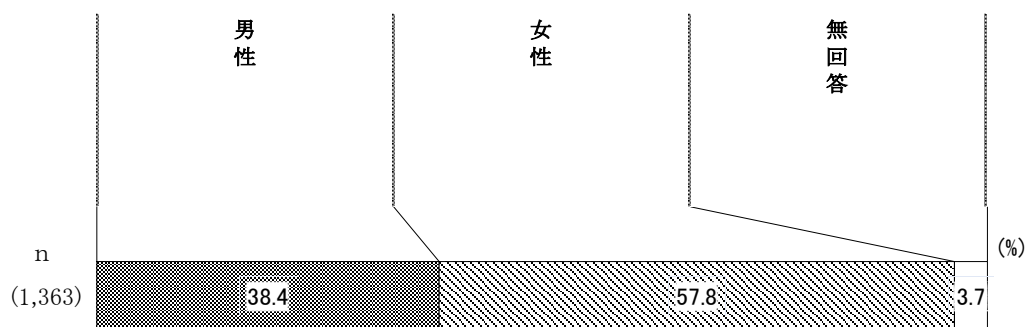
第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 性別

男性が38.4%、女性が57.8%となっている。

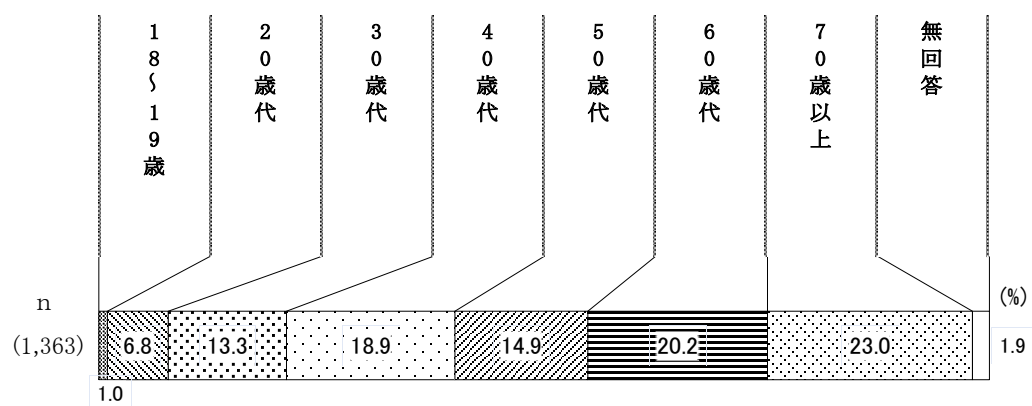
図 性別



(2) 年齢

70歳以上が23.0%で最も多く、次いで60歳代が20.2%、40歳代が18.9%となっている。

図 年齢



(3) 居住地区

「神奈川幸ヶ谷」が10.3%で最も多く、次いで「子安入江」が10.0%、「青木」が9.2%、「片倉三枚」が7.7%となっている。

図 居住地区

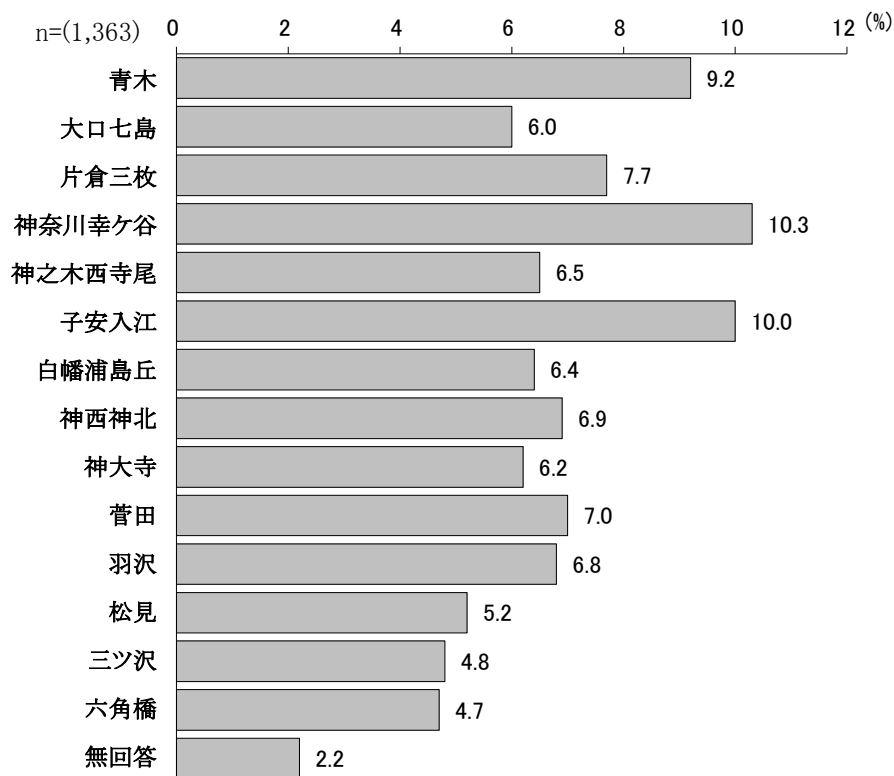
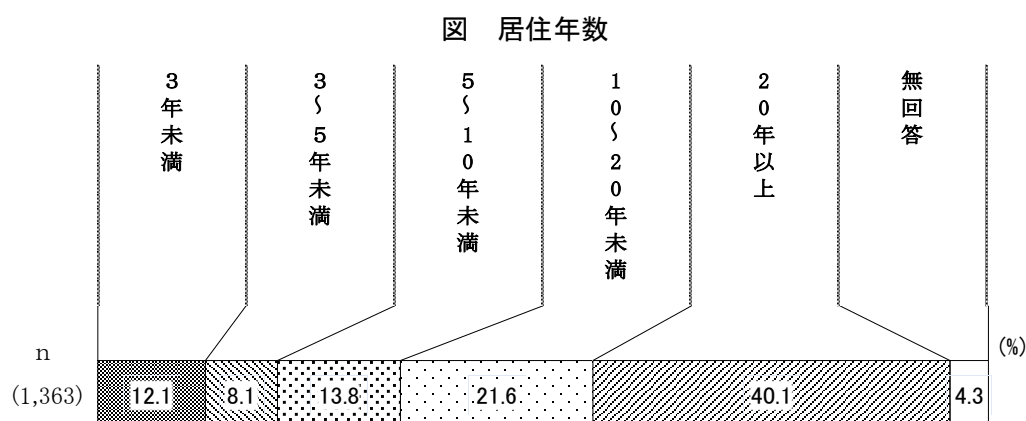


表 地区区分一覧

地区名	町 名
青木	高島台, 広台太田町, 旭ヶ丘, 栗田谷, 松本町1~6丁目, 泉町, 反町1~4丁目, 沢渡, 松ヶ丘, 桐畑, 上反町1~2丁目, 鶴屋町1~3丁目, 台町
大口七島	大口通, 大口仲町, 七島町, 西大口
片倉三枚	片倉一~五丁目, 三枚町
神奈川幸ヶ谷	神奈川1~2丁目, 神奈川本町, 東神奈川一~二丁目, 亀住町, 新町, 浦島町, 星野町, 橋本町1~3丁目, 千若町1~3丁目, 新浦島町1~2丁目, 出田町, 恵比須町, 宝町, 鈴繁町, 瑞穂町, 守屋町1~4丁目, 山内町, 幸ヶ谷, 金港町, 栄町, 大野町, 青木町
神之木西寺尾	神之木台, 神之木町, 西寺尾一~四丁目
子安入江	子安通2~3丁目, 新子安一~二丁目, 子安台一~二丁目, 子安通1丁目, 入江一~二丁目
白幡浦島丘	白幡東町, 白幡南町, 白幡西町, 白幡仲町, 白幡向町, 白幡上町, 白幡町, 浦島丘
神西神北	二ツ谷町, 西神奈川一~三丁目, 富家町, 鳥越, 立町, 二本榎, 平川町, 斉藤分町, 中丸, 白楽
神大寺	神大寺一~四丁目
菅田	菅田町
羽沢	羽沢町, 羽沢南一~四丁目
松見	松見町1~4丁目
三ツ沢	三ツ沢上町, 三ツ沢下町, 三ツ沢中町, 三ツ沢東町, 三ツ沢南町, 三ツ沢西町
六角橋	六角橋一~四丁目

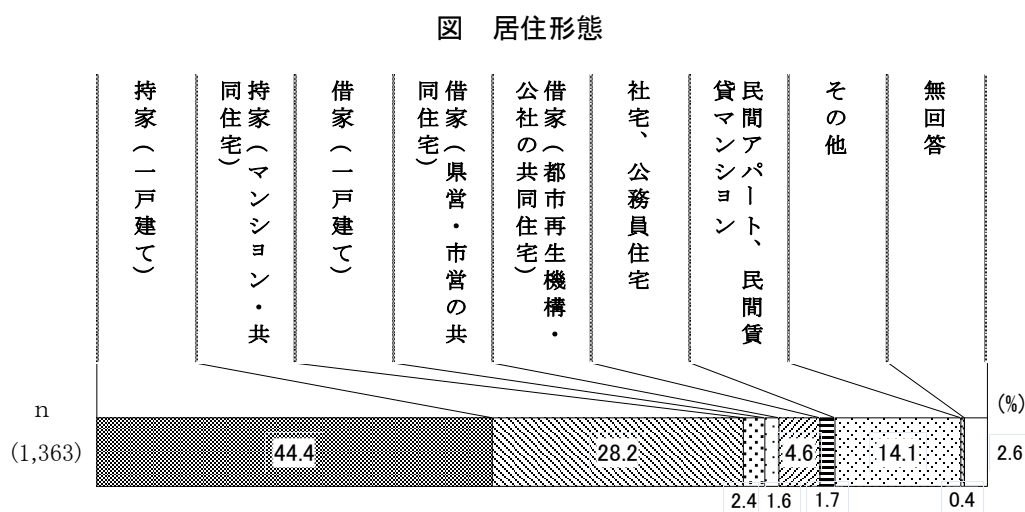
(4) 居住年数

「20年以上」が40.1%で最も多く、次いで「10～20年未満」が21.6%、「5～10年未満」が13.8%となっている。



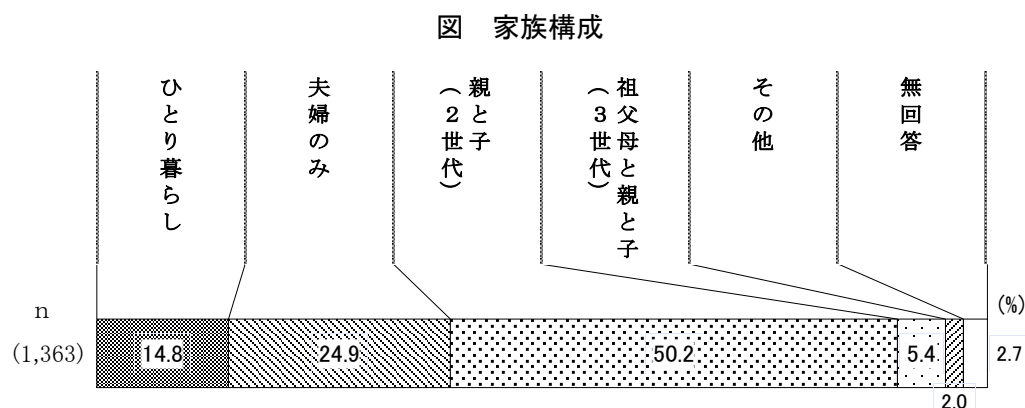
(5) 居住形態

「持家（一戸建て）」が44.4%で最も多く、次いで「持家（マンション・共同住宅）」が28.2%、「民間アパート、民間賃貸マンション」が14.1%となっている。



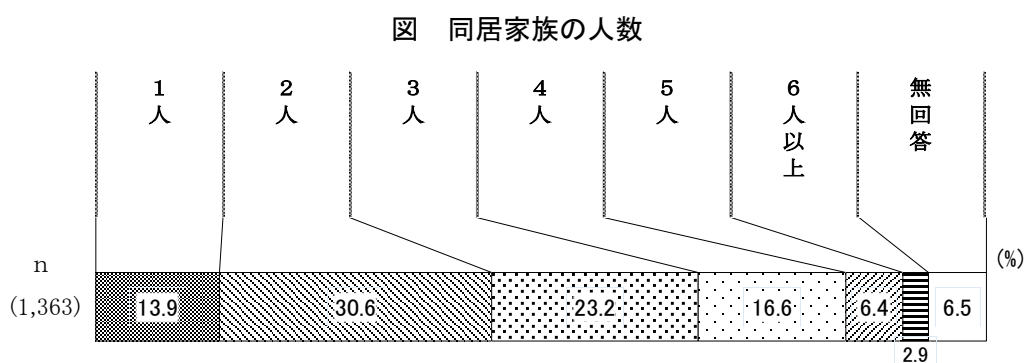
(6) 家族構成

「親と子（2世代）」が50.2%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が24.9%、「ひとり暮らし」が14.8%となっている。



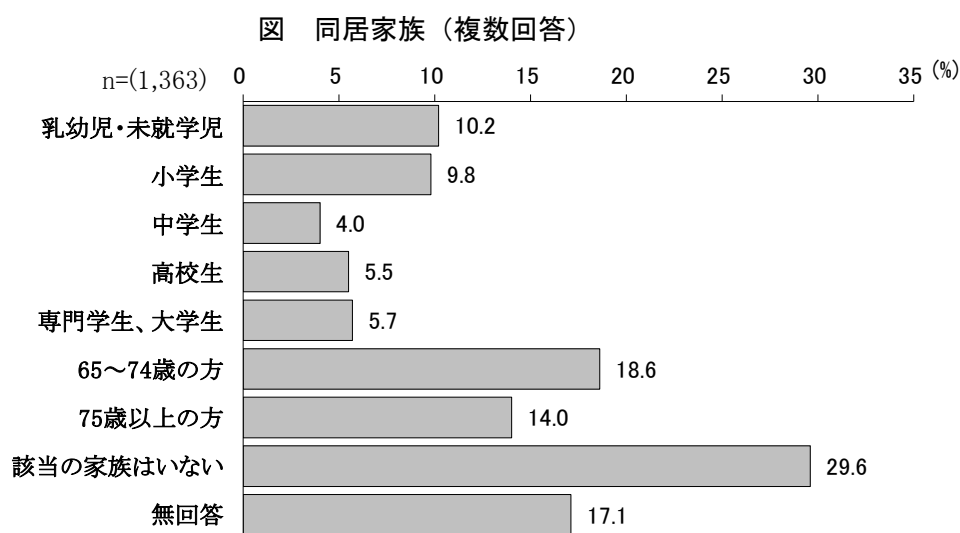
(7) 同居家族の人数

多い順に、「2人」が30.6%、「3人」が23.2%、「4人」が16.6%となっている。



(8) 同居家族

「65～74歳の方」が18.6%、「75歳以上の方」が14.0%で65歳以上の方が32.6%、次いで「乳幼児・未就学児」が10.2%、「小学生」が9.8%となっている。一方、「該当の家族はいない」は29.6%である。



(9) 世帯類型

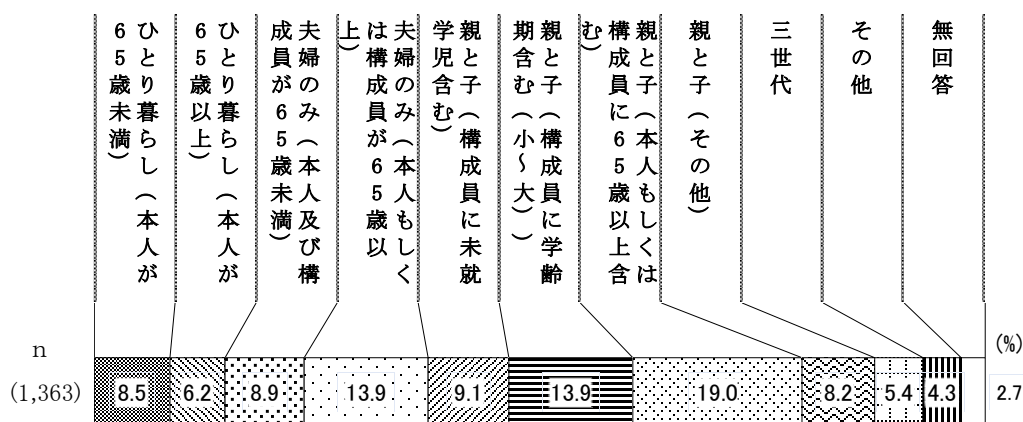
本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

表 世帯類型

世帯類型	属性
ひとり暮らし	(①)本人が65歳未満
	(②)本人が65歳以上
夫婦のみ	(①)本人及び構成員が65歳未満
	(②)本人もしくは構成員が65歳以上
親と子	(①)構成員に未就学児を含む
	(②)構成員に学齢期の子どもを含む(小学生～大学生)
	(③)本人もしくは構成員に65歳以上の人を含む
	(④)その他
三世代	三世代世帯
その他	上記にあてはまらない世帯

「親と子(本人もしくは構成員に65歳以上含む)」が19.0%で最も多く、「親と子(構成員に学齢期含む(小～大))」と「夫婦のみ(本人もしくは構成員が65歳以上)」がともに13.9%と続いている。

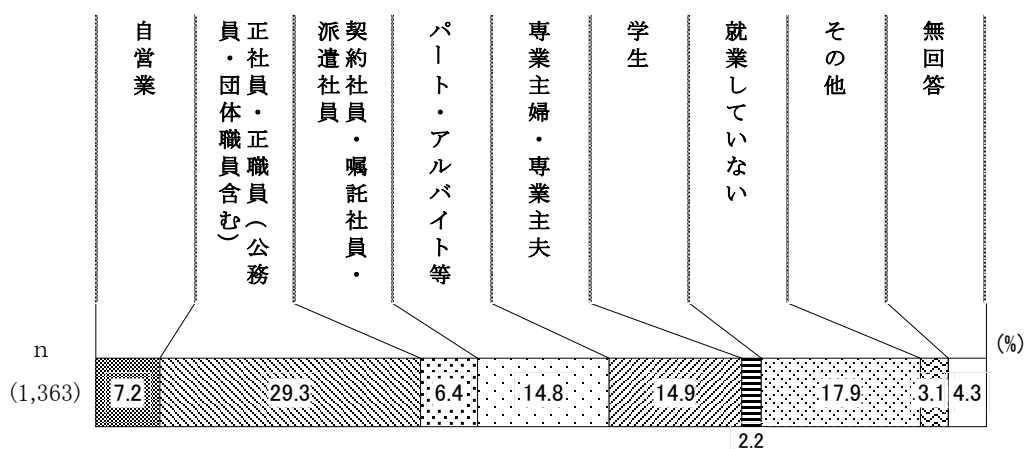
図 世帯類型



(10) 就労状況

「正社員・正職員(公務員・団体職員含む)」が29.3%で最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫」が14.9%、「パート・アルバイト等」が14.8%となっている。また、「就業していない」が17.9%となっている。

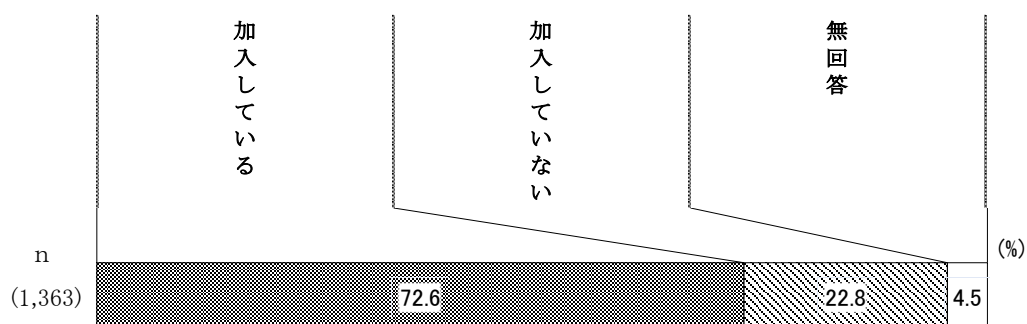
図 就労状況



(11) 自治会町内会への加入状況

「加入している」が72.6%、「加入していない」は22.8%となっている。

図 自治会町内会への加入状況

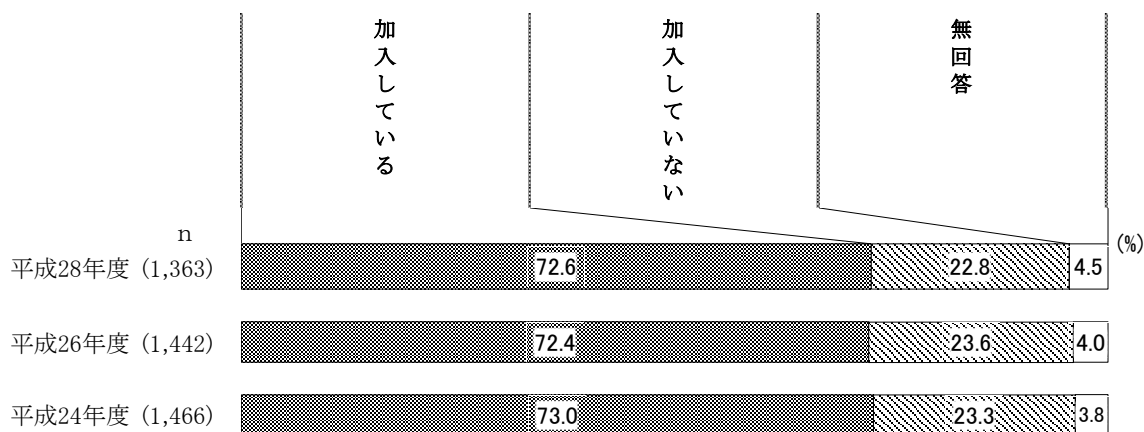


第2章 調査結果の詳細

■ 過去の調査との比較

「加入している」は、平成24年73.0%→平成26年72.4%→平成28年72.6%と概ね横ばいである。

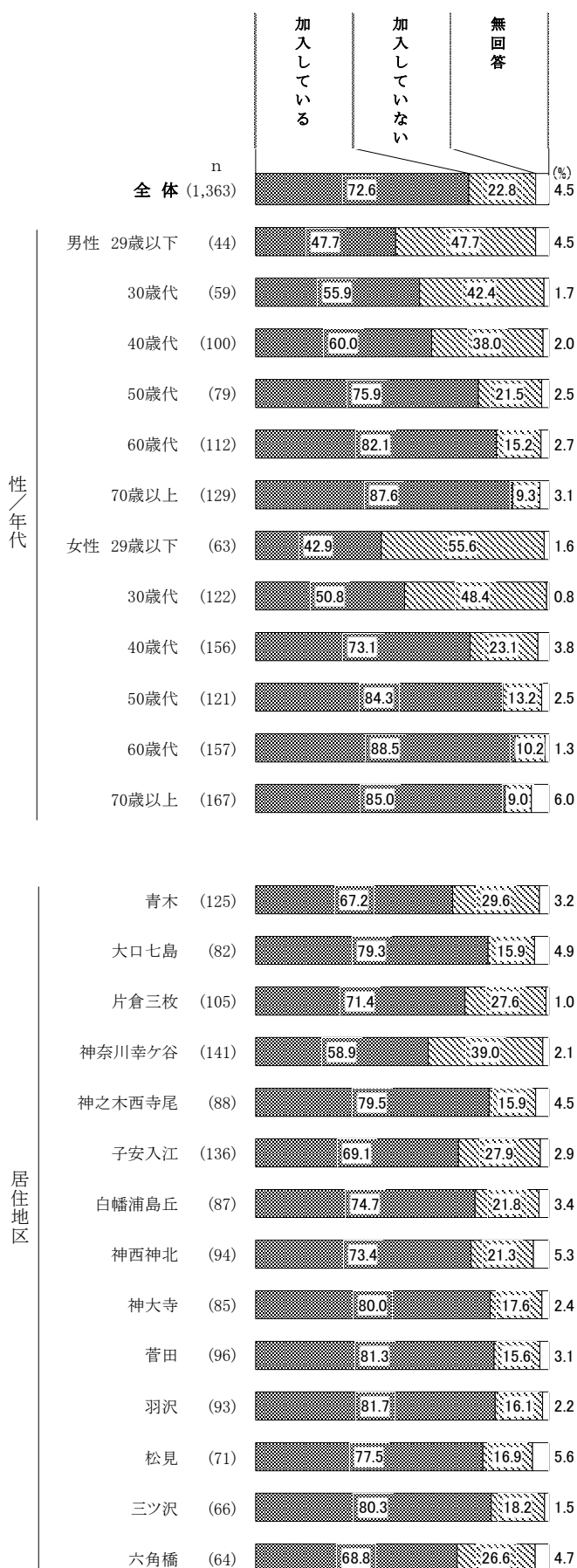
図 自治会町内会への加入状況（過去の調査との比較）



■ 自治会町内会への加入状況 [性／年代別・居住地区別]

性／年代別では、女性の29歳以下で「加入していない」が多く、男性の29歳以下では「加入している」と「加入していない」が並んでいる。一方、30歳代以上の男女では「加入している」の方が多く、30歳代を境に年齢で傾向が分かれた。

居住地区別では、いずれの地区でも「加入している」の方が多く、神大寺、菅田、羽沢、三ツ沢で8割以上である。一方、神奈川幸ヶ谷では6割未満となっている。

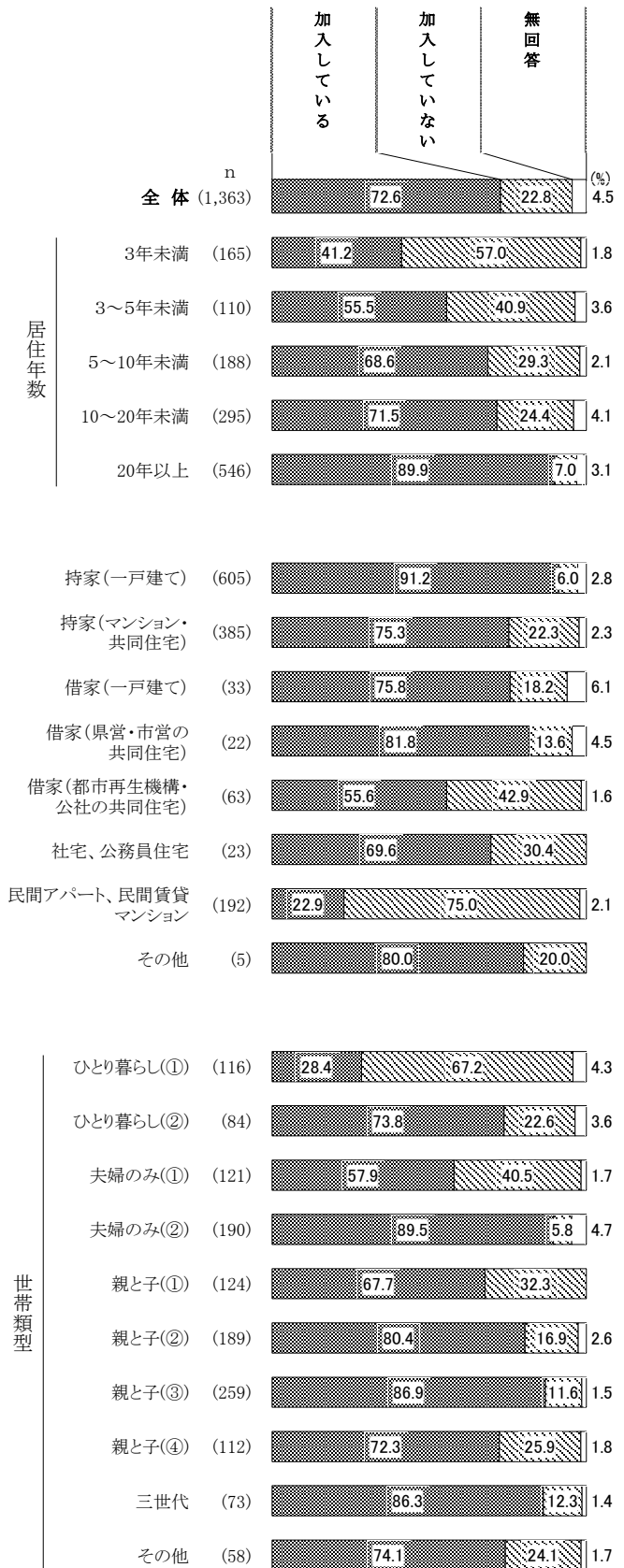


■ 自治会町内会への加入状況 [居住年数別・居住形態別・世帯類型別]

居住年数別では、3年未満で「加入していない」が多いが、それ以上では「加入している」の方が多く、居住年数10年以上では7割を超えている。

居住形態別では、民間アパート、民間賃貸マンションで「加入していない」が7割を超えている。それ以外では「加入している」の方が多く、持家（一戸建て）と借家（県営・市営の共同住宅）では8割を超えている。

世帯類型別では、ひとり暮らし（①）で「加入していない」が6割を超えている。それ以外では「加入している」の方が多く、夫婦のみ（②）、親と子（②）、親と子（③）、三世代では8割を超えている。



2. 定住意向について

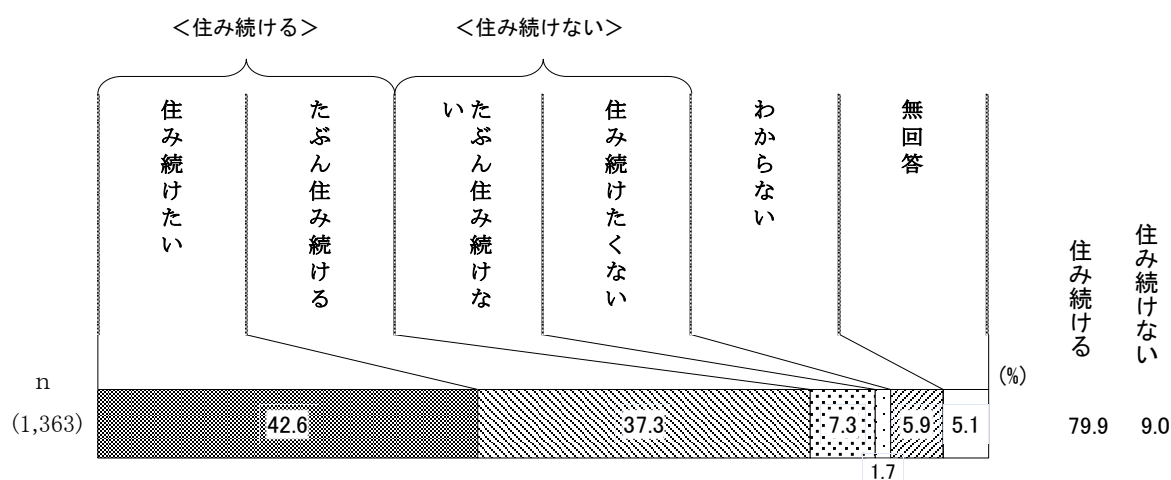
(1) 定住意向

◇79.9%の人に定住意向がある

問1 あなたは、現在お住まいの地域(あるいは周辺の地域)に住み続けたいですか。
(○は1つ)

「住み続けたい」(42.6%)と「たぶん住み続ける」(37.3%)を合わせた<住み続ける>は79.9%となっており、「たぶん住み続けない」(7.3%)と「住み続けたくない」(1.7%)を合わせた<住み続けない>は9.0%、「わからない」は5.9%となっている。

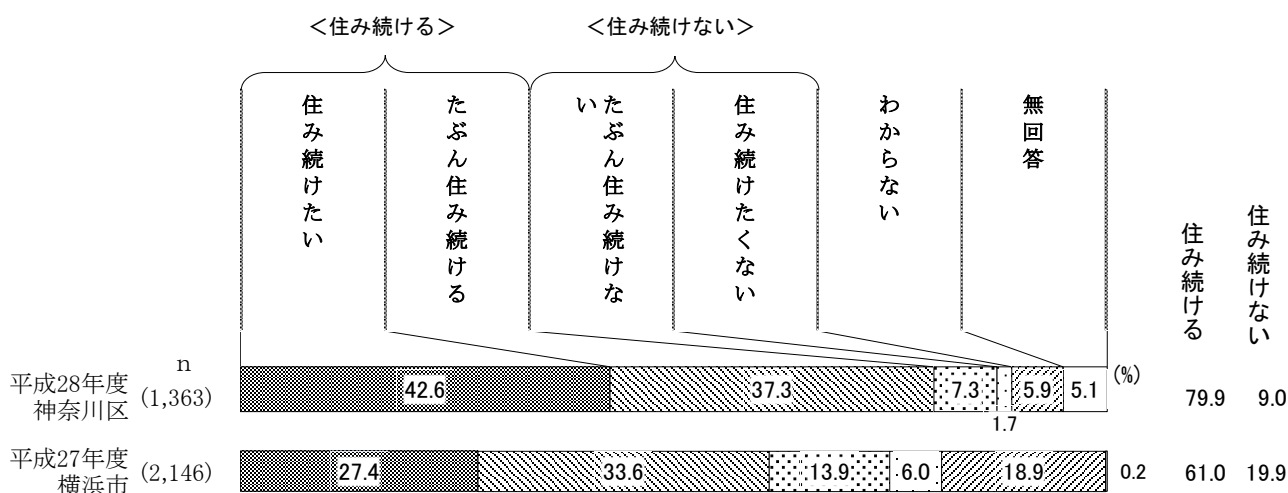
図 定住意向 [全体]



■ 横浜市調査との比較

横浜市調査(平成27年度)と比較すると、「住み続けたい」は横浜市より15.2ポイント高く、「たぶん住み続ける」を合わせた<住み続ける>をみると、横浜市より18.9ポイント高くなっている。一方、「たぶん住み続けない」と「住み続けたくない」を合わせた<住み続けない>は10.9ポイント低くなっている。

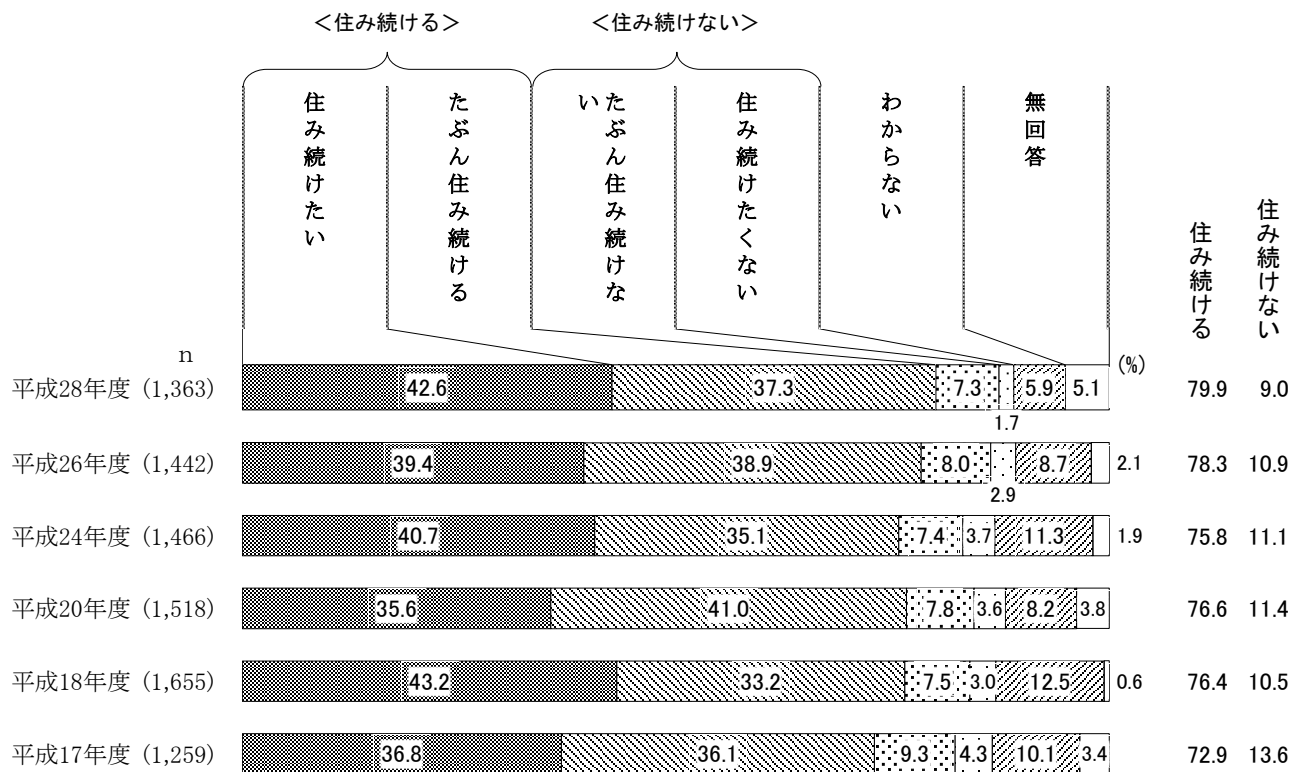
図 定住意向 (横浜市調査との比較)



■ 過去の調査との比較

「住み続けたい」は平成26年39.4%→平成28年42.6%と3.2ポイント増加している。また、「たぶん住み続ける」を合わせた<住み続ける>をみると、平成24年75.8%→平成26年78.3%→平成28年79.9%と増加傾向が続いており、直近6回の調査を通して最も高い数値となっている。一方、「たぶん住み続けたい」と「住み続けたくない」を合わせた<住み続けたい>をみると、平成24年11.1%→平成26年10.9%→平成28年9.0%と減少傾向が続いており、直近6回の調査で唯一1割未満となっている。

図 定住意向（過去の調査との比較）



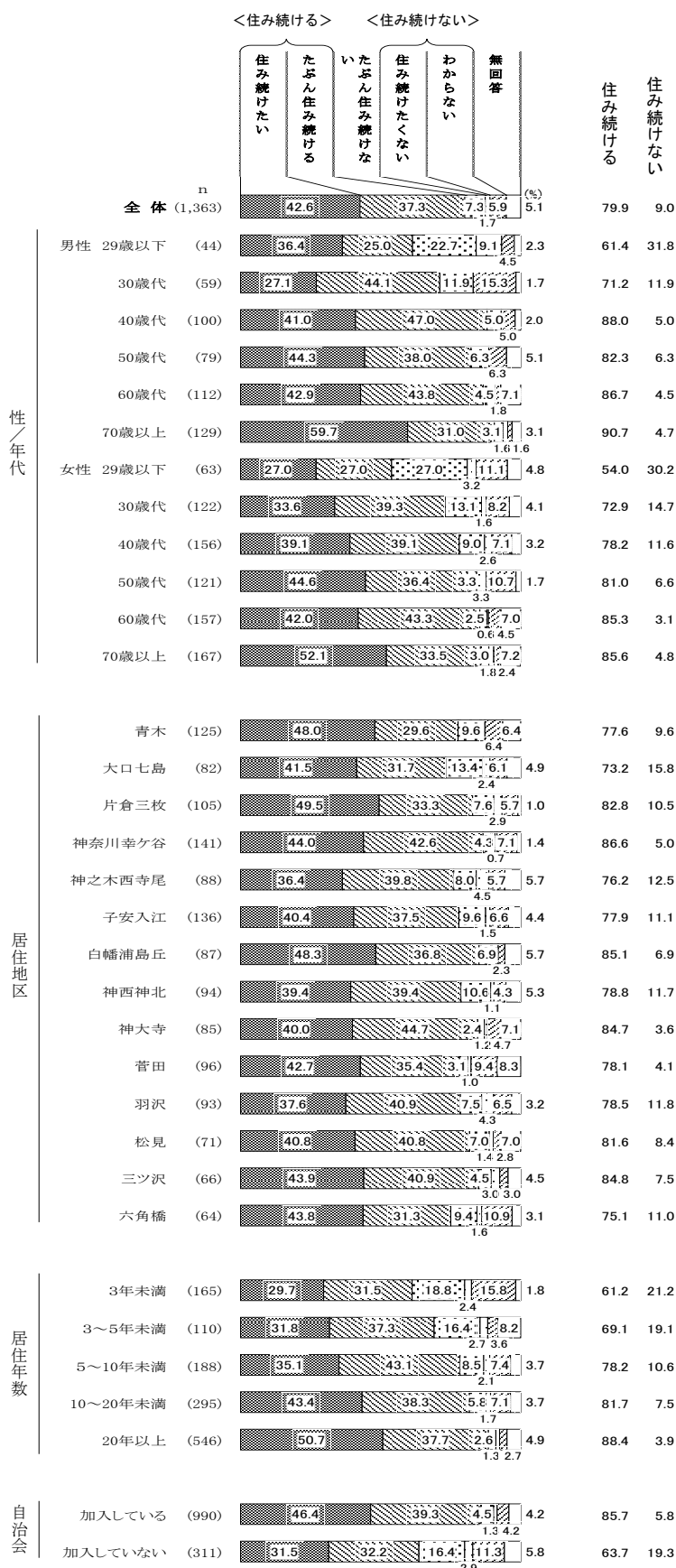
■ 定住意向 [性/年代別・居住地区別・居住年数別・自治会町内会加入状況別]

性/年代別では、男性の40歳代以上、女性の50歳代以上で<住み続ける>が8割を超えている。一方、男女の29歳以下で<住み続けない>が3割台と高くなっている。

居住地区別では、片倉三枚、神奈川幸ヶ谷、白幡浦島丘、神大寺、松見、三ツ沢で<住み続ける>が8割を超えている。

居住年数別では、年数が長くなるほど<住み続ける>が高くなる傾向があり、10年以上で8割を超えている。

自治会町内会加入状況別では、加入者で<住み続ける>が未加入者より22.0ポイント高くなっている。一方、未加入者では<住み続けない>が加入者より13.5ポイント高くなっている。



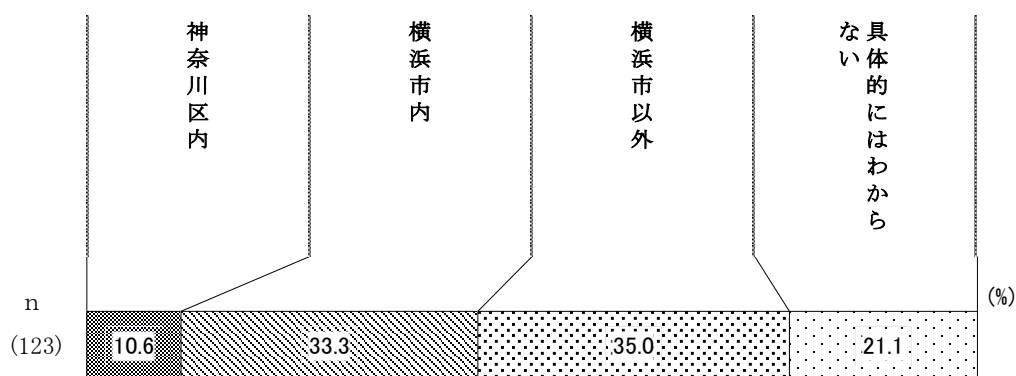
(2) 希望する移転先

◇「横浜市以外」が35.0%、「横浜市内」が33.3%

問2 問1で「3 たぶん住み続けたい」「4 住み続けたくない」と答えた方におたずねします。移転先としては、どちらを希望されますか。(〇は1つ)

「たぶん住み続けたい」、「住み続けたくない」と回答した人が希望する移転先は、「横浜市以外」が35.0%、「横浜市内」が33.3%、「神奈川区内」が10.6%である。一方、「具体的にはわからない」は21.1%となっている。

図 希望する移転先 [全体]



3. 現在の住まいの環境について

(1) 現在の住まいの環境について

◇「交通・通勤などの便利さ」、「周辺の静けさ」、「病院・医院の近さ」への評価が高い

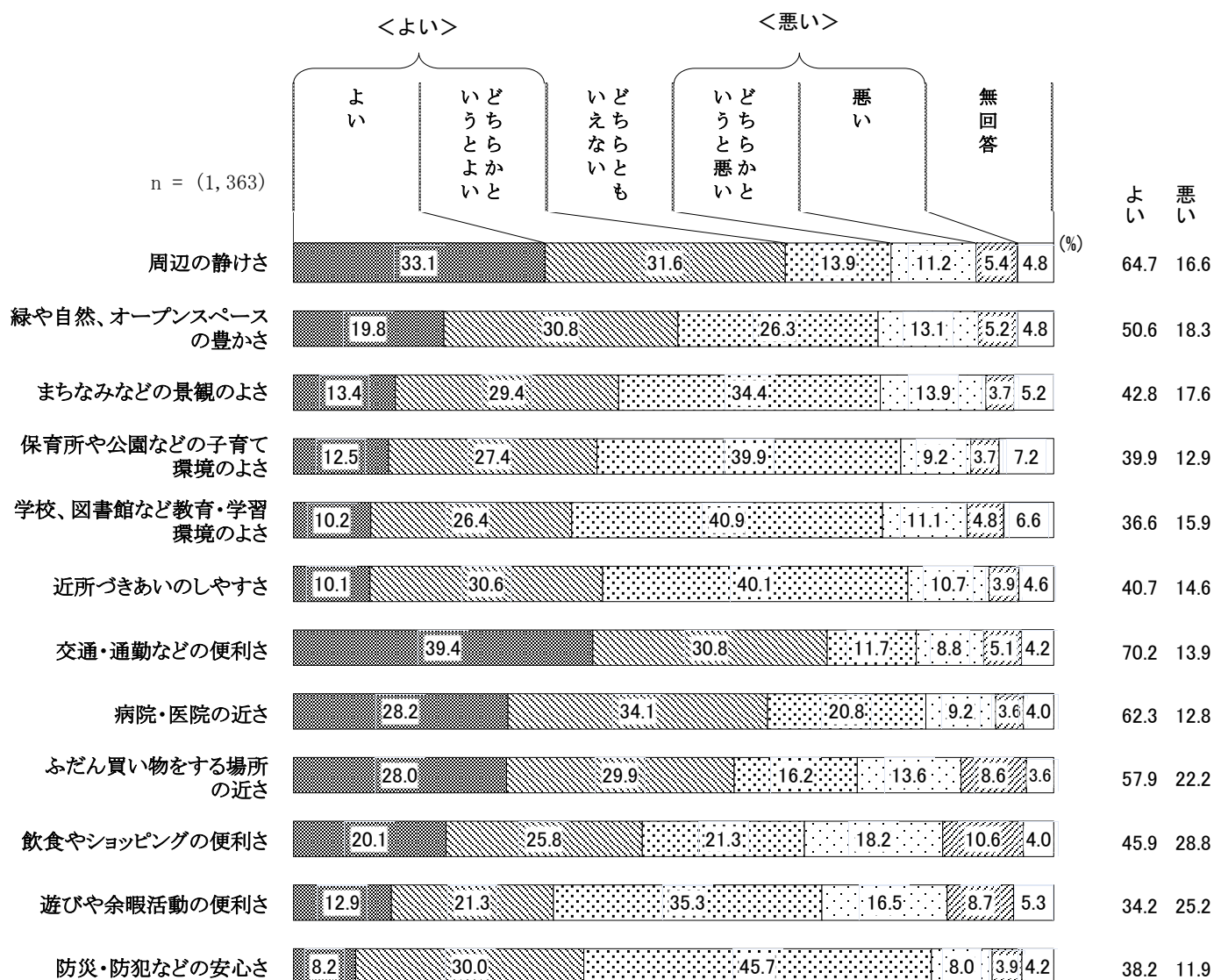
問3 あなたは、現在のお住まいの環境に関する次の項目について、どのように感じていますか。現在の状況と以前と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

(ア) 現在の状況

「よい」が最も多くなっているのは「周辺の静けさ」、「交通・通勤などの便利さ」の2項目である。

「よい」と「どちらかというともよい」を合わせた<よい>をみると、「交通・通勤などの便利さ (70.2%)」、「周辺の静けさ (64.7%)」、「病院・医院の近さ (62.3%)」となっている。一方、「悪い」と「どちらかというとも悪い」を合わせた<悪い>をみると、「飲食やショッピングの便利さ (28.8%)」、「遊びや余暇活動の便利さ (25.2%)」、「ふだん買い物をする場所の近さ (22.2%)」となっている。

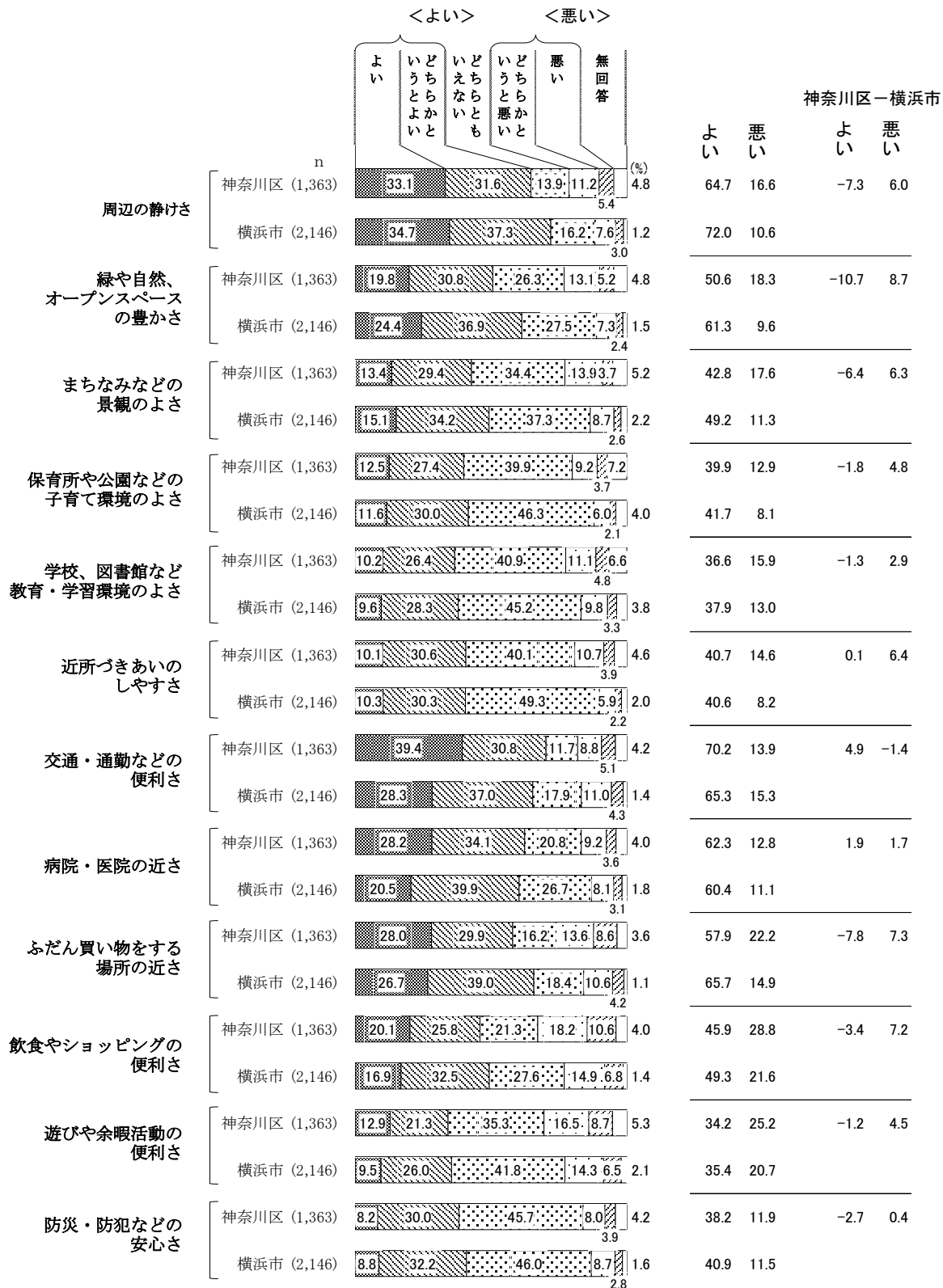
図 現在の状況 [全体]



■ 横浜市調査との比較

横浜市調査（平成27年度）と比較すると、神奈川区の方が横浜市より<よい>が高いのは「交通・通勤などの便利さ」などの3項目である。また、横浜市の方が高いのは「緑や自然、オープンスペースの豊かさ」などである。

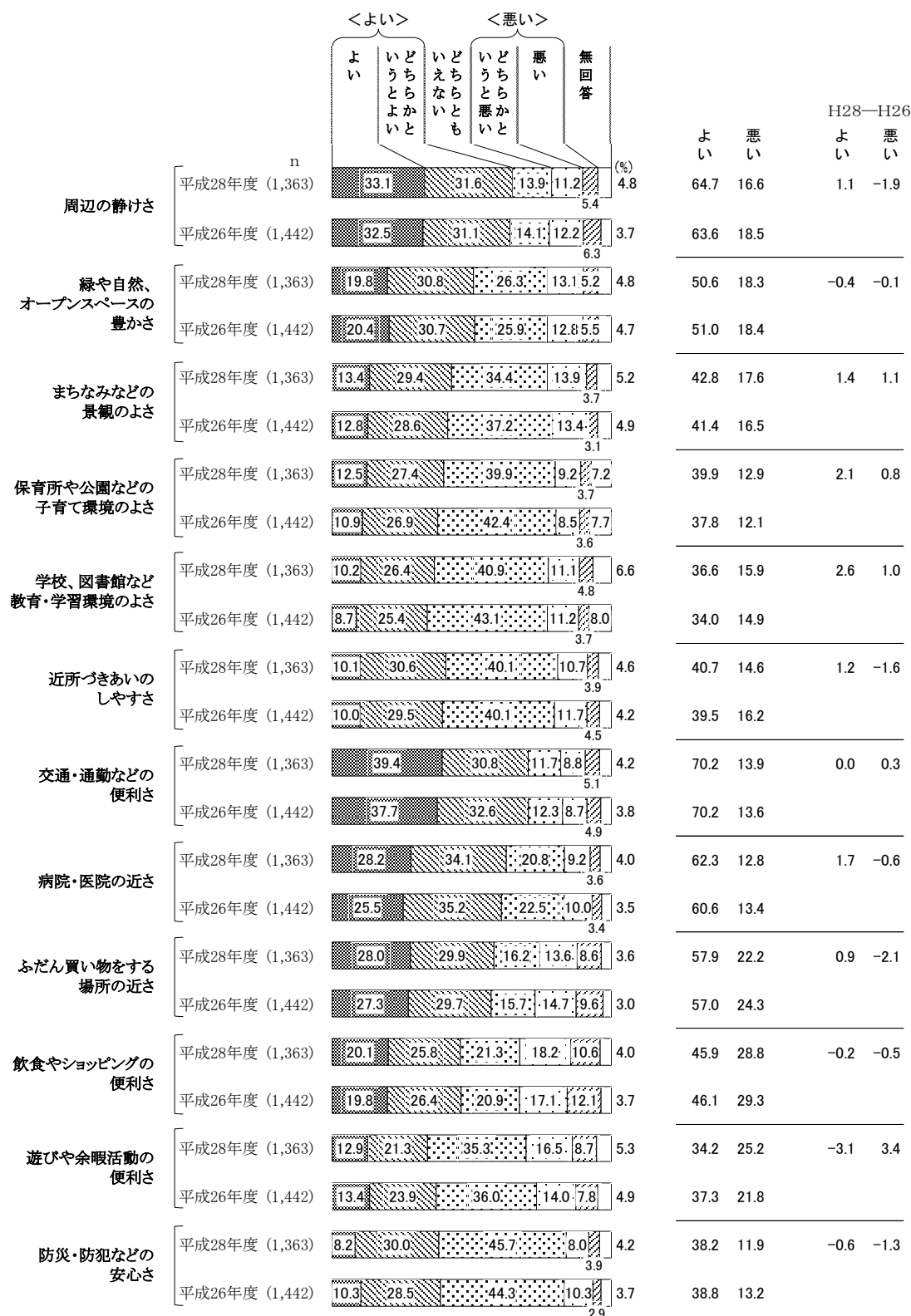
図 現在の状況（横浜市調査との比較）



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比べて<よい>が増加しているのは、「学校、図書館など教育・学習環境のよさ」、「保育所や公園などの子育て環境のよさ」などで、減少しているのは「遊びや余暇活動の便利さ」などである。一方、<悪い>が増加しているのは「遊びや余暇活動の便利さ」などで、減少しているのは「ふだん買い物をする場所の近さ」、「周辺の静けさ」などである。

図 現在の状況（過去の調査との比較）



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

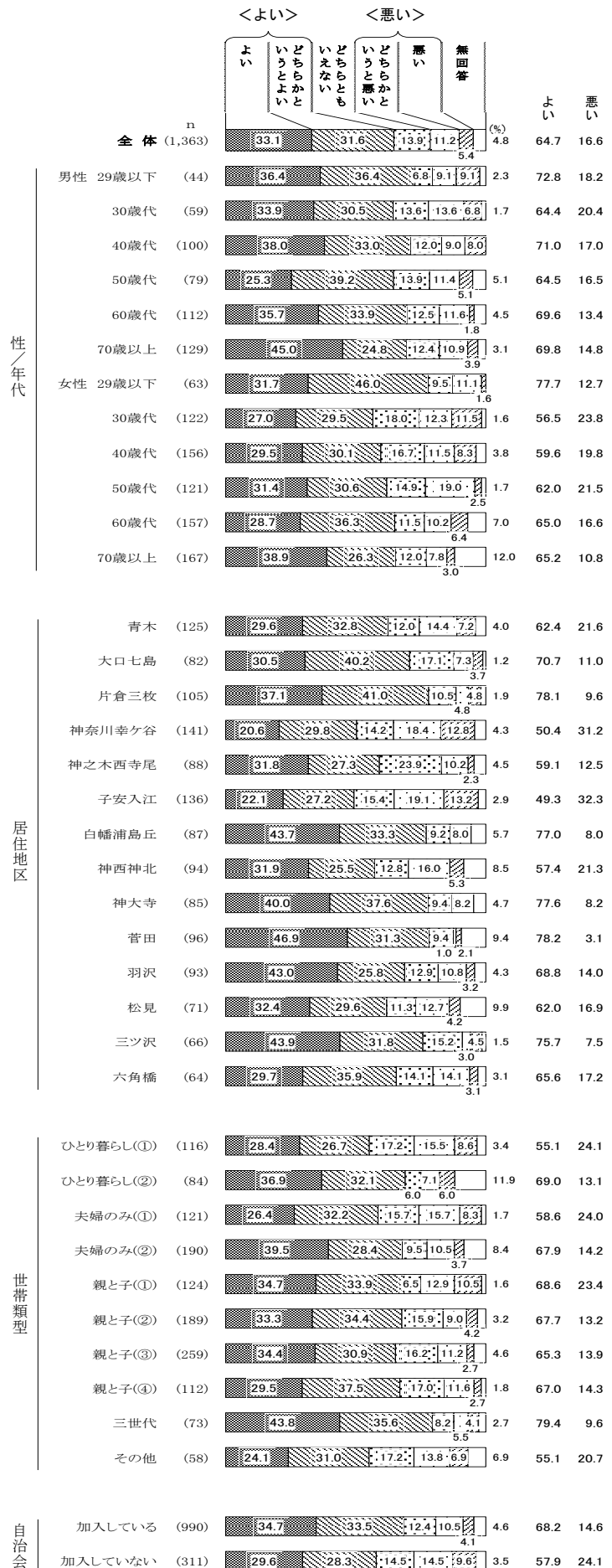
① 周辺の静けさ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、男性の29歳以下と40歳代、女性の29歳以下で7割を超えている。一方、<悪い>は男性の30歳代、女性の30歳代と50歳代で2割を超えている。

居住地区別では、いずれも<よい>が多く、片倉三枚、白幡浦島丘、神大寺、菅田では8割弱と高くなっている。一方、<悪い>は神奈川幸ヶ谷、子安入江で3割を超えている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、三世代で約8割となっている。一方、<悪い>はひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)で2割台半ばとなっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、加入者の方が未加入者より10.3ポイント高くなっている。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

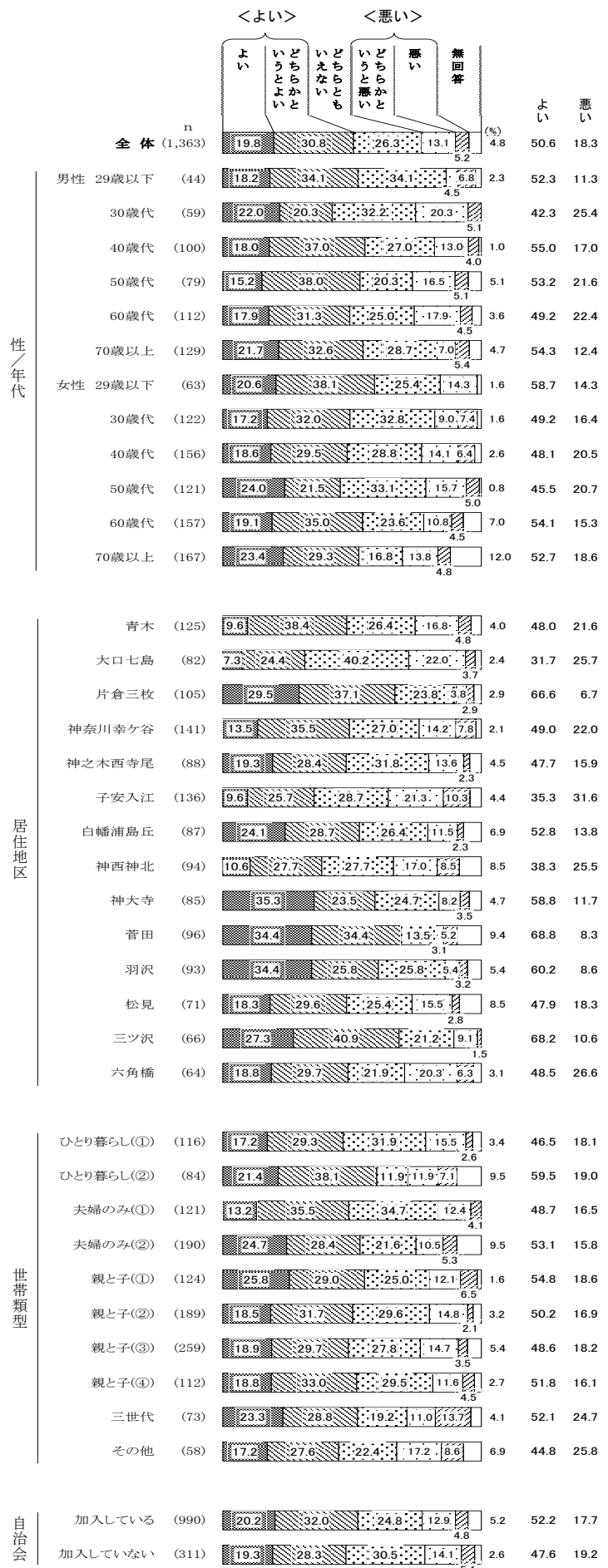
②緑や自然、オープンスペースの豊かさ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、半分以上で5割を超えている。一方、<悪い>は男性の30歳代、50歳代、60歳代、女性の40歳代と50歳代で2割を超えている。

居住地区別では、大口七島以外で<よい>が多く、片倉三枚、菅田、羽沢、三ツ沢で6割を超えている。一方、<悪い>は子安入江で3割を超えている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、ひとり暮らし(②)で約6割となっている。一方、<悪い>は三世代、その他で2割台半ばとなっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、加入者の方が未加入者より4.6ポイント高くなっている。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

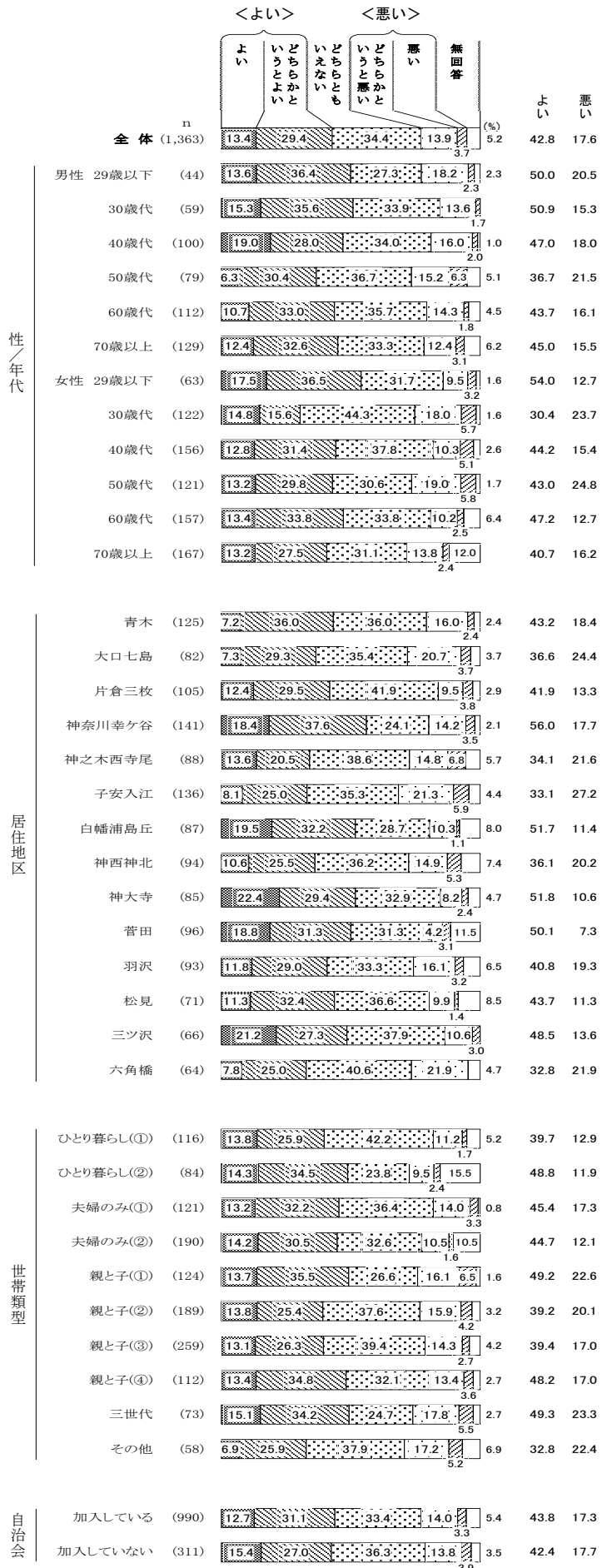
③まちなみなどの景観のよさ

性／年代別では、女性の30歳代以外で<よい>が多く、男性の29歳以下と30歳代、女性の29歳以下で5割以上となっている。一方、<悪い>は男性の29歳以下と50歳代、女性の30歳代と50歳代で2割を超えている。

居住地区別では、神奈川幸ヶ谷、白幡浦島丘、神大寺、菅田で<よい>が5割を超えている。一方、大口七島、神之木西寺尾、子安入江、神西神北、六角橋で<悪い>が2割を超えている。

世帯類型別では、ひとり暮らし(①)、親と子(③)、その他で「どちらともいえない」が多い。それ以外では<よい>が多く、親と子(①)と三世代で約5割となっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、大きな差はみられない。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

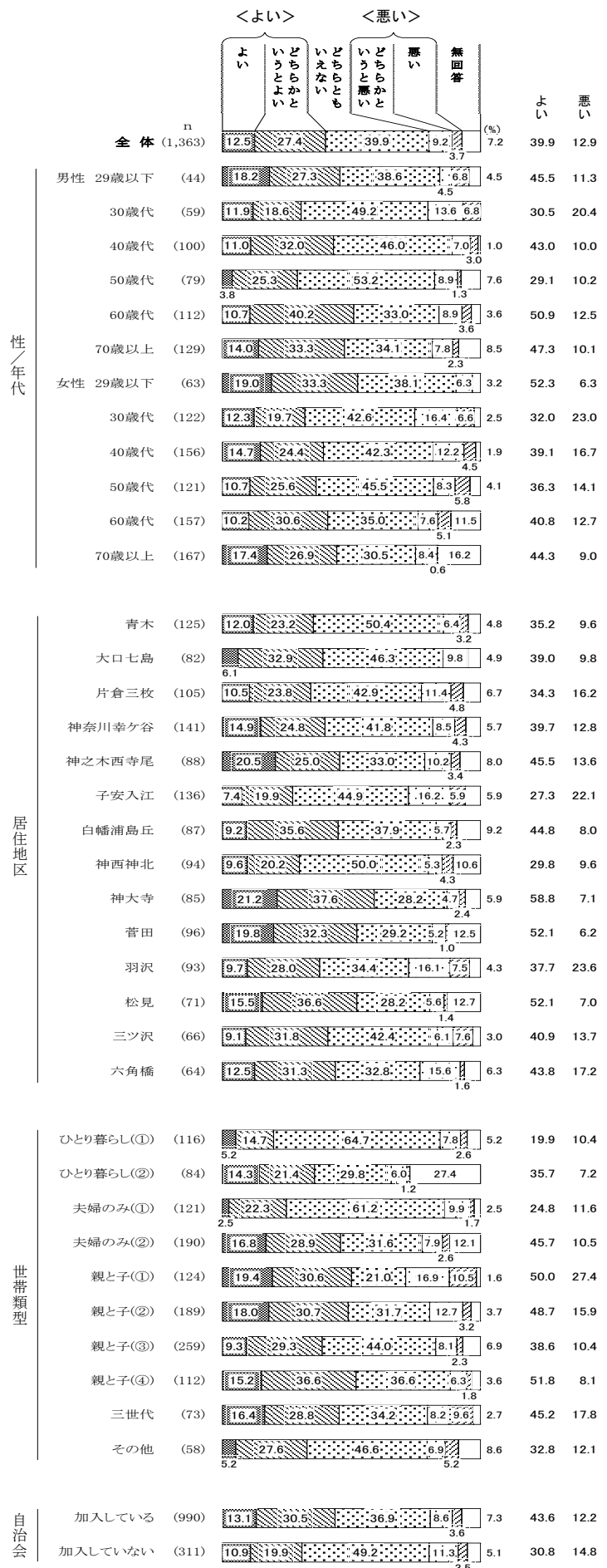
④保育所や公園などの子育て環境のよさ

性／年代別では、男性の60歳代、女性の29歳以下で<よい>が5割を超えている。一方、男女の30歳代では<悪い>が2割を超えている。また、男女の30歳代から50歳代では「どちらともいえない」が4割を超えている。

居住地区別では、神大寺、菅田、松見で<よい>が5割を超えて高くなっている。一方、子安入江、羽沢で<悪い>が2割を超えている。また、青木、神西神北では「どちらともいえない」が5割以上である。

世帯類型別では、ひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)、親子(③)、その他以外で<よい>が多く、親子(①)、親子(④)で5割以上となっている。

自治会町内会加入状況別では、加入者で<よい>が4割を超えて多く、未加入者で「どちらともいえない」が約5割と多い。



■ 現在の状況〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

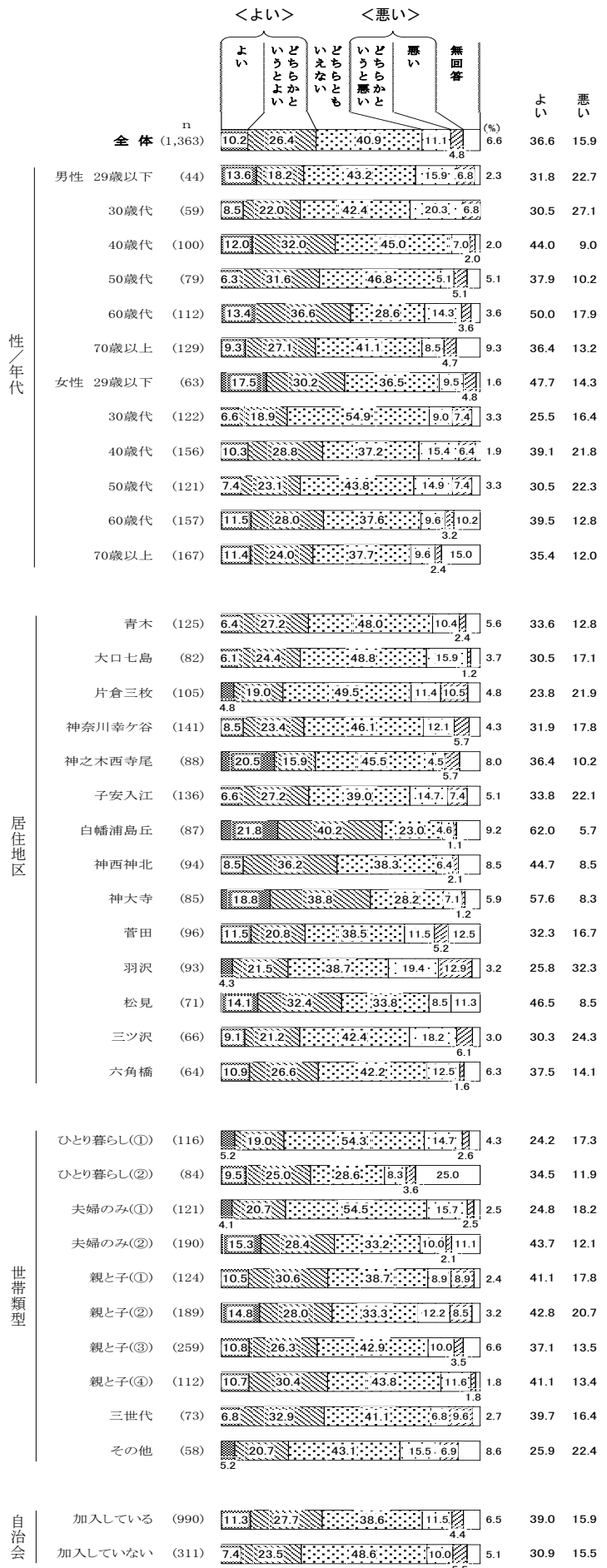
⑤学校、図書館など教育・学習環境のよさ

性／年代別では、ほとんどの年代で「どちらともいえない」が多い。男性の60歳代で<よい>が5割である。一方、男性の29歳以下と30歳代、女性の40歳代と50歳代で<悪い>が2割を超えている。

居住地区別では、白幡浦島丘で<よい>が6割を超えており、神西神北、神大寺、松見で4割を超えている。それ以外の地区では「どちらともいえない」が多く、片倉三枚で約5割となっている。一方、羽沢では<悪い>が3割を超えている。

世帯類型別では、ひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)で「どちらともいえない」が5割を超えている。<悪い>は親と子(②)、その他で2割を超えている。

自治会町内会加入状況別では、加入者で<よい>が約4割と多く、未加入者では「どちらともいえない」が約5割と多い。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

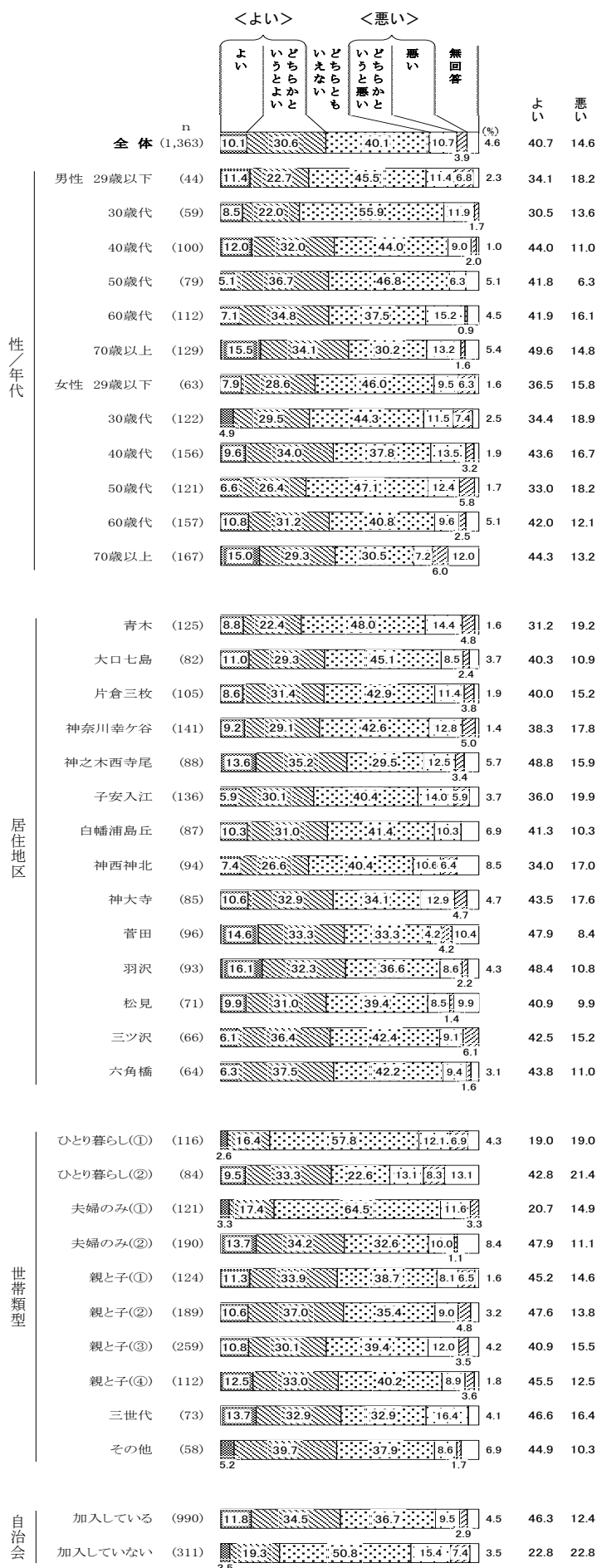
⑥ 近所づきあいのしやすさ

性／年代別では、男性の40歳以上、女性の40歳代と60歳以上で<よい>が4割台となっている。一方、男性の29歳以下、女性の30歳代と50歳代で<悪い>が2割弱となっている。

居住地区別では、神之木西寺尾、菅田、羽沢で<よい>が5割近くである。一方、青木、子安入江では<悪い>が約2割である。

世帯類型別では、ひとり暮らし
(①)、夫婦のみ(①)で「どちらともいえない」が5割を超えている。それ以外は<よい>が多くなっている。

自治会町内会加入状況別では、加入者で<よい>が4割を超えて多く、未加入者では「どちらともいえない」が約5割と多い。



■ 現在の状況〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

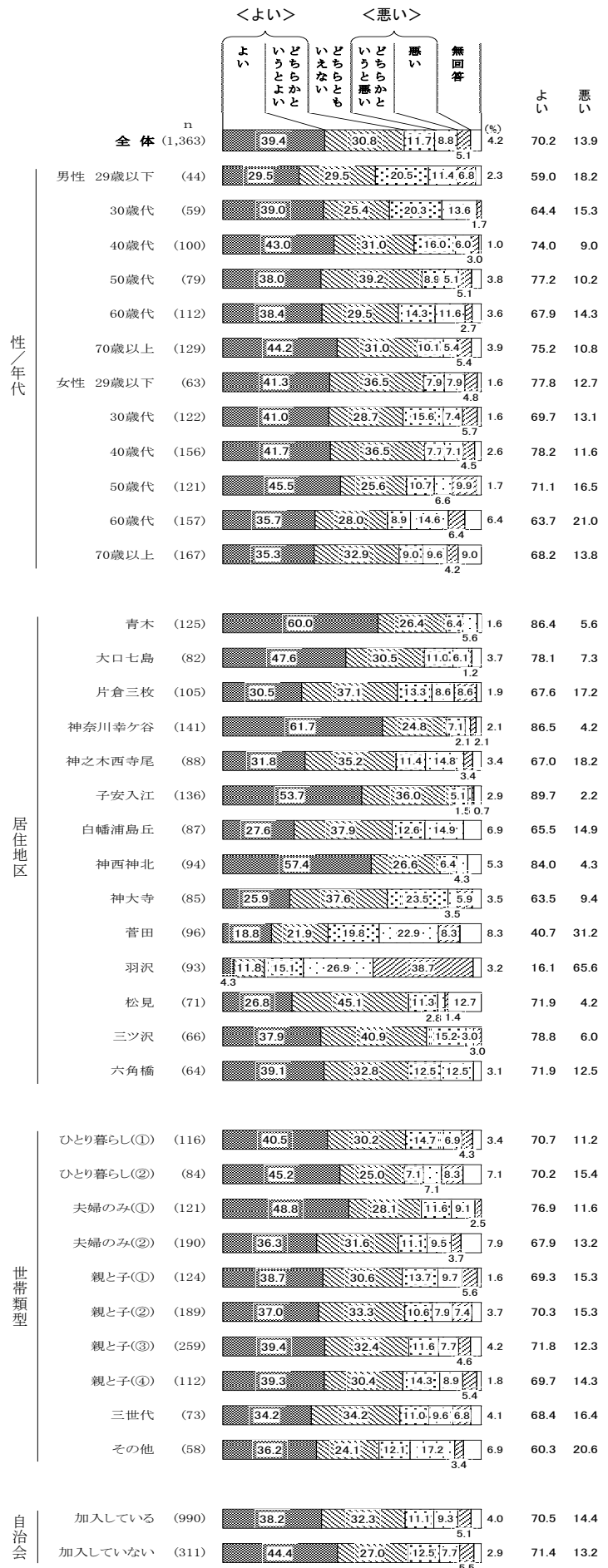
⑦交通・通勤などの便利さ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、男性の40歳代、50歳代、70歳以上、女性の29歳以下、40歳代、50歳代で7割を超えている。一方、女性の60歳代で<悪い>が2割を超えている。

居住地区別では、羽沢で<悪い>が6割台半ばである。それ以外の地区では<よい>が多く、青木、神奈川幸ヶ谷、子安入江、神西神北で8割を超えている。また、菅田では<よい>が約4割とやや低くなっている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、夫婦のみ(①)で7割台半ばを超えている。一方、その他で<悪い>が2割を超えている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、大きな差はみられない。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

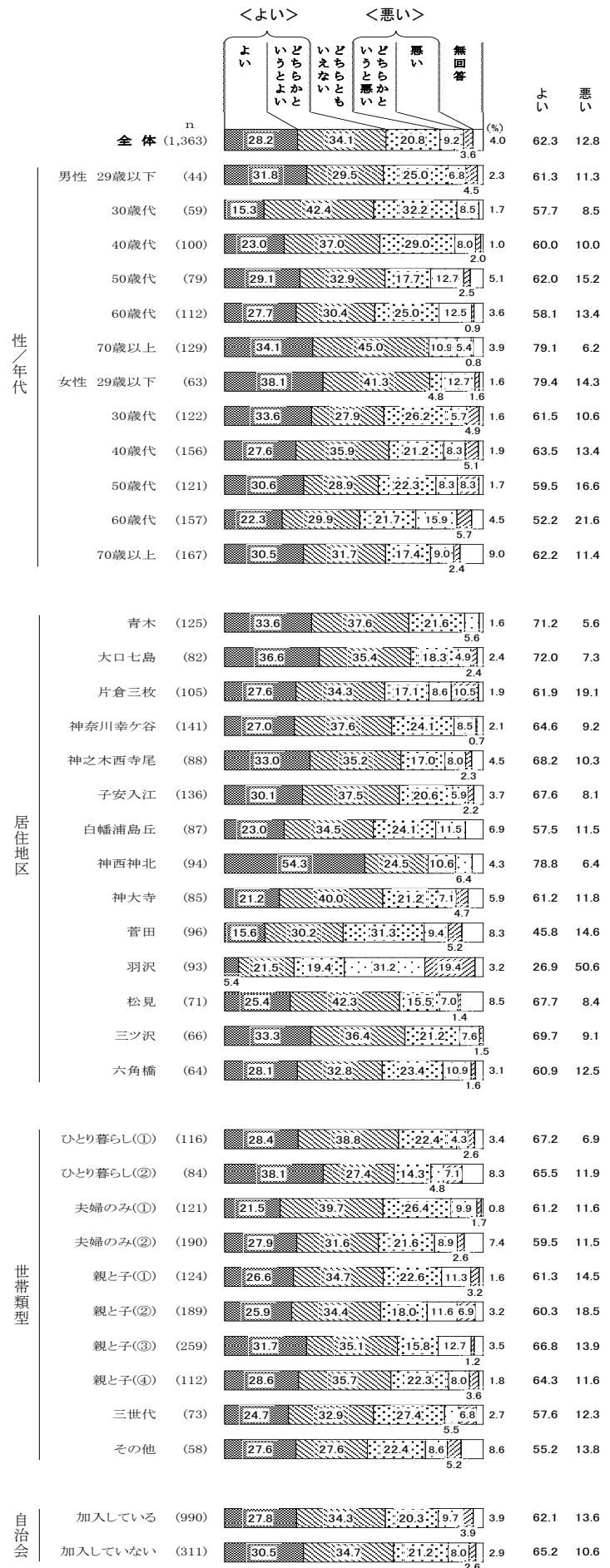
⑧病院・医院の近さ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、男性の70歳以上と女性の29歳以下では8割弱となっている。一方、60歳代の女性で<悪い>が2割を超えている。

居住地区別では、羽沢で<悪い>が5割を超えている。それ以外の地区では<よい>が多く、青木、大口七島、神西神北で7割を超えている。また、菅田では<よい>が4割台半ばとやや低くなっている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、ひとり暮らし(①)で最も高い。一方、親と子(②)で<悪い>が2割近くとなっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、大きな差はみられない。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

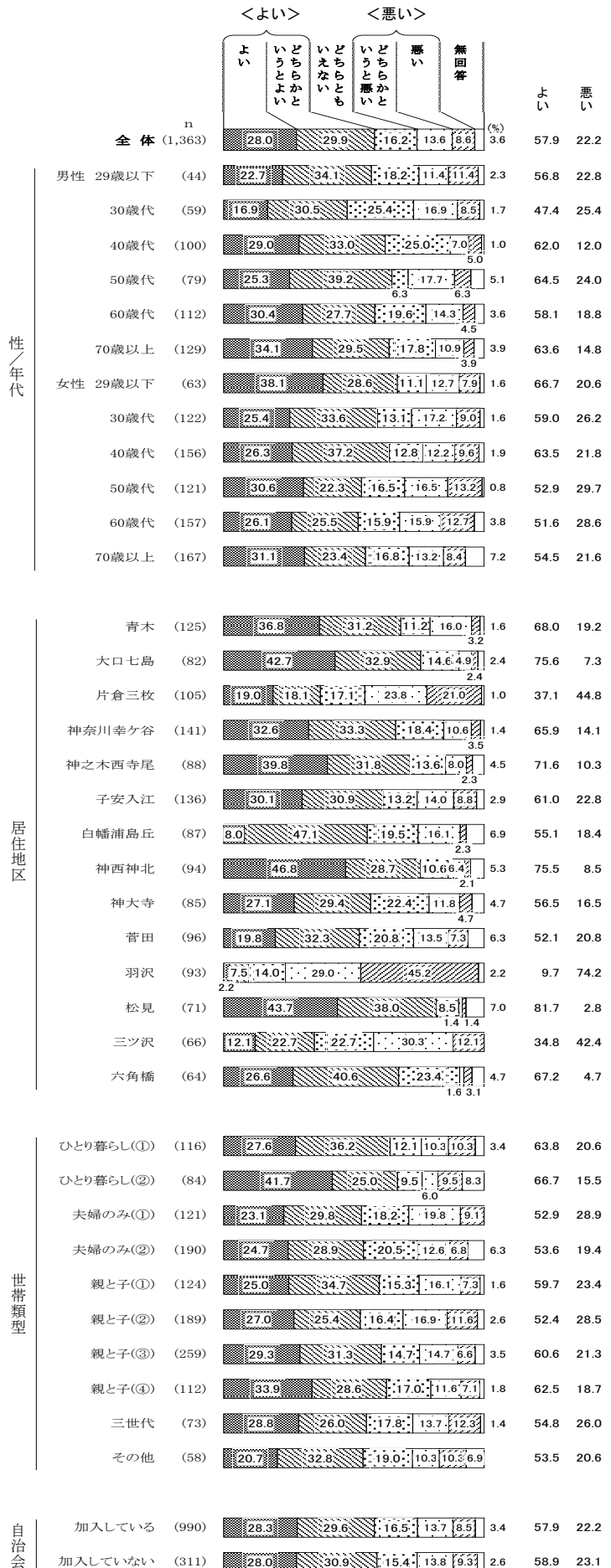
⑨ くだん買い物をする場所の近さ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、男性の40歳代、50歳代、70歳以上、女性の29歳以下、40歳代で6割を超えている。一方、女性の50歳代と60歳代で<悪い>が3割弱となっている。

居住地区別では、羽沢、片倉三枚、三ツ沢の順に<悪い>が多く、特に羽沢で7割を超えている。それ以外の地区では<よい>が多く、松見では8割を超えている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、ひとり暮らし(②)で6割台半ばを超えている。一方、夫婦のみ(①)、親と子(②)で<悪い>が3割近くとなっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、大きな差はみられない。



■ 現在の状況 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

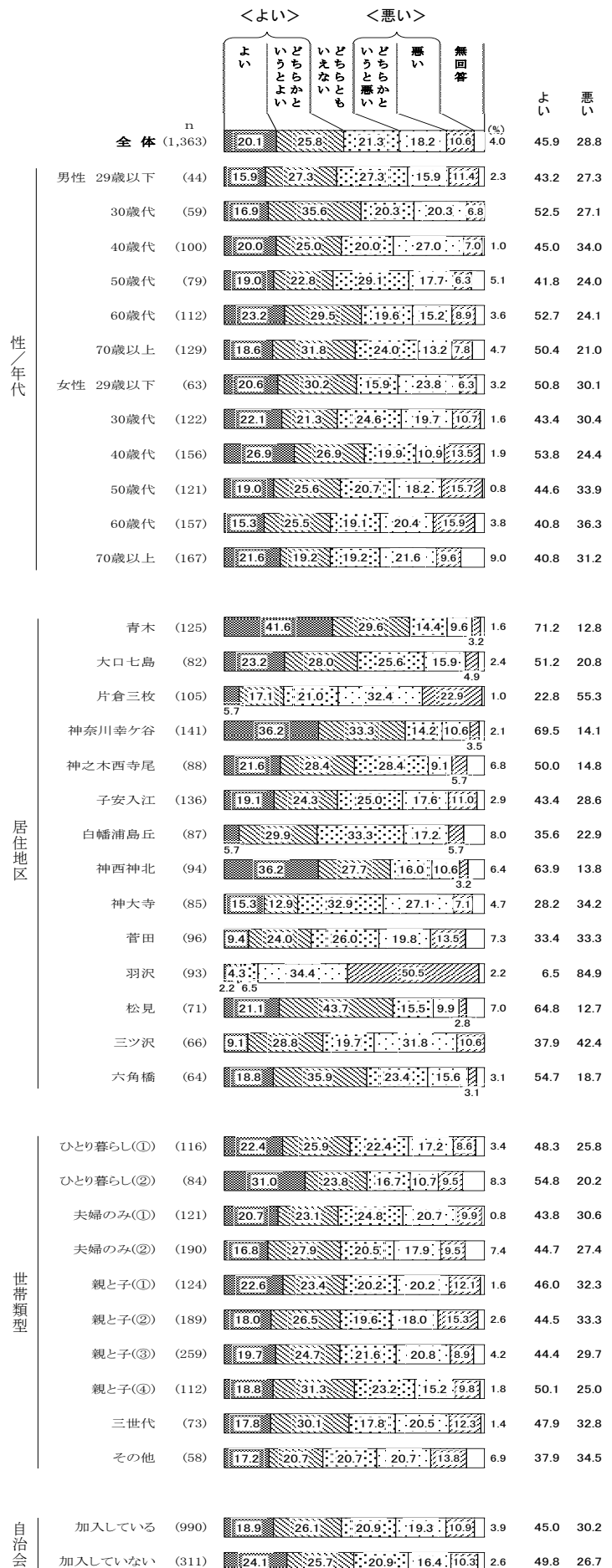
⑩ 飲食やショッピングの便利さ

性／年代別では、いずれも<よい>が多く、男性の30歳代と60歳以上、女性の29歳以下と40歳代で5割台である。一方、男性の40歳代、女性の40歳代以外で<悪い>が3割を超えている。

居住地区別では、片倉三枚、神大寺、羽沢、三ツ沢で<悪い>が多い。それ以外の地区では<よい>が多く、青木では7割を超えている。

世帯類型別では、いずれも<よい>が多く、ひとり暮らし(②)、親と子(④)で5割を超えている。一方、その他で<悪い>が3割台半ばとなっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<よい>が多く、未加入の方が加入者より4.8ポイント高くなっている。



■ 現在の状況〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

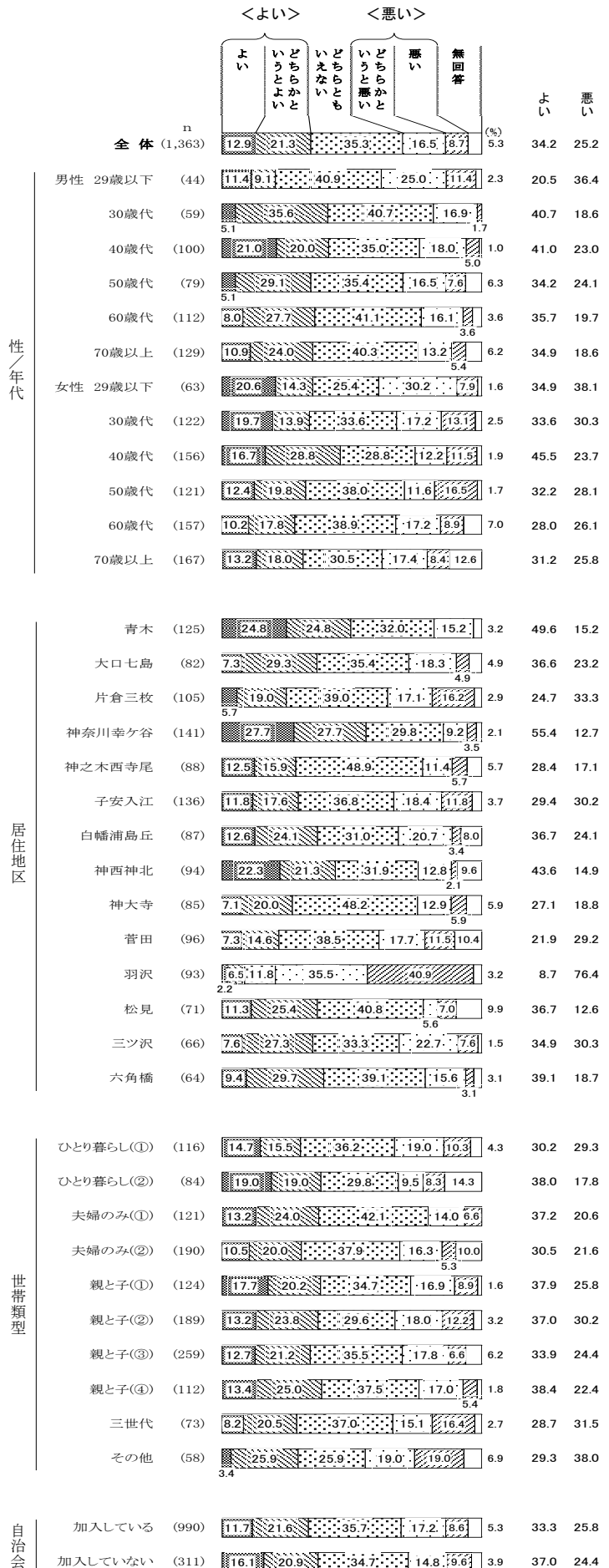
⑪遊びや余暇活動の便利さ

性／年代別では、男性の30歳代と40歳代、女性の40歳代で<よい>が4割を超えている。一方、男性の29歳以下、女性の30歳代以下で<悪い>が3割を超えている。

居住地区別では、羽沢で<悪い>が7割を超えている。一方、神奈川幸ヶ谷で<よい>が5割を超えている。また、神之木西寺尾と神大寺で「どちらともいえない」が5割近くとなっている。

世帯類型別で<よい>が多いのは、ひとり暮らし(②)、親と子(①)、親と子(②)、親と子(④)で4割近い。その他では<悪い>が4割弱となっている。また、夫婦のみ(①)で「どちらともいえない」が4割を超えている。

自治会町内会加入状況別では、加入者で「どちらともいえない」が3割台半ばと多く、未加入者では<よい>が4割弱と多い。



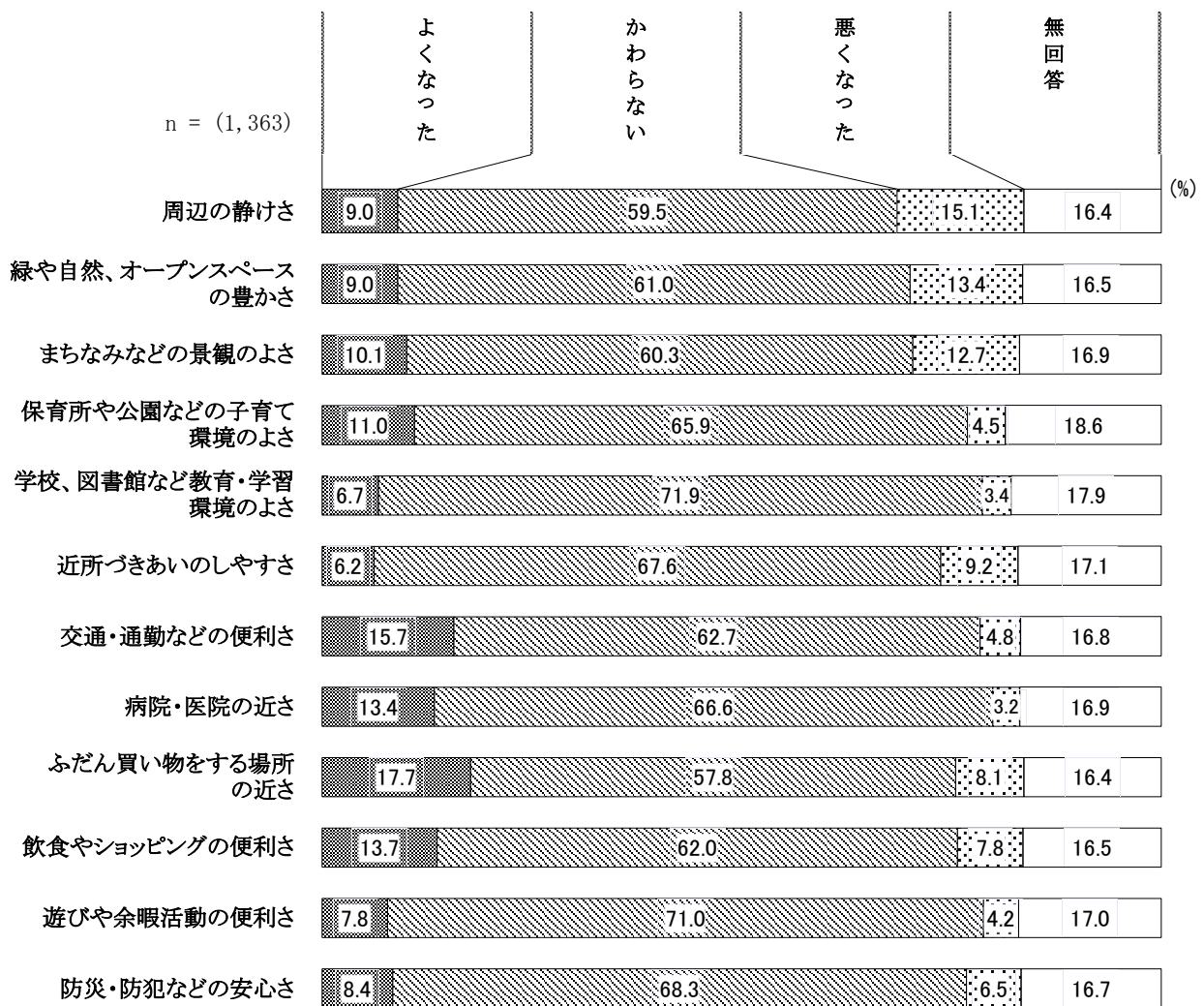
(イ) 以前と比べて

いずれも「かわらない」が最も多くなっている。

「よくなった」の割合が高いのは、「ふだん買い物をする場所の近さ (17.7%)」、「交通・通勤などの便利さ (15.7%)」となっている。

「悪くなった」の割合が高いのは、「周辺の静けさ (15.1%)」、「緑や自然、オープンスペースの豊かさ (13.4%)」、「まちなみなどの景観のよさ (12.7%)」となっている。

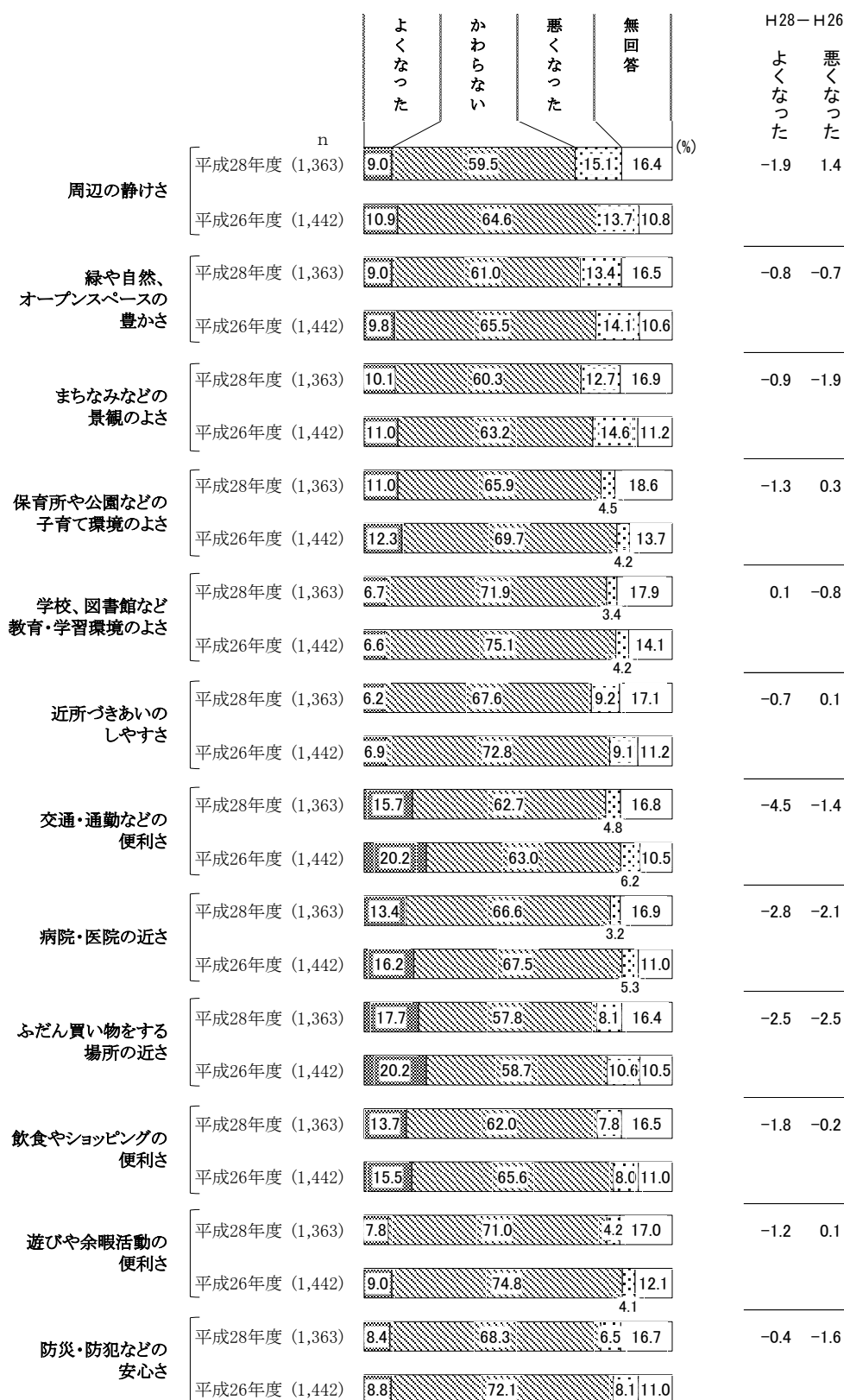
図 以前と比べて [全体]



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比べて、「交通・通勤などの便利さ」、「病院・医院の近さ」などで「よくなった」が減少している。一方、「悪くなった」が減少しているのは、「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」、「まちなみなどの景観のよさ」などである。

図 以前と比べて（過去の調査との比較）



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

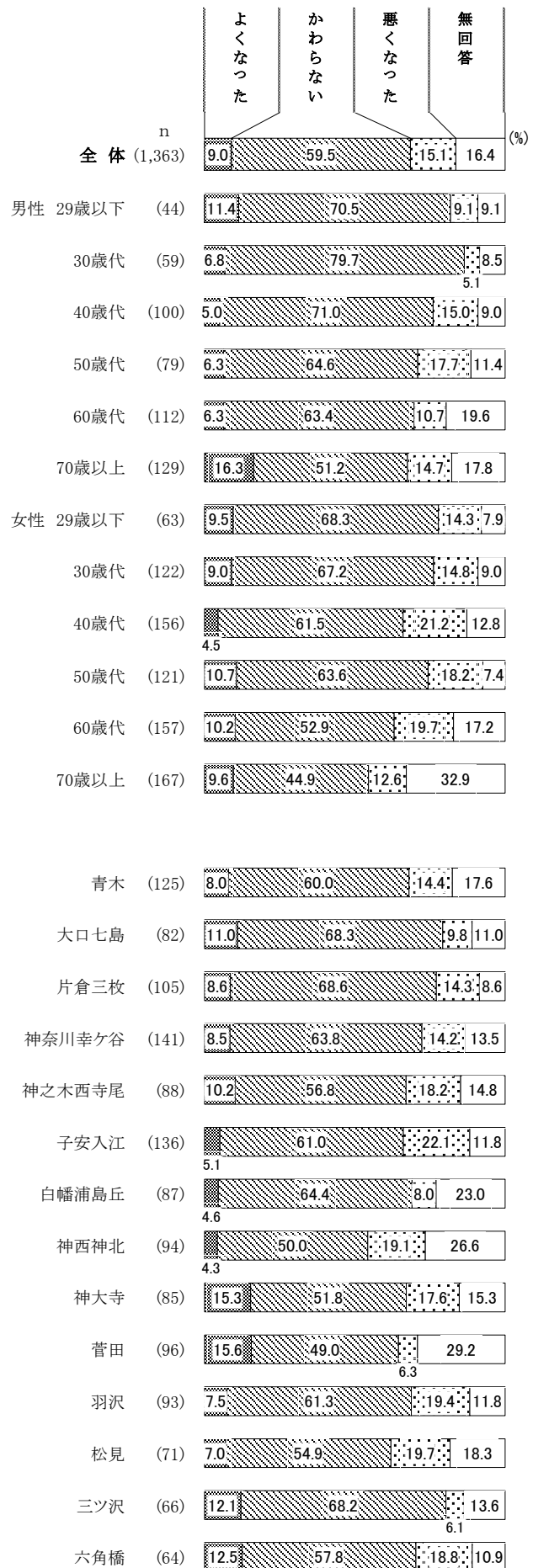
① 周辺の静けさ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上で「よくなった」が1割台半ばを超えている。一方、女性の40歳代で「悪くなった」が2割を超えている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。神大寺、菅田で「よくなった」が1割台半ばとなっている。一方、子安入江で「悪くなった」が2割を超えている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて〔性／年代別・居住地区別〕

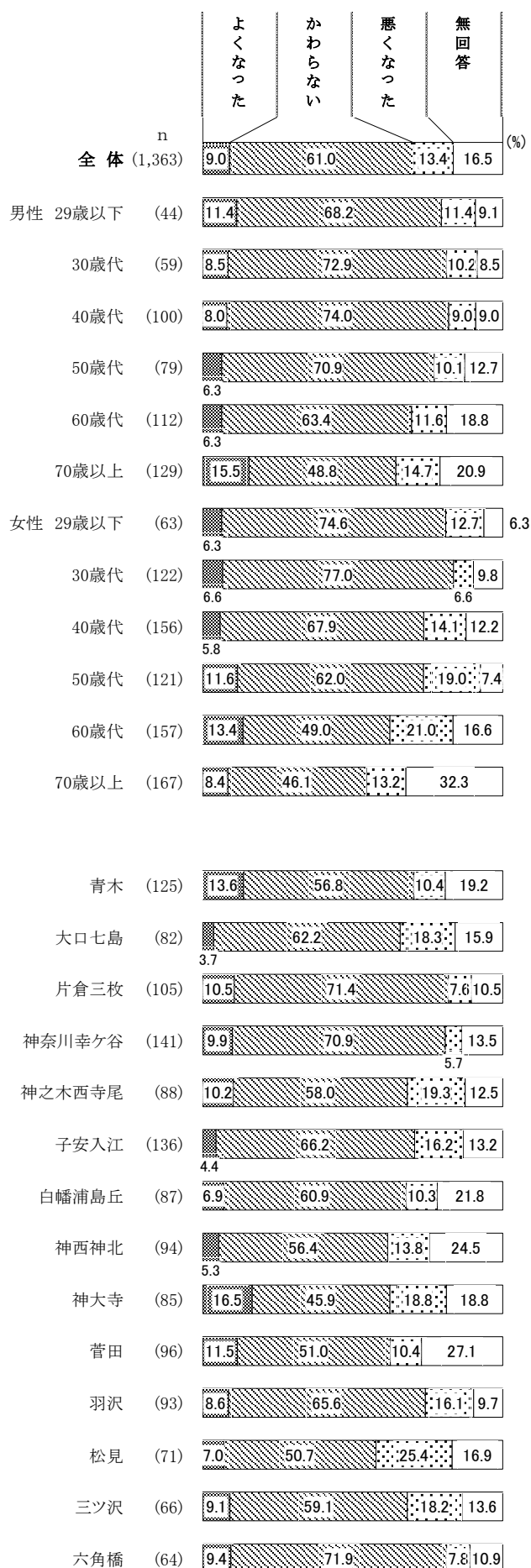
②緑や自然、オープンスペースの豊かさ

性／年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上で「よくなった」が1割台半ばを超えている。一方、女性の60歳代で「悪くなった」が2割を超えている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。神大寺で「よくなった」が1割台半ばを超えている。一方、松見で「悪くなった」が2割台半ばとなっている。

性／年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

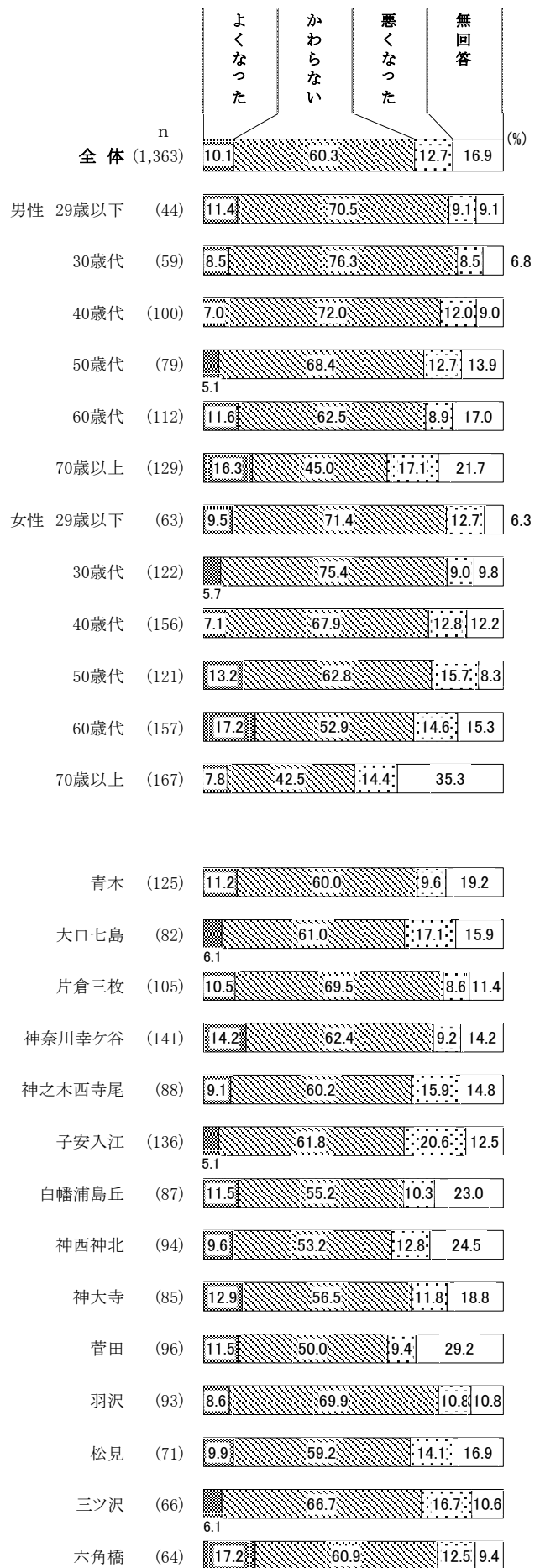
③まちなみなどの景観のよさ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上と女性の60歳代で「よくなった」が1割台半ばを超えている。一方、男性の70歳以上と女性の50歳代で「悪くなった」が1割台半ばを超えている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。六角橋で「よくなった」が1割台半ばを超えている。一方、子安入江で「悪くなった」が2割を超えている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

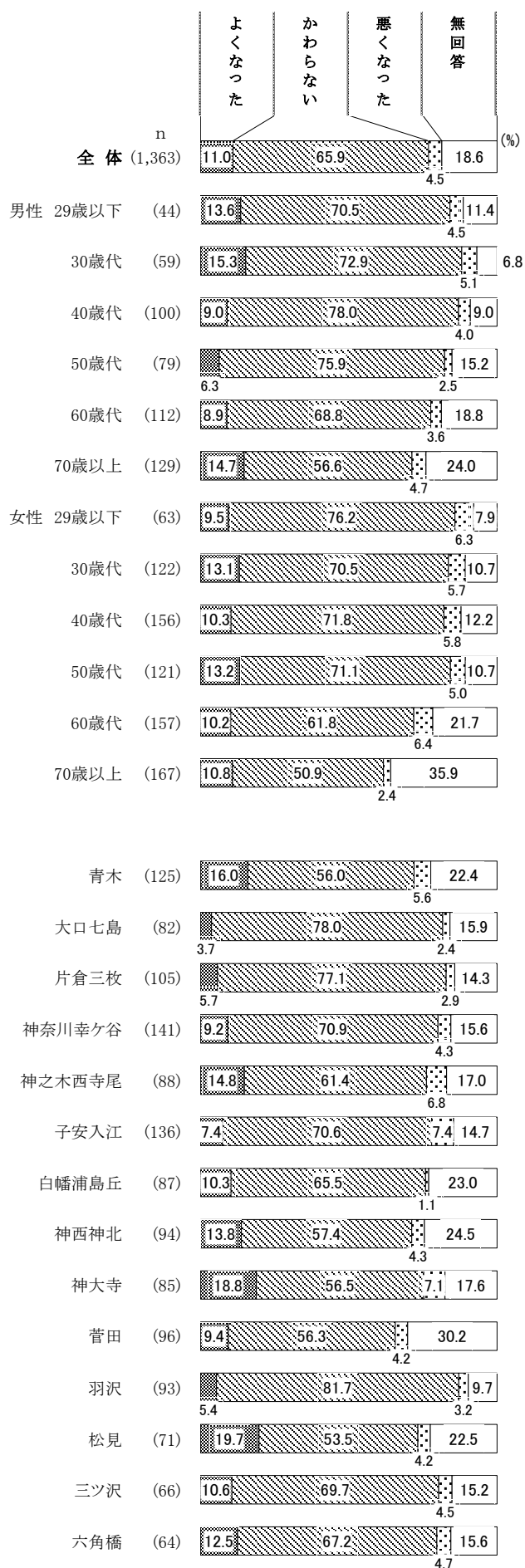
④保育所や公園などの子育て環境のよさ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の30歳代と70歳以上で「よくなった」が1割台半ばとなっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。松見で「よくなった」が約2割、神大寺で2割弱となっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて [性／年代別・居住地区別]

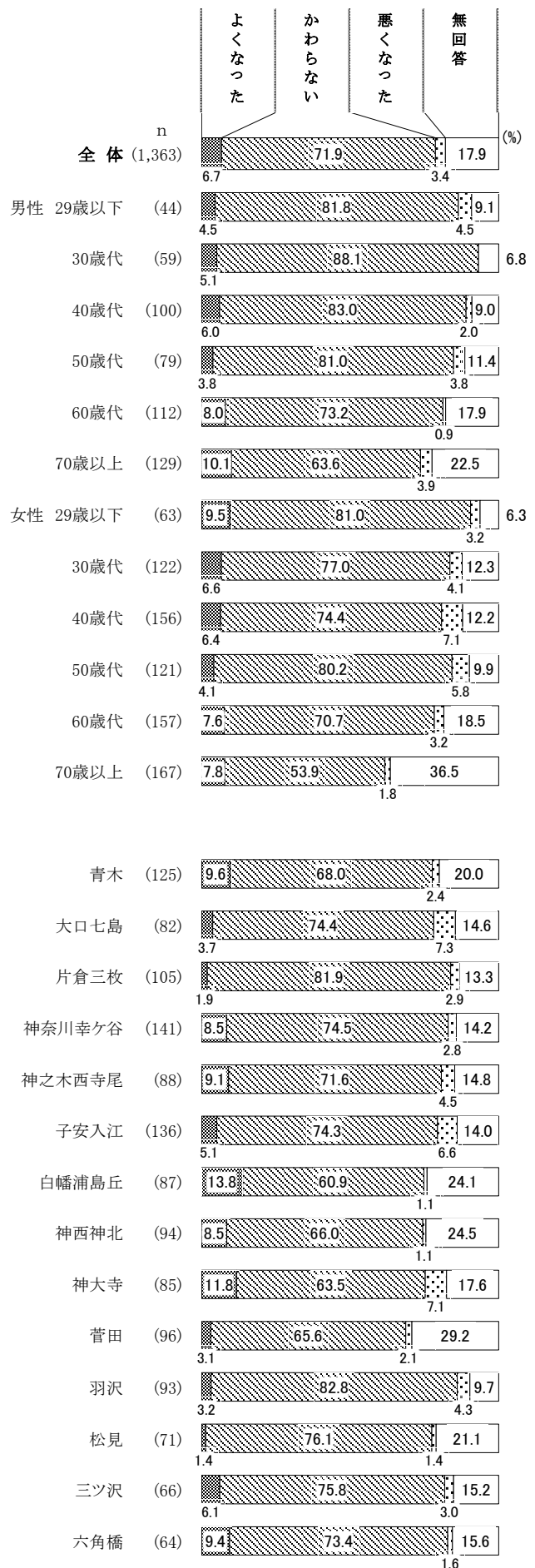
⑤学校、図書館など教育・学習環境のよさ

性／年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上と女性の29歳以下で「よくなった」が約1割となっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。白幡浦島丘、神大寺で「よくなった」が1割強となっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

性／年代

居住地区



■ 以前と比べて〔性／年代別・居住地区別〕

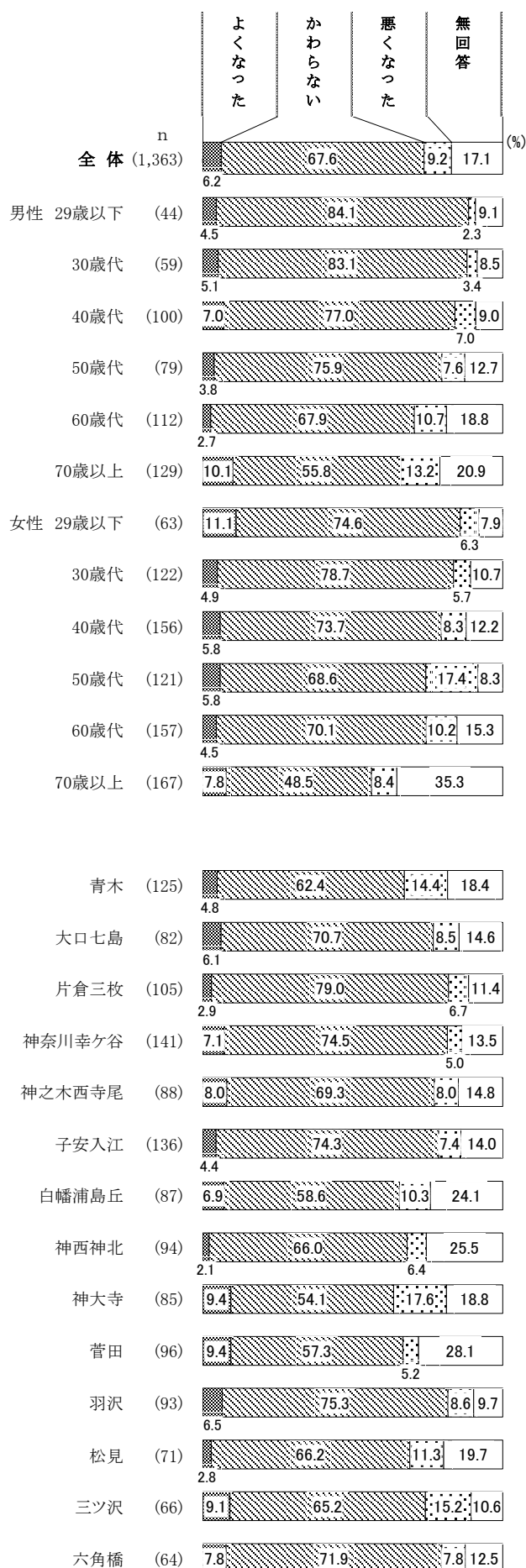
⑥近所づきあいのしやすさ

性／年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上と女性の29歳以下で「よくなった」が約1割となっている。一方、女性の50歳代で「悪くなった」が1割台半ばを超えている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。「よくなった」はいずれも1割未満となっている。一方、神大寺で「悪くなった」が1割台半ばを超えている。

性／年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

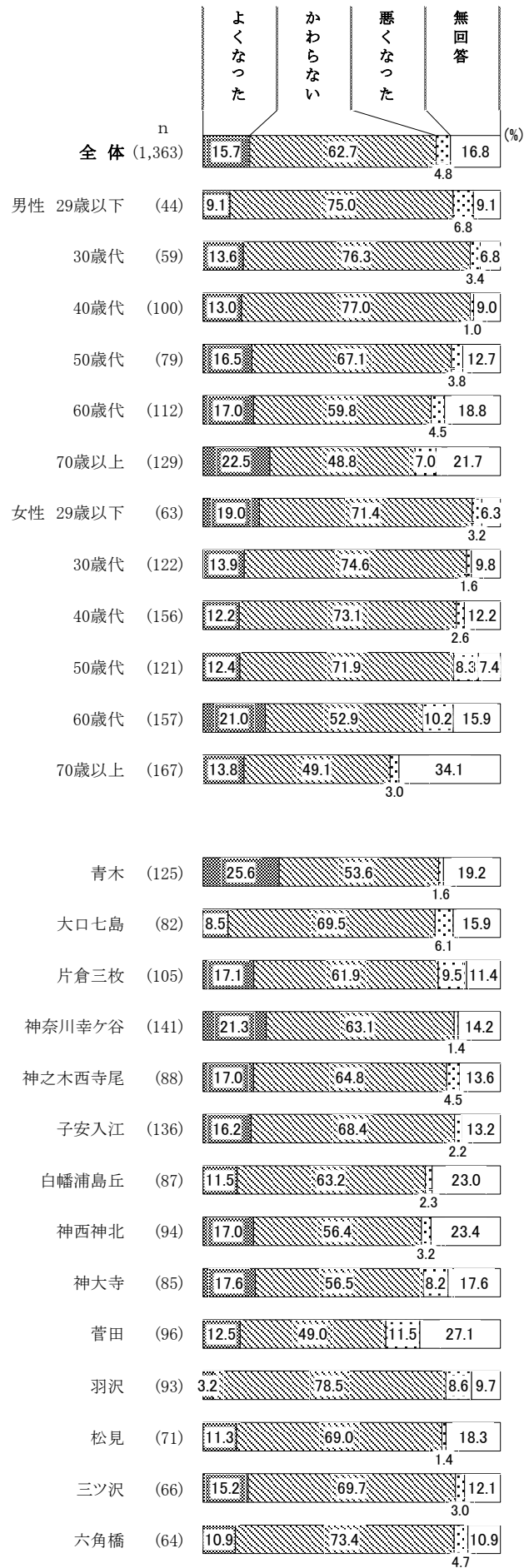
⑦交通・通勤などの便利さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の70歳以上と女性の60歳代で「よくなった」が2割強、女性の29歳以下で約2割となっている。一方、女性の60歳代で「悪くなった」が1割を超えている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。青木で「よくなった」が2割台半ば、神奈川幸ヶ谷で2割強となっている。一方、菅田で「悪くなった」が1割強となっている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

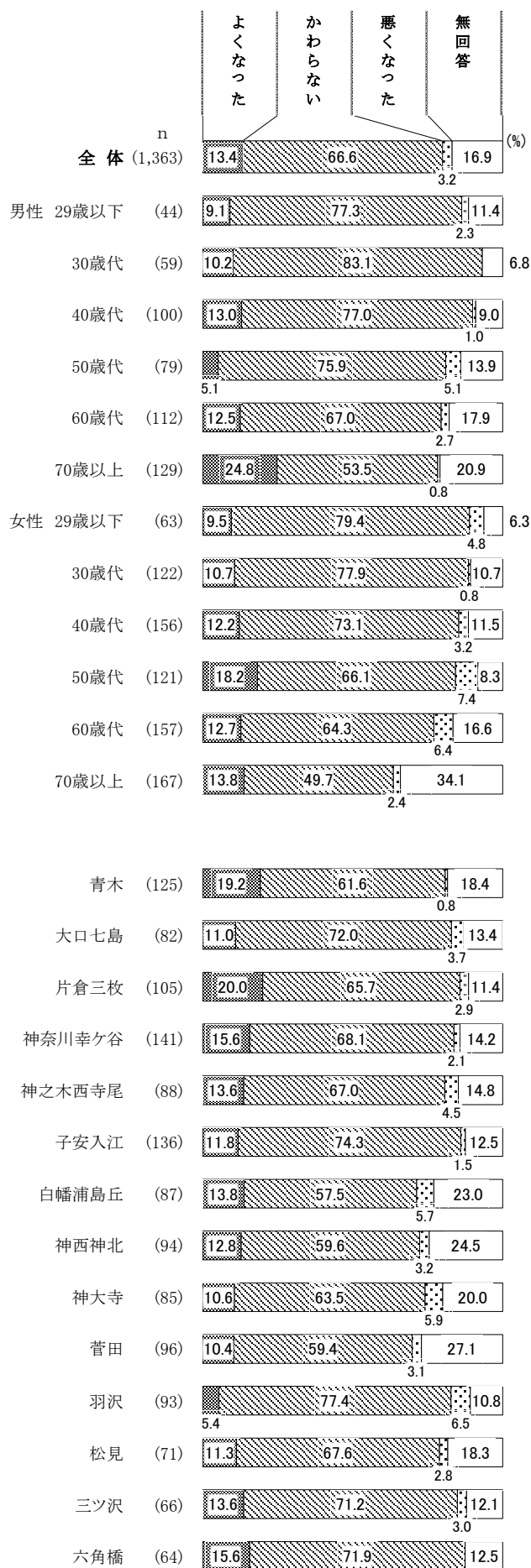
⑧病院・医院の近さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。70歳以上の男性で「よくなった」が2割台半ば、50歳代の女性で2割弱となっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。片倉三枚で「よくなった」が2割、青木で約2割となっている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

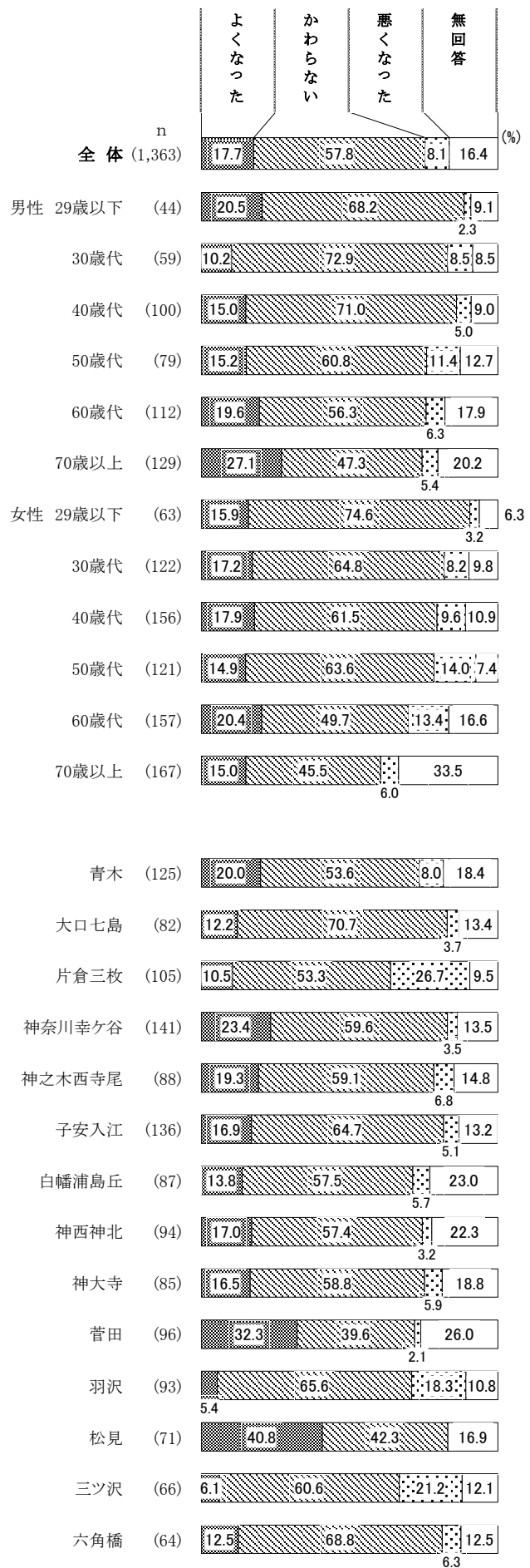
⑨ふだん買い物をする場所の近さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の29歳以下と70歳以上、女性の60歳代で「よくなった」が2割を超えている。一方、50歳代の女性で「悪くなった」が1割台半ばである。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。松見で「よくなった」が4割を超え、菅田で3割強となっている。一方、片倉三枚、三ツ沢で「悪くなった」が2割を超えている。

性/年代

居住地区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

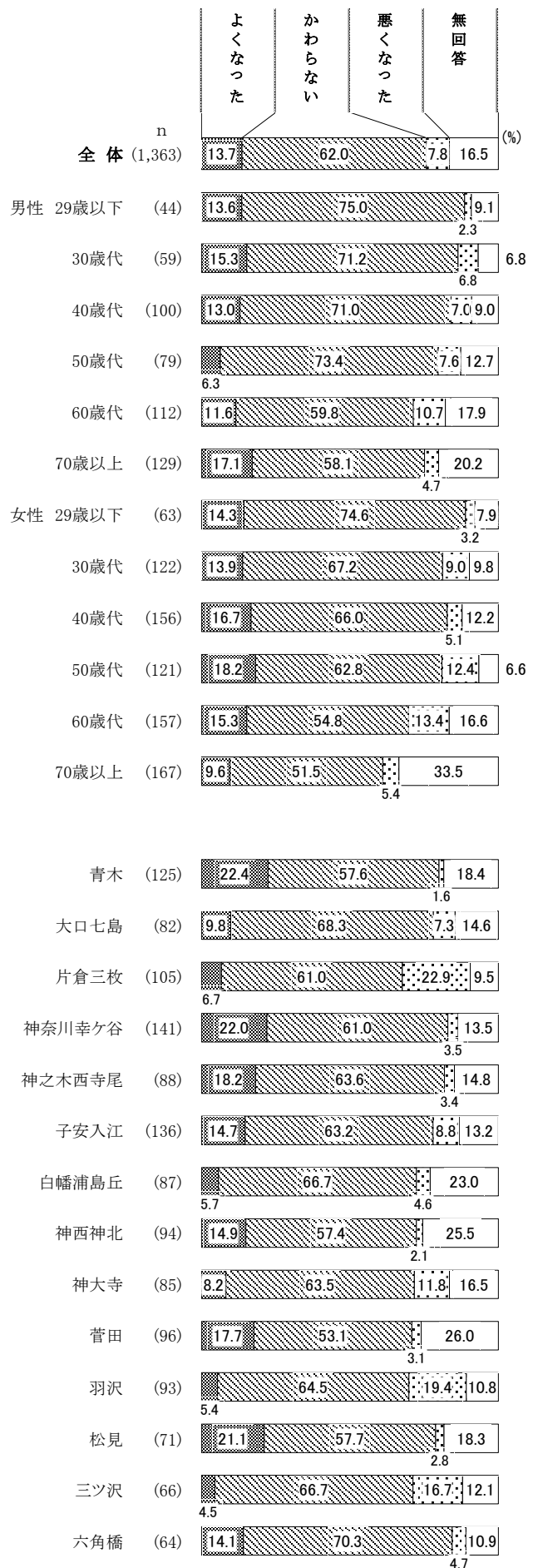
⑩ 飲食やショッピングの便利さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。女性の50歳代で「よくなった」が2割強となっている。一方、女性の50歳代と60歳代で「悪くなった」が1割強である。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。青木、神奈川幸ヶ谷、松見で「よくなった」が2割強となっている。一方、片倉三枚で「悪くなった」が2割強となっている。

性
/
年
代

居
住
地
区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

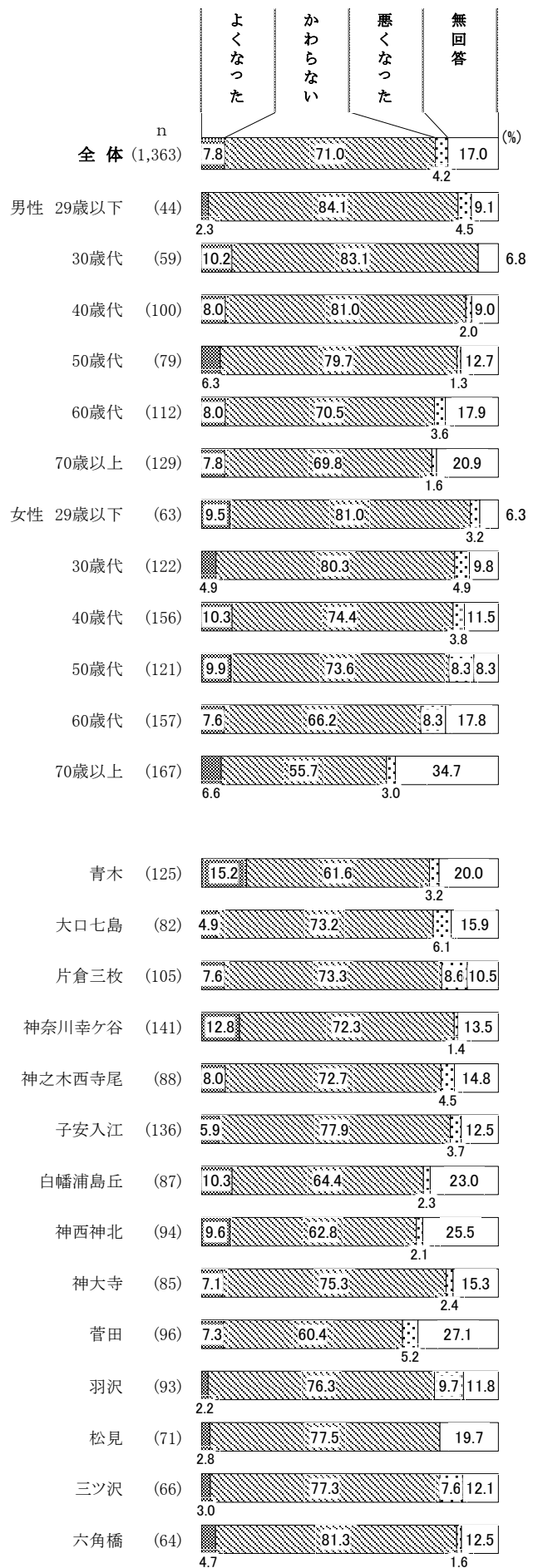
⑪遊びや余暇活動の便利さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。男性の30歳代と女性の40歳代で「よくなった」が1割を超えている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。青木、神奈川幸ヶ谷、白幡浦島丘で「よくなった」が1割を超えている。「悪くなった」はいずれも1割未満となっている。

性
/
年代

居
住
地
区



■ 以前と比べて [性/年代別・居住地区別]

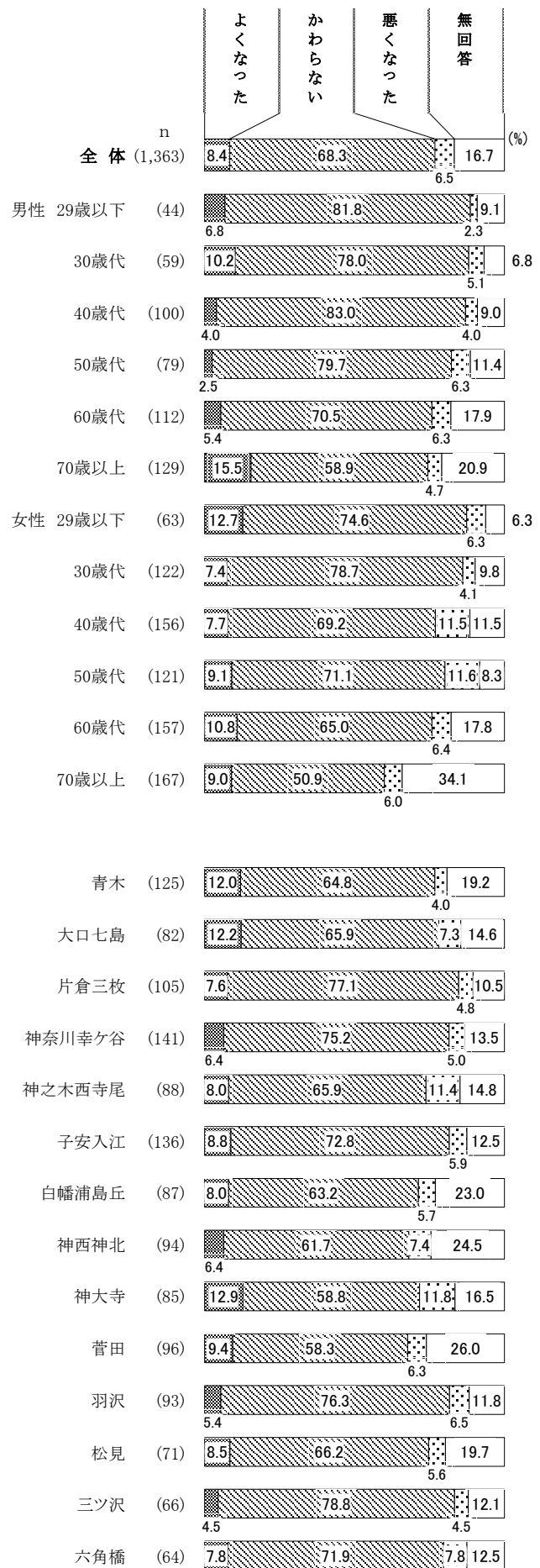
⑫防災・防犯などの安心さ

性/年代別では、いずれも「かわらない」が多い。「よくなった」は男性の30歳代と70歳以上、女性の29歳以下と60歳代で1割を超えている。一方、「悪くなった」は女性の40歳代と50歳代で1割強となっている。

居住地区別では、いずれも「かわらない」が多い。青木、大口七島、神大寺で「よくなった」が1割強となっている。一方、神之木西寺尾、神大寺で「悪くなった」が1割を超えている。

性/年代

居住地区



4. 神奈川区の行政サービスについて

(1) 神奈川区の行政サービスで満足しているもの、充実すべきもの

◇満足しているものとして「ごみの分別収集・リサイクル」を61.7%の人が挙げている

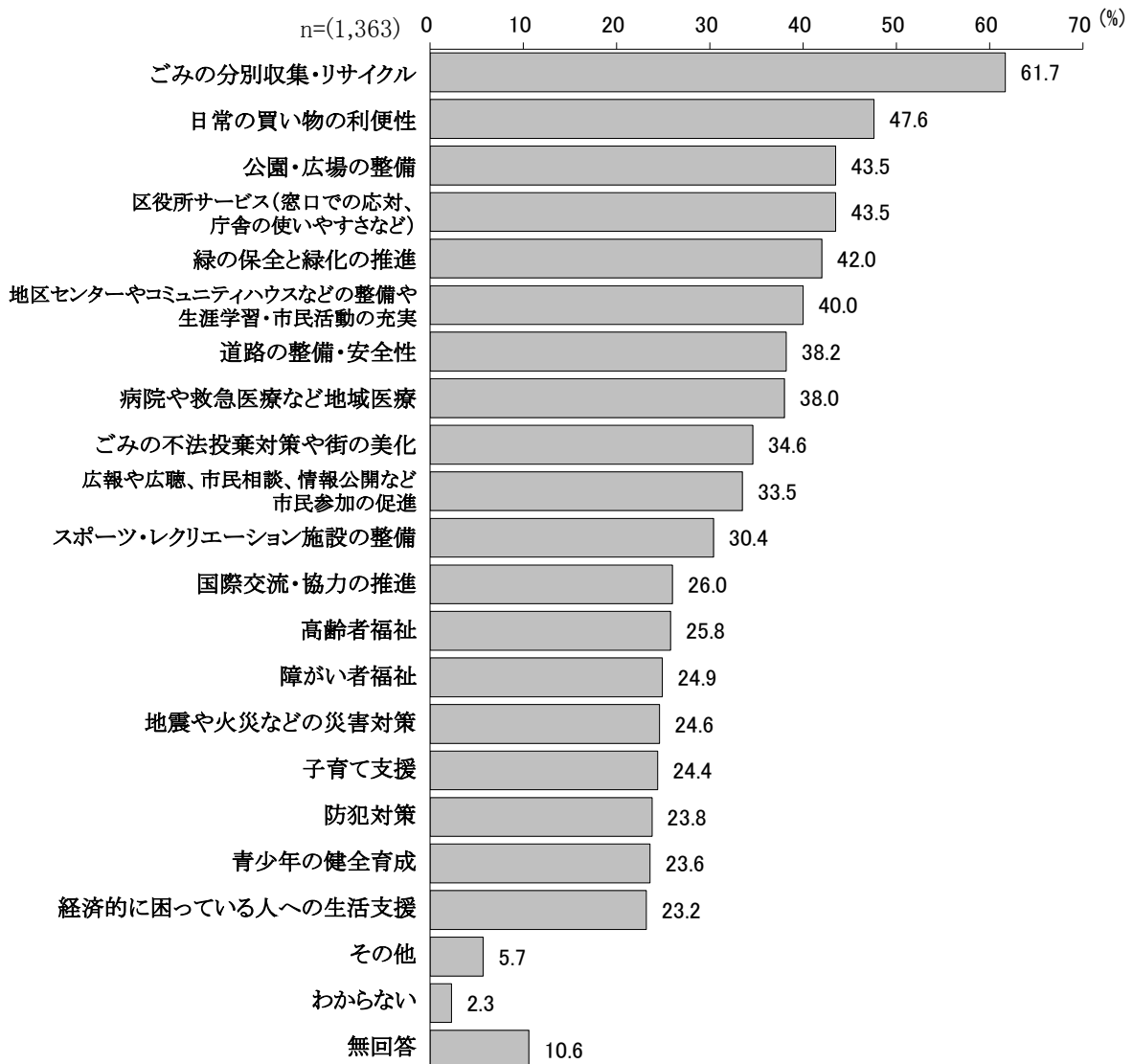
問4 神奈川区の行政サービスの中で、(ア)あなたが満足しているサービス、(イ)今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。

【(ア)、(イ)それぞれあてはまるものすべてに○】

(ア) あなたが満足しているサービス

満足しているサービスとしては、「ごみの分別収集・リサイクル」が61.7%で最も高くなっている。次いで、「日常の買い物の利便性」が47.6%、「公園・広場の整備」と「区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）」がともに43.5%、「緑の保全と緑化の推進」が42.0%、「地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実」が40.0%で続いている。

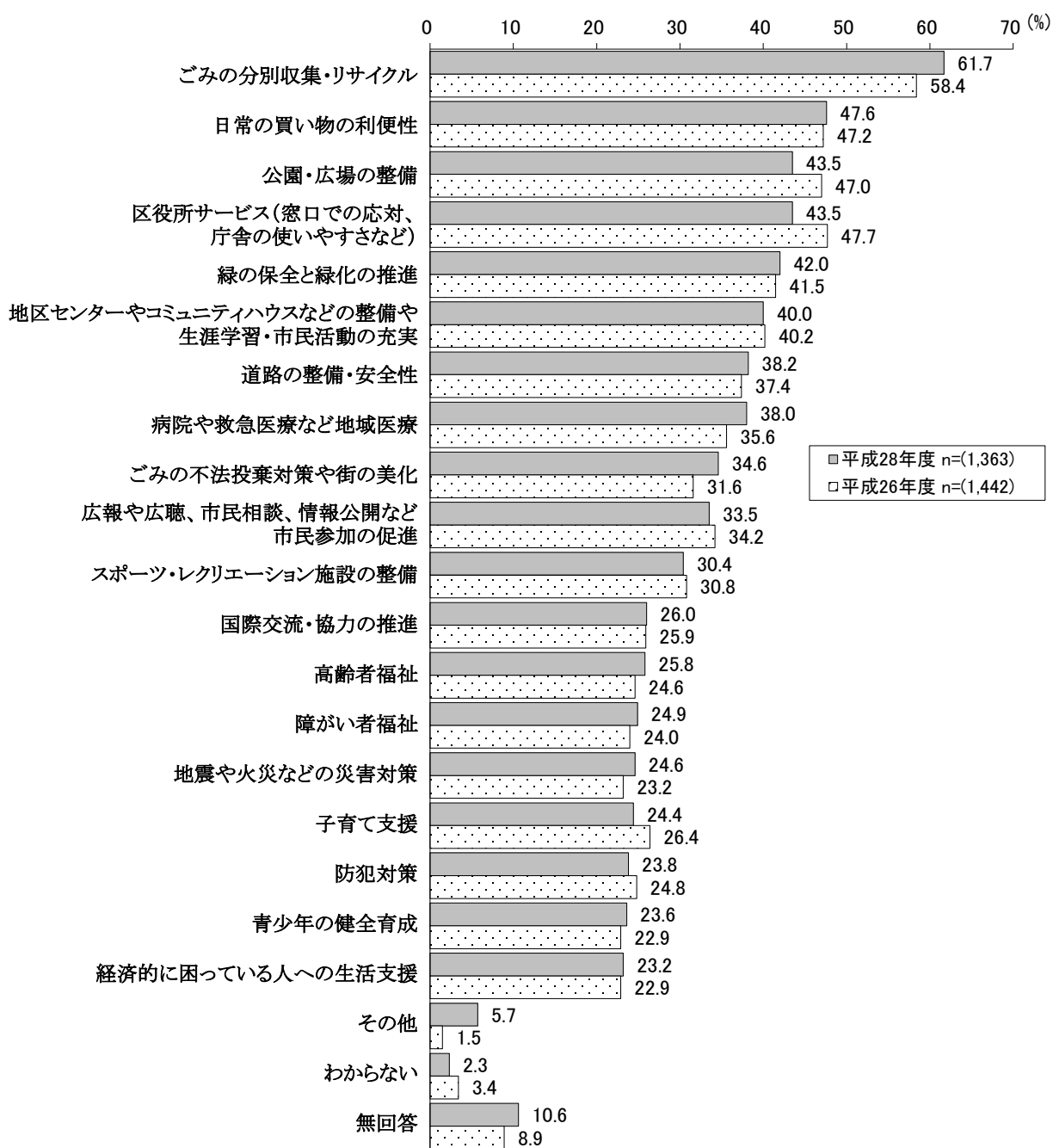
図 あなたが満足しているサービス [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、「ごみの分別収集・リサイクル」は平成26年58.4%→平成28年61.7%で3.3ポイント増加、「ごみの不法投棄対策や街の美化」は平成26年31.6%→平成28年34.6%で3.0ポイント増加、「病院や救急医療など地域医療」は平成26年35.6%→平成28年38.0%で2.4ポイント増加している。一方「区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）」は平成26年47.7%→平成28年43.5%で4.2ポイント減少、「公園・広場の整備」は平成26年43.5%→平成28年47.0%で3.5ポイント減少、「子育て支援」は平成26年26.4%→平成28年24.4%で2.0ポイント減少している。

図 あなたが満足しているサービス（過去の調査との比較）

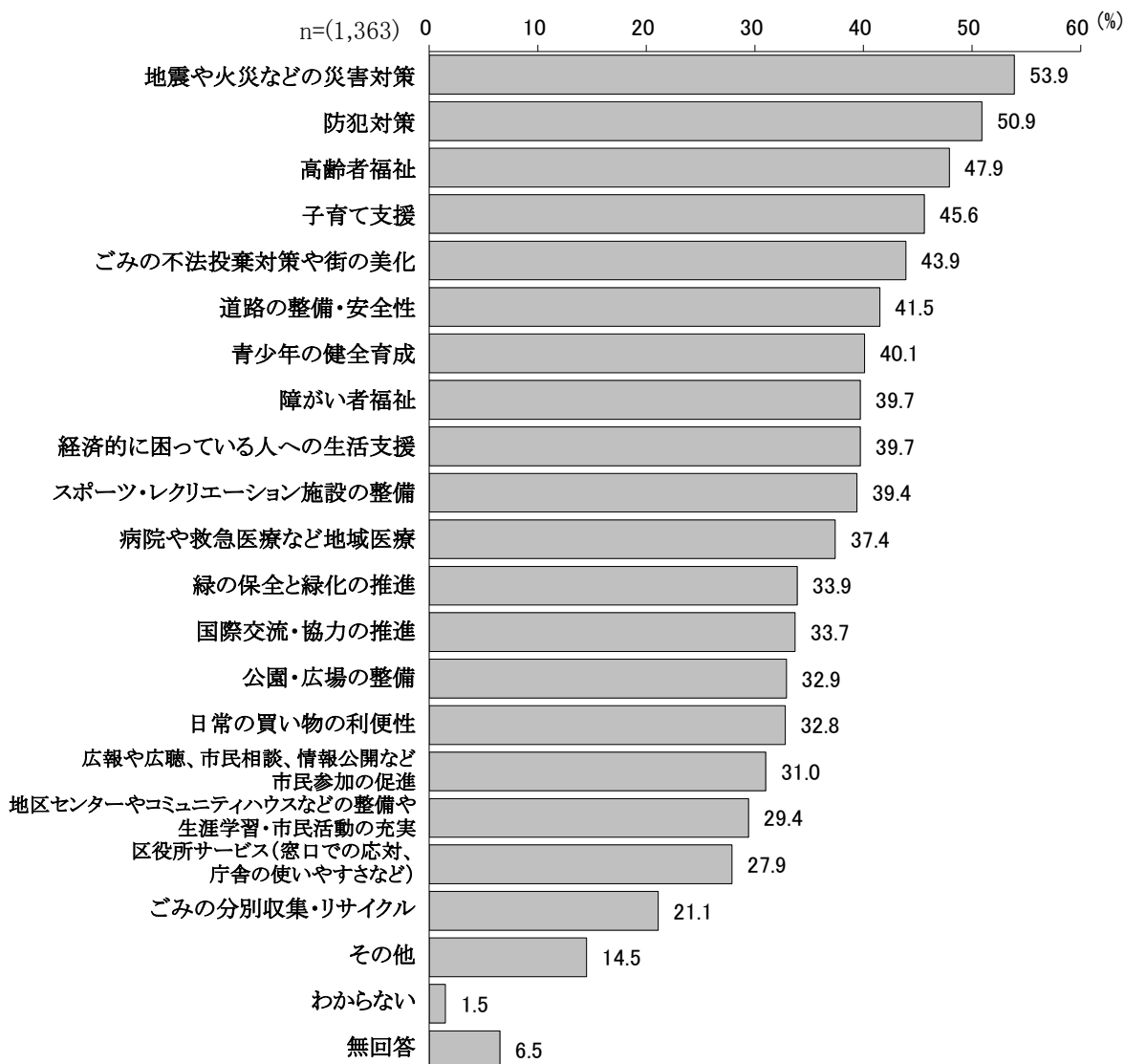


(イ) 今後、充実すべきだと思うサービス

◇防災・防犯や福祉にかかわるサービスが上位

今後、充実すべきだと思うサービスとしては、「地震や火災などの災害対策」が53.9%で最も高くなっている。次いで、「防犯対策」が50.9%、「高齢者福祉」が47.9%、「子育て支援」が45.6%となっている。

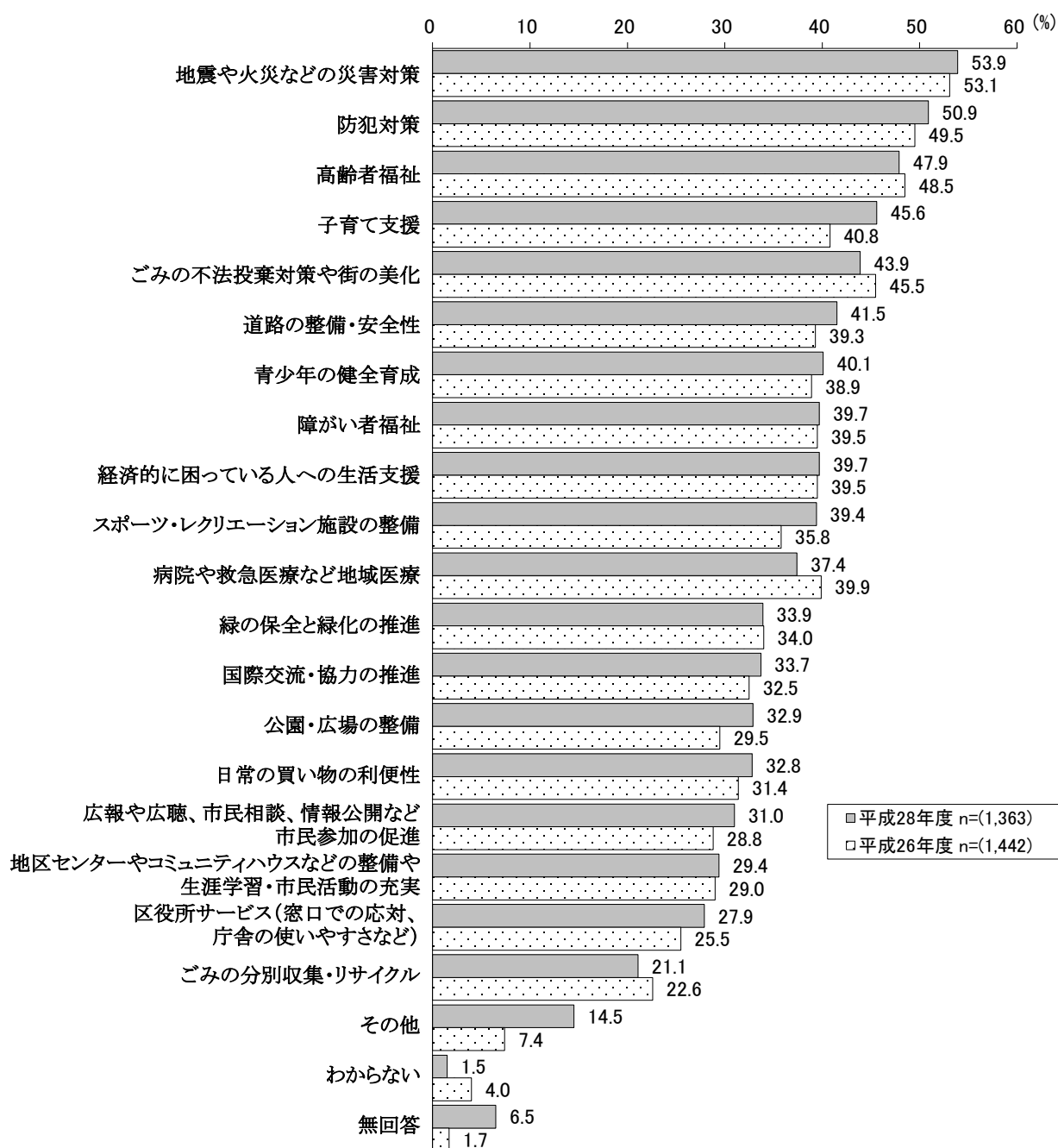
図 今後、充実すべきだと思うサービス [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、「子育て支援」は平成26年40.8%→平成28年45.6%で4.8ポイント増加、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」は平成26年35.8%→平成28年39.4%で3.6ポイント増加、「公園・広場の整備」は平成26年29.5%→平成28年32.9%で3.4ポイント増加している。一方「病院や救急医療など地域医療」は平成26年39.9%→平成28年37.4%で2.5ポイント減少している。

図 今後、充実すべきだと思うサービス（過去の調査との比較）



第2章 調査結果の詳細

■ (ア) あなたが満足しているサービス [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「ごみの分別収集・リサイクル」である。それ以外では、男性の29歳以下で「道路の整備・安全性」と「公園・広場の整備」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の29歳以下で「道路の整備・安全性 (52.3%)」、「高齢者福祉 (38.6%)」、男性の70歳以上で「病院や救急医療など地域医療 (50.4%)」、「区役所サービス (窓口での対応、庁舎の使いやすさなど) (56.6%)」などである。

図 あなたが満足しているサービス [性／年代別]

		調査数 (n)	道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買い物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	地区センターや生涯学習・市民活動の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス(窓口での対応、庁舎の使いやすさなど)	その他	わからない	無回答
全体		1,363	38.2	43.5	47.6	42.0	61.7	34.6	24.6	23.8	24.4	23.6	38.0	25.8	24.9	23.2	40.0	30.4	26.0	33.5	43.5	5.7	2.3	10.6
性／年代	男性 29歳以下	44	52.3	52.3	50.0	45.5	50.0	45.5	31.8	31.8	27.3	29.5	43.2	38.6	31.8	27.3	34.1	22.7	18.2	31.8	36.4	2.3	4.5	15.9
	30歳代	59	39.0	42.4	52.5	35.6	67.8	40.7	30.5	30.5	23.7	28.8	33.9	37.3	35.6	32.2	33.9	27.1	30.5	28.8	37.3	6.8	1.7	8.5
	40歳代	100	38.0	45.0	47.0	42.0	61.0	45.0	28.0	28.0	28.0	31.0	44.0	28.0	26.0	28.0	40.0	30.0	27.0	37.0	47.0	6.0	3.0	10.0
	50歳代	79	46.8	46.8	53.2	50.6	62.0	38.0	27.8	32.9	25.3	32.9	45.6	26.6	31.6	29.1	45.6	26.6	31.6	38.0	46.8	5.1	-	5.1
	60歳代	112	41.1	44.6	50.0	42.0	63.4	32.1	25.9	25.9	20.5	27.7	39.3	17.9	20.5	21.4	39.3	32.1	30.4	34.8	48.2	7.1	2.7	8.0
	70歳以上	129	45.7	51.2	55.8	53.5	71.3	38.8	23.3	30.2	27.1	20.9	50.4	31.0	30.2	26.4	48.1	38.8	26.4	38.0	56.6	8.5	0.8	6.2
	女性 29歳以下	63	47.6	49.2	54.0	38.1	65.1	44.4	25.4	22.2	22.2	23.8	44.4	30.2	34.9	25.4	42.9	33.3	28.6	36.5	38.1	1.6	1.6	14.3
	30歳代	122	31.1	36.1	36.1	41.8	51.6	33.6	18.9	17.2	24.6	18.9	37.7	27.0	25.4	24.6	42.6	35.2	28.7	37.7	38.5	2.5	4.1	13.9
	40歳代	156	26.3	36.5	48.1	35.3	50.6	24.4	21.8	12.8	25.6	18.6	31.4	19.9	22.4	21.2	33.3	21.2	22.4	27.6	37.8	0.6	6.4	10.3
	50歳代	121	34.7	40.5	38.0	33.9	58.7	28.1	20.7	18.2	21.5	19.8	31.4	21.5	23.1	24.0	40.5	33.9	26.4	29.8	35.5	3.3	1.7	15.7
60歳代	157	35.0	45.2	48.4	48.4	63.7	31.8	24.2	21.0	23.6	24.8	32.5	16.6	19.7	18.5	43.9	31.8	28.0	33.8	45.2	5.7	0.6	8.3	
70歳以上	167	40.7	43.1	46.1	40.1	71.9	34.1	27.5	26.3	25.7	23.4	36.5	31.7	18.6	18.6	37.7	28.7	19.8	34.1	46.7	10.2	1.2	12.0	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「ごみの分別収集・リサイクル」である。それ以外の地区では、片倉三枚で「緑の保全と緑化の推進」、神之木西寺尾、神西神北、六角橋で「日常の買い物の利便性」、神大寺で「公園・広場の整備」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、神大寺で「公園・広場の整備（61.2%）」、「地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実（57.6%）」、神之木西寺尾で「日常の買い物の利便性（65.9%）」などである。

図 あなたが満足しているサービス [居住地区別]

	調査数 (n)	道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買い物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）	その他	わからない	無回答	
全体	1,363	38.2	43.5	47.6	42.0	61.7	34.6	24.6	23.8	24.4	23.6	38.0	25.8	24.9	23.2	40.0	30.4	26.0	33.5	43.5	5.7	2.3	10.6	
居住地区	青木	125	41.6	44.8	58.4	39.2	59.2	32.0	22.4	22.4	28.8	25.6	41.6	24.8	28.0	23.2	39.2	27.2	29.6	35.2	43.2	4.8	3.2	6.4
	大口七島	82	42.7	43.9	63.4	35.4	67.1	32.9	28.0	25.6	23.2	40.2	25.6	30.5	25.6	34.1	24.4	25.6	32.9	52.4	8.5	3.7	4.9	
	片倉三枚	105	34.3	48.6	21.9	58.1	57.1	34.3	27.6	22.9	25.7	24.8	38.1	31.4	24.8	31.4	41.9	31.4	29.5	37.1	46.7	1.9	2.9	11.4
	神奈川幸ヶ谷	141	39.7	39.7	51.1	33.3	62.4	36.9	24.1	22.0	20.6	21.3	32.6	24.8	22.0	23.4	31.9	22.0	25.5	31.9	46.8	3.5	1.4	13.5
	神之木西寺尾	88	35.2	45.5	65.9	46.6	64.8	38.6	29.5	19.3	27.3	26.1	44.3	33.0	31.8	25.0	48.9	35.2	27.3	38.6	34.1	6.8	2.3	12.5
	子安入江	136	38.2	32.4	48.5	29.4	62.5	32.4	19.9	21.3	19.9	16.2	36.8	22.8	20.6	19.9	36.0	26.5	22.8	30.9	37.5	1.5	4.4	10.3
	白幡浦島丘	87	43.7	43.7	48.3	43.7	64.4	34.5	24.1	28.7	21.8	21.8	43.7	21.8	24.1	20.7	48.3	34.5	26.4	39.1	47.1	9.2	1.1	9.2
	神西神北	94	37.2	43.6	60.6	37.2	60.6	24.5	28.7	26.6	25.5	29.8	48.9	25.5	24.5	23.4	34.0	33.0	25.5	31.9	40.4	6.4	1.1	13.8
	神大寺	85	36.5	61.2	48.2	55.3	60.0	40.0	30.6	31.8	29.4	30.6	44.7	28.2	24.7	24.7	57.6	45.9	22.4	34.1	52.9	7.1	-	5.9
	菅田	96	47.9	49.0	40.6	58.3	68.8	45.8	32.3	31.3	31.3	29.2	39.6	33.3	33.3	25.0	51.0	33.3	31.3	33.3	46.9	11.5	3.1	11.5
	羽沢	93	24.7	26.9	12.9	45.2	62.4	31.2	18.3	21.5	21.5	20.4	21.5	19.4	18.3	16.1	31.2	21.5	22.6	30.1	28.0	3.2	2.2	19.4
	松見	71	28.2	46.5	57.7	35.2	67.6	42.3	18.3	15.5	25.4	22.5	28.2	15.5	18.3	18.3	42.3	23.9	21.1	32.4	42.3	2.8	2.8	7.0
	三ツ沢	66	45.5	45.5	28.8	40.9	54.5	31.8	19.7	25.8	18.2	24.2	43.9	30.3	27.3	30.3	31.8	45.5	25.8	34.8	53.0	1.5	3.0	12.1
六角橋	64	42.2	48.4	59.4	40.6	54.7	28.1	21.9	17.2	23.4	18.8	34.4	25.0	23.4	17.2	37.5	35.9	28.1	29.7	42.2	9.4	-	6.3	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、いずれの類型でも「ごみの分別収集・リサイクル」である。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(②)で「日常の買い物の利便性 (60.7%)」、「防犯対策 (39.3%)」、親と子(④)で「経済的に困っている人への生活支援 (36.6%)」などである。

自治会町内会加入状況別では、ともに「ごみの分別収集・リサイクル」が最も多くなっている。

図 あなたが満足しているサービス [世帯類型・自治会町内会加入状況別]

																					(%)			
調査数 (n)		道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買い物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	の整備や生涯学習・市民活動の充実	地区センターやコミュニケーション施設の整備	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス(窓口での対応、庁舎の使いやすさなど)	その他	わからない	無回答
全体		1,363	38.2	43.5	47.6	42.0	61.7	34.6	24.6	23.8	24.4	23.6	38.0	25.8	24.9	23.2	40.0	30.4	26.0	33.5	43.5	5.7	2.3	10.6
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	41.4	33.6	37.9	37.1	48.3	26.7	22.4	16.4	21.6	31.0	19.0	19.8	19.8	22.4	22.4	22.4	22.4	27.6	28.4	3.4	6.9	13.8
	ひとり暮らし(②)	84	50.0	53.6	60.7	51.2	72.6	33.3	35.7	39.3	26.2	22.6	40.5	31.0	21.4	16.7	35.7	31.0	13.1	31.0	47.6	10.7	-	8.3
	夫婦のみ(①)	121	35.5	38.0	43.8	43.8	58.7	33.9	24.8	19.8	19.8	20.7	31.4	24.0	20.7	25.6	33.1	25.6	23.1	24.0	37.2	6.6	4.1	5.8
	夫婦のみ(②)	190	40.0	46.3	50.0	47.9	69.5	34.7	25.8	26.8	22.1	22.6	40.0	24.2	23.7	19.5	43.7	28.9	23.7	35.8	49.5	6.3	1.1	9.5
	親と子(①)	124	29.0	41.1	42.7	41.9	60.5	46.0	29.0	20.2	25.0	22.6	34.7	34.7	33.1	33.1	50.0	35.5	33.1	40.3	50.8	2.4	2.4	8.1
	親と子(②)	189	32.3	39.2	42.9	34.9	58.2	30.7	21.7	16.4	28.6	22.2	38.1	23.3	27.5	20.1	42.3	29.1	27.5	35.4	36.0	3.2	2.6	15.3
	親と子(③)	259	40.9	45.6	47.5	38.6	66.0	33.2	20.5	23.6	28.2	25.1	41.3	23.9	23.2	20.1	42.5	35.5	30.9	35.5	47.9	6.6	1.9	8.5
	親と子(④)	112	43.8	50.9	52.7	47.3	64.3	43.8	29.5	30.4	29.5	31.3	48.2	31.3	33.9	36.6	48.2	40.2	29.5	38.4	44.6	5.4	-	12.5
三世帯	73	35.6	46.6	53.4	46.6	57.5	35.6	21.9	23.3	21.9	24.7	32.9	28.8	19.2	23.3	42.5	23.3	24.7	30.1	49.3	5.5	1.4	9.6	
その他	58	34.5	44.8	51.7	43.1	60.3	34.5	20.7	22.4	13.8	20.7	37.9	24.1	27.6	22.4	29.3	25.9	25.9	29.3	43.1	6.9	1.7	13.8	
自治会	加入している	990	37.8	45.5	49.3	43.2	63.8	35.2	24.0	23.2	25.1	23.3	37.9	25.3	24.3	23.1	42.1	31.0	26.7	35.1	45.6	5.6	1.7	10.1
	加入していない	311	40.8	38.3	42.4	40.8	57.9	35.0	27.3	26.4	22.8	25.4	39.5	28.3	28.3	24.4	36.3	30.5	26.0	30.2	36.7	4.8	3.9	10.6

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ (イ) 今後、充実すべきだと思うサービス [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、男性の40歳代、男女の50歳代と70歳代で「地震や火災などの災害対策」である。それ以外では、男性の29歳以下で「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、男女の30歳代で「子育て支援」、男女の60歳代で「高齢者福祉」、女性の29歳以下と40歳代で「防犯対策」、女性の70歳以上で「高齢者福祉」と「地震や火災などの災害対策」が並んで最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、29歳以下の男性で「スポーツ・レクリエーション施設の整備(52.3%)」、男女の30歳代で「子育て支援(59.3%・59.8%)」、男性の60歳代で「高齢者福祉(62.5%)」などである。

図 今後、充実すべきだと思うサービス [性／年代別]

		調査数 (n)	道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	地区センターや生涯学習・市民活動の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス(窓口での対応、庁舎の使いやすさなど)	その他	わからない	無回答
全体		1,363	41.5	32.9	32.8	33.9	21.1	43.9	53.9	50.9	45.6	40.1	37.4	47.9	39.7	39.7	29.4	39.4	33.7	31.0	27.9	14.5	1.5	6.5
性／年代	男性 29歳以下	44	29.5	22.7	29.5	27.3	25.0	22.7	40.9	38.6	40.9	34.1	20.5	22.7	27.3	31.8	25.0	52.3	40.9	25.0	25.0	6.8	-	11.4
	30歳代	59	40.7	37.3	33.9	39.0	16.9	30.5	44.1	42.4	59.3	33.9	40.7	30.5	28.8	33.9	30.5	40.7	32.2	37.3	30.5	8.5	1.7	1.7
	40歳代	100	45.0	37.0	35.0	39.0	19.0	33.0	57.0	51.0	44.0	38.0	32.0	51.0	45.0	39.0	30.0	48.0	38.0	32.0	29.0	20.0	3.0	1.0
	50歳代	79	39.2	36.7	27.8	36.7	24.1	46.8	51.9	41.8	45.6	36.7	35.4	49.4	35.4	41.8	26.6	49.4	35.4	29.1	30.4	5.1	-	8.9
	60歳代	112	34.8	35.7	25.0	35.7	16.1	48.2	53.6	50.9	50.0	44.6	37.5	62.5	50.9	42.9	34.8	39.3	33.0	33.0	23.2	15.2	1.8	9.8
	70歳以上	129	41.1	30.2	28.7	25.6	20.2	52.7	63.6	53.5	44.2	48.8	34.9	57.4	41.1	45.7	30.2	41.9	39.5	39.5	24.0	18.6	2.3	8.5
	女性 29歳以下	63	30.2	25.4	31.7	39.7	20.6	31.7	54.0	55.6	54.0	39.7	27.0	30.2	28.6	30.2	30.2	34.9	36.5	28.6	25.4	6.3	-	1.6
	30歳代	122	46.7	37.7	45.1	32.8	21.3	36.9	55.7	54.1	59.8	45.9	37.7	34.4	33.6	33.6	23.0	33.6	31.1	19.7	30.3	15.6	0.8	2.5
	40歳代	156	47.4	32.7	29.5	33.3	23.7	46.2	51.3	55.1	47.4	39.7	35.3	42.9	38.5	33.3	28.8	38.5	32.1	25.6	24.4	10.3	3.8	3.8
	50歳代	121	45.5	34.7	36.4	35.5	27.3	52.1	57.9	53.7	40.5	36.4	38.0	52.1	38.8	36.4	28.9	31.4	30.6	32.2	35.5	15.7	0.8	2.5
60歳代	157	42.7	29.3	31.2	30.6	22.9	49.0	56.1	54.1	42.0	38.2	47.1	58.0	43.9	45.2	28.7	35.7	29.9	35.7	33.1	18.5	1.3	5.1	
70歳以上	167	40.1	32.3	37.7	36.5	16.2	45.5	50.9	49.7	38.3	39.5	42.5	50.9	46.1	46.7	34.1	41.3	34.7	31.1	24.0	15.0	0.6	13.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「地震や火災などの災害対策」である。その他の地区では、片倉三枚と羽沢で「日常の買い物の利便性」、神之木西寺尾と六角橋で「防犯対策」、神西神北で「ごみの不法投棄対策や街の美化」、神大寺で「高齢者福祉」、菅田で「高齢者福祉」と「経済的に困っている人への生活支援」が並んで最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、片倉三枚と羽沢で「日常の買い物の利便性（62.9%・74.2%）」、羽沢で「病院や救急医療など地域医療（54.8%）」などである。

図 今後、充実すべきだと思うサービス [居住地区別]

	調査数 (n)	道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買い物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	の整備や生涯学習・市民活動の充実	地区センターやコミュニティハウスなどの整備	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）	その他	わからない	無回答
全体	1,363	41.5	32.9	32.8	33.9	21.1	43.9	53.9	50.9	45.6	40.1	37.4	47.9	39.7	39.7	29.4	39.4	33.7	31.0	27.9	14.5	1.5	6.5	
居住地区	青木	125	30.4	28.8	20.8	34.4	19.2	40.0	45.6	43.2	40.0	23.2	37.6	32.0	36.0	25.6	37.6	25.6	27.2	20.0	14.4	2.4	11.2	
	大口七島	82	31.7	29.3	18.3	32.9	12.2	39.0	48.8	39.0	42.7	34.1	34.1	46.3	29.3	34.1	26.8	43.9	30.5	23.2	20.7	14.6	1.2	6.1
	片倉三枚	105	41.9	26.7	62.9	18.1	23.8	43.8	52.4	56.2	48.6	39.0	41.0	45.7	40.0	33.3	28.6	40.0	31.4	26.7	26.7	12.4	1.9	1.0
	神奈川幸ヶ谷	141	36.2	31.9	28.4	38.3	12.8	37.6	53.9	49.6	46.8	38.3	42.6	42.6	39.0	36.2	34.0	44.0	36.2	26.2	22.0	14.9	1.4	5.7
	神之木西寺尾	88	50.0	37.5	15.9	33.0	27.3	46.6	56.8	58.0	47.7	44.3	35.2	47.7	42.0	43.2	33.0	40.9	35.2	31.8	39.8	13.6	1.1	8.0
	子安入江	136	44.9	41.9	33.8	47.8	18.4	42.6	59.6	53.7	53.7	47.1	36.8	47.1	39.0	41.9	36.0	44.1	37.5	33.8	33.1	12.5	3.7	5.1
	白幡浦島丘	87	36.8	37.9	27.6	43.7	21.8	47.1	60.9	54.0	49.4	43.7	36.8	54.0	43.7	43.7	26.4	37.9	35.6	32.2	27.6	10.3	2.3	6.9
	神西神北	94	38.3	26.6	16.0	27.7	23.4	56.4	46.8	46.8	36.2	23.4	23.4	44.7	29.8	29.8	24.5	28.7	23.4	23.4	20.2	17.0	2.1	4.3
	神大寺	85	48.2	21.2	30.6	27.1	31.8	45.9	50.6	47.1	43.5	36.5	38.8	54.1	41.2	41.2	17.6	29.4	37.6	32.9	24.7	10.6	-	8.2
	菅田	96	39.6	31.3	42.7	24.0	14.6	38.5	47.9	51.0	41.7	45.8	43.8	52.1	45.8	52.1	22.9	39.6	35.4	38.5	29.2	20.8	-	11.5
	羽沢	93	53.8	46.2	74.2	32.3	23.7	49.5	57.0	58.1	50.5	45.2	54.8	57.0	50.5	50.5	40.9	49.5	36.6	39.8	46.2	22.6	-	5.4
	松見	71	52.1	26.8	15.5	36.6	18.3	36.6	67.6	57.7	40.8	40.8	39.4	53.5	43.7	39.4	25.4	40.8	39.4	31.0	26.8	15.5	1.4	8.5
	三ツ沢	66	33.3	34.8	45.5	30.3	25.8	43.9	53.0	42.4	45.5	37.9	28.8	42.4	36.4	30.3	28.8	24.2	33.3	25.8	22.7	4.5	1.5	3.0
六角橋	64	48.4	39.1	26.6	40.6	28.1	48.4	54.7	59.4	56.3	50.0	40.6	53.1	48.4	46.9	40.6	45.3	35.9	43.8	34.4	10.9	-	3.1	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

世帯類型別で最も多いのは、半数の類型で「地震や火災などの災害対策」である。それ以外では、ひとり暮らし(②)で「ごみの不法投棄対策や街の美化」、夫婦のみ(②)で「高齢者福祉」、親と子(①)で「子育て支援」、親と子(②)で「防犯対策」、その他で「防犯対策」と「子育て支援」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「道路の整備・安全性(58.1%)」と「子育て支援(71.0%)」、その他で「子育て支援(60.3%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「地震や火災などの災害対策」である。また、「高齢者福祉」は加入の方が未加入者より19.0ポイント高くなっている。

図 今後、充実すべきだと思うサービス [世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

																						(%)		
		調査数(母)	道路の整備・安全性	公園・広場の整備	日常の買物の利便性	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクル	ごみの不法投棄対策や街の美化	地震や火災などの災害対策	防犯対策	子育て支援	青少年の健全育成	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	障がい者福祉	経済的に困っている人への生活支援	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	国際交流・協力の推進	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	区役所サービス(窓口での対応、庁舎の使いやすさなど)	その他	わからない	無回答
全体		1,363	41.5	32.9	32.8	33.9	21.1	43.9	53.9	50.9	45.6	40.1	37.4	47.9	39.7	39.7	29.4	39.4	33.7	31.0	27.9	14.5	1.5	6.5
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	26.7	25.0	33.6	27.6	24.1	32.8	44.0	42.2	37.1	26.7	26.7	31.0	25.0	25.9	32.8	40.5	26.7	23.3	25.9	8.6	2.6	7.8
	ひとり暮らし(②)	84	28.6	23.8	29.8	27.4	15.5	50.0	41.7	33.3	27.4	32.1	34.5	45.2	32.1	44.0	31.0	33.3	35.7	31.0	17.9	17.9	1.2	14.3
	夫婦のみ(①)	121	43.0	34.7	42.1	35.5	19.0	43.0	50.4	47.9	45.5	36.4	38.8	41.3	39.7	29.8	29.8	35.5	34.7	33.9	32.2	15.7	3.3	3.3
	夫婦のみ(②)	190	40.0	31.1	28.9	32.6	18.4	47.9	51.6	51.1	47.9	46.8	41.1	55.8	41.1	44.7	33.2	42.1	36.8	33.7	28.9	15.3	2.1	10.5
	親と子(①)	124	58.1	46.0	41.9	39.5	18.5	33.1	54.8	59.7	71.0	54.0	46.0	37.9	35.5	34.7	26.6	40.3	33.9	29.0	25.8	14.5	-	1.6
	親と子(②)	189	43.4	35.4	33.9	31.7	20.1	43.4	52.4	53.4	43.4	37.6	29.6	45.0	33.9	36.0	22.2	37.6	30.2	24.9	28.6	9.5	2.1	5.8
	親と子(③)	259	41.7	32.4	31.3	37.8	21.2	51.4	63.3	55.2	40.2	38.2	41.3	60.6	49.0	52.5	28.6	36.3	30.5	34.0	25.9	16.6	0.8	5.4
	親と子(④)	112	39.3	29.5	25.9	31.3	19.6	34.8	51.8	45.5	46.4	36.6	29.5	44.6	38.4	29.5	26.8	36.6	37.5	28.6	33.0	14.3	-	6.3
	三世代	73	41.1	35.6	34.2	32.9	28.8	46.6	63.0	56.2	53.4	47.9	41.1	47.9	50.7	45.2	34.2	50.7	37.0	37.0	24.7	17.8	1.4	2.7
その他	58	53.4	32.8	34.5	36.2	31.0	46.6	58.6	60.3	60.3	53.4	48.3	53.4	50.0	46.6	39.7	48.3	41.4	39.7	41.4	19.0	-	3.4	
自治会	加入している	990	43.5	33.5	32.2	34.9	21.4	46.7	56.3	53.8	47.4	43.1	40.2	53.1	43.6	42.4	30.8	40.5	34.7	32.7	28.6	14.7	0.8	5.8
	加入していない	311	35.4	31.5	36.7	30.2	19.6	35.0	47.6	43.7	44.1	33.1	29.9	34.1	28.6	32.5	25.1	36.3	30.9	26.7	28.3	13.8	2.9	6.4

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

5. 防災について

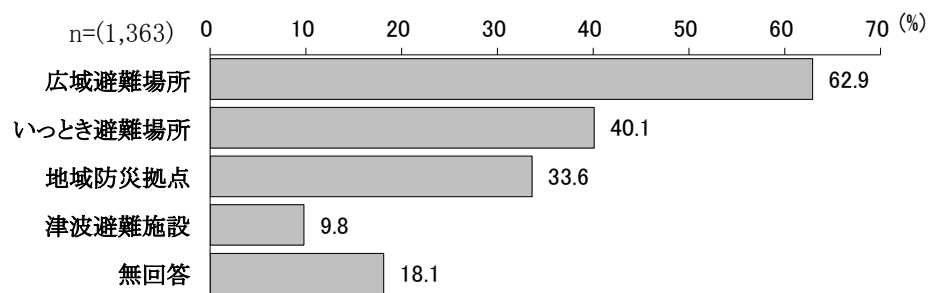
(1) 知っている地域の避難場所

◇「広域避難場所」の認知度は62.9%

問5 お住まいの地域の避難場所を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

知っている地域の避難場所は、「広域避難場所」が62.9%で最も高くなっている。次いで、「いつとき避難場所」が40.1%、「地域防災拠点」が33.6%、「津波避難施設」が9.8%となっている。

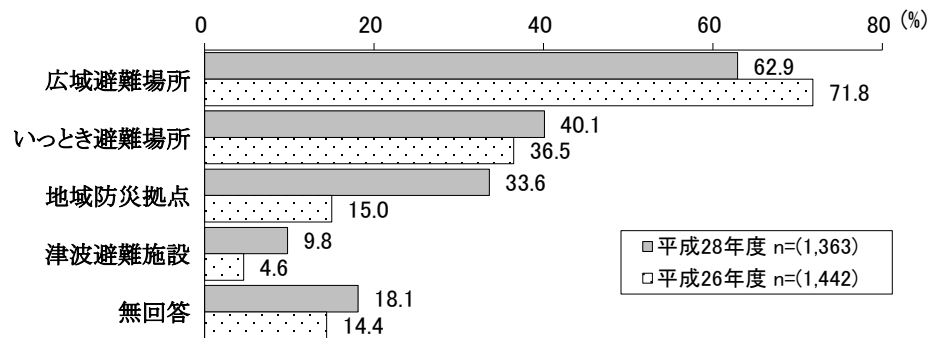
図 知っている地域の避難場所 [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、「地域防災拠点」は平成26年15.0%→平成28年33.6%と18.6ポイント増加、「津波避難施設」は平成26年4.6%→平成28年9.8%と5.2ポイント増加している。一方、「広域避難場所」は平成26年71.8%→平成28年62.9%と8.9ポイント減少している。

図 知っている地域の避難場所 (過去の調査との比較)



■ 知っている地域の避難場所〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で見ると、いずれも「広域避難場所」が最も多く、特に女性の40歳代と60歳代で7割を超えている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の70歳以上、女性の60歳代で「いっとき避難場所（55.8%・52.2%）」、女性の40歳代で「地域防災拠点（44.2%）」などである。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「広域避難場所」が最も多く、特に青木、神之木西寺尾、白幡浦島丘、六角橋で7割を超えている。また、全体の値を特に上回っているのは、白幡浦島丘と菅田で「いっとき避難場所（50.6%・52.1%）」である。

図 知っている地域の避難場所〔性／年代別・居住地区別〕

							(%)
		調査 (n)	避い 難つ 場と 所き	拠 点 域 防 災	場 広 所 域 避 難	施 津 設 波 避 難	無 回 答
全 体		1,363	40.1	33.6	62.9	9.8	18.1
性 ／ 年 代	男性 29歳以下	44	29.5	25.0	54.5	9.1	29.5
	30歳代	59	33.9	20.3	50.8	6.8	25.4
	40歳代	100	33.0	25.0	56.0	8.0	23.0
	50歳代	79	39.2	39.2	69.6	5.1	12.7
	60歳代	112	47.3	38.4	67.9	9.8	12.5
	70歳以上	129	55.8	41.9	68.2	14.7	13.2
	女性 29歳以下	63	30.2	23.8	44.4	12.7	27.0
	30歳代	122	18.9	26.2	61.5	16.4	26.2
	40歳代	156	34.6	44.2	71.2	10.9	10.9
	50歳代	121	34.7	34.7	67.8	7.4	17.4
60歳代	157	52.2	38.2	72.6	10.2	9.6	
70歳以上	167	50.3	29.3	58.7	6.0	19.8	
居 住 地 区	青木	125	41.6	38.4	72.0	11.2	15.2
	大口七島	82	46.3	36.6	63.4	15.9	17.1
	片倉三枚	105	38.1	36.2	65.7	4.8	20.0
	神奈川幸ヶ谷	141	34.8	23.4	48.9	17.7	28.4
	神之木西寺尾	88	40.9	29.5	72.7	8.0	11.4
	子安入江	136	32.4	31.6	55.1	14.7	19.1
	白幡浦島丘	87	50.6	34.5	71.3	9.2	13.8
	神西神北	94	35.1	27.7	59.6	8.5	19.1
	神大寺	85	40.0	41.2	68.2	8.2	14.1
	菅田	96	52.1	39.6	59.4	6.3	17.7
	羽沢	93	36.6	28.0	63.4	2.2	21.5
	松見	71	49.3	40.8	62.0	9.9	18.3
	三ツ沢	66	30.3	33.3	66.7	1.5	10.6
	六角橋	64	40.6	34.4	70.3	12.5	12.5

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの地区で「広域避難場所」で、特に三世代では7割を超えている。それ以外では、ひとり暮らし(②)で「いっとき避難場所」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(②)と夫婦のみ(②)で「いっとき避難場所(58.3%・55.3%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「広域避難場所」である。また、「地域防災拠点」は加入者の方が未加入者より18.7ポイント高く、「広域避難場所」は18.6ポイント高くなっている。

図 知っている地域の避難場所〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

							(%)
		調査 (n) 数	避い 難つ 場と 所き	拠地 点域 防 災	場広 所域 避 難	施津 設波 避 難	無 回 答
全 体		1,363	40.1	33.6	62.9	9.8	18.1
世帯 類型	ひとり暮らし(①)	116	28.4	21.6	43.1	5.2	32.8
	ひとり暮らし(②)	84	58.3	33.3	57.1	10.7	15.5
	夫婦のみ(①)	121	41.3	29.8	55.4	13.2	19.0
	夫婦のみ(②)	190	55.3	34.7	67.4	9.5	15.8
	親と子(①)	124	32.3	37.9	67.7	13.7	15.3
	親と子(②)	189	36.5	40.7	66.1	12.2	15.9
	親と子(③)	259	41.7	30.9	64.5	8.9	16.2
	親と子(④)	112	33.0	36.6	68.8	6.3	17.9
	三世代	73	34.2	42.5	72.6	9.6	12.3
その他	58	29.3	27.6	67.2	10.3	20.7	
自治 会	加入している	990	43.4	38.0	67.5	9.5	15.3
	加入していない	311	30.2	19.3	48.9	10.0	26.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

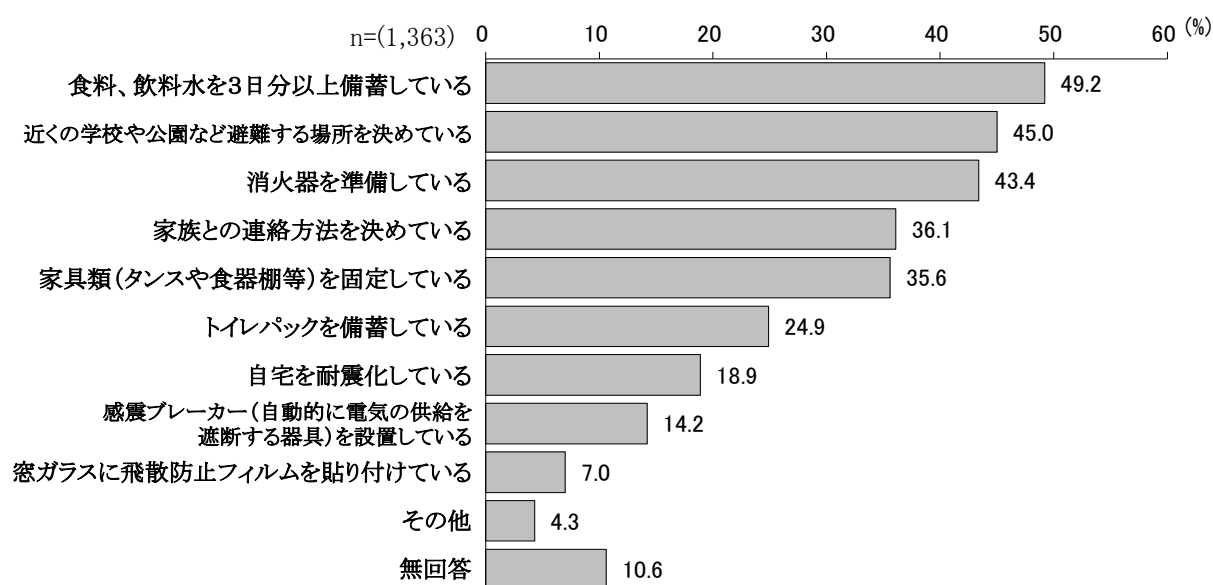
(2) 家庭での日ごろの防災対策（自助）

◇「食料、飲料水を3日以上備蓄している」人が49.2%

問6 あなたのご家庭での日ごろの防災対策（自助）についてお伺いします。あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、現在どのような対策をしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

家庭での日ごろの防災対策（自助）は、「食料、飲料水を3日以上備蓄している」が49.2%で最も高くなっている。次いで、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が45.0%、「消火器を準備している」が43.4%、「家族との連絡方法を決めている」が36.1%、「家具類（タンスや食器棚等）を固定している」が35.6%となっている。

図 家庭での日ごろの防災対策（自助）[全体]（複数回答）



■ 家庭での日ごろの防災対策（自助）〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「食料、飲料水を3日分以上備蓄している」である。それ以外では、女性の30歳代と40歳代で「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」、男性の60歳代と70歳以上、女性の50歳代で「消火器を準備している」、男性の50歳代で「消火器を準備している」と「食料、飲料水を3日分以上備蓄している」が並んで最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、男性の70歳以上で「感震ブレーカー（自動的に電気の供給を遮断する器具）を設置している（28.7%）」と「消火器を準備している（65.9%）」、女性の60歳代で「トイレパックを備蓄している（37.6%）」、女性の50歳代で「家族との連絡方法を決めている（48.8%）」などである。

図 家庭での日ごろの防災対策（自助）〔性／年代別〕

		調査数	自宅を耐震化している	家具類（タンスや食器棚等）を固定している	感震ブレーカー（自動的に電気の供給を遮断する器具）を設置している	食料、飲料水を3日分以上備蓄している	トイレパックを備蓄している	家族との連絡方法を決めている	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	消火器を準備している	窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けている	その他	無回答 (%)
全体		1,363	18.9	35.6	14.2	49.2	24.9	36.1	45.0	43.4	7.0	4.3	10.6
性／年代	男性 29歳以下	44	15.9	31.8	6.8	38.6	4.5	34.1	36.4	34.1	2.3	2.3	20.5
	30歳代	59	15.3	33.9	8.5	44.1	8.5	33.9	39.0	22.0	3.4	1.7	15.3
	40歳代	100	22.0	30.0	10.0	44.0	18.0	29.0	40.0	38.0	6.0	2.0	14.0
	50歳代	79	19.0	38.0	19.0	50.6	11.4	32.9	30.4	50.6	10.1	2.5	7.6
	60歳代	112	21.4	33.9	16.1	49.1	21.4	37.5	44.6	52.7	6.3	2.7	12.5
	70歳以上	129	22.5	45.0	28.7	54.3	22.5	43.4	56.6	65.9	7.8	4.7	5.4
	女性 29歳以下	63	11.1	30.2	6.3	46.0	17.5	33.3	38.1	14.3	3.2	6.3	12.7
	30歳代	122	13.1	27.0	7.4	39.3	21.3	23.8	47.5	23.0	2.5	7.4	17.2
	40歳代	156	17.3	39.1	5.1	49.4	27.6	32.7	50.0	32.1	6.4	1.9	9.0
	50歳代	121	20.7	33.1	14.0	49.6	32.2	48.8	43.0	51.2	10.7	5.0	7.4
	60歳代	157	19.1	38.2	17.2	54.1	37.6	42.0	46.5	53.5	10.2	5.7	8.3
70歳以上	167	22.2	40.7	20.4	56.3	35.9	37.1	46.7	51.5	9.0	5.4	8.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

居住地区別で最も多いのは、ほぼ半数の地区で「食料、飲料水を3日以上備蓄している」である。それ以外の地区では、大口七島、神之木西寺尾、神西神北、神大寺、菅田で「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」、神奈川幸ヶ谷、羽沢、三ツ沢で「消火器を準備している」が最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島で「近くの学校や公園など避難する場所を決めている（58.5%）」と「消火器を準備している（56.1%）」、三ツ沢で「消火器を準備している（54.5%）」などである。

図 家庭での日ごろの防災対策（自助）[居住地区別]

		(%)											
		調査数	自宅を耐震化している	家具類（タンスや食器棚等）を固定している	給震ブレーカー（自動的に電気の供給を遮断する器具）を設置している	食料、飲料水を3日以上備蓄している	トイレパックを備蓄している	家族との連絡方法を決めている	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	消火器を準備している	窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けている	その他	無回答
全体		1,363	18.9	35.6	14.2	49.2	24.9	36.1	45.0	43.4	7.0	4.3	10.6
居住地区	青木	125	22.4	39.2	13.6	52.0	25.6	28.0	44.0	39.2	4.0	3.2	11.2
	大口七島	82	20.7	28.0	17.1	45.1	29.3	39.0	58.5	56.1	3.7	6.1	7.3
	片倉三枚	105	20.0	32.4	17.1	58.1	29.5	44.8	47.6	37.1	4.8	5.7	13.3
	神奈川幸ヶ谷	141	24.8	36.2	10.6	44.7	23.4	29.1	34.0	48.2	9.2	7.1	11.3
	神之木西寺尾	88	20.5	30.7	11.4	48.9	19.3	38.6	52.3	38.6	1.1	1.1	10.2
	子安入江	136	20.6	36.8	13.2	51.5	25.0	36.8	42.6	36.0	9.6	6.6	8.8
	白幡浦島丘	87	20.7	40.2	19.5	58.6	31.0	33.3	44.8	49.4	8.0	3.4	10.3
	神西神北	94	13.8	36.2	8.5	41.5	24.5	34.0	43.6	40.4	7.4	-	10.6
	神大寺	85	15.3	32.9	17.6	48.2	25.9	42.4	50.6	41.2	4.7	4.7	10.6
	菅田	96	7.3	36.5	16.7	44.8	18.8	37.5	53.1	43.8	9.4	5.2	12.5
	羽沢	93	17.2	40.9	16.1	40.9	21.5	39.8	44.1	47.3	10.8	4.3	11.8
	松見	71	18.3	38.0	9.9	46.5	21.1	36.6	33.8	40.8	7.0	4.2	12.7
	三ツ沢	66	15.2	33.3	12.1	53.0	22.7	31.8	40.9	54.5	9.1	3.0	6.1
六角橋	64	21.9	39.1	20.3	57.8	29.7	39.1	45.3	43.8	10.9	4.7	4.7	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみても、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「食料、飲料水を3日分以上備蓄している」となっている。それ以外では、親と子(①)、親と子(④)、三世代で「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」、親と子(③)で「消火器を準備している」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(②)で「トイレパックを備蓄している(41.7%)」、夫婦のみ(②)で「食料、飲料水を3日分以上備蓄している(61.1%)」、親と子(③)で「消火器を準備している(57.1%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「食料、飲料水を3日分以上備蓄している」である。また、「消火器を準備している」は加入者の方が未加入者より25.5ポイント高くなっている。

図 家庭での日ごろの防災対策(自助)〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		調査数	自宅を耐震化している	家具類(タンスや食器棚等)を固定している	給震ブレーカー(自動的に電気の供給を遮断する器具)を設置している	食料、飲料水を3日分以上備蓄している	トイレパックを備蓄している	家族との連絡方法を決めている	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	消火器を準備している	窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けている	その他	無回答
全体		1,363	18.9	35.6	14.2	49.2	24.9	36.1	45.0	43.4	7.0	4.3	10.6
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	4.3	15.5	6.0	44.0	7.8	16.4	19.8	23.3	4.3	5.2	25.9
	ひとり暮らし(②)	84	11.9	31.0	15.5	54.8	41.7	28.6	40.5	46.4	7.1	4.8	11.9
	夫婦のみ(①)	121	14.9	30.6	8.3	42.1	22.3	37.2	38.8	33.1	5.0	3.3	14.0
	夫婦のみ(②)	190	21.6	42.6	23.7	61.1	35.3	42.6	55.3	53.7	12.1	4.7	6.3
	親と子(①)	124	21.0	37.9	4.0	40.3	19.4	30.6	48.4	23.4	4.0	8.9	10.5
	親と子(②)	189	20.6	42.9	10.1	50.3	32.8	39.2	47.6	42.3	8.5	2.1	9.0
	親と子(③)	259	23.6	32.8	19.7	49.4	20.8	39.4	45.9	57.1	6.6	5.8	6.9
	親と子(④)	112	18.8	40.2	11.6	42.9	18.8	42.9	45.5	42.0	8.0	1.8	13.4
	三世代	73	24.7	43.8	13.7	46.6	20.5	35.6	50.7	42.5	9.6	1.4	9.6
その他	58	15.5	37.9	22.4	58.6	24.1	37.9	46.6	51.7	1.7	5.2	6.9	
自治会	加入している	990	21.6	39.7	16.2	52.0	27.8	38.8	47.0	49.6	8.6	3.5	8.2
	加入していない	311	10.0	23.5	8.0	40.5	15.8	27.3	36.7	24.1	2.6	6.8	18.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

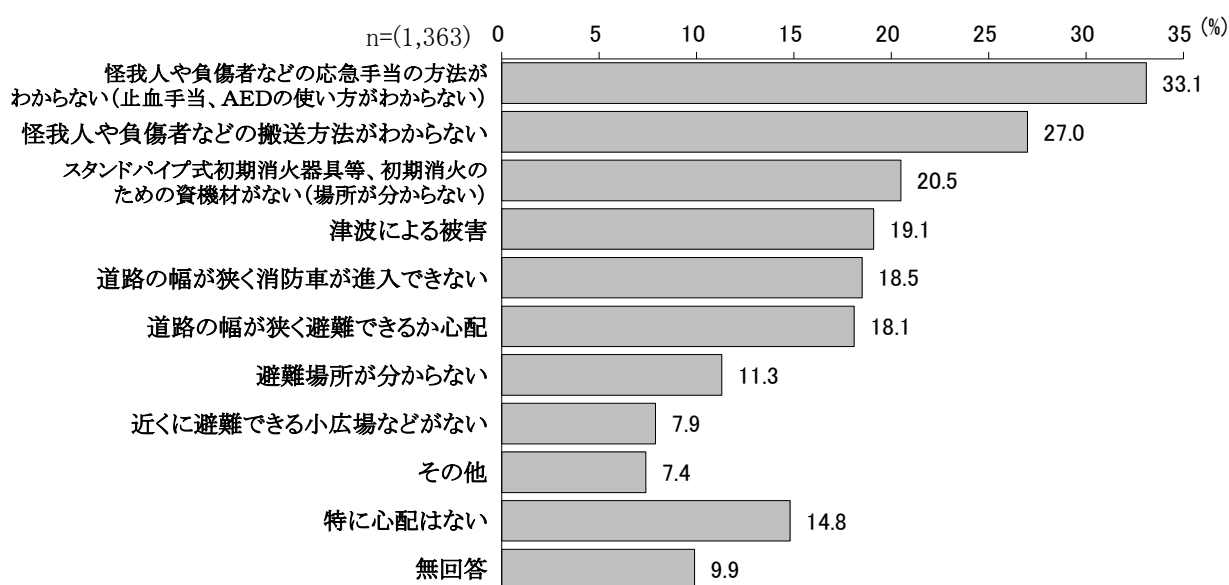
(3) 住まいの地域で心配なこと

◇怪我人や負傷者の対応への心配が上位を占めている

問7 あなたのお住まいの地域で、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

住まいの地域で心配なことは、「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない(止血手当、AEDの使い方がわからない)」が33.1%で最も高くなっている。次いで、「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」が27.0%、「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない(場所が分からない)」が20.5%、「津波による被害」が19.1%、「道路の幅が狭く消防車が進入できない」が18.5%、「道路の幅が狭く避難できるか心配」が18.1%となっている。一方、「特に心配はない」は14.8%となっている。

図 住まいの地域で心配なこと [全体] (複数回答)



■ 住まいの地域で心配なこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、女性の30歳代、男女の60歳代と70歳以上で「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）」である。それ以外では、女性の29歳以下で「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）」、男性の30歳代と女性の40歳代で「津波による被害」、男性の40歳代と男女の50歳代で「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」、男性の29歳以下で「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）」と「道路の幅が狭く消防車が進入できない」が並んで最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下で「避難場所が分からない（25.4%）」と「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）（44.4%）」、女性の30歳代で「津波による被害（37.7%）」などである。

図 住まいの地域で心配なこと〔性／年代別〕

		調査数	避難場所が分からない	近くに避難できる小広場などがない	スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）	道路の幅が狭く消防車が進入できない	道路の幅が狭く消防車が進入できない	津波による被害	怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない	怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）	その他	特に心配はない	無回答
全体		1,363	11.3	7.9	20.5	18.1	18.5	19.1	27.0	33.1	7.4	14.8	9.9
性／年代	男性 29歳以下	44	18.2	11.4	27.3	25.0	27.3	20.5	20.5	18.2	6.8	15.9	9.1
	30歳代	59	20.3	6.8	16.9	11.9	18.6	30.5	22.0	28.8	-	16.9	3.4
	40歳代	100	14.0	3.0	19.0	16.0	12.0	25.0	33.0	26.0	7.0	17.0	8.0
	50歳代	79	5.1	5.1	26.6	21.5	26.6	16.5	29.1	25.3	6.3	15.2	10.1
	60歳代	112	7.1	7.1	21.4	18.8	18.8	12.5	21.4	28.6	0.9	17.9	6.3
	70歳以上	129	6.2	8.5	18.6	19.4	20.9	13.2	32.6	40.3	9.3	17.1	13.2
	女性 29歳以下	63	25.4	6.3	44.4	23.8	22.2	25.4	22.2	31.7	9.5	6.3	4.8
	30歳代	122	17.2	11.5	21.3	17.2	18.0	37.7	25.4	38.5	9.0	9.0	5.7
	40歳代	156	9.6	8.3	17.3	14.7	16.7	30.1	25.6	28.8	9.0	15.4	5.8
	50歳代	121	14.0	8.3	19.8	16.5	25.6	14.9	32.2	31.4	12.4	14.0	6.6
	60歳代	157	5.7	7.6	17.8	16.6	13.4	12.7	28.0	40.8	7.0	12.7	10.8
70歳以上	167	9.6	10.8	16.8	19.2	14.4	8.4	22.2	35.3	9.0	18.6	19.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）」である。それ以外の地区では、神奈川幸ヶ谷、子安入江で「津波による被害」、白幡浦島丘で「道路の幅が狭く消防車が進入できない」、羽沢で「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」が最も多くなっている。

また、全体の値を特に上回っているのは、神奈川幸ヶ谷で「津波による被害（56.0%）」、六角橋で「道路の幅が狭く消防車が進入できない（34.4%）」、菅田で「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）（38.5%）」などである。

図 住まいの地域で心配なこと [居住地区別]

		調査数	避難場所が分からない	近くに避難できる小広場などがない	めスタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のため場所が分からない	道路の幅が狭く避難できるか心配	道路の幅が狭く消防車が進入できない	津波による被害	怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない	怪我人や負傷者などの応急手当、AEDの使い方がわからない	その他	特に心配はない	無回答
全体		1,363	11.3	7.9	20.5	18.1	18.5	19.1	27.0	33.1	7.4	14.8	9.9
居住地区	青木	125	8.8	11.2	20.8	15.2	11.2	16.8	27.2	34.4	10.4	15.2	8.8
	大口七島	82	7.3	7.3	4.9	20.7	23.2	23.2	18.3	24.4	7.3	15.9	8.5
	片倉三枚	105	18.1	7.6	31.4	15.2	19.0	3.8	25.7	38.1	9.5	15.2	8.6
	神奈川幸ヶ谷	141	16.3	2.8	9.9	7.8	2.8	56.0	22.0	27.7	6.4	12.1	6.4
	神之木西寺尾	88	5.7	5.7	28.4	28.4	27.3	26.1	34.1	38.6	6.8	12.5	6.8
	子安入江	136	14.0	10.3	17.6	13.2	14.0	33.8	22.8	27.9	5.9	19.1	5.9
	白幡浦島丘	87	6.9	9.2	26.4	20.7	33.3	6.9	32.2	32.2	6.9	11.5	13.8
	神西神北	94	12.8	6.4	19.1	21.3	21.3	22.3	18.1	23.4	7.4	14.9	12.8
	神大寺	85	8.2	4.7	18.8	12.9	16.5	5.9	27.1	36.5	4.7	21.2	11.8
	菅田	96	13.5	8.3	38.5	9.4	14.6	5.2	31.3	41.7	5.2	11.5	16.7
	羽沢	93	15.1	9.7	20.4	23.7	17.2	2.2	35.5	33.3	9.7	14.0	11.8
	松見	71	9.9	11.3	21.1	23.9	12.7	12.7	26.8	32.4	11.3	15.5	12.7
	三ツ沢	66	7.6	12.1	15.2	22.7	30.3	10.6	28.8	31.8	6.1	15.2	9.1
六角橋	64	6.3	6.3	15.6	28.1	34.4	15.6	26.6	35.9	7.8	17.2	7.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）」である。それ以外では、三世代で「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない（場所が分からない）」、その他で「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」、親と子(④)で「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない」と「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(①)で「避難場所が分からない(22.4%)」、三世代で「スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない(場所が分からない)(31.5%)」、その他で「怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない(39.7%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない（止血手当、AEDの使い方がわからない）」である。また、「避難場所が分からない」は加入者の方が未加入者より12.5ポイント低くなっている。

図 住まいの地域で心配なこと〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		調査数	避難場所が分からない	近くに避難できる小広場などが無い	スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない(場所が分からない)	道路の幅が狭く避難できるか心配	道路の幅が狭く消防車が進入できない	津波による被害	怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない	怪我人や負傷者など(止血手当、AEDの使い方がわからない)	その他	特に心配はない	無回答 (%)
全体		1,363	11.3	7.9	20.5	18.1	18.5	19.1	27.0	33.1	7.4	14.8	9.9
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	22.4	7.8	19.8	16.4	19.0	20.7	20.7	25.9	3.4	17.2	6.9
	ひとり暮らし(②)	84	9.5	4.8	9.5	19.0	7.1	8.3	21.4	29.8	6.0	21.4	22.6
	夫婦のみ(①)	121	16.5	8.3	19.0	21.5	16.5	28.1	29.8	32.2	9.1	13.2	3.3
	夫婦のみ(②)	190	5.3	6.8	19.5	17.4	14.7	13.7	26.8	35.8	6.3	13.2	14.7
	親と子(①)	124	13.7	8.9	21.8	18.5	15.3	22.6	23.4	33.9	8.9	12.1	7.3
	親と子(②)	189	10.6	6.9	20.6	15.9	21.2	24.3	28.0	32.3	7.9	13.8	10.6
	親と子(③)	259	9.7	10.0	19.7	15.1	18.9	16.6	29.7	38.2	8.1	17.8	10.4
	親と子(④)	112	8.0	6.3	24.1	20.5	23.2	16.1	26.8	26.8	8.9	17.0	6.3
	三世代	73	11.0	9.6	31.5	19.2	26.0	17.8	23.3	27.4	11.0	9.6	5.5
その他	58	15.5	8.6	22.4	20.7	22.4	25.9	39.7	37.9	5.2	10.3	6.9	
自治会	加入している	990	8.4	8.5	20.6	18.6	19.7	16.9	27.8	34.3	7.6	15.4	9.9
	加入していない	311	20.9	6.8	20.6	16.4	14.1	27.3	24.8	28.9	7.4	12.5	9.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

(4) 災害が発生したときにできる手助け、期待する手助け

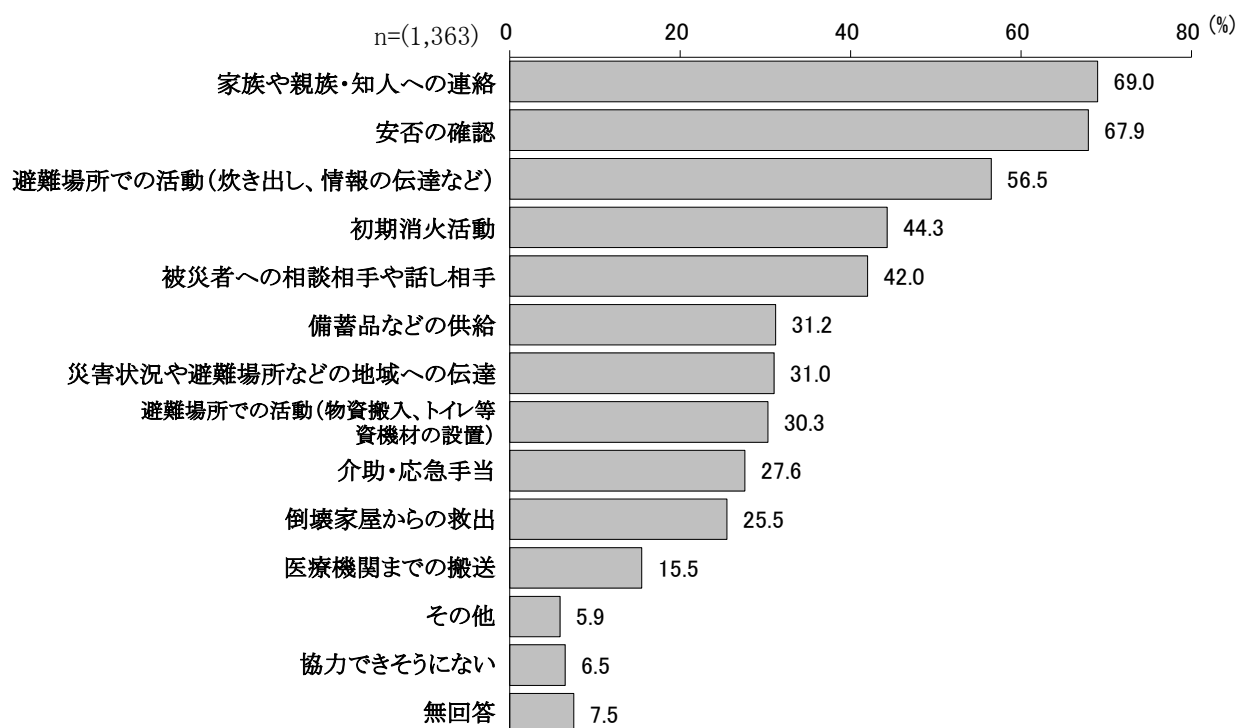
問8 災害が発生したときに、あなたができる手助けはどのようなものですか。また、各年代の方が地域でできる手助け（あなたが期待している手助け）はどのようなものですか。（あなたと各年代にあてはまるものすべてに○）

災害が発生したときに、あなたができる手助け

◇「家族や親族・知人への連絡」「安否の確認」を6割以上の方が挙げている

本人ができる手助けは、「家族や親族・知人への連絡」が69.0%、「安否の確認」が67.9%でともに高くなっている。次いで、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が56.5%、「初期消火活動」が44.3%、「被災者への相談相手や話し相手」が42.0%、「備蓄品などの供給」が31.2%、「災害状況や避難場所などの地域への伝達」が31.0%、「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が30.3%で続いている。一方、「協力できそうにない」は6.5%となっている。

図 災害が発生したときに、あなたができる手助け [全体]（複数回答）



災害が発生したときに、あなたが期待している手助け

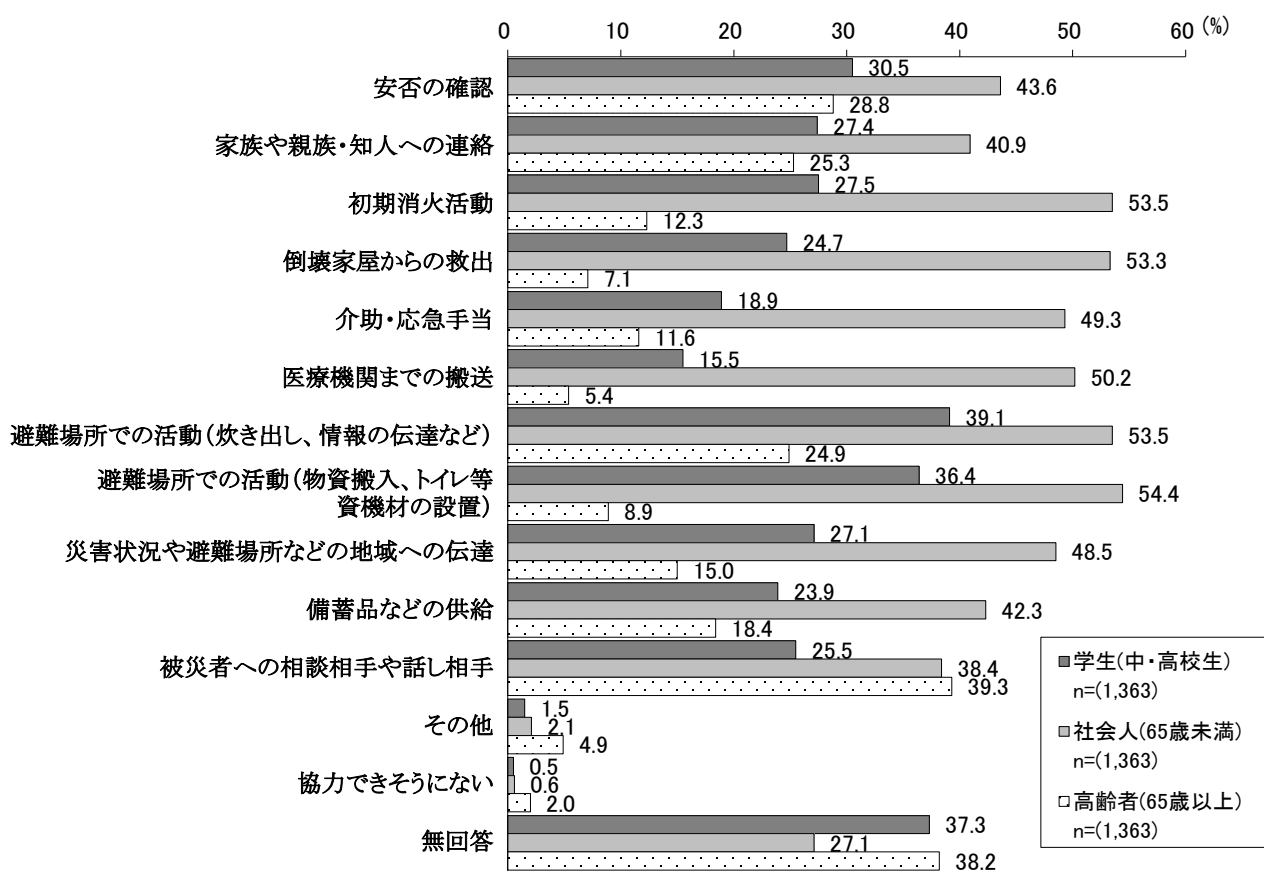
◇社会人（65歳未満）には多くの役割が期待されているほか、学生（中・高校生）は「避難場所での活動」、高齢者（65歳以上）は「被災者への相談相手や話し相手」が主に期待されている

学生（中・高校生）に期待している手助けは、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が39.1%で最も高く、次いで、「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が36.4%、「安否の確認」が30.5%となっている。

社会人（65歳未満）に期待している手助けは、「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が54.4%、「初期消火活動」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」がともに53.5%、「倒壊家屋からの救出」が53.3%、「医療機関までの搬送」が50.2%となっており、他の世代と比べて高い割合の項目が多くなっている。

高齢者（65歳以上）に期待している手助けは、「被災者への相談相手や話し相手」が39.3%で最も高く、学生や社会人の割合を上回っている。それ以外の項目では、他の世代と比べて低くなっているものの、「安否の確認」が28.8%、「家族や親族・知人への連絡」が25.3%、「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が24.9%となっている。

図 災害が発生したときに、期待している手助け [全体] (複数回答)



■ 災害が発生したときにできる手助け [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、男性の30歳代、女性の29歳以下から40歳代、60歳代、70歳以上で「家族や親族・知人への連絡」、男性の29歳以下、40歳代、60歳代、70歳以上で「安否の確認」である。それ以外では、男性の50歳代で「安否の確認」と「初期消火活動」が並んで、女性の50歳代で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の50歳代で「初期消火活動(70.9%)」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等の資機材の設置）(55.7%)」、男性の30歳代で「避難場所での活動（物資搬入、トイレへの資機材の設置）(62.7%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「家族や親族・知人への連絡」である。それ以外の地区では、子安入江、羽沢、六角橋で「安否の確認」、大口七島と神西神北で「安否の確認」と「家族や親族・知人への連絡」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、三ツ沢で「初期消火活動（60.6%）」と「倒壊家屋からの救出（42.4%）」、六角橋で「備蓄品などの供給（43.8%）」などである。

図 災害が発生したときにできる手助け [性／年代別・居住地区別]

		調査数	安否の確認	家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）	避難場所での活動（物資搬入、トイレ等の資機材の設置）	避難場所での活動（物資搬入、トイレへの資機材の設置）	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手や話し相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	67.9	69.0	44.3	25.5	27.6	15.5	56.5	30.3	31.0	31.2	42.0	5.9	6.5	7.5	
性／年代	男性 29歳以下	44	70.5	68.2	52.3	45.5	38.6	31.8	40.9	36.4	27.3	29.5	29.5	2.3	6.8	6.8	
	30歳代	59	71.2	74.6	66.1	49.2	33.9	30.5	67.8	62.7	44.1	50.8	42.4	8.5	3.4	3.4	
	40歳代	100	77.0	72.0	63.0	49.0	28.0	29.0	56.0	49.0	38.0	37.0	36.0	4.0	5.0	3.0	
	50歳代	79	70.9	64.6	70.9	49.4	24.1	30.4	53.2	55.7	41.8	26.6	34.2	1.3	1.3	6.3	
	60歳代	112	65.2	64.3	58.9	39.3	17.0	18.8	49.1	35.7	27.7	34.8	34.8	5.4	0.9	9.8	
	70歳以上	129	57.4	56.6	38.0	20.2	20.2	10.9	34.9	23.3	27.9	26.4	33.3	7.0	8.5	14.7	
	女性 29歳以下	63	81.0	88.9	44.4	28.6	42.9	23.8	79.4	49.2	41.3	39.7	58.7	6.3	1.6	1.6	
	30歳代	122	79.5	85.2	49.2	25.4	34.4	15.6	68.9	32.8	37.7	29.5	54.9	1.6	4.1	0.8	
	40歳代	156	78.8	81.4	40.4	14.7	34.6	13.5	74.4	30.1	39.1	34.6	47.4	5.8	4.5	2.6	
	50歳代	121	76.9	74.4	43.8	17.4	34.7	9.9	77.7	27.3	30.6	32.2	52.9	4.1	5.0	1.7	
60歳代	157	69.4	74.5	39.5	15.9	27.4	7.6	62.4	17.8	27.4	31.8	46.5	6.4	3.2	10.2		
70歳以上	167	45.5	49.1	16.8	7.2	16.8	2.4	32.3	5.4	12.6	16.8	33.5	12.0	16.2	17.4		
居住地区	青木	125	72.8	75.2	42.4	24.8	24.8	16.8	63.2	32.0	31.2	27.2	36.0	9.6	7.2	3.2	
	大口七島	82	64.6	64.6	46.3	26.8	23.2	17.1	59.8	32.9	31.7	34.1	48.8	6.1	9.8	9.8	
	片倉三枚	105	61.9	63.8	43.8	30.5	33.3	20.0	54.3	27.6	33.3	25.7	41.0	3.8	9.5	8.6	
	神奈川幸ヶ谷	141	70.9	75.2	43.3	24.8	31.2	16.3	60.3	40.4	37.6	32.6	46.8	2.1	2.8	5.7	
	神之木西寺尾	88	69.3	70.5	40.9	28.4	27.3	15.9	50.0	23.9	30.7	31.8	46.6	6.8	5.7	6.8	
	子安入江	136	73.5	72.1	47.8	27.2	25.7	15.4	64.0	36.8	36.8	32.4	44.9	5.1	4.4	5.9	
	白幡浦島丘	87	62.1	69.0	54.0	26.4	26.4	16.1	47.1	25.3	23.0	26.4	39.1	5.7	5.7	10.3	
	神西神北	94	59.6	59.6	34.0	22.3	19.1	7.4	50.0	16.0	14.9	22.3	33.0	10.6	5.3	8.5	
	神大寺	85	67.1	68.2	45.9	22.4	28.2	16.5	61.2	23.5	31.8	28.2	41.2	8.2	5.9	10.6	
	菅田	96	64.6	65.6	42.7	20.8	32.3	18.8	50.0	37.5	28.1	33.3	38.5	6.3	8.3	9.4	
	羽沢	93	69.9	68.8	44.1	26.9	30.1	18.3	62.4	36.6	31.2	37.6	45.2	7.5	3.2	8.6	
	松見	71	67.6	70.4	36.6	14.1	21.1	8.5	49.3	16.9	33.8	31.0	38.0	2.8	9.9	7.0	
	三ツ沢	66	71.2	74.2	60.6	42.4	36.4	16.7	54.5	34.8	31.8	30.3	47.0	6.1	6.1	4.5	
	六角橋	64	76.6	67.2	46.9	25.0	26.6	10.9	57.8	37.5	37.5	43.8	46.9	3.1	7.8	7.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「家族や親族・知人への連絡」である。それ以外では、ひとり暮らし(①)、ひとり暮らし(②)、その他で「安否の確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「家族や親族・知人への連絡(83.1%)」と「避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)(75.8%)」、夫婦のみ(①)で「初期消火活動(61.2%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、加入者で「安否の確認」と「家族や親族・知人への連絡」が並び、未加入者で「家族や親族・知人への連絡」である。

図 災害が発生したときにできる手助け〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

	調査数	安否の確認	家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	伝達(炊き出し、情報の伝達など)	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等)	避難場所への伝達	災害状況や避難場所	備蓄品などの供給	被災者への相談相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体	1,363	67.9	69.0	44.3	25.5	27.6	15.5	56.5	30.3	31.0	31.2	42.0	5.9	6.5	7.5	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	53.4	50.0	46.6	29.3	16.4	50.9	35.3	24.1	22.4	33.6	1.7	14.7	6.9	
	ひとり暮らし(②)	84	40.5	38.1	19.0	7.1	14.3	3.6	31.0	6.0	19.0	14.3	32.1	9.5	20.2	23.8
	夫婦のみ(①)	121	76.9	78.5	61.2	35.5	32.2	19.8	63.6	36.4	39.7	35.5	53.7	4.1	1.7	2.5
	夫婦のみ(②)	190	61.1	63.2	34.2	16.3	18.9	8.9	46.8	18.4	25.3	32.6	44.2	6.3	6.3	13.2
	親と子(①)	124	79.0	83.1	50.8	37.1	34.7	21.0	75.8	41.1	43.5	37.9	47.6	8.1	4.8	0.8
	親と子(②)	189	79.4	80.4	43.9	29.1	34.9	18.0	65.6	37.0	34.9	32.3	42.3	3.7	2.6	3.7
	親と子(③)	259	65.3	66.0	44.4	25.1	22.0	12.0	48.3	28.6	29.0	26.3	36.7	8.5	7.7	7.3
	親と子(④)	112	79.5	82.1	52.7	25.9	30.4	21.4	62.5	40.2	32.1	35.7	47.3	2.7	2.7	3.6
	三世代	73	74.0	78.1	47.9	21.9	41.1	26.0	69.9	31.5	32.9	43.8	47.9	5.5	-	4.1
	その他	58	70.7	69.0	51.7	32.8	24.1	19.0	63.8	34.5	31.0	32.8	39.7	12.1	3.4	6.9
自治会	加入している	990	69.5	69.5	44.1	24.9	27.0	15.5	57.4	30.0	31.3	32.4	41.7	6.2	6.2	6.8
	加入していない	311	65.6	70.7	47.6	28.0	29.9	16.1	55.6	34.1	31.5	26.7	44.7	4.8	6.1	8.4

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ 学生（中・高校生）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、男性の30歳代、40歳代、女性の29歳以下から50歳代で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」、男性の50歳代と60歳代、女性の60歳代と70歳以上で「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」である。それ以外では、男性の29歳以下で「安否の確認」、男性の70歳以上で「初期消火活動」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）（60.3%）」や「被災者への相談相手や話し相手（55.6%）」、女性の30歳代で「安否の確認（52.5%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」である。それ以外の地区では、神之木西寺尾、神西神北、神大寺で「避難所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」、白幡浦島丘で「初期消火活動」と「倒壊家屋からの救出」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が並び、羽沢、松見で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が並び、三ツ沢で「家族や親族・知人への連絡」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、白幡浦島丘で「倒壊家屋からの救出（35.6%）」、三ツ沢で「家族や親族・知人への連絡（40.9%）」や「初期消火活動（39.4%）」などである。

図 学生（中・高校生）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別〕

		調査数	安否の確認	の家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	伝達など（炊き出し、情報の伝達など）	避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）	避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	30.5	27.4	27.5	24.7	18.9	15.5	39.1	36.4	27.1	23.9	25.5	1.5	0.5	37.3	
性／年代	男性 29歳以下	44	43.2	40.9	34.1	29.5	29.5	18.2	40.9	38.6	20.5	25.0	27.3	-	2.3	29.5	
	30歳代	59	49.2	45.8	28.8	25.4	11.9	13.6	50.8	42.4	30.5	20.3	28.8	1.7	1.7	27.1	
	40歳代	100	36.0	37.0	25.0	26.0	17.0	18.0	45.0	43.0	33.0	23.0	33.0	3.0	2.0	31.0	
	50歳代	79	24.1	22.8	30.4	27.8	22.8	12.7	38.0	40.5	27.8	21.5	29.1	-	-	39.2	
	60歳代	112	17.9	17.9	23.2	21.4	17.9	17.0	25.9	31.3	22.3	18.8	8.9	0.9	-	49.1	
	70歳以上	129	15.5	8.5	20.2	18.6	14.0	15.5	18.6	20.2	17.1	19.4	8.5	1.6	-	58.9	
	女性 29歳以下	63	50.8	46.0	25.4	12.7	27.0	14.3	60.3	46.0	36.5	34.9	55.6	6.3	-	23.8	
	30歳代	122	52.5	45.1	35.2	27.9	24.6	18.0	54.1	42.6	27.0	25.4	36.9	-	0.8	22.1	
	40歳代	156	44.9	39.1	32.7	28.8	22.4	17.9	57.7	48.7	32.7	32.1	43.6	0.6	1.3	16.7	
	50歳代	121	36.4	38.0	37.2	28.9	19.0	11.6	46.3	42.1	33.9	29.8	34.7	-	-	20.7	
60歳代	157	22.3	19.7	32.5	32.5	18.5	15.3	35.0	37.6	28.7	23.6	15.3	1.3	-	38.9		
70歳以上	167	11.4	9.0	16.8	19.2	13.8	13.8	24.0	24.6	22.8	19.2	12.0	3.0	-	59.3		
居住地区	青木	125	32.8	24.8	31.2	24.0	24.0	20.0	44.0	35.2	26.4	19.2	25.6	0.8	1.6	36.0	
	大口七島	82	30.5	32.9	23.2	29.3	13.4	18.3	40.2	39.0	30.5	26.8	20.7	2.4	-	37.8	
	片倉三枚	105	32.4	26.7	24.8	26.7	17.1	15.2	45.7	38.1	23.8	21.0	26.7	1.0	1.0	34.3	
	神奈川幸ヶ谷	141	33.3	33.3	29.8	21.3	22.7	17.7	43.3	36.2	29.1	22.0	29.8	-	0.7	32.6	
	神之木西寺尾	88	30.7	23.9	22.7	20.5	14.8	18.2	35.2	36.4	30.7	26.1	25.0	4.5	-	39.8	
	子安入江	136	36.0	32.4	27.9	25.7	13.2	14.0	43.4	37.5	30.1	23.5	27.2	2.2	0.7	36.8	
	白幡浦島丘	87	29.9	27.6	35.6	35.6	21.8	21.8	35.6	33.3	26.4	23.0	21.8	1.1	2.3	37.9	
	神西神北	94	24.5	21.3	13.8	21.3	16.0	13.8	25.5	28.7	18.1	17.0	20.2	2.1	-	43.6	
	神大寺	85	24.7	20.0	30.6	27.1	16.5	10.6	28.2	34.1	24.7	20.0	28.2	1.2	-	37.6	
	菅田	96	27.1	22.9	26.0	25.0	22.9	12.5	34.4	33.3	21.9	22.9	18.8	1.0	-	50.0	
	羽沢	93	26.9	26.9	35.5	25.8	22.6	15.1	45.2	45.2	32.3	33.3	30.1	2.2	-	34.4	
	松見	71	32.4	26.8	21.1	21.1	18.3	4.2	40.8	40.8	22.5	29.6	26.8	-	-	33.8	
	三ツ沢	66	34.8	40.9	39.4	27.3	21.2	15.2	40.9	37.9	28.8	22.7	25.8	-	-	31.8	
六角橋	64	26.6	25.0	26.6	17.2	20.3	15.6	42.2	37.5	31.3	34.4	31.3	1.6	-	32.8		

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみても、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」である。それ以外では、夫婦のみ(②)で「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」、ひとり暮らし(②)で「倒壊家屋からの救出」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」が並び、その他で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「安否の確認（52.4%）」と「被災者への相談相手や話し相手（46.0%）」、三世代で「備蓄品などの供給（45.2%）」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」である。

図 学生（中・高校生）に期待している手助け〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		(%)															
		調査数	安否の確認	の家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	伝達など（炊き出し、情報の伝達など）	避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）	避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手や話し相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	30.5	27.4	27.5	24.7	18.9	15.5	39.1	36.4	27.1	23.9	25.5	1.5	0.5	37.3	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	20.7	22.4	25.9	21.6	12.9	17.2	33.6	32.8	20.7	18.1	25.9	-	4.3	36.2	
	ひとり暮らし(②)	84	8.3	7.1	15.5	17.9	6.0	13.1	17.9	15.5	15.5	11.9	8.3	1.2	-	67.9	
	夫婦のみ(①)	121	38.8	34.7	31.4	26.4	18.2	16.5	46.3	40.5	35.5	23.1	39.7	0.8	0.8	27.3	
	夫婦のみ(②)	190	14.2	12.1	23.2	23.7	14.7	14.7	23.7	27.9	22.1	20.0	11.6	1.1	-	52.1	
	親と子(①)	124	52.4	43.5	30.6	31.5	22.6	16.1	58.1	55.6	33.1	26.6	46.0	2.4	-	19.4	
	親と子(②)	189	44.4	39.2	31.7	24.3	18.0	13.2	50.3	44.4	23.8	27.5	34.9	1.1	-	21.7	
	親と子(③)	259	23.9	22.4	24.7	22.0	19.7	15.8	34.0	28.2	27.4	21.6	15.1	1.9	-	44.8	
	親と子(④)	112	33.9	30.4	25.9	23.2	26.8	14.3	41.1	37.5	26.8	26.8	29.5	0.9	0.9	34.8	
	三世代	73	47.9	42.5	46.6	35.6	34.2	9.6	54.8	53.4	39.7	45.2	31.5	1.4	-	23.3	
その他	58	27.6	31.0	29.3	29.3	22.4	31.0	41.4	41.4	32.8	27.6	24.1	5.2	-	39.7		
自治会	加入している	990	30.3	26.5	28.3	26.0	18.6	15.3	39.8	37.3	27.5	25.3	24.1	1.4	0.1	37.2	
	加入していない	311	34.1	32.5	27.0	21.2	20.6	16.7	39.9	35.4	26.0	20.3	31.2	1.6	1.6	34.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ 社会人（65歳未満）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、男女70歳以上、女性60歳代で「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」である。それ以外では、男女の30歳代、男性の40歳代で「初期消火活動」、男性の50歳代と女性の29歳以下で「倒壊家屋からの救出」、男性の60歳代と女性の40歳代で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」、男性の29歳以下で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資場所、トイレ等資機材の設置）」が並び、女性の50歳代で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下で「家族や親族・知人への連絡（63.5%）」、「初期消火活動（76.2%）」、「倒壊家屋からの救出（81.0%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、神之木西寺尾、神大寺、菅田で「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」である。それ以外地区では、青木、片倉三枚、神西神北で「初期消火活動」、子安入江、三ツ沢で「倒壊家屋からの救出」、白幡浦島丘、松見で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」、六角橋で「介助・応急手当」、大口七島で「初期消火活動」と「倒壊家屋からの救出」が並び、神奈川幸ヶ谷で「初期消火活動」と「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」が並び、羽沢で「避難場所での活動（炊き出し、情報の伝達など）」と「避難場所での活動（物資搬入、トイレ等資機材の設置）」と「災害状況や避難場所などの地域への伝達」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島で「介助・応急手当（62.2%）」と「災害状況や避難場所などの地域への伝達（62.2%）」、六角橋で「介助・応急手当（60.9%）」などである。

図 社会人（65歳未満）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別〕

	調査数	安否の確認	の家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	（炊き出し、情報の伝達など）避難場所での活動	（物資搬入、トイレ等資機材の設置）避難場所での活動	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手や話し相手	その他	協力できそうにない	無回答	
全体	1,363	43.6	40.9	53.5	53.3	49.3	50.2	53.5	54.4	48.5	42.3	38.4	2.1	0.6	27.1	
性／年代	男性 29歳以下	44	52.3	47.7	50.0	50.0	54.5	43.2	56.8	56.8	40.9	45.5	34.1	2.3	2.3	20.5
	30歳代	59	49.2	49.2	64.4	59.3	52.5	52.5	62.7	62.7	54.2	50.8	45.8	5.1	1.7	15.3
	40歳代	100	51.0	54.0	67.0	63.0	56.0	59.0	57.0	58.0	56.0	48.0	51.0	3.0	2.0	17.0
	50歳代	79	46.8	48.1	58.2	63.3	50.6	53.2	57.0	58.2	45.6	40.5	40.5	-	-	21.5
	60歳代	112	40.2	32.1	42.0	41.1	40.2	36.6	49.1	48.2	46.4	40.2	34.8	1.8	-	32.1
	70歳以上	129	21.7	25.6	39.5	38.0	37.2	37.2	38.8	45.0	36.4	30.2	26.4	1.6	-	45.0
	女性 29歳以下	63	65.1	63.5	76.2	81.0	66.7	68.3	68.3	69.8	68.3	63.5	54.0	4.8	-	12.7
30歳代	122	65.6	56.6	72.1	69.7	59.8	61.5	71.3	65.6	55.7	47.5	48.4	-	0.8	9.8	
40歳代	156	52.6	51.3	64.1	64.7	64.7	62.8	67.9	66.7	62.8	53.2	46.8	1.9	1.3	14.1	
50歳代	121	50.4	43.0	56.2	56.2	47.9	55.4	61.2	61.2	58.7	45.5	43.0	0.8	0.8	16.5	
60歳代	157	39.5	36.3	52.2	52.9	49.0	52.2	49.7	54.8	45.9	38.9	37.6	3.8	-	28.7	
70歳以上	167	25.7	23.4	34.7	33.5	35.9	35.9	34.1	37.1	33.5	31.7	22.8	2.4	-	52.1	
居住地区	青木	125	42.4	43.2	57.6	56.0	52.8	52.8	53.6	56.8	48.8	41.6	35.2	0.8	1.6	24.0
	大口七島	82	52.4	51.2	63.4	63.4	62.2	54.9	59.8	59.8	62.2	45.1	47.6	4.9	-	24.4
	片倉三枚	105	47.6	47.6	62.9	54.3	51.4	50.5	54.3	54.3	49.5	41.9	41.9	1.0	1.0	24.8
	神奈川幸ヶ谷	141	46.1	45.4	54.6	51.1	44.7	45.4	54.6	54.6	43.3	40.4	39.7	-	0.7	26.2
	神之木西寺尾	88	42.0	40.9	52.3	54.5	48.9	51.1	51.1	55.7	43.2	38.6	37.5	3.4	-	27.3
	子安入江	136	43.4	39.7	58.1	58.8	50.7	52.9	55.9	56.6	49.3	48.5	40.4	2.2	0.7	26.5
	白幡浦島丘	87	42.5	41.4	55.2	54.0	55.2	48.3	59.8	58.6	47.1	34.5	35.6	3.4	2.3	25.3
	神西神北	94	34.0	28.7	43.6	42.6	31.9	41.5	38.3	40.4	34.0	30.9	28.7	4.3	-	36.2
	神大寺	85	42.4	35.3	47.1	50.6	49.4	48.2	54.1	56.5	47.1	41.2	41.2	3.5	-	28.2
	菅田	96	43.8	36.5	49.0	44.8	40.6	49.0	46.9	51.0	50.0	40.6	31.3	1.0	-	36.5
	羽沢	93	45.2	43.0	49.5	50.5	48.4	48.4	57.0	57.0	57.0	47.3	46.2	3.2	1.1	25.8
	松見	71	40.8	39.4	47.9	49.3	52.1	52.1	57.7	53.5	53.5	52.1	40.8	1.4	-	26.8
	三ツ沢	66	47.0	45.5	53.0	62.1	53.0	56.1	57.6	59.1	53.0	47.0	36.4	-	-	19.7
	六角橋	64	42.2	34.4	50.0	57.8	60.9	59.4	54.7	54.7	54.7	48.4	39.1	1.6	-	23.4

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、夫婦のみ(②)、親と子(③)、親と子(④)で「避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)」である。それ以外では、ひとり暮らし(①)とその他で「倒壊家屋からの救出」、夫婦のみ(①)と親と子(①)で「初期消火活動」、親と子(②)で「避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)」、三世代で「医療機関までの搬送」、ひとり暮らし(②)で「介助、応急手当」と「避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)」と「災害状況や避難場所などの地域への伝達」が並んで最も多くなっている

また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「初期消火活動(74.2%)」、「災害状況や避難場所などの地域への伝達(67.7%)」、「被災者への相談相手や話し相手(57.3%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、加入者で「避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)」、未加入者で「避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)」である。

図 社会人(65歳未満)に期待している手助け〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		調査数	安否の確認	家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手や話し相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	43.6	40.9	53.5	53.3	49.3	50.2	53.5	54.4	48.5	42.3	38.4	2.1	0.6	27.1	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	37.1	37.9	49.1	50.0	39.7	45.7	45.7	43.1	39.7	32.8	31.9	0.9	4.3	25.9	
	ひとり暮らし(②)	84	23.8	22.6	28.6	31.0	33.3	29.8	28.6	33.3	33.3	31.0	19.0	1.2	-	60.7	
	夫婦のみ(①)	121	54.5	52.9	66.9	65.3	58.7	56.2	63.6	62.0	53.7	44.6	43.8	1.7	0.8	12.4	
	夫婦のみ(②)	190	26.3	23.7	38.9	36.3	35.8	41.1	38.4	41.6	33.7	32.6	28.9	1.1	-	44.7	
	親と子(①)	124	62.1	55.6	74.2	71.0	67.7	61.3	71.0	71.0	67.7	58.9	57.3	3.2	-	10.5	
	親と子(②)	189	53.4	49.2	60.3	60.8	54.5	59.3	63.5	60.8	55.0	48.7	45.5	2.1	-	16.9	
	親と子(③)	259	38.6	40.2	49.0	49.0	47.1	44.0	51.7	52.5	44.8	36.7	34.7	2.7	-	32.0	
	親と子(④)	112	50.9	45.5	55.4	56.3	51.8	51.8	61.6	64.3	52.7	49.1	41.1	1.8	0.9	22.3	
	三世代	73	57.5	49.3	64.4	65.8	61.6	68.5	63.0	67.1	64.4	56.2	50.7	2.7	-	15.1	
その他	58	41.4	37.9	58.6	60.3	56.9	55.2	51.7	58.6	55.2	48.3	36.2	5.2	1.7	22.4		
自治会	加入している	990	44.0	40.9	54.5	54.1	49.6	50.6	54.2	56.3	50.4	44.1	39.2	2.0	0.2	27.0	
	加入していない	311	45.0	44.7	52.4	53.1	51.1	50.5	54.3	52.1	45.3	38.9	38.3	2.6	1.6	24.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ 高齢者（65歳以上）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「被災者への相談相手や話し相手」である。それ以外では、男性の70歳以上で「安否の確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の30歳代で「安否の確認（40.2%）」、女性の40歳代で「被災者への相談相手や話し相手（49.4%）」、女性の70歳以上で「その他（16.2%）」である。

居住地区別で最も多いのは、全ての地区で「被災者への相談相手や話し相手」である。また、全体の値を上回っているのは、六角橋で「家族や親族・知人への連絡（35.9%）」と「被災者への相談相手や話し相手（51.6%）」である。

図 高齢者（65歳以上）に期待している手助け〔性／年代別・居住地区別〕

		調査数	安否の確認	家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	（炊き出し、情報伝達など）避難場所での活動	（物資搬入、トイレ等資機材の設置）避難場所での活動	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手や話し相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	28.8	25.3	12.3	7.1	11.6	5.4	24.9	8.9	15.0	18.4	39.3	4.9	2.0	38.2
性／年代	男性 29歳以下	44	25.0	20.5	4.5	-	2.3	2.3	15.9	4.5	11.4	13.6	36.4	-	6.8	38.6
	30歳代	59	32.2	32.2	6.8	1.7	8.5	3.4	25.4	10.2	18.6	20.3	45.8	1.7	1.7	37.3
	40歳代	100	30.0	32.0	13.0	5.0	13.0	4.0	16.0	8.0	15.0	19.0	38.0	2.0	2.0	44.0
	50歳代	79	21.5	17.7	6.3	2.5	5.1	3.8	21.5	7.6	8.9	13.9	41.8	1.3	-	48.1
	60歳代	112	25.9	21.4	15.2	14.3	9.8	4.5	24.1	8.9	15.2	17.0	30.4	0.9	2.7	45.5
	70歳以上	129	32.6	28.7	13.2	11.6	15.5	8.5	20.9	7.8	16.3	14.0	30.2	10.9	1.6	41.9
	女性 29歳以下	63	23.8	22.2	3.2	1.6	15.9	1.6	23.8	4.8	11.1	17.5	49.2	4.8	1.6	30.2
	30歳代	122	40.2	32.8	13.9	2.5	10.7	3.3	29.5	9.8	12.3	23.8	44.3	0.8	3.3	30.3
	40歳代	156	29.5	26.9	11.5	4.5	9.6	6.4	26.9	7.1	14.7	17.3	49.4	0.6	1.9	30.8
	50歳代	121	24.8	20.7	9.9	4.1	5.0	1.7	25.6	6.6	10.7	15.7	47.9	-	0.8	37.2
60歳代	157	28.7	24.8	19.1	9.6	14.0	7.0	26.8	11.5	19.1	23.6	39.5	5.7	1.9	36.9	
70歳以上	167	24.6	22.2	14.4	13.2	16.8	9.6	29.9	12.0	16.8	18.6	31.7	16.2	2.4	38.3	
居住地区	青木	125	29.6	27.2	15.2	8.0	12.0	7.2	24.8	9.6	16.8	20.0	44.0	1.6	2.4	36.0
	大口七島	82	32.9	28.0	12.2	4.9	12.2	2.4	24.4	8.5	17.1	18.3	36.6	6.1	-	37.8
	片倉三枚	105	36.2	27.6	16.2	10.5	16.2	6.7	31.4	11.4	16.2	23.8	43.8	2.9	3.8	32.4
	神奈川幸ヶ谷	141	31.9	29.8	12.1	4.3	9.2	4.3	24.1	8.5	10.6	14.2	44.0	1.4	2.1	33.3
	神之木西寺尾	88	27.3	26.1	10.2	9.1	13.6	9.1	25.0	13.6	18.2	18.2	34.1	3.4	2.3	45.5
	子安入江	136	25.7	22.1	9.6	5.9	6.6	4.4	23.5	8.1	15.4	20.6	41.2	3.7	2.2	39.7
	白幡浦島丘	87	28.7	23.0	10.3	5.7	9.2	5.7	21.8	5.7	11.5	18.4	34.5	6.9	3.4	40.2
	神西神北	94	22.3	16.0	10.6	8.5	12.8	6.4	17.0	8.5	11.7	14.9	31.9	7.4	1.1	45.7
	神大寺	85	34.1	29.4	12.9	7.1	9.4	4.7	25.9	9.4	22.4	21.2	35.3	7.1	-	36.5
	菅田	96	30.2	26.0	13.5	10.4	11.5	4.2	27.1	9.4	11.5	17.7	44.8	11.5	-	37.5
	羽沢	93	16.1	18.3	8.6	3.2	7.5	4.3	22.6	4.3	9.7	14.0	30.1	3.2	2.2	45.2
	松見	71	21.1	19.7	11.3	5.6	14.1	4.2	21.1	9.9	12.7	14.1	32.4	8.5	1.4	40.8
	三ツ沢	66	28.8	24.2	12.1	3.0	7.6	1.5	28.8	4.5	15.2	13.6	42.4	-	3.0	39.4
	六角橋	64	35.9	35.9	17.2	10.9	20.3	7.8	32.8	10.9	18.8	26.6	51.6	6.3	3.1	31.3

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「被災者への相談相手や話し相手」である。それ以外では、ひとり暮らし(②)で「安否の確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)と三世代で「被災者への相談相手や話し相手(50.8%・50.7%)」、三世代で「避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)(38.4%)」である。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「被災者への相談相手や話し相手」である。

図 高齢者(65歳以上)に期待している手助け [世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

		調査数	安否の確認	の家族や親族・知人への連絡	初期消火活動	倒壊家屋からの救出	介助・応急手当	医療機関までの搬送	伝達(炊き出し、情報の伝達など)	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等)	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等)	災害状況や避難場所などの地域への伝達	備蓄品などの供給	被災者への相談相手	その他	協力できそうにない	無回答
全体		1,363	28.8	25.3	12.3	7.1	11.6	5.4	24.9	8.9	15.0	18.4	39.3	4.9	2.0	38.2	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	12.1	8.6	1.7	-	1.7	0.9	16.4	4.3	6.9	10.3	33.6	0.9	6.0	50.0	
	ひとり暮らし(②)	84	33.3	28.6	17.9	16.7	15.5	11.9	31.0	10.7	17.9	20.2	25.0	13.1	1.2	36.9	
	夫婦のみ(①)	121	34.7	28.9	13.2	3.3	7.4	0.8	23.1	10.7	11.6	19.0	47.9	0.8	1.7	33.1	
	夫婦のみ(②)	190	25.8	22.1	13.7	7.9	10.5	7.4	25.8	11.1	17.4	21.6	33.7	6.8	1.1	44.7	
	親と子(①)	124	33.1	29.8	12.9	5.6	17.7	5.6	33.1	9.7	19.4	23.4	50.8	2.4	2.4	29.0	
	親と子(②)	189	29.6	26.5	11.6	5.3	10.1	4.8	21.2	4.8	12.2	15.3	42.9	1.6	2.1	33.9	
	親と子(③)	259	30.1	27.4	13.9	10.0	13.5	5.8	23.2	8.5	15.4	15.8	36.3	9.7	1.9	37.8	
	親と子(④)	112	30.4	25.0	9.8	5.4	9.8	3.6	21.4	6.3	10.7	15.2	39.3	1.8	1.8	41.1	
	三世代	73	37.0	31.5	17.8	5.5	13.7	8.2	38.4	19.2	24.7	27.4	50.7	1.4	-	31.5	
その他	58	25.9	27.6	12.1	12.1	15.5	8.6	25.9	10.3	13.8	24.1	36.2	6.9	-	41.4		
自治会	加入している	990	29.7	26.2	13.3	8.1	12.5	6.3	26.6	9.3	15.5	18.3	39.5	5.4	1.5	37.6	
	加入していない	311	27.7	23.5	9.6	4.5	8.4	3.2	20.6	7.4	13.5	19.0	39.9	2.9	2.9	39.5	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

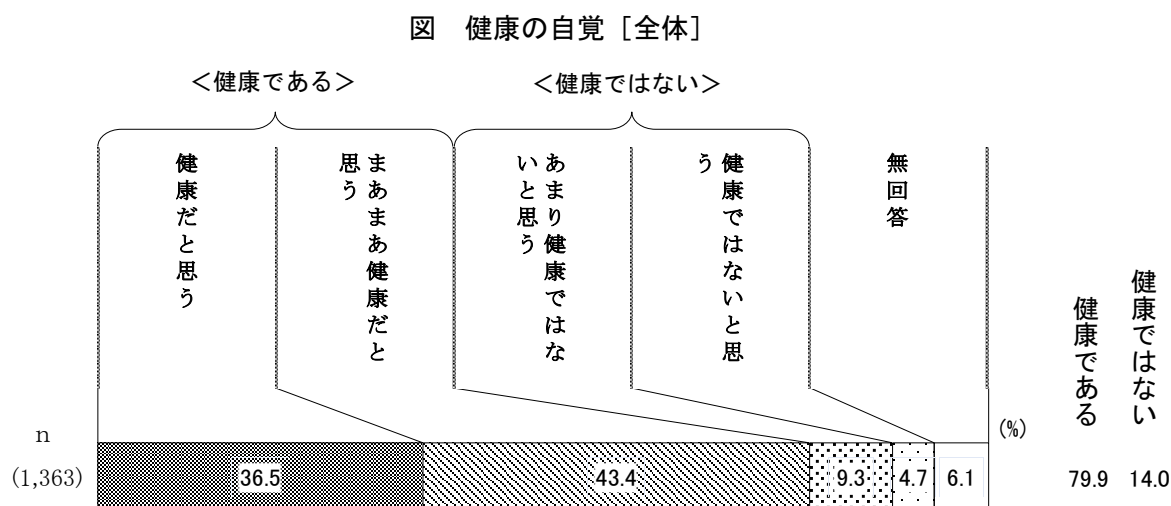
6. 健康づくりについて

(1) 健康の自覚

◇自身を健康だと思う人は79.9%

問9 あなたは健康だと思いますか。(〇は1つ)

「健康だと思う」(36.5%)と「まあまあ健康だと思う」(43.4%)を合わせた<健康である>は79.9%となっており、「あまり健康ではないと思う」(9.3%)と「健康ではないと思う」(4.7%)を合わせた<健康ではない>は14.0%となっている。



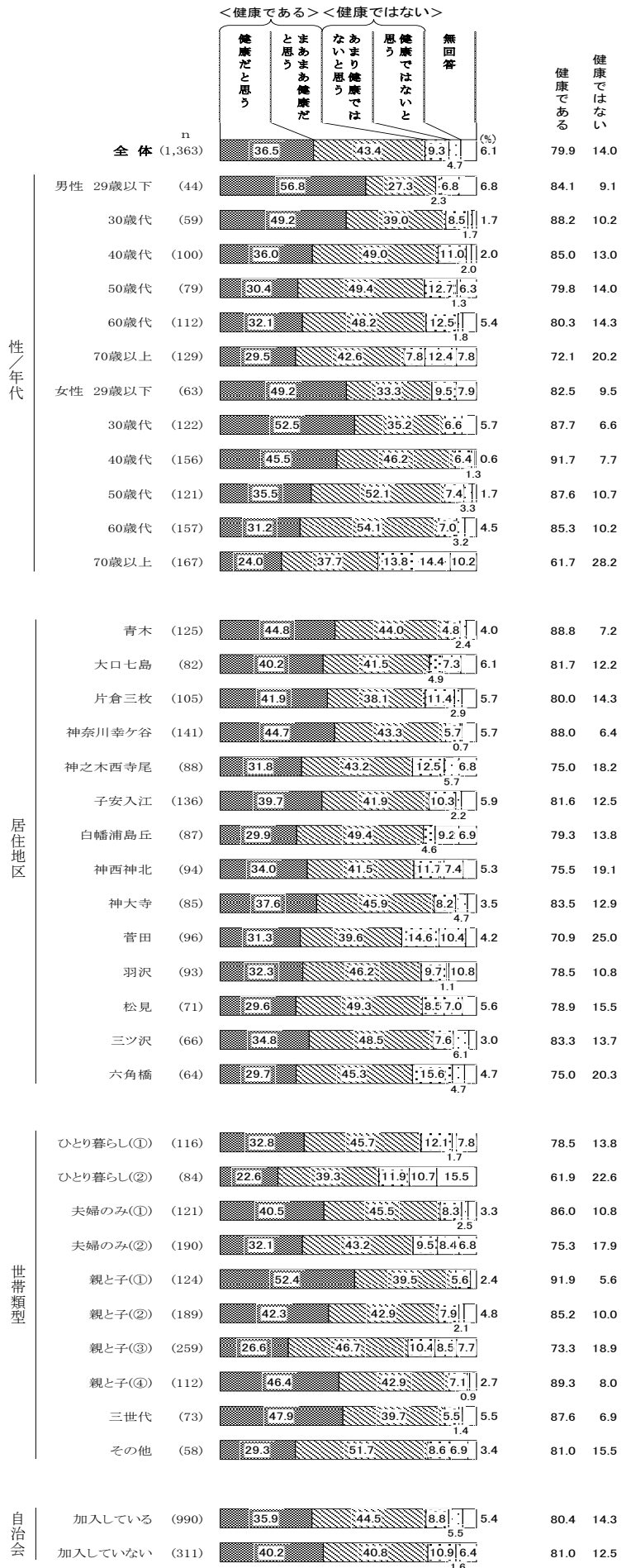
■ 健康の自覚〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、いずれも<健康である>で、特に女性の40歳代で9割強、男性の30歳代で9割弱となっている。一方、男女の70歳以上で<健康ではない>が高く、特に女性で3割弱となっている。

居住地区別で最も多いのは、いずれも<健康である>で、特に青木と神奈川幸ヶ谷で9割弱となっている。一方、<健康ではない>は菅田で2割台半ばとなっている。

世帯類型別で最も多いのは、いずれも<健康である>で、親と子(①)で9割強となっている。一方、<健康ではない>はひとり暮らし(②)で2割強となっている。

自治会町内会加入状況別では、ともに<健康である>が8割を超えて多くなっている。



(2) 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと

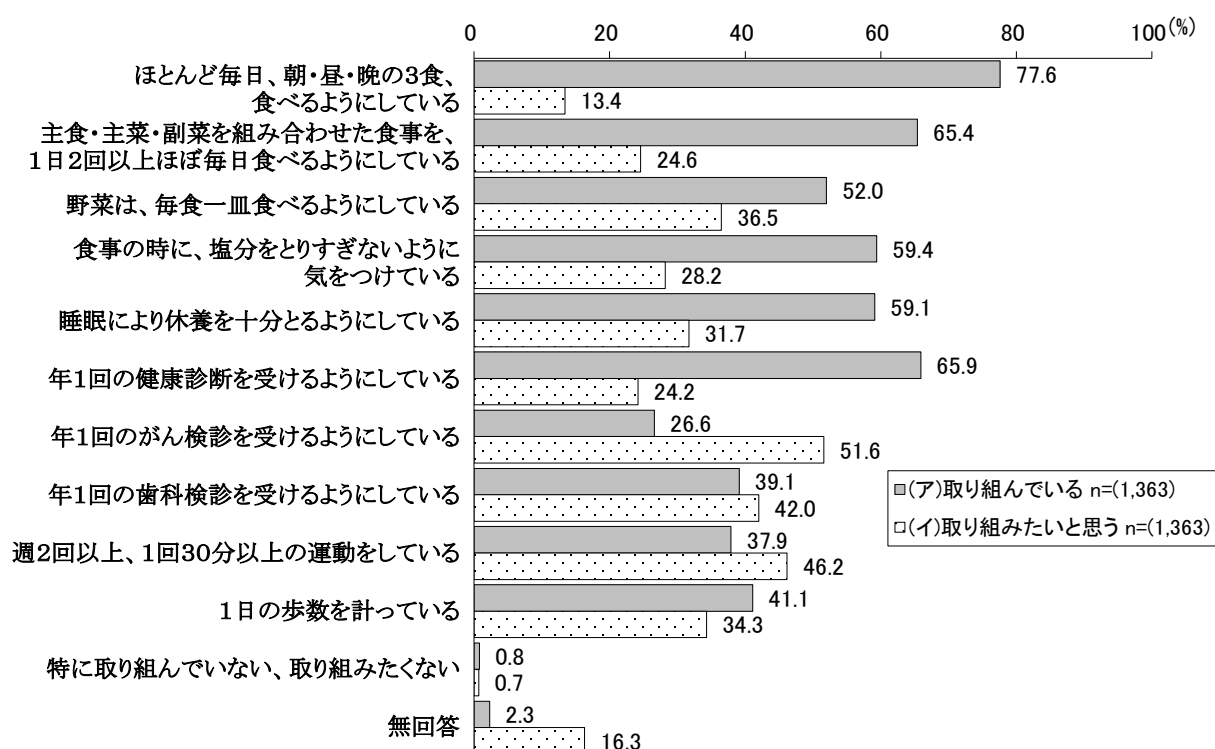
◇ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている人が77.6%、年1回のがん検診を受けるようにしたい人が51.6%

問10 あなたは日頃から健康のために（ア）取り組んでいること、（イ）取り組みたいと思うことはありますか。【（ア）、（イ）それぞれあてはまるものすべてに○】

健康のために取り組んでいることは、「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている」が77.6%で最も高くなっている。次いで、「年1回の健康診断を受けるようにしている」が65.9%、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている」が65.4%、「食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている」が59.4%、「睡眠により休養を十分とるようにしている」が59.1%、「野菜は、毎食一皿食べるようにしている」が52.0%となっている。

健康のために取り組みたいことは、「年1回のがん検診を受けるようにしている」が51.6%で最も高くなっている。次いで、「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」が46.2%、「年1回の歯科検診を受けるようにしている」が42.0%となっている。

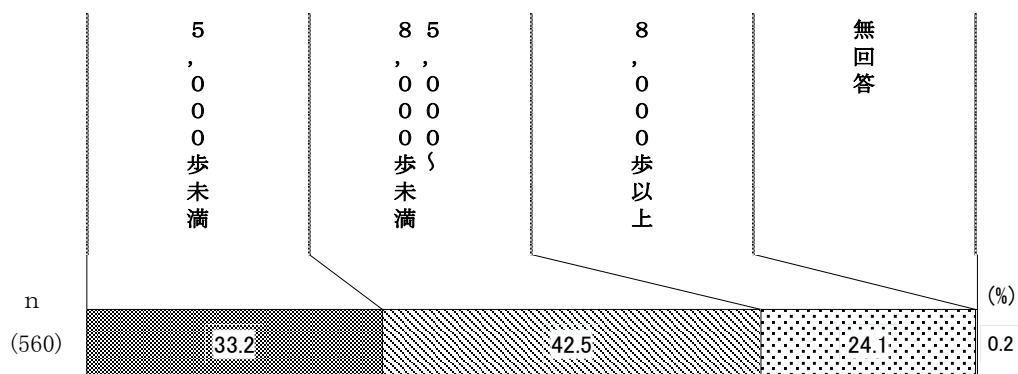
図 健康のために取り組んでいること、取り組みたいこと [全体] (複数回答)



第2章 調査結果の詳細

取り組んでいることとして「1日の歩数を計っている」を挙げた人に、1日に歩いている歩数を聞いたところ、「5,000～8,000歩未満」が42.5%で最も高く、「5,000歩未満」が33.2%、「8,000歩以上」が24.1%となっている。

図 1日に歩いている歩数 [全体]



■ 健康のために取り組んでいること [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている」である。それ以外では、男性の30歳代から50歳代で「年1回の健康診断を受けるようにしている」、女性の29歳以下で「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の70歳以上で「週2回以上、1回30分以上の運動をしている（55.0%）」と「1日の歩数を計っている（65.1%）」、女性の60歳代で「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている（82.8%）」などである。

図 健康のために取り組んでいること [性／年代別]

		調査数	ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている	野菜は、毎食一皿食べるようにしている	食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている	睡眠により休養を十分とるようにしている	年1回の健康診断を受けるようにしている	年1回のがん検診を受けるようにしている	年1回の歯科検診を受けるようにしている	週2回以上、1回30分以上の運動をしている	1日の歩数を計っている	特に取り組んでいない、取り組	無回答
全体		1,363	77.6	65.4	52.0	59.4	59.1	65.9	26.6	39.1	37.9	41.1	0.8	2.3
性／年代	男性 29歳以下	44	65.9	45.5	31.8	27.3	59.1	61.4	4.5	25.0	31.8	25.0	-	6.8
	30歳代	59	61.0	44.1	42.4	55.9	57.6	84.7	6.8	35.6	33.9	25.4	1.7	-
	40歳代	100	66.0	51.0	36.0	41.0	44.0	76.0	21.0	23.0	25.0	31.0	2.0	2.0
	50歳代	79	72.2	57.0	44.3	48.1	53.2	81.0	29.1	34.2	40.5	38.0	-	1.3
	60歳代	112	84.8	67.0	47.3	59.8	66.1	73.2	42.0	39.3	45.5	50.9	-	-
	70歳以上	129	85.3	77.5	53.5	69.8	69.8	67.4	33.3	41.1	55.0	65.1	-	3.9
	女性 29歳以下	63	52.4	57.1	55.6	54.0	54.0	52.4	6.3	41.3	23.8	27.0	-	1.6
	30歳代	122	79.5	54.9	51.6	49.2	61.5	60.7	26.2	41.8	23.0	23.8	-	4.1
	40歳代	156	83.3	66.7	60.9	58.3	54.5	69.9	32.1	35.9	27.6	35.3	1.9	1.3
	50歳代	121	76.9	66.1	61.2	71.9	55.4	72.7	33.9	42.1	37.2	35.5	1.7	0.8
60歳代	157	87.3	82.8	63.1	72.6	65.6	57.3	28.0	45.9	52.2	51.6	-	0.6	
70歳以上	167	85.0	76.6	52.7	69.5	63.5	58.7	24.6	47.9	41.3	49.1	1.2	1.8	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている」である。それ以外の地区では、大口七島で「年1回の健康診断を受けるようにしている」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島で「年1回の健康診断を受けるようにしている(79.3%)」、羽沢で「食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている(74.2%)」、三ツ沢で「野菜は、毎食一皿食べるようにしている(68.2%)」などである。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている」である。それ以外では、ひとり暮らし(①)と夫婦のみ(①)で「年1回の健康診断を受けるようにしている」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(②)と夫婦のみ(②)で「1日の歩数を計っている(58.3%・60.5%)」、夫婦のみ(①)で「年1回の健康診断を受けるようにしている(83.5%)」などである。

図 健康のために取り組んでいること〔居住地区別・世帯類型別〕

	調査数	食、ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている	主食・主菜・副菜を組み合わせ毎日食べるようにしている	野菜は、毎食一皿食べるようにしている	食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている	睡眠により休養を十分とるようにしている	年1回の健康診断を受けるようにしている	年1回のがん検診を受けるようにしている	年1回の歯科検診を受けるようにしている	週2回以上、1回30分以上の運動をしている	1日の歩数を計っている	特に取り組んでいない、取り組み	無回答	
全体	1,363	77.6	65.4	52.0	59.4	59.1	65.9	26.6	39.1	37.9	41.1	0.8	2.3	
居住地区	青木	125	80.0	72.8	52.0	55.2	58.4	63.2	31.2	38.4	40.8	43.2	0.8	0.8
	大口七島	82	78.0	65.9	51.2	56.1	65.9	79.3	28.0	40.2	45.1	36.6	3.7	1.2
	片倉三枚	105	84.8	69.5	53.3	61.9	71.4	74.3	29.5	40.0	39.0	40.0	1.0	1.0
	神奈川幸ヶ谷	141	75.2	63.8	53.2	58.2	53.9	66.0	24.8	41.1	39.7	41.8	-	2.8
	神之木西寺尾	88	81.8	73.9	55.7	60.2	53.4	70.5	26.1	38.6	39.8	46.6	1.1	1.1
	子安入江	136	70.6	55.9	52.2	55.1	52.2	68.4	22.1	35.3	26.5	36.0	1.5	0.7
	白幡浦島丘	87	83.9	67.8	46.0	64.4	64.4	69.0	32.2	50.6	36.8	46.0	-	3.4
	神西神北	94	73.4	58.5	48.9	58.5	56.4	63.8	24.5	36.2	35.1	34.0	1.1	4.3
	神大寺	85	74.1	67.1	58.8	65.9	64.7	63.5	25.9	47.1	48.2	42.4	-	1.2
	菅田	96	78.1	61.5	39.6	53.1	59.4	59.4	22.9	30.2	32.3	42.7	1.0	2.1
	羽沢	93	78.5	68.8	54.8	74.2	66.7	69.9	28.0	37.6	38.7	52.7	-	2.2
	松見	71	74.6	64.8	52.1	63.4	57.7	56.3	21.1	39.4	42.3	33.8	-	5.6
三ツ沢	66	80.3	69.7	68.2	60.6	57.6	63.6	27.3	47.0	36.4	27.3	-	-	
六角橋	64	81.3	59.4	46.9	51.6	54.7	60.9	34.4	32.8	35.9	53.1	1.6	3.1	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	59.5	39.7	28.4	46.6	50.0	66.4	12.9	25.9	27.6	29.3	5.2	2.6
	ひとり暮らし(②)	84	75.0	69.0	51.2	67.9	64.3	52.4	31.0	41.7	50.0	58.3	1.2	3.6
	夫婦のみ(①)	121	71.1	58.7	62.8	66.1	57.9	83.5	34.7	40.5	30.6	39.7	-	1.7
	夫婦のみ(②)	190	87.4	81.1	57.4	71.6	70.0	65.8	31.6	46.8	50.0	60.5	-	3.2
	親と子(①)	124	77.4	62.1	56.5	50.0	52.4	62.9	24.2	40.3	25.0	24.2	-	1.6
	親と子(②)	189	83.6	67.2	50.3	51.9	58.7	70.9	28.6	34.9	38.6	40.2	1.1	1.6
	親と子(③)	259	79.5	66.8	54.1	59.5	59.1	59.8	24.3	38.6	41.7	40.9	-	1.9
	親と子(④)	112	69.6	60.7	47.3	58.0	58.9	64.3	18.8	39.3	34.8	32.1	0.9	2.7
	三世代	73	79.5	76.7	58.9	60.3	54.8	65.8	32.9	41.1	34.2	39.7	-	5.5
	その他	58	84.5	63.8	55.2	67.2	62.1	79.3	32.8	48.3	34.5	36.2	-	-

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ 健康のために取り組みたいこと [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「年1回のがん検診を受けるようにしている」である。それ以外では、男性の29歳以下で「野菜は、毎食一皿食べるようにしている」、女性の30歳代から50歳代で「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の30歳代で「年1回のがん検診を受けるようにしている (76.3%)」、女性の29歳以下で「ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている (42.9%)」と「週2回以上、1回30分以上の運動をしている (71.4%)」などである。

図 健康のために取り組みたいこと [性／年代別]

		(%)												
		調査数	食、ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている	主食・主菜・副菜を1日2回以上組み合わせる	野菜は、毎食一皿食べるようにしている	食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている	睡眠により休養を十分とるようにしている	年1回の健康診断を受けるようにしている	年1回のがん検診を受けるようにしている	年1回の歯科検診を受けるようにしている	週2回以上、1回30分以上の運動をしている	1日の歩数を計っている	特に取り組んでいない、取り組み	無回答
全体		1,363	13.4	24.6	36.5	28.2	31.7	24.2	51.6	42.0	46.2	34.3	0.7	16.3
性／年代	男性 29歳以下	44	11.4	38.6	54.5	40.9	31.8	15.9	43.2	36.4	45.5	34.1	2.3	18.2
	30歳代	59	32.2	40.7	49.2	32.2	39.0	8.5	76.3	47.5	61.0	47.5	-	5.1
	40歳代	100	20.0	37.0	48.0	38.0	44.0	18.0	62.0	57.0	59.0	37.0	4.0	6.0
	50歳代	79	12.7	29.1	36.7	29.1	32.9	13.9	46.8	38.0	35.4	25.3	-	26.6
	60歳代	112	8.9	21.4	42.0	31.3	26.8	21.4	47.3	45.5	42.0	33.9	-	17.9
	70歳以上	129	5.4	14.7	35.7	20.9	19.4	20.9	45.0	34.9	28.7	21.7	-	27.1
	女性 29歳以下	63	42.9	34.9	34.9	38.1	41.3	39.7	73.0	47.6	71.4	50.8	-	4.8
	30歳代	122	13.1	34.4	40.2	37.7	33.6	29.5	59.0	45.9	60.7	46.7	-	11.5
	40歳代	156	12.2	29.5	34.6	28.8	37.2	28.2	51.9	50.6	58.3	46.2	-	7.7
	50歳代	121	14.9	24.0	27.3	25.6	36.4	23.1	50.4	43.8	52.1	40.5	-	11.6
60歳代	157	8.9	12.1	28.7	20.4	27.4	31.2	51.6	40.8	37.6	26.8	0.6	15.3	
70歳以上	167	6.0	14.4	33.5	21.0	26.3	23.4	39.5	28.7	33.5	21.6	1.8	25.1	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

居住地区別で最も多いのは、いずれの地区でも「年1回のがん検診を受けるようにしている」である。また、全体の値を特に上回っているのは、菅田で「野菜は、毎食一皿食べるようにしている(50.0%)」、六角橋で「野菜は、毎食一皿食べるようにしている(46.9%)」と「年1回の健康診断を受けるようにしている(34.4%)」である。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「年1回のがん検診を受けるようにしている」である。それ以外では、ひとり暮らし(①)で「野菜は、毎食一皿食べるようにしている」、夫婦のみ(①)と親と子(①)で「週2回以上、1回30分以上の運動をしている」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし(①)で「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている(41.4%)」と「野菜は、毎食一皿食べるようにしている(53.4%)」、親と子(①)で「週2回以上、1回30分以上の運動をしている(62.9%)」と「1日の歩数を計っている(50.8%)」などである。

図 健康のために取り組みたいこと [居住地区別・世帯類型別]

		(%)												
調査数	食、ほとんど毎日、朝食・昼・晩の3食、食べるようにしている	日た食事を、1日2回以上ほぼ毎	主食・主菜・副菜を組み合わせた	野菜は、毎食一皿食べるようにしている	食事の時に、塩分をとりすぎない	睡眠により休養を十分とるよう	年1回の健康診断を受けるよう	年1回のがん検診を受けるよう	年1回の歯科検診を受けるよう	週2回以上、1回30分以上の	1日の歩数を計っている	特に取り組んでいない、取り組	無回答	
全体	1,363	13.4	24.6	36.5	28.2	31.7	24.2	51.6	42.0	46.2	34.3	0.7	16.3	
居住地区	青木	125	12.0	19.2	36.8	28.8	35.2	25.6	47.2	45.6	44.8	30.4	-	19.2
	大口七島	82	7.3	19.5	35.4	30.5	23.2	11.0	51.2	35.4	32.9	34.1	2.4	17.1
	片倉三枚	105	8.6	25.7	41.9	33.3	26.7	22.9	59.0	50.5	54.3	42.9	-	10.5
	神奈川幸ヶ谷	141	16.3	27.0	38.3	29.1	38.3	24.1	48.2	37.6	45.4	34.8	0.7	12.1
	神之木西寺尾	88	14.8	22.7	34.1	28.4	37.5	22.7	51.1	46.6	48.9	31.8	-	13.6
	子安入江	136	16.9	30.1	31.6	31.6	36.0	25.0	58.1	47.8	55.9	39.0	1.5	14.7
	白幡浦島丘	87	8.0	24.1	43.7	21.8	27.6	21.8	50.6	34.5	47.1	32.2	-	19.5
	神西神北	94	14.9	26.6	31.9	27.7	33.0	21.3	44.7	31.9	40.4	29.8	-	24.5
	神大寺	85	15.3	24.7	35.3	23.5	23.5	27.1	54.1	37.6	37.6	36.5	-	20.0
	菅田	96	16.7	28.1	50.0	35.4	30.2	28.1	57.3	49.0	54.2	34.4	1.0	9.4
	羽沢	93	10.8	21.5	30.1	16.1	23.7	18.3	48.4	43.0	46.2	32.3	1.1	19.4
	松見	71	15.5	26.8	35.2	28.2	32.4	28.2	54.9	43.7	40.8	39.4	1.4	18.3
	三ツ沢	66	12.1	18.2	22.7	25.8	34.8	27.3	51.5	36.4	48.5	39.4	3.0	13.6
六角橋	64	15.6	31.3	46.9	35.9	37.5	34.4	48.4	46.9	46.9	23.4	-	14.1	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	22.4	41.4	53.4	31.0	36.2	20.7	52.6	44.8	50.9	29.3	1.7	12.9
	ひとり暮らし(②)	84	9.5	15.5	35.7	20.2	19.0	31.0	41.7	33.3	26.2	25.0	4.8	22.6
	夫婦のみ(①)	121	18.2	33.1	30.6	22.3	33.9	13.2	48.8	47.1	62.0	36.4	0.8	12.4
	夫婦のみ(②)	190	5.3	9.5	32.1	20.0	21.6	21.1	45.8	32.6	35.3	22.6	0.5	23.2
	親と子(①)	124	18.5	27.4	36.3	39.5	40.3	29.0	60.5	46.8	62.9	50.8	0.8	8.9
	親と子(②)	189	12.2	28.0	42.3	35.4	36.0	23.8	55.0	49.2	50.3	41.3	-	14.3
	親と子(③)	259	11.6	24.7	34.0	29.7	32.4	29.3	51.7	43.6	40.9	34.7	-	18.1
	親と子(④)	112	20.5	28.6	38.4	27.7	33.0	27.7	58.0	39.3	48.2	37.5	-	13.4
	三世代	73	9.6	13.7	26.0	26.0	27.4	19.2	42.5	39.7	41.1	31.5	-	21.9
	その他	58	8.6	25.9	29.3	25.9	34.5	17.2	62.1	41.4	50.0	34.5	1.7	10.3

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

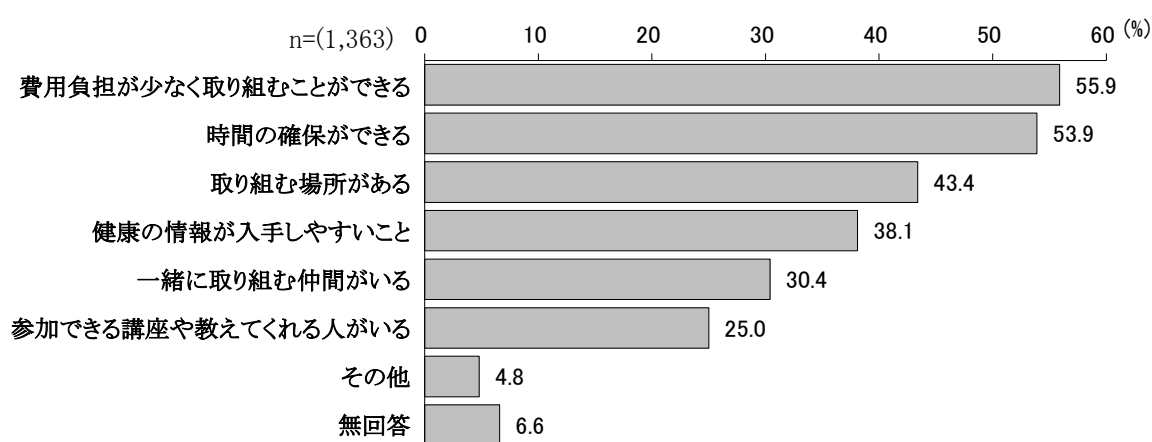
(3) 健康のための取組に必要なこと

◇「費用負担が少なく取り組むことができる」「時間の確保ができる」を5割以上の方が挙げている

問11 健康のための取組をするにはどのようなことがあればできるようになると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

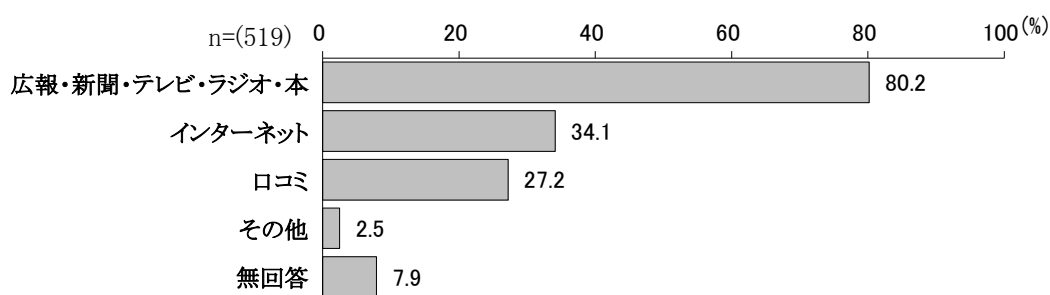
健康のための取組に必要なことは、「費用負担が少なく取り組むことができる」が55.9%で最も高く、次いで「時間の確保ができる」が53.9%である。以下、「取り組む場所がある」が43.4%、「健康の情報が入手しやすいこと」が38.1%で続いている。

図 健康のための取組に必要なこと [全体] (複数回答)



必要なことに「健康の情報が入手しやすいこと」を挙げた人に、情報を入手したい媒体を聞いたところ、「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」が80.2%で最も高くなっている。次いで「インターネット」が34.1%、「口コミ」が27.2%となっている。

図 情報を入手したい媒体 [全体] (複数回答)



■ 健康のための取組に必要なこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

性／年代別で最も多いのは、男女の60歳代、男性の70歳以上、女性の29歳以下と50歳代で「費用負担が少なく取り組むことができる」である。それ以外では、男性の29歳以下から50歳代、女性の40歳代で「時間の確保ができる」、70歳代の女性で「健康の情報が入手しやすいこと」、女性の30歳代で「時間の確保ができる」と「費用負担が少なく取り組むことができる」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の30歳代で「時間の確保ができる（76.3%）」、女性の29歳以下で「一緒に取り組む仲間がいる（49.2%）」、女性の50歳代で「参加できる講座や教えてくれる人がある（43.0%）」、女性の60歳代で「健康の情報が入手しやすいこと（61.1%）」などである。

図 健康のための取組に必要なこと〔性／年代別〕

		調査数	時間の確保ができる	費用負担が少なく取り組むことができる	取り組む場所がある	参加できる講座や教えてくれる人がある	一緒に取り組む仲間がいる	健康の情報が入手しやすいこと	その他	無回答
全体		1,363	53.9	55.9	43.4	25.0	30.4	38.1	4.8	6.6
性／年代	男性 29歳以下	44	63.6	61.4	52.3	13.6	31.8	18.2	-	13.6
	30歳代	59	76.3	52.5	57.6	15.3	32.2	16.9	1.7	1.7
	40歳代	100	68.0	56.0	45.0	17.0	25.0	24.0	7.0	3.0
	50歳代	79	67.1	43.0	41.8	6.3	15.2	22.8	2.5	7.6
	60歳代	112	51.8	57.1	46.4	23.2	20.5	41.1	5.4	3.6
	70歳以上	129	31.8	47.3	38.0	22.5	29.5	46.5	9.3	13.2
	女性 29歳以下	63	65.1	71.4	50.8	14.3	49.2	30.2	-	1.6
	30歳代	122	68.0	68.0	45.9	30.3	41.8	25.4	4.1	4.9
	40歳代	156	66.7	65.4	43.6	26.9	29.5	29.5	4.5	2.6
	50歳代	121	61.2	62.0	43.8	43.0	31.4	43.0	5.0	1.7
60歳代	157	45.9	66.9	47.1	39.5	31.8	61.1	1.3	5.7	
70歳以上	167	28.1	37.1	34.1	21.6	31.1	53.3	7.8	12.0	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

居住地区別で最も多いのは、半数以上の地区で「費用負担が少なく取り組むことができる」である。それ以外の地区では、青木、神西神北、羽沢、三ツ沢で「時間の確保ができる」、白幡浦島丘で「時間の確保ができる」と「取り組む場所がある」が並び、六角橋で「費用負担が少なく取り組むことができる」と「取り組む場所がある」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、子安入江と六角橋で「取り組む場所がある（54.4%・56.3%）」、神大寺で「一緒に取り組む仲間がいる（41.2%）」などである。

世帯類型別で最も多いのは、半数の地区で「時間の確保ができる」である。それ以外では、ひとり暮らし(②)、夫婦のみ(①)、親と子(③)、三世代で「費用負担が少なく取り組むことができる」、夫婦のみ(②)で「健康の情報が入手しやすいこと」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは親と子(①)で「時間の確保ができる(75.8%)」、夫婦のみ(②)で「健康の情報が入手しやすいこと(52.6%)」、三世代で「費用負担が少なく取り組むことができる(69.9%)」などである。

図 健康のための取組に必要なこと〔居住地区別・世帯類型別〕

		調査数	時間の確保ができる	費用負担が少なく取り組むことができる	取り組む場所がある	参加できる人講座や教	一緒に取り組む仲間	健康の情報が入手しやすいこと	その他	無回答
全体		1,363	53.9	55.9	43.4	25.0	30.4	38.1	4.8	6.6
居住地区	青木	125	61.6	57.6	40.8	26.4	26.4	37.6	4.8	5.6
	大口七島	82	45.1	51.2	34.1	20.7	30.5	43.9	7.3	8.5
	片倉三枚	105	58.1	61.9	47.6	27.6	29.5	38.1	4.8	1.9
	神奈川幸ヶ谷	141	53.2	62.4	38.3	23.4	31.9	29.8	2.8	6.4
	神之木西寺尾	88	54.5	55.7	40.9	31.8	30.7	45.5	1.1	3.4
	子安入江	136	60.3	64.0	54.4	24.3	28.7	27.2	3.7	2.2
	白幡浦島丘	87	48.3	46.0	48.3	25.3	28.7	43.7	5.7	8.0
	神西神北	94	52.1	50.0	40.4	24.5	22.3	35.1	7.4	12.8
	神大寺	85	51.8	58.8	44.7	35.3	41.2	41.2	5.9	7.1
	菅田	96	45.8	50.0	32.3	19.8	33.3	44.8	6.3	10.4
	羽沢	93	61.3	54.8	45.2	22.6	31.2	46.2	2.2	5.4
	松見	71	52.1	54.9	50.7	19.7	28.2	39.4	5.6	7.0
	三ツ沢	66	56.1	54.5	43.9	27.3	36.4	34.8	9.1	6.1
	六角橋	64	51.6	56.3	56.3	25.0	29.7	34.4	4.7	6.3
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	61.2	53.4	43.1	12.1	25.0	20.7	2.6	5.2
	ひとり暮らし(②)	84	31.0	47.6	39.3	27.4	26.2	46.4	7.1	15.5
	夫婦のみ(①)	121	59.5	62.8	51.2	28.1	28.9	28.1	4.1	2.5
	夫婦のみ(②)	190	32.6	45.3	36.8	27.4	31.1	52.6	6.8	10.0
	親と子(①)	124	75.8	63.7	50.8	29.0	37.9	26.6	6.5	4.8
	親と子(②)	189	64.0	63.5	46.0	24.3	35.4	34.4	2.1	1.1
	親と子(③)	259	48.6	53.7	42.1	26.6	28.2	45.2	5.8	8.1
	親と子(④)	112	60.7	57.1	45.5	18.8	30.4	35.7	0.9	8.0
	三世代	73	63.0	69.9	41.1	30.1	28.8	43.8	4.1	5.5
その他	58	56.9	53.4	44.8	29.3	27.6	39.7	10.3	3.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ 情報を入手したい媒体 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

性／年代別で最も多いのは、男女の60歳代と70歳以上、女性の40歳代と50歳代で「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」である。それ以外では、女性の30歳代で「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」と「インターネット」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を上回っているのは、女性の30歳代から50歳代で「インターネット（58.1%・47.8%・50.0%）」などである。

図 情報を入手したい媒体 [性／年代別]

			ラ ジ オ ・ 新 聞 ・ 本	イ ン タ ー ネ ッ ト	ロ コ ミ	そ の 他	(%) 無 回 答
全 体		519	80.2	34.1	27.2	2.5	7.9
性 ／ 年 代	男性 29歳以下	8	75.0	75.0	12.5	-	-
	30歳代	10	60.0	60.0	10.0	-	10.0
	40歳代	24	62.5	66.7	12.5	-	16.7
	50歳代	18	61.1	61.1	16.7	-	11.1
	60歳代	46	71.7	39.1	15.2	-	13.0
	70歳以上	60	85.0	23.3	21.7	5.0	5.0
	女性 29歳以下	19	73.7	68.4	52.6	-	5.3
	30歳代	31	58.1	58.1	25.8	6.5	16.1
	40歳代	46	78.3	47.8	23.9	-	10.9
	50歳代	52	84.6	50.0	40.4	3.8	7.7
60歳代	96	91.7	20.8	31.3	2.1	3.1	
70歳以上	89	87.6	4.5	30.3	3.4	5.6	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

居住地区別で最も多いのは、いずれの地区でも「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」である。また、全体の値を特に上回っているのは、神奈川幸ヶ谷と神大寺で「インターネット（52.4%・45.7%）」などである。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「広報・新聞・テレビ・ラジオ・本」である。それ以外では、親と子（①）で「インターネット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、夫婦のみ（①）、親と子（①）、親と子（④）で「インターネット（50.0%・66.7%・50.0%）」、親と子（①）で「口コミ（42.4%）」などである。

図 情報を入手したい媒体〔居住地区別・世帯類型別〕

		調査数	ラジ 報 オ ・ 新 聞 ・ テ レ ビ ・ 電 話 ・ 本				無 回 答
			イ ン タ ー ネ ッ ト	ロ コ ミ	そ の 他	(%)	
全 体		519	80.2	34.1	27.2	2.5	7.9
居 住 地 区	青木	47	87.2	27.7	29.8	4.3	8.5
	大口七島	36	77.8	25.0	25.0	2.8	13.9
	片倉三枚	40	87.5	35.0	35.0	2.5	2.5
	神奈川幸ヶ谷	42	83.3	52.4	23.8	7.1	-
	神之木西寺尾	40	77.5	35.0	20.0	7.5	5.0
	子安入江	37	73.0	43.2	27.0	-	13.5
	白幡浦島丘	38	73.7	23.7	23.7	-	15.8
	神西神北	33	78.8	30.3	21.2	-	6.1
	神大寺	35	82.9	45.7	31.4	-	11.4
	菅田	43	88.4	23.3	23.3	-	2.3
	羽沢	43	67.4	37.2	34.9	4.7	9.3
	松見	28	89.3	35.7	25.0	-	7.1
	三ツ沢	23	87.0	30.4	21.7	-	4.3
六角橋	22	68.2	31.8	40.9	-	9.1	
世 帯 類 型	ひとり暮らし(①)	24	83.3	45.8	25.0	-	4.2
	ひとり暮らし(②)	39	94.9	5.1	25.6	2.6	-
	夫婦のみ(①)	34	73.5	50.0	17.6	-	11.8
	夫婦のみ(②)	100	85.0	16.0	27.0	2.0	8.0
	親と子(①)	33	63.6	66.7	42.4	6.1	12.1
	親と子(②)	65	84.6	46.2	21.5	-	6.2
	親と子(③)	117	80.3	28.2	27.4	3.4	9.4
	親と子(④)	40	65.0	50.0	37.5	2.5	7.5
	三世代	32	78.1	43.8	25.0	3.1	6.3
その他	23	78.3	34.8	26.1	4.3	13.0	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

7. 高齢期について

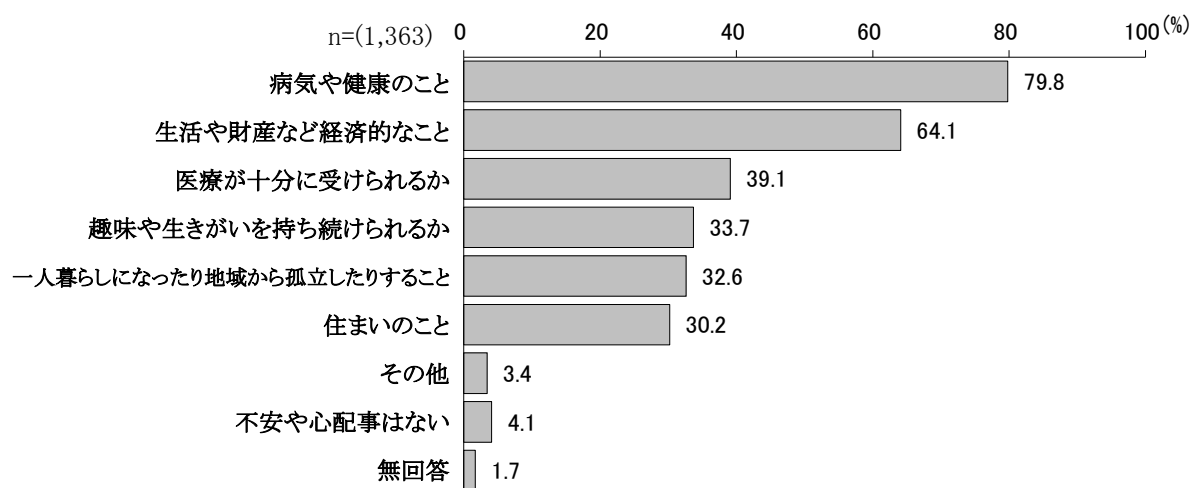
(1) 高齢期に関して不安なこと

◇「病気や健康のこと」を79.8%、「生活や財産など経済的なこと」を64.1%の人が挙げている

問12 高齢期に関して不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢期に関して不安なことは、「病気や健康のこと」が79.8%で最も高くなっている。次いで、「生活や財産など経済的なこと」が64.1%、「医療が十分に受けられるか」が39.1%、「趣味や生きがいを持ち続けられるか」が33.7%、「一人暮らしになったり地域から孤立したりすること」が32.6%、「住まいのこと」が30.2%となっている。一方、「不安や心配事はない」は4.1%となっている。

図 高齢期に関して不安なこと [全体] (複数回答)



■ 高齢期に関して不安なこと [性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

性/年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「病気や健康のこと」である。それ以外では、男性の30歳代、女性の29歳以下から40歳代で「生活や財産など経済的なこと」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下から40歳代で「生活や財産など経済的なこと (81.0%・89.3%・81.4%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、いずれの地区でも「病気や健康のこと」である。また、全体の値を特に上回っているのは、三ツ沢で「住まいのこと (42.4%)」である。

世帯類型別で最も多いのは、いずれも「病気や健康のこと」である。また、全体の値を特に上回っているのは、夫婦のみ (①) で「一人暮らしになったり地域から孤立したりすること (47.1%)」、その他で「一人暮らしになったり地域から孤立すること (46.6%)」と「医療が十分に受けられるか (56.9%)」などである。

図 高齢期に関して不安なこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

		調査数	病 気 や 健 康 の こ と	生 活 や 財 産 な ど 経 済 的 な こ と	住 ま い の こ と	し た り 地 域 か ら 孤 立 し た り す る こ と	一 人 暮 ら し に な っ た ら 医 療 が 十 分 に 受 け ら れ る か	持 ち 続 け ら れ る か を い か ん が い か を	そ の 他	い ん ち な い 不 安 や 心 配 事 は な い	無 回 答
全 体		1,363	79.8	64.1	30.2	32.6	39.1	33.7	3.4	4.1	1.7
性 ／ 年 代	男性 29歳以下	44	59.1	56.8	34.1	34.1	36.4	29.5	4.5	11.4	2.3
	30歳代	59	76.3	78.0	42.4	33.9	47.5	28.8	1.7	1.7	1.7
	40歳代	100	80.0	65.0	32.0	38.0	44.0	27.0	-	5.0	2.0
	50歳代	79	83.5	64.6	26.6	36.7	31.6	30.4	1.3	3.8	-
	60歳代	112	85.7	54.5	25.0	20.5	33.0	31.3	-	4.5	-
	70歳以上	129	84.5	49.6	24.8	35.7	38.8	38.8	7.0	3.9	2.3
	女性 29歳以下	63	66.7	81.0	23.8	33.3	52.4	31.7	4.8	3.2	3.2
	30歳代	122	79.5	89.3	45.1	35.2	49.2	39.3	4.1	1.6	1.6
	40歳代	156	75.0	81.4	37.8	34.0	32.7	32.7	3.8	1.9	1.3
	50歳代	121	87.6	70.2	37.2	35.5	43.8	39.7	3.3	4.1	-
60歳代	157	84.7	59.2	25.5	34.4	41.4	37.6	1.9	3.8	1.3	
70歳以上	167	79.0	41.9	18.6	24.0	30.5	30.5	4.2	6.6	4.2	
居 住 地 区	青木	125	79.2	64.0	31.2	35.2	33.6	36.8	4.0	3.2	0.8
	大口七島	82	82.9	58.5	30.5	31.7	37.8	35.4	2.4	2.4	1.2
	片倉三枚	105	82.9	67.6	35.2	35.2	40.0	33.3	4.8	1.9	1.9
	神奈川幸ヶ谷	141	79.4	66.7	25.5	30.5	39.0	29.8	2.1	5.0	2.8
	神之木西寺尾	88	77.3	64.8	26.1	27.3	36.4	35.2	3.4	1.1	2.3
	子安入江	136	78.7	66.2	32.4	27.9	38.2	29.4	1.5	5.1	0.7
	白幡浦島丘	87	80.5	57.5	27.6	32.2	34.5	36.8	4.6	6.9	2.3
	神西神北	94	76.6	63.8	25.5	35.1	37.2	35.1	5.3	3.2	2.1
	神大寺	85	76.5	72.9	36.5	35.3	42.4	42.4	1.2	4.7	-
	菅田	96	80.2	65.6	31.3	38.5	42.7	25.0	4.2	5.2	2.1
	羽沢	93	86.0	61.3	25.8	34.4	45.2	41.9	2.2	5.4	2.2
	松見	71	81.7	57.7	23.9	33.8	35.2	26.8	1.4	5.6	1.4
	三ツ沢	66	80.3	65.2	42.4	37.9	42.4	30.3	7.6	-	1.5
	六角橋	64	79.7	62.5	32.8	20.3	43.8	34.4	6.3	6.3	1.6
世 帯 類 型	ひとり暮らし(①)	116	75.0	74.1	38.8	35.3	33.6	25.9	3.4	6.9	-
	ひとり暮らし(②)	84	76.2	34.5	23.8	31.0	33.3	35.7	7.1	4.8	8.3
	夫婦のみ(①)	121	81.0	76.9	40.5	47.1	37.2	37.2	2.5	-	1.7
	夫婦のみ(②)	190	82.1	48.4	21.6	37.9	36.3	35.3	4.7	4.7	1.6
	親と子(①)	124	78.2	76.6	36.3	29.8	46.8	37.9	5.6	3.2	3.2
	親と子(②)	189	76.2	72.0	29.1	24.9	42.9	32.8	2.1	5.3	1.1
	親と子(③)	259	86.1	62.2	25.5	32.0	39.0	32.0	3.5	3.9	0.8
	親と子(④)	112	78.6	66.1	30.4	25.9	33.0	29.5	0.9	5.4	1.8
	三世帯	73	74.0	64.4	28.8	21.9	37.0	38.4	1.4	4.1	-
その他	58	84.5	65.5	43.1	46.6	56.9	39.7	3.4	1.7	1.7	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

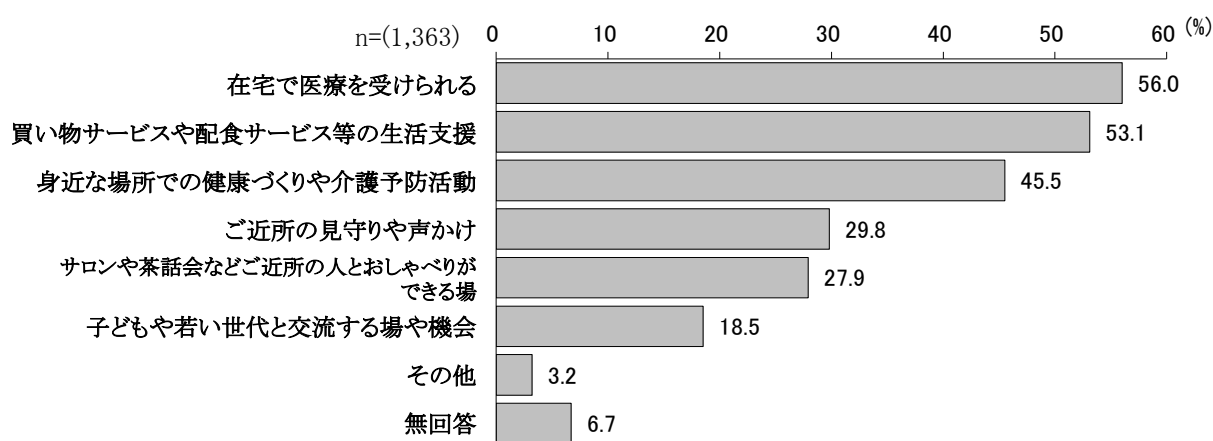
(2) 高齢期において受けてみたい支援（サービス）

◇「在宅で医療を受けられる」「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」がいずれも過半数

問13 高齢期においてどんな支援（サービス）を受けたいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

高齢期において受けてみたい支援（サービス）は、「在宅で医療を受けられる」が56.0%で最も高く、次いで「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が53.1%である。以下、「身近な場所での健康づくりや介護予防活動」が45.5%、「ご近所の見守りや声かけ」が29.8%、「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場」が27.9%、「子どもや若い世代と交流する場や機会」が18.5%となっている。

図 高齢期において受けてみたい支援（サービス）[全体]（複数回答）



■ 高齢期において受けてみたい支援（サービス）[性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、男性の40歳代、男女の60歳代と70歳以上で「在宅で医療を受けられる」、男性の29歳以下、男女の30歳代と50歳代、女性の40歳代で「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」である。それ以外では、女性の29歳以下で「在宅で医療を受けられる」と「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下で「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場（42.9%）」30歳代の女性で「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場（45.1%）」、「買い物サービスや配食サービス等の生活支援（75.4%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「在宅で医療を受けられる」である。それ以外の地区では、青木で「身近な場所での健康づくりや介護予防活動」、片倉三枚、子安入江、神大寺、三ツ沢で「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、青木で「身近な場所での健康づくりや介護予防活動（56.8%）」、菅田で「在宅で医療を受けられる（66.7%）」である。

世帯類型別で最も多いのは、半数の類型で「在宅で医療を受けられる」である。それ以外では、ひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)、親と子(①)、その他で「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」、親と子(④)で「在宅で医療を受けられる」と「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場(40.3%)」、「買い物サービスや配食サービス等の生活支援(66.9%)」、その他で「買い物サービスや配食サービス等の生活支援(69.0%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、加入者で「在宅で医療を受けられる」、未加入者で「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」である。

図 高齢期において受けたい支援(サービス)
[性/年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

		調査数	在宅で医療を受けられる	かご近所の見守りや声かけ	動き回りや介護予防の健康な場所での生活	サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場	買い物サービス等の生活支援	交流する場や若い世代と	その他	無回答
全体		1,363	56.0	29.8	45.5	27.9	53.1	18.5	3.2	6.7
性/年代	男性 29歳以下	44	54.5	22.7	34.1	25.0	56.8	20.5	2.3	9.1
	30歳代	59	57.6	35.6	44.1	18.6	67.8	15.3	3.4	3.4
	40歳代	100	65.0	22.0	45.0	20.0	52.0	21.0	4.0	9.0
	50歳代	79	50.6	19.0	36.7	22.8	51.9	10.1	-	7.6
	60歳代	112	53.6	17.9	37.5	13.4	42.9	8.9	4.5	6.3
	70歳以上	129	62.8	23.3	51.9	26.4	38.0	16.3	3.1	10.1
	女性 29歳以下	63	49.2	42.9	42.9	42.9	49.2	30.2	-	7.9
	30歳代	122	63.9	42.6	48.4	45.1	75.4	30.3	2.5	3.3
	40歳代	156	45.5	32.7	52.6	34.6	62.8	23.7	5.1	3.8
	50歳代	121	54.5	37.2	57.0	31.4	64.5	17.4	4.1	2.5
60歳代	157	58.0	33.1	52.9	23.6	54.8	18.5	1.9	3.2	
70歳以上	167	55.1	29.3	32.9	28.1	37.1	14.4	3.0	13.2	
居住地区	青木	125	52.0	33.6	56.8	29.6	53.6	25.6	3.2	4.0
	大口七島	82	59.8	31.7	48.8	34.1	51.2	20.7	2.4	4.9
	片倉三枚	105	57.1	32.4	44.8	36.2	61.9	20.0	4.8	2.9
	神奈川幸ヶ谷	141	52.5	29.8	44.0	24.8	51.1	19.9	2.1	8.5
	神之木西寺尾	88	60.2	36.4	37.5	31.8	51.1	14.8	1.1	9.1
	子安入江	136	50.0	29.4	50.0	28.7	58.1	19.9	2.2	4.4
	白幡浦島丘	87	52.9	26.4	42.5	32.2	44.8	21.8	5.7	8.0
	神西神北	94	52.1	21.3	44.7	18.1	45.7	18.1	4.3	6.4
	神大寺	85	57.6	27.1	47.1	28.2	61.2	20.0	2.4	7.1
	菅田	96	66.7	22.9	38.5	20.8	53.1	11.5	3.1	8.3
	羽沢	93	58.1	30.1	43.0	21.5	54.8	15.1	3.2	9.7
	松見	71	59.2	33.8	43.7	23.9	42.3	9.9	1.4	7.0
	三ツ沢	66	57.6	37.9	47.0	34.8	59.1	16.7	3.0	10.6
六角橋	64	59.4	29.7	42.2	28.1	57.8	17.2	4.7	3.1	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	45.7	22.4	35.3	25.9	53.4	11.2	5.2	10.3
	ひとり暮らし(②)	84	52.4	29.8	40.5	22.6	45.2	13.1	2.4	13.1
	夫婦のみ(①)	121	52.1	36.4	53.7	37.2	65.3	23.1	4.1	3.3
	夫婦のみ(②)	190	60.5	30.5	43.2	26.3	42.6	18.4	2.1	6.3
	親と子(①)	124	50.8	40.3	54.8	40.3	66.9	30.6	5.6	5.6
	親と子(②)	189	55.0	26.5	47.1	27.0	51.9	22.2	1.6	6.9
	親と子(③)	259	61.8	27.0	44.4	25.9	50.2	13.9	1.9	8.1
	親と子(④)	112	54.5	27.7	47.3	26.8	54.5	15.2	3.6	4.5
三世代	73	58.9	34.2	52.1	24.7	47.9	24.7	2.7	-	
その他	58	63.8	29.3	36.2	22.4	69.0	12.1	3.4	6.9	
自治会	加入している	990	58.5	31.2	48.0	27.6	52.9	18.7	2.5	5.5
	加入していない	311	50.2	26.0	39.2	29.9	57.9	17.0	3.5	10.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

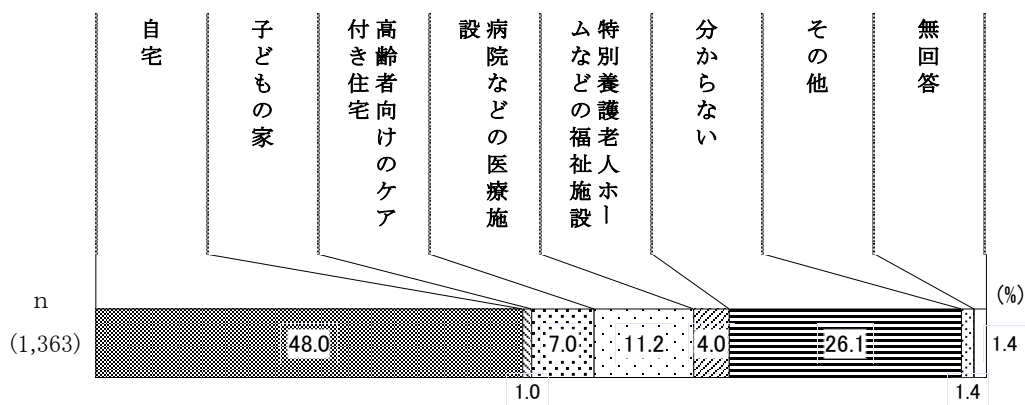
(3) 人生の最期を迎えたい場所

◇「自宅」が48.0%

問14 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

人生の最期を迎えたい場所としては、「自宅」が48.0%で最も高い。次いで「病院などの医療施設」が11.2%、「高齢者向けのケア付き住宅」が7.0%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」が4.0%となっている。一方、「分からない」は26.1%となっている。

図 人生の最期を迎えたい場所 [全体]



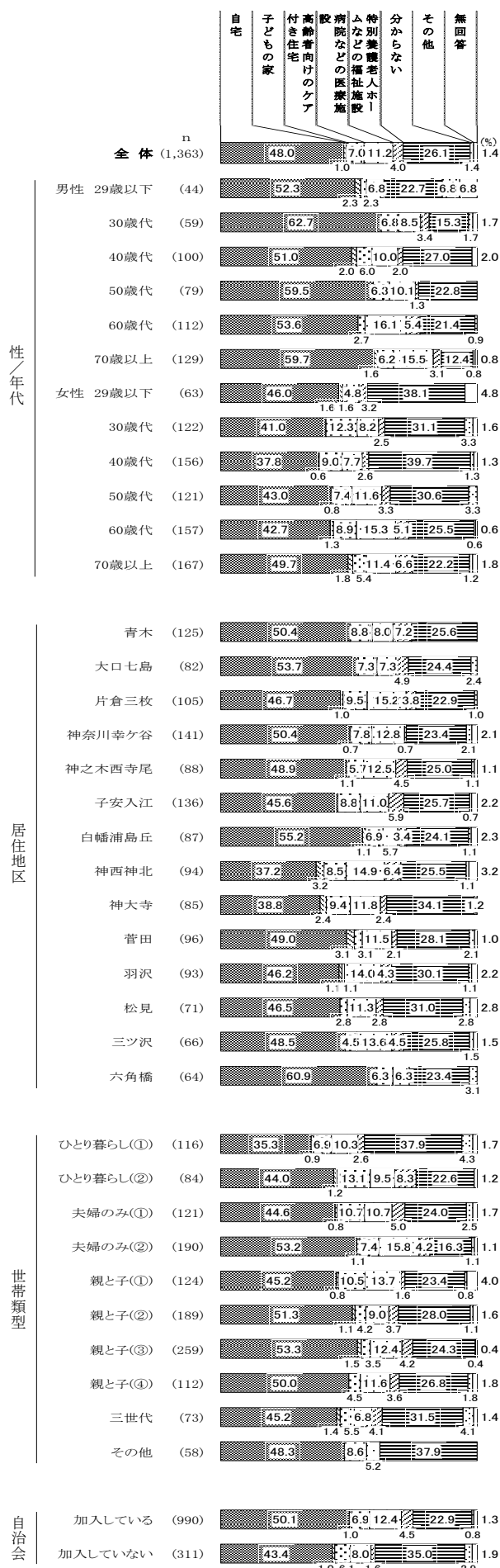
■ 人生の最期を迎えたい場所〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、女性の40歳代を除き「自宅」となっている。男女の60歳代、男性の70歳以上で「病院などの医療施設」が1割台半ばを超えている。女性の29歳以下から50歳代では「分からない」が3割を超えている。

居住地区別で最も多いのは、いずれも「自宅」で、特に六角橋で6割を超えている。片倉三枚、神西神北、羽沢で「病院などの医療施設」が1割台半ばとなっている。

世帯類型別で最も多いのは、ひとり暮らし(①)を除き「自宅」で、特に夫婦のみ(②)、親と子(②)、親と子(③)、親と子(④)では5割以上となっている。また、夫婦のみ(②)で「病院などの医療施設」が1割台半ばとなっている。

自治会町内会加入状況別では、「自宅」がともに多く、加入者の方が未加入者より6.7ポイント高くなっている。



8. ご近所との関わりについて

(1) 隣近所とのつき合い方

◇ 普段のつき合い方は「道で会えば挨拶ぐらいはする」が41.4%、今後のつき合い方は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」が30.7%

問15 隣近所とのつき合い方についておたずねします。

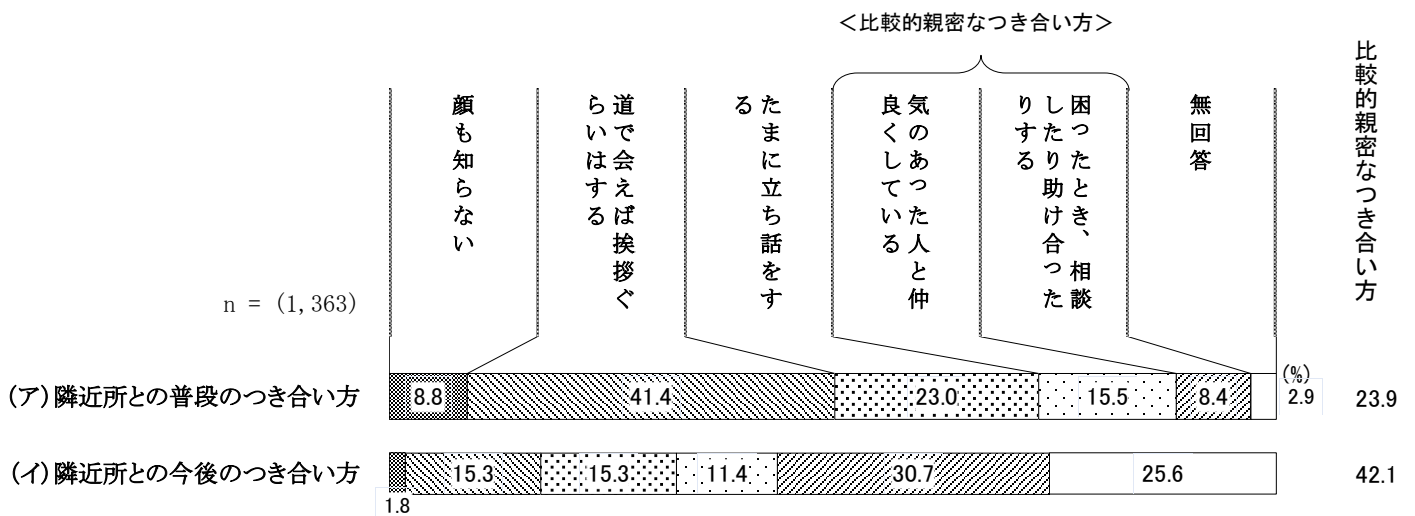
(ア) 普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

(イ) 今後、どうありたいと考えていますか。(〇は1つ)

普段のつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいはする」が41.4%で最も高く、「たまに立ち話をする」が23.0%となっている。「気のあった人と仲良くしている」(15.5%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(8.4%)を合わせた<比較的親密なつき合い方>は23.9%である。

今後のつき合い方は、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」が30.7%で最も高く、「気のあった人と仲良くしている」(11.4%)と合わせた<比較的親密なつき合い方>は42.1%である。「道で会えば挨拶ぐらいはする」と「たまに立ち話をする」はともに15.3%となっている。

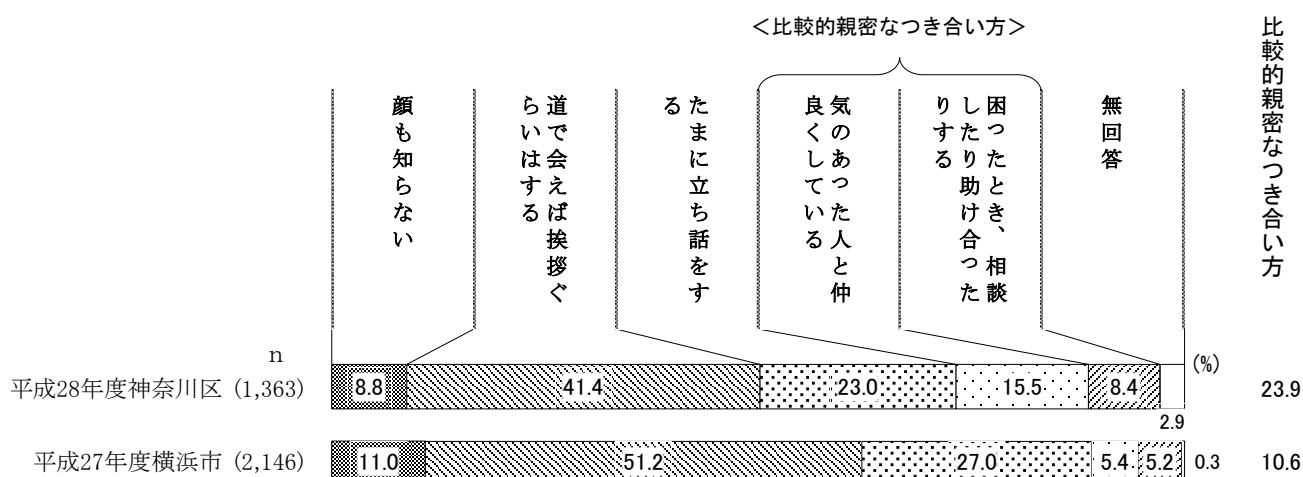
図 隣近所とのつき合い方 [全体]



■ 横浜市調査との比較

普段のつき合い方について横浜市調査（平成27年度）と比較すると、横浜市調査より「気のあった人と仲良くしている」が10.1ポイント高く、「道で会えば挨拶ぐらひはする」が9.8ポイント低くなっている。また、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」と「気のあった人と仲良くしている」を合わせた＜比較的親密なつき合い方＞は13.3ポイント高くなっている。

図 隣近所とのつき合い方（(ア) 隣近所との普段のつき合い方、横浜市調査との比較）

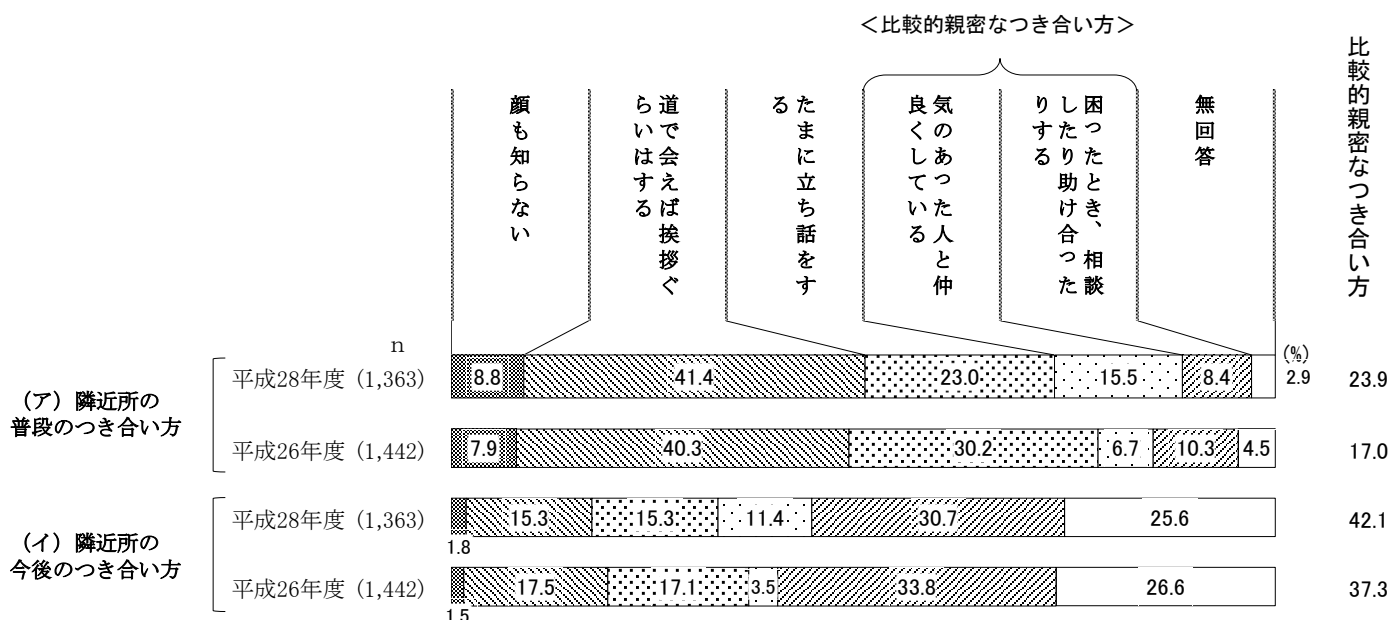


■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、普段のつき合い方では、「気のあった人と仲良くしている」は平成26年6.7%→平成28年15.5%と8.8ポイント増加し、「たまに立ち話をする」は平成26年30.2%→平成28年23.0%と7.2ポイント減少している。また、＜比較的親密なつき合い方＞は平成26年17.0%→平成28年23.9%と6.9ポイント増加している。

今後のつき合い方では、「気のあった人と仲良くしている」は平成26年3.5%→平成28年11.4%と7.9ポイント増加している。また、＜比較的親密なつき合い方＞は平成26年37.3%→平成28年42.1%と4.8ポイント増加している。

図 隣近所とのつき合い方（過去の調査との比較）

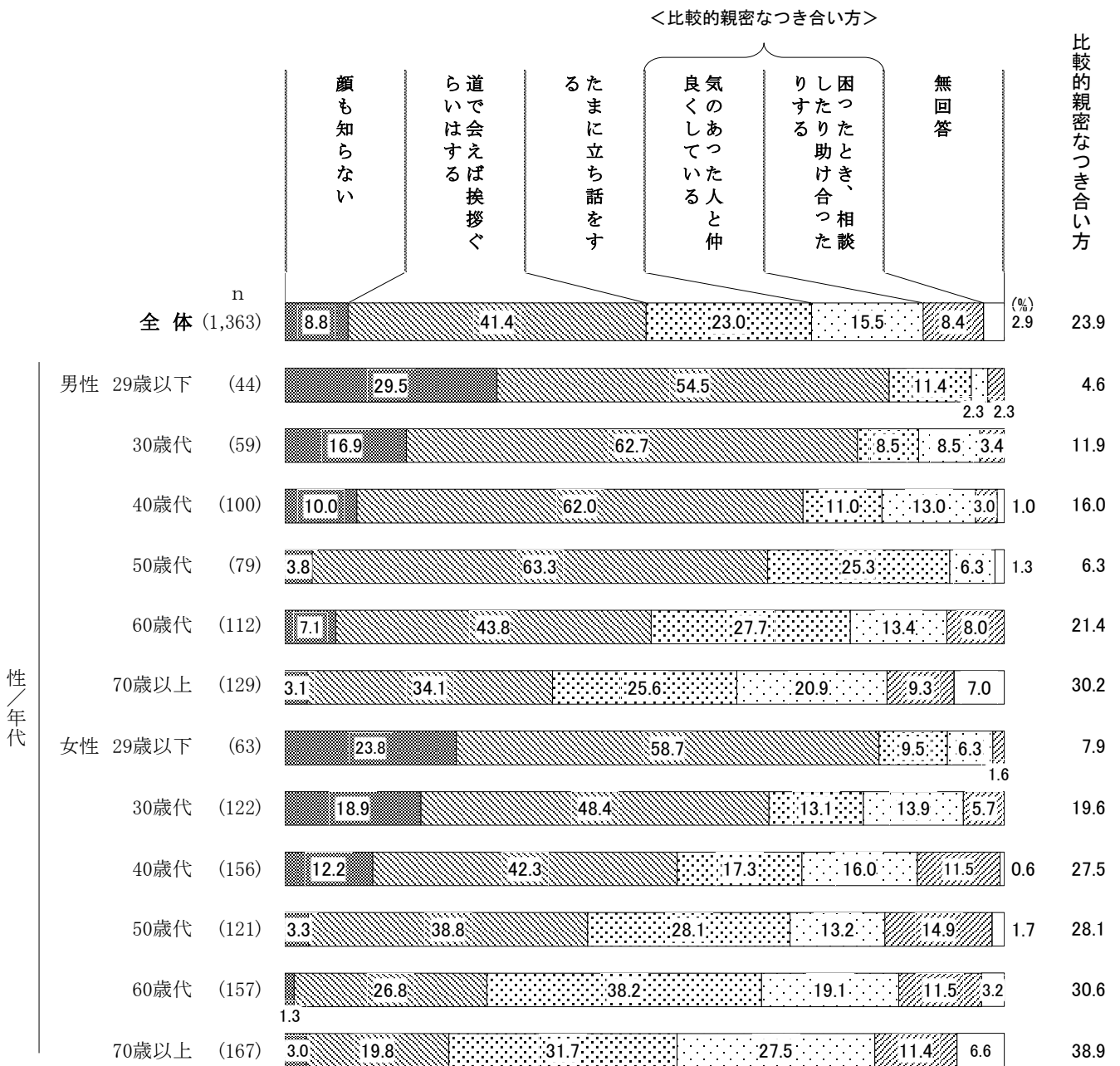


■ 隣近所とのつき合い方 [性／年代別・居住地区別・居住年数別・居住形態別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

(ア) 隣近所との普段のつき合い方

性／年代別で最も多いのは、男女の50歳以下、男性の60歳代と70歳以上で「道で会えば挨拶ぐらいはする」となっており、特に男性の30歳代から50歳代で6割を超えている。女性の60歳代で「たまに立ち話をする」が4割弱となっている。また、女性の70歳以上で<比較的親密なつき合い方>は4割弱と多く、男性の70歳以上、女性の60歳代でも3割を超えている。

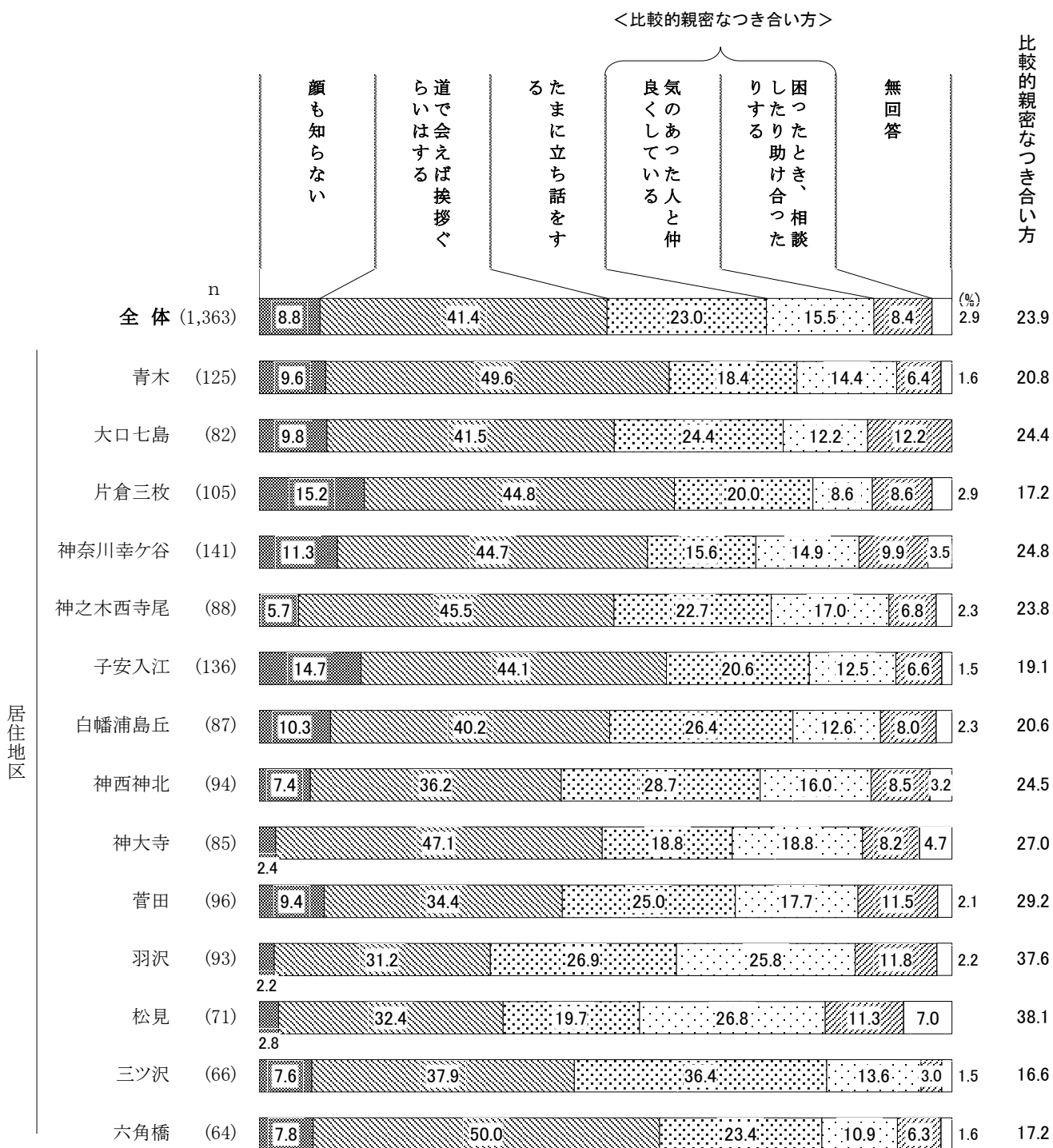
図 隣近所との普段のつき合い方 [性／年代別]



(ア) 隣近所との普段のつき合い方

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「道で会えば挨拶ぐらいはする」である。羽沢と松見では<比較的親密なつき合い方>が4割近く、三ツ沢で「たまに立ち話をする」で3割台半ばを超えている。

図 隣近所との普段のつき合い方〔居住地区別〕

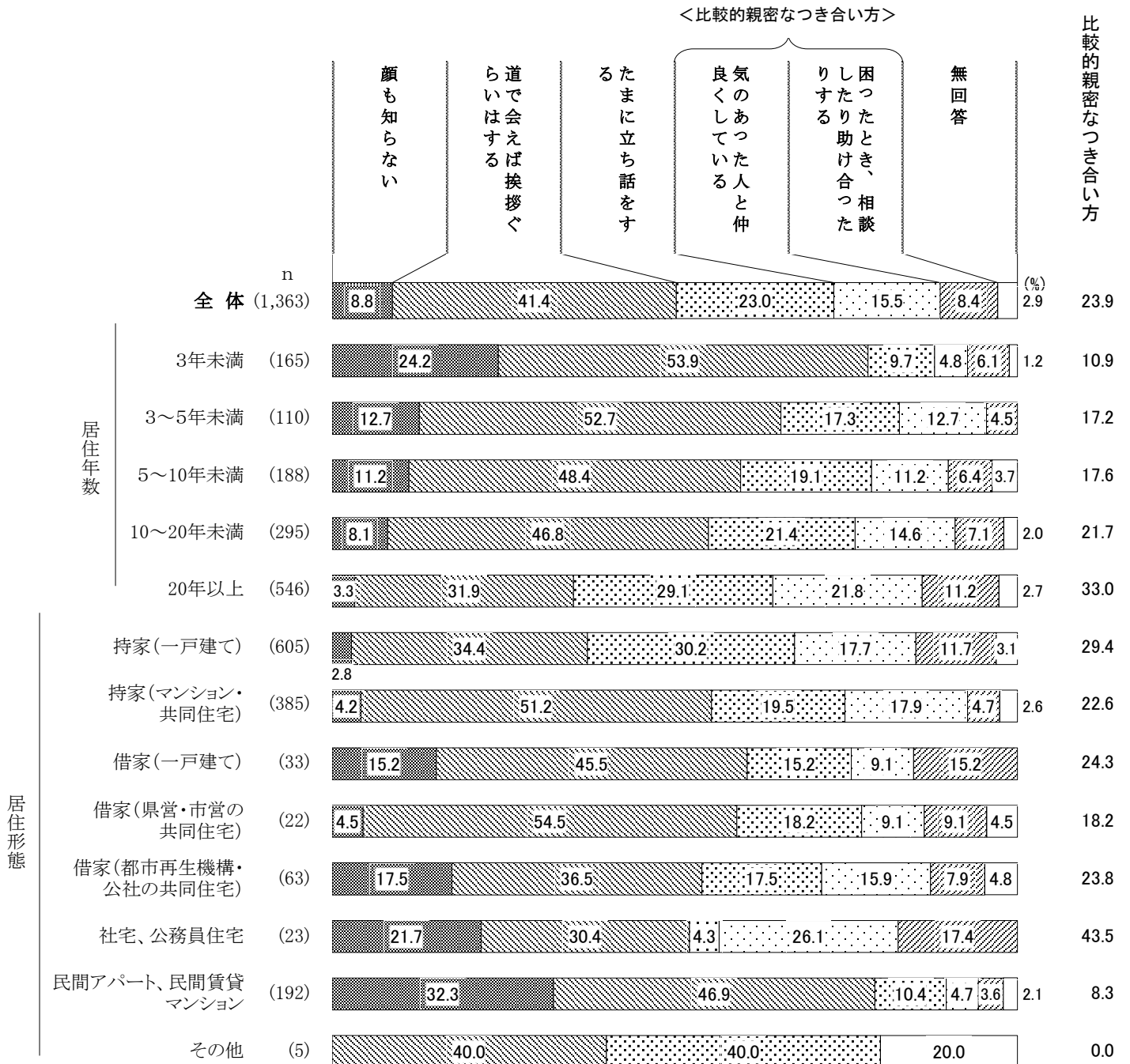


(ア) 隣近所との普段のつき合い方

居住年数別で最も多いのは、20年未満の年数で「道で会えば挨拶ぐらいはする」で、特に3年未満と3年～5年未満で5割を超えている。また、20年以上ではく比較的親密なつき合い方>が3割を超えている。

居住形態別で最も多いのは、社宅、公務員住宅以外で「道で会えば挨拶ぐらいはする」で、持家（マンション・共同住宅）と借家（県営・市営の共同住宅）で5割を超えている。また、社宅、公務員住宅でく比較的親密なつき合い方>が4割強となっている。

図 隣近所との普段のつき合い方 [居住年数別・居住形態別]

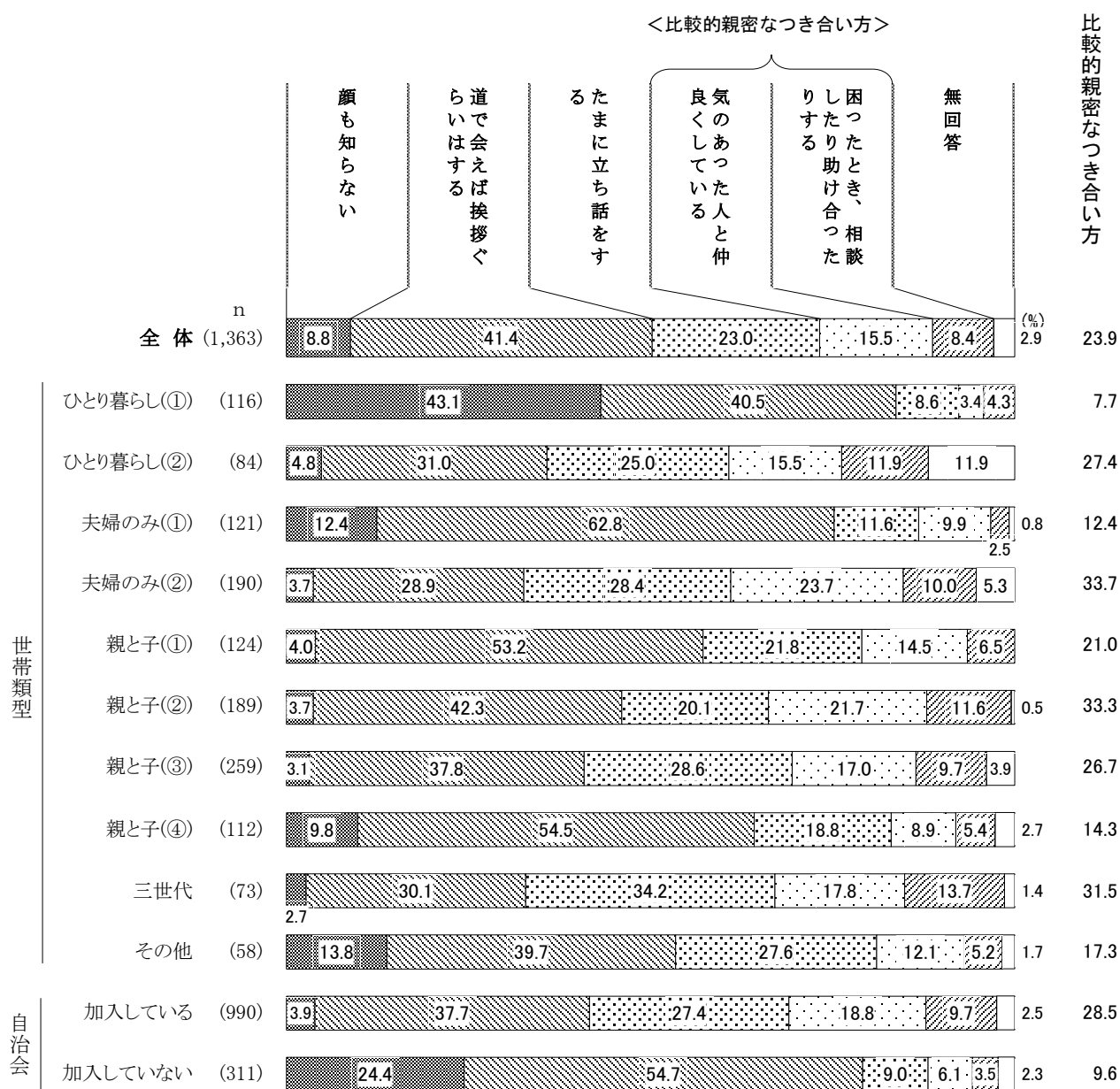


(ア) 隣近所との普段のつき合い方

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「道で会えば挨拶ぐらいはする」で、夫婦のみ(①)で6割を超えている。それ以外では、夫婦のみ(②)で<比較的親密なつき合い方>、ひとり暮らし(①)で「顔も知らない」、三世代で「たまに立ち話をする」が最も多くなっている。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「道で会えば挨拶ぐらいはする」で、未加入の方が加入者より17.0ポイント高くなっている。また、<比較的親密なつき合い方>は、加入の方が未加入者より18.9ポイント高くなっている。

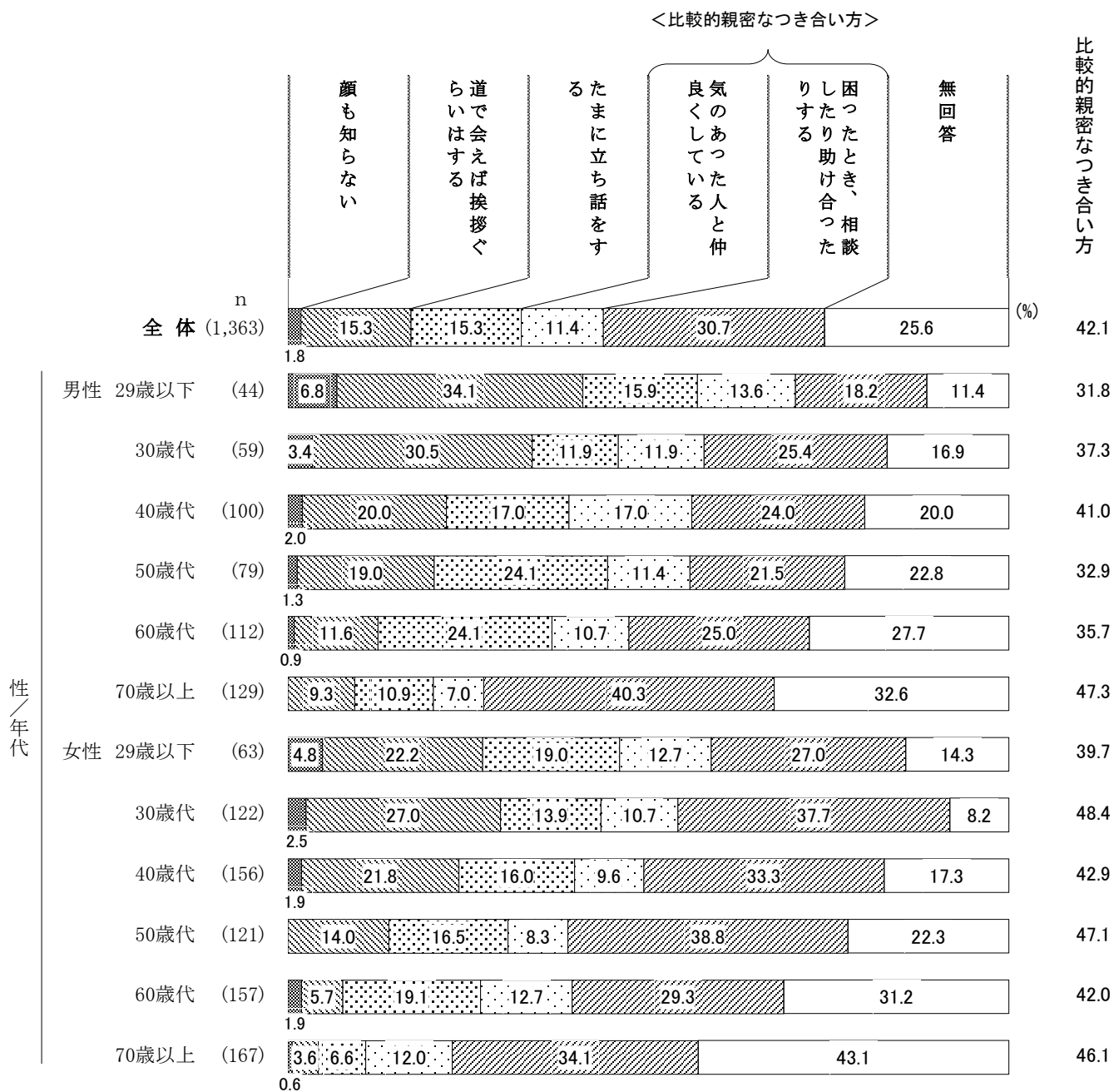
図 隣近所との普段のつき合い方〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕



(イ) 隣近所との今後のつき合い方

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で<比較的親密なつき合い方>で、特に女性の30歳代では5割弱、女性の50歳代と男女の70歳以上で4割代半ばを超えている。それ以外では、男性の29歳以下で「道で会えば挨拶ぐらいはする」が最も多くなっている。

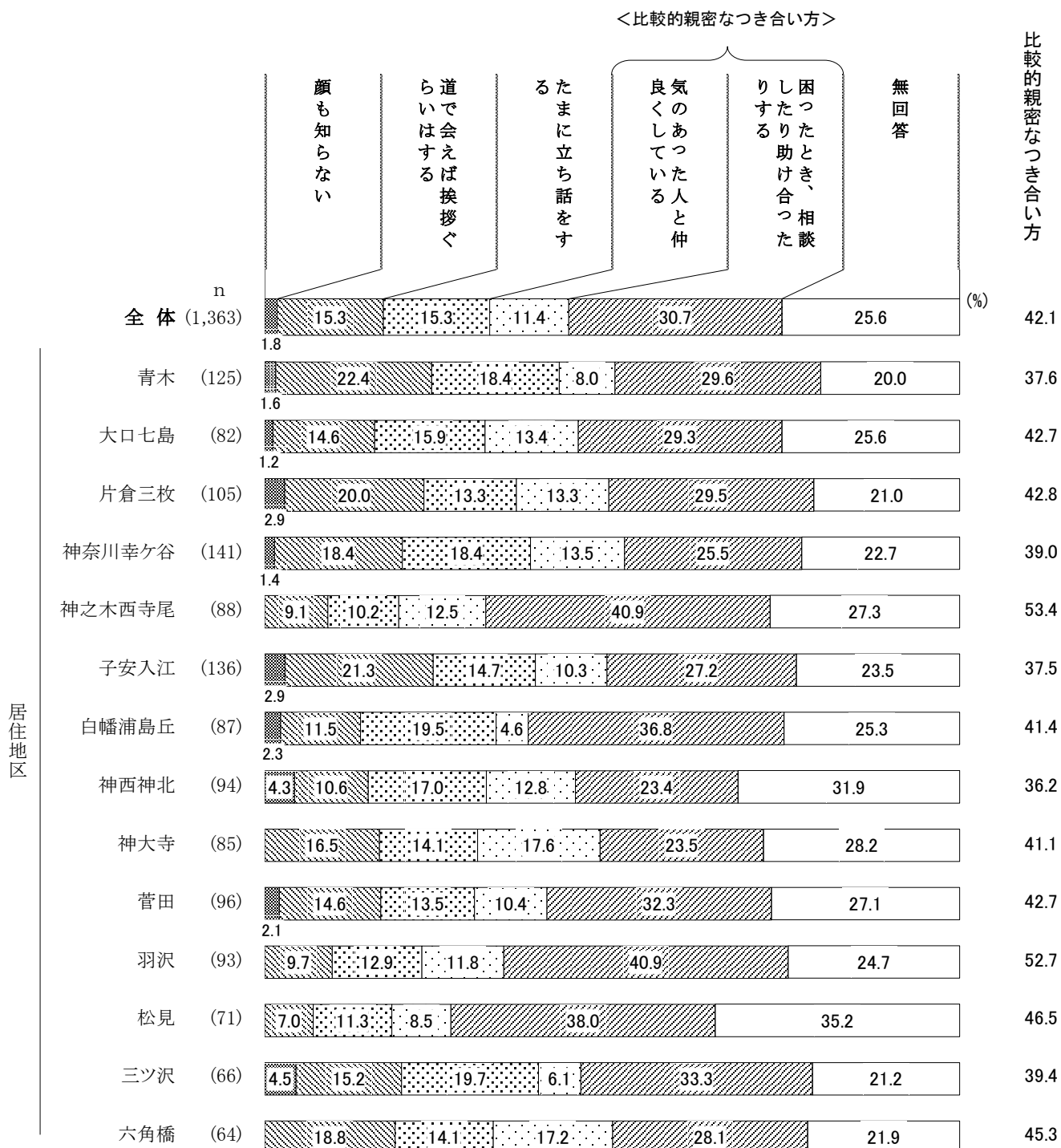
図 隣近所との今後のつき合い方 [性／年代別]



(イ) 隣近所との今後のつき合い方

居住地区別では、いずれも＜比較的親密なつき合い方＞が多く、特に神之木西寺尾と羽沢で5割を超えている。また、青木、片倉三枚、子安入江で「道で会えば挨拶ぐらいはする」が2割以上となっている。

図 隣近所との今後のつき合い方〔居住地区別〕

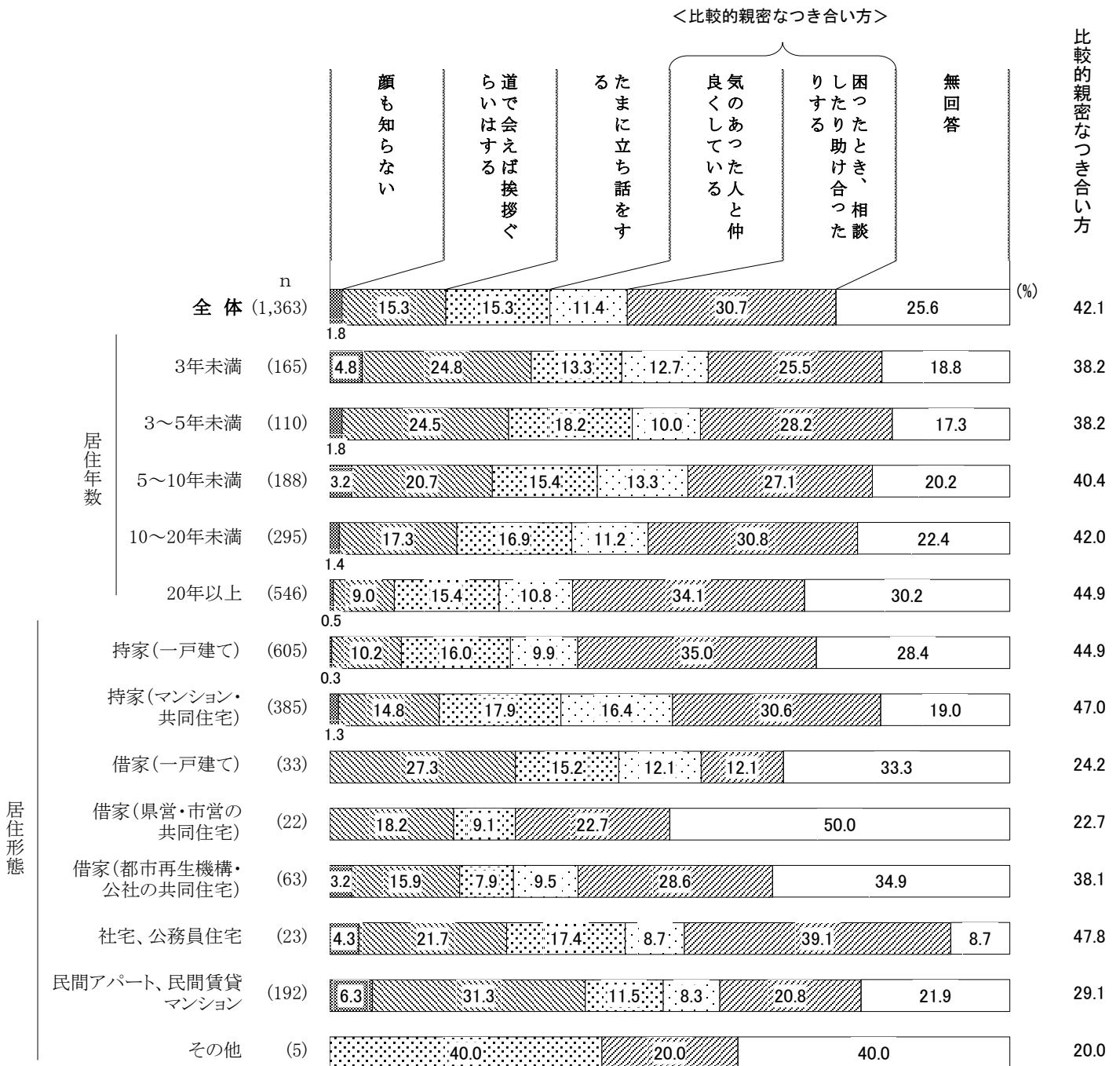


(イ) 隣近所との今後のつき合い方

居住年数別では、いずれも＜比較的親密なつき合い方＞が多く、年数が長くなるほど高くなる傾向があり、20年以上で4割台半ばである。また、3年未満と3～5年未満で「道で会えば挨拶ぐらいはする」が2割台半ばである。

居住形態別では、持家（一戸建て）、持家（マンション・共同住宅）、社宅、公務員住宅で＜比較的親密なつき合い方＞が最も多くなっている。また、借家（一戸建て）と民間アパート、民間賃貸マンションで「道で会えば挨拶ぐらいはする」が最も多くなっている。

図 隣近所との今後のつき合い方 [居住年数別・居住形態別]

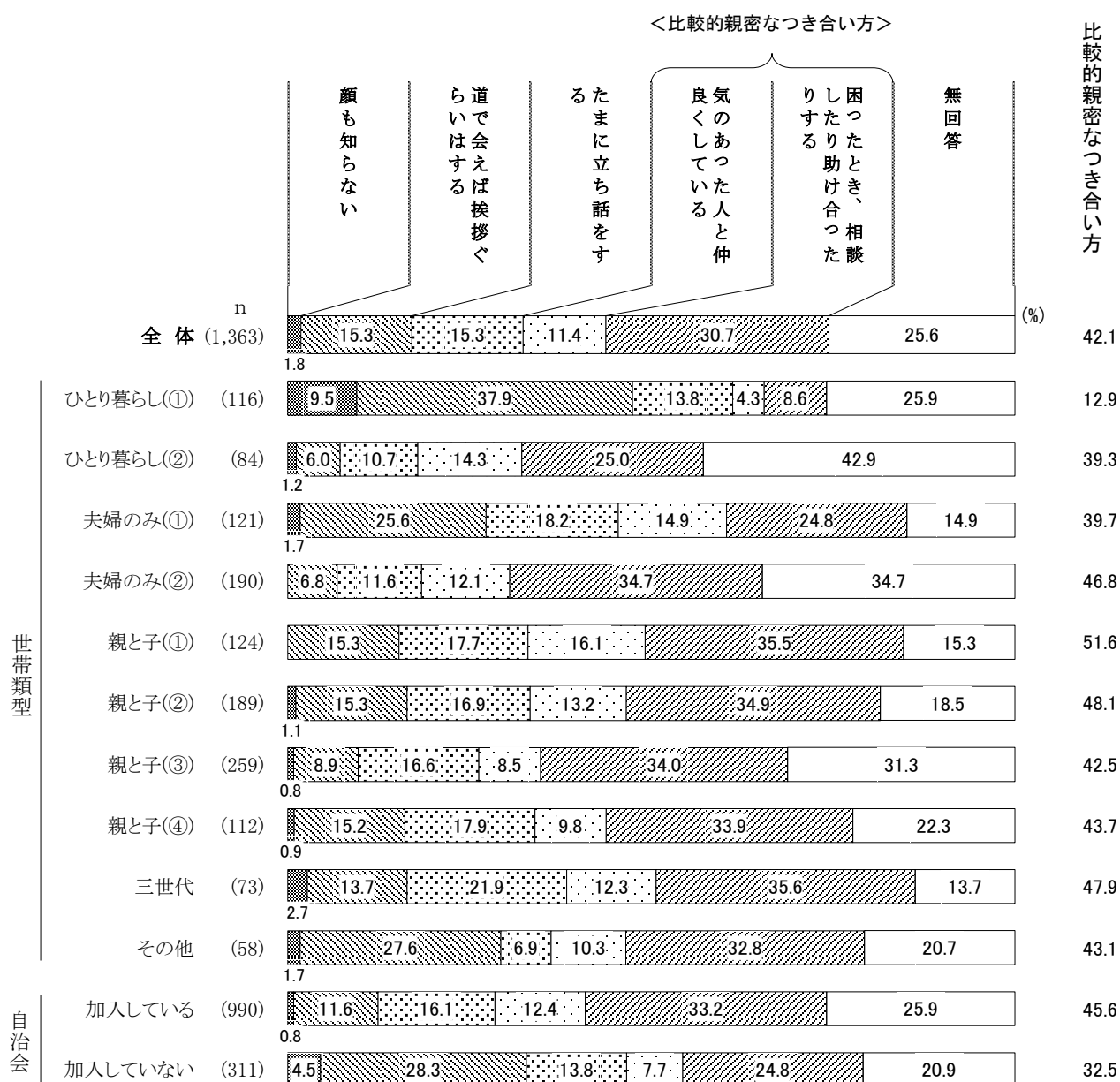


(イ) 隣近所との今後のつき合い方

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で<比較的親密なつき合い方>で、特に親と子(①)で5割を超えている。それ以外では、ひとり暮らし(①)で「道で会えば挨拶ぐらいはする」が最も多くなっている。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに<比較的親密なつき合い方>で、加入者の方が未加入者より13.1ポイント高くなっている。

図 隣近所との今後のつき合い方〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕



(2) 近所の助け合い

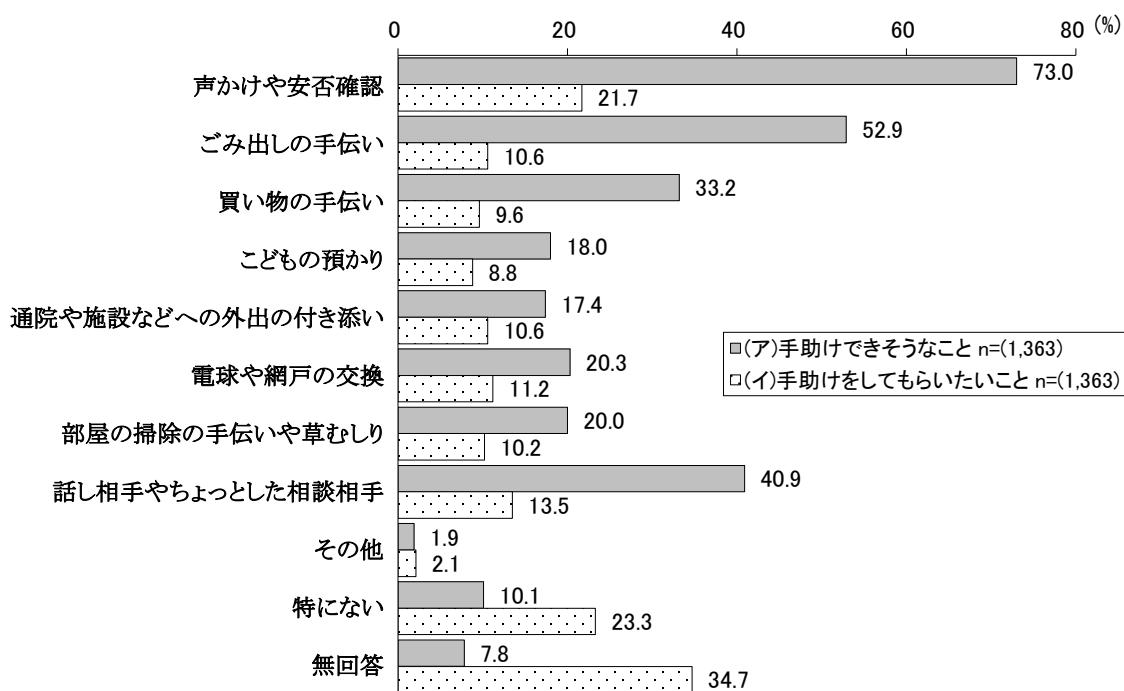
◇手助けできそうなことは「声かけや安否確認」が73.0%、手助けをしてもらいたいことは「声かけや安否確認」が21.7%

問16 近所の助け合いについておたずねします。
 (ア) ちょっとした困りごとがあった場合に、近所で手助けできそうなことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)
 (イ) ちょっとした困りごとがあった場合に、手助けをしてもらいたいことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

近所で手助けできそうなことは、「声かけや安否確認」が73.0%で最も高くなっている。次いで、「ごみ出しの手伝い」が52.9%、「話し相手やちょっとした相談相手」が40.9%、「買い物の手伝い」が33.2%となっている。

手助けをしてもらいたいことは、「声かけや安否確認」が21.7%で最も高く、次いで「話し相手やちょっとした相談相手」が13.5%となっている。以下、「電球や網戸の交換」が11.2%、「ごみ出しの手伝い」と「通院や施設などへの外出の付き添い」がともに10.6%などで続いている。一方、「特にない」は23.3%となっている。

図 近所の助け合い [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、手助けできそうなことでは、「声かけや安否確認」は平成26年54.1%→平成28年73.0%と18.9ポイント増加、「ごみ出しの手伝い」は平成26年37.9%→平成28年52.9%と15.0ポイント増加している。

手助けしてもらいたいことでは、「通院や施設などへの外出の付き添い（平成26年3.7%→平成28年10.6%）」と「電球や網戸の交換（平成26年4.3%→平成28年11.2%）」は6.9ポイント、「部屋の掃除の手伝いや草むしり」は平成26年3.6%→平成28年10.2%と6.6ポイント増加している。一方「声かけや安否確認」は平成26年25.8%→平成28年21.7%と4.1ポイント減少している。また、「特にない」は平成26年39.0%→平成28年23.3%と15.7ポイント減少している。

図 (ア) 手助けできそうなこと (過去の調査との比較)

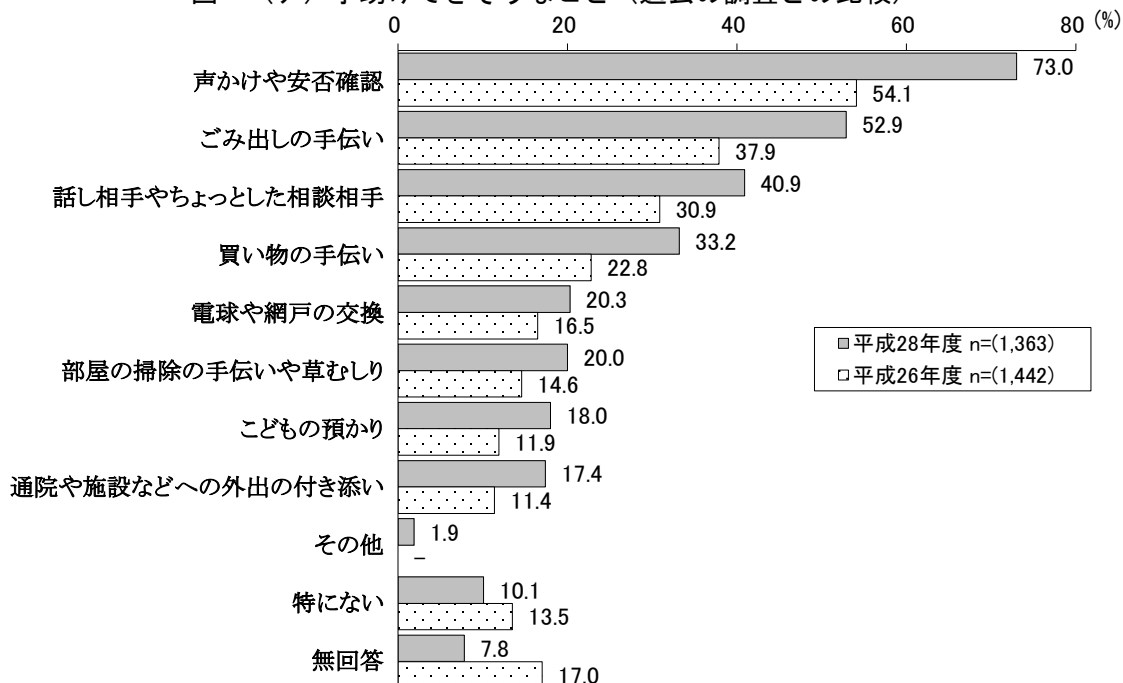
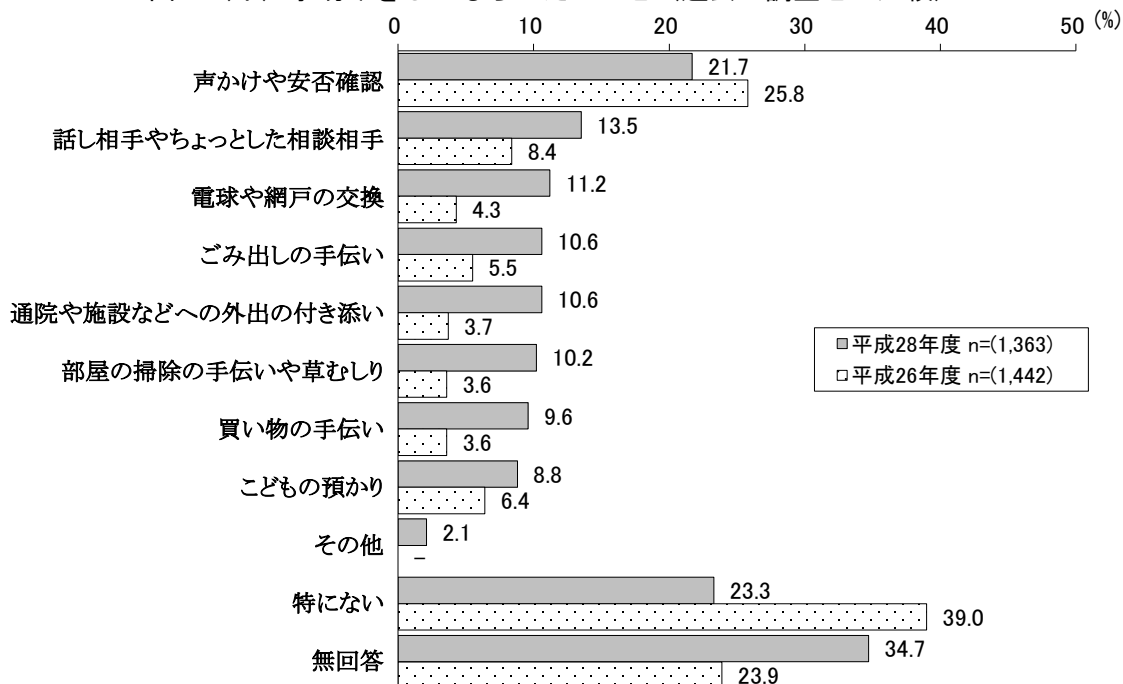


図 (イ) 手助けをしてもらいたいこと (過去の調査との比較)



第2章 調査結果の詳細

■ 手助けできそうなこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別では、いずれも「声かけや安否確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の50歳代で「ごみ出しの手伝い（71.1%）」と「買い物の手伝い（47.1%）」、男性の50歳代で「電球や網戸の交換（35.4%）」などである。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「声かけや安否確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、神大寺で「ごみ出しの手伝い（63.5%）」である。

世帯類型別で見ると、いずれも「声かけや安否確認」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子（①）で「声かけや安否確認（86.3%）」と「こどもの預かり（35.5%）」、三世代で「ごみ出しの手伝い（72.6%）」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「声かけや安否確認」である。また、「声かけや安否確認」と「ごみ出しの手伝い」は加入者の方が未加入者より10ポイント以上高くなっている。

図 手助けできそうなこと [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

		調査数	声かけや安否確認	ごみ出しの手伝い	買い物の手伝い	こどもの預かり	通院や施設などへの付き添い	電球や網戸の交換	部屋の掃除の手伝い	話し相手やちょっとした相談相手	その他	特にない	無回答
全体		1,363	73.0	52.9	33.2	18.0	17.4	20.3	20.0	40.9	1.9	10.1	7.8
性／年代	男性 29歳以下	44	70.5	45.5	22.7	11.4	13.6	25.0	20.5	29.5	-	15.9	2.3
	30歳代	59	69.5	47.5	35.6	27.1	22.0	32.2	27.1	30.5	-	20.3	1.7
	40歳代	100	74.0	52.0	24.0	15.0	15.0	32.0	24.0	42.0	-	15.0	1.0
	50歳代	79	67.1	54.4	27.8	10.1	10.1	35.4	13.9	29.1	-	10.1	6.3
	60歳代	112	77.7	54.5	27.7	11.6	15.2	31.3	19.6	31.3	-	8.9	6.3
	70歳以上	129	64.3	57.4	31.8	12.4	15.5	25.6	21.7	41.1	4.7	10.9	8.5
	女性 29歳以下	63	77.8	47.6	28.6	19.0	19.0	23.8	19.0	50.8	-	9.5	4.8
	30歳代	122	82.0	48.4	36.9	30.3	19.7	19.7	18.0	40.2	0.8	10.7	2.5
	40歳代	156	82.7	55.8	39.7	28.2	19.9	18.6	22.4	46.8	0.6	7.7	4.5
	50歳代	121	83.5	71.1	47.1	24.8	28.9	17.4	22.3	48.8	2.5	10.7	1.7
60歳代	157	78.3	63.7	43.9	17.8	20.4	8.9	22.3	51.0	5.1	5.1	7.6	
70歳以上	167	59.9	38.3	23.4	10.8	10.2	4.2	13.8	37.7	3.0	7.8	22.2	
居住地区	青木	125	74.4	48.8	32.0	13.6	16.8	19.2	13.6	40.0	0.8	9.6	5.6
	大口七島	82	79.3	56.1	31.7	14.6	15.9	15.9	19.5	41.5	1.2	12.2	4.9
	片倉三枚	105	77.1	48.6	37.1	20.0	17.1	20.0	18.1	40.0	1.0	8.6	7.6
	神奈川幸ヶ谷	141	75.9	54.6	36.2	22.7	17.0	23.4	20.6	39.0	0.7	11.3	7.1
	神之木西寺尾	88	67.0	47.7	33.0	26.1	20.5	23.9	23.9	42.0	1.1	10.2	11.4
	子安入江	136	72.8	51.5	30.1	17.6	15.4	26.5	22.8	38.2	-	11.0	7.4
	白幡浦島丘	87	66.7	58.6	31.0	17.2	16.1	18.4	17.2	39.1	1.1	12.6	5.7
	神西神北	94	73.4	45.7	30.9	16.0	16.0	13.8	19.1	38.3	2.1	10.6	7.4
	神大寺	85	72.9	63.5	36.5	25.9	20.0	23.5	25.9	43.5	3.5	11.8	4.7
	菅田	96	70.8	53.1	32.3	15.6	20.8	19.8	27.1	41.7	1.0	8.3	11.5
	羽沢	93	77.4	62.4	33.3	22.6	20.4	18.3	24.7	49.5	6.5	9.7	3.2
	松見	71	69.0	52.1	33.8	12.7	15.5	18.3	15.5	50.7	1.4	4.2	14.1
	三ツ沢	66	74.2	57.6	33.3	15.2	13.6	21.2	12.1	37.9	3.0	12.1	3.0
六角橋	64	75.0	48.4	29.7	10.9	20.3	15.6	15.6	39.1	4.7	9.4	7.8	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	54.3	38.8	20.7	12.1	12.1	18.1	17.2	23.3	2.6	30.2	7.8
	ひとり暮らし(②)	84	54.8	40.5	28.6	11.9	9.5	6.0	15.5	34.5	-	9.5	25.0
	夫婦のみ(①)	121	82.6	53.7	28.1	14.0	14.9	23.1	15.7	40.5	0.8	8.3	1.7
	夫婦のみ(②)	190	71.6	53.7	33.2	12.6	18.9	14.2	18.4	45.3	2.1	5.3	12.6
	親と子(①)	124	86.3	56.5	40.3	35.5	21.0	25.8	24.2	51.6	-	4.8	3.2
	親と子(②)	189	84.1	58.2	39.2	26.5	21.2	24.3	24.3	41.8	1.1	6.3	3.2
	親と子(③)	259	64.1	51.0	29.0	11.2	15.1	17.8	17.8	39.8	3.1	12.0	9.7
	親と子(④)	112	74.1	52.7	36.6	18.8	19.6	25.0	25.0	42.9	0.9	15.2	4.5
	三世帯	73	84.9	72.6	43.8	30.1	21.9	27.4	19.2	50.7	4.1	1.4	2.7
その他	58	82.8	62.1	32.8	15.5	15.5	24.1	22.4	41.4	3.4	6.9	3.4	
自治会	加入している	990	76.9	56.3	34.4	18.6	18.1	19.3	20.5	43.7	2.0	7.5	6.5
	加入していない	311	64.3	45.3	29.3	17.7	15.8	24.1	19.0	35.4	1.3	18.6	9.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

■ 手助けをしてもらいたいこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「声掛けや安否確認」である。それ以外では、女性の30歳代で「こどもの預かり」、女性の70歳以上で「電球や網戸の交換」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男女の30歳代と女性の40歳代で「こどもの預かり（23.7%・28.7%・20.5%）」である。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「声掛けや安否確認」である。それ以外の地区では、大口七島で「声掛けや安否確認」と「電球や網戸の交換」と「話し相手やちょっとした相談相手」が並び、神大寺で「声掛けや安否確認」と「ごみ出しの手伝い」が並んで最も多くなっている。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「声掛けや安否確認」である。それ以外では、親と子（①）で「こどもの預かり」、その他で「声掛けや安否確認」と「話し相手やちょっとした相談相手」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子（①）で「こどもの預かり（42.7%）」、ひとり暮らし（②）で「電球や網戸の交換（21.4%）」である。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「声掛けや安否確認」である。

図 手助けをしてもらいたいこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

													(%)
		調査数	声かけや安否確認	ごみ出しの手伝い	買い物の手伝い	こどもの預かり	通院や施設などへの外出の付き添い	電球や網戸の交換	部屋の掃除の手伝いや草むしり	話し相手やちよつとした相談相手	その他	特にない	無回答
全 体		1,363	21.7	10.6	9.6	8.8	10.6	11.2	10.2	13.5	2.1	23.3	34.7
性／年代	男性 29歳以下	44	20.5	4.5	2.3	-	4.5	-	6.8	6.8	-	40.9	27.3
	30歳代	59	28.8	6.8	3.4	23.7	6.8	1.7	3.4	13.6	-	30.5	23.7
	40歳代	100	25.0	7.0	9.0	10.0	11.0	9.0	10.0	12.0	1.0	30.0	32.0
	50歳代	79	15.2	8.9	7.6	2.5	10.1	7.6	8.9	8.9	-	31.6	43.0
	60歳代	112	15.2	8.9	8.0	4.5	10.7	8.9	12.5	8.0	-	25.0	44.6
	70歳以上	129	20.2	12.4	14.7	3.9	14.7	17.1	18.6	16.3	4.7	13.2	42.6
	女性 29歳以下	63	30.2	14.3	6.3	14.3	9.5	7.9	4.8	11.1	-	25.4	27.0
	30歳代	122	27.9	6.6	4.9	28.7	4.9	6.6	8.2	19.7	0.8	24.6	18.9
	40歳代	156	26.3	9.0	7.7	20.5	9.6	6.4	6.4	11.5	1.3	26.9	23.1
	50歳代	121	21.5	12.4	9.9	0.8	8.3	13.2	8.3	13.2	0.8	28.9	35.5
60歳代	157	20.4	13.4	13.4	2.5	12.1	14.6	10.8	14.6	3.8	21.7	35.0	
70歳以上	167	18.0	13.8	15.0	1.8	16.8	19.2	12.0	16.8	6.0	11.4	41.9	
居住地区	青木	125	30.4	8.8	6.4	8.8	8.8	10.4	4.8	11.2	2.4	24.8	32.8
	大口七島	82	15.9	7.3	6.1	3.7	8.5	15.9	12.2	15.9	1.2	24.4	37.8
	片倉三枚	105	24.8	11.4	8.6	11.4	10.5	14.3	11.4	14.3	1.9	24.8	34.3
	神奈川幸ヶ谷	141	22.7	7.1	5.0	12.8	7.8	11.3	6.4	12.1	2.1	31.9	26.2
	神之木西寺尾	88	21.6	11.4	10.2	14.8	9.1	9.1	11.4	19.3	1.1	19.3	36.4
	子安入江	136	19.1	8.8	8.8	14.0	9.6	5.1	8.1	15.4	0.7	21.3	34.6
	白幡浦島丘	87	23.0	11.5	11.5	5.7	10.3	10.3	12.6	13.8	3.4	20.7	36.8
	神西神北	94	22.3	10.6	10.6	11.7	13.8	10.6	14.9	12.8	3.2	22.3	29.8
	神大寺	85	17.6	17.6	15.3	4.7	14.1	16.5	14.1	12.9	2.4	21.2	35.3
	菅田	96	18.8	12.5	11.5	6.3	14.6	14.6	10.4	15.6	3.1	18.8	45.8
	羽沢	93	16.1	8.6	15.1	5.4	11.8	9.7	8.6	14.0	3.2	20.4	37.6
	松見	71	21.1	2.8	9.9	5.6	8.5	4.2	7.0	8.5	-	14.1	45.1
	三ツ沢	66	22.7	13.6	7.6	7.6	16.7	15.2	12.1	10.6	3.0	33.3	25.8
	六角橋	64	25.0	14.1	7.8	6.3	7.8	7.8	10.9	6.3	3.1	32.8	23.4
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	12.9	7.8	5.2	1.7	6.0	10.3	2.6	7.8	2.6	44.8	30.2
	ひとり暮らし(②)	84	23.8	13.1	9.5	2.4	10.7	21.4	15.5	13.1	4.8	15.5	41.7
	夫婦のみ(①)	121	23.1	9.1	5.8	5.8	7.4	8.3	6.6	11.6	0.8	33.9	28.1
	夫婦のみ(②)	190	20.0	14.7	17.9	4.2	14.7	15.8	13.7	17.4	4.2	13.7	42.1
	親と子(①)	124	31.5	8.1	9.7	42.7	13.7	10.5	12.1	21.8	0.8	13.7	21.8
	親と子(②)	189	24.9	11.6	9.0	12.2	6.3	6.3	9.0	11.1	-	28.0	30.2
	親と子(③)	259	20.5	11.2	10.4	2.7	14.3	12.7	12.4	13.9	3.9	20.1	37.5
	親と子(④)	112	17.0	6.3	4.5	3.6	5.4	3.6	1.8	8.0	-	33.0	40.2
	三世代	73	30.1	6.8	9.6	11.0	16.4	12.3	13.7	15.1	1.4	11.0	34.2
	その他	58	13.8	6.9	5.2	10.3	8.6	8.6	12.1	13.8	1.7	20.7	34.5
自治会	加入している	990	22.4	11.2	10.8	8.3	12.0	12.1	11.1	14.4	2.3	21.5	34.4
	加入していない	311	20.9	8.0	6.4	12.2	7.1	7.4	6.4	10.9	1.6	30.2	32.2

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

9. 買い物場所について

(1) 日常の買い物

◇食料品は「スーパーマーケット」を91.0%、日用雑貨は「スーパーマーケット」を68.9%、衣類は「デパート・百貨店等」「大型ショッピングモール」を半数以上の人々が挙げている

問17 日常の買い物についてお聞きします。

(ア) 食料品はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

(イ) 日用雑貨はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

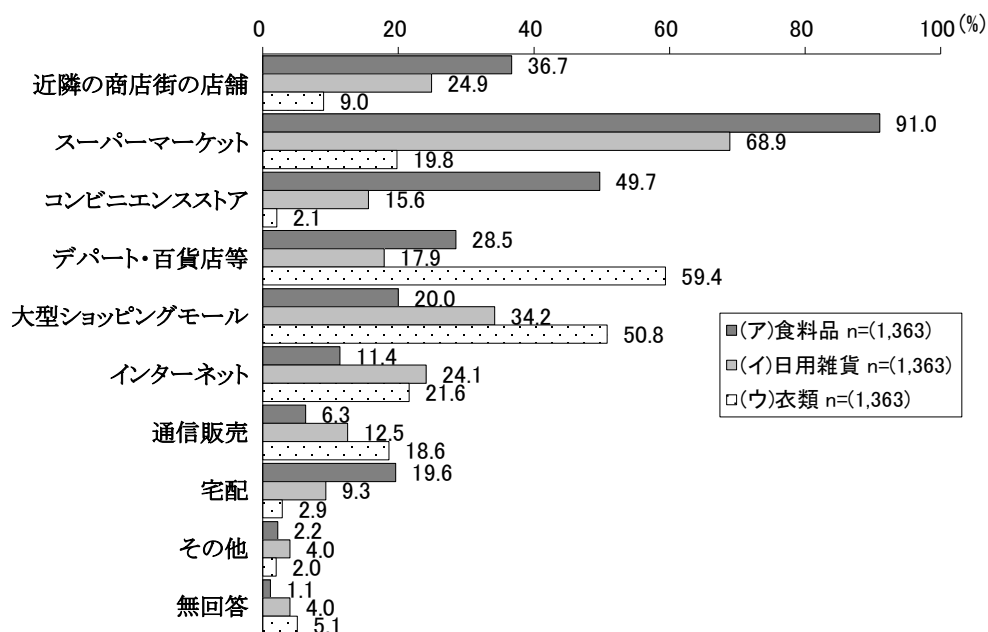
(ウ) 衣類はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

食料品の購入先は、「スーパーマーケット」が91.0%で最も高くなっている。次いで、「コンビニエンスストア」が49.7%、「近隣の商店街の店舗」が36.7%、「デパート・百貨店等」が28.5%となっている。

日用雑貨の購入先は、「スーパーマーケット」が68.9%で最も高くなっている。次いで、「大型ショッピングモール」が34.2%、「近隣の商店街の店舗」が24.9%、「インターネット」が24.1%となっている。

衣類の購入先は、「デパート・百貨店等」が59.4%で最も高く、「大型ショッピングモール」が50.8%となっている。以下、「インターネット」が21.6%、「スーパーマーケット」が19.8%、「通信販売」が18.6%となっている。

図 日常の買い物 [全体] (複数回答)



■ (ア) 食料品の購入先〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

性／年代別では、いずれも「スーパーマーケット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の70歳以上で「近隣の商店街の店舗（52.7%）」、男女の29歳以下と男性の30歳代で「コンビニエンスストア（75.0%・65.1%・64.4%）」などである。

居住地区別でみると、いずれの地区も「スーパーマーケット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島と六角橋で「近隣の商店街の店舗（61.0%・53.1%）」、神奈川幸ヶ谷と六角橋で「デパート・百貨店等（46.8%・46.9%）」などである。

世帯類型別でみると、いずれも「スーパーマーケット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし（①）とその他で「コンビニエンスストア（65.5%・67.2%）」、親と子（①）で「宅配（34.7%）」などである。

図 (ア) 食料品の購入先〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

		調査数	近隣の商店街の店舗	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	デパート・百貨店等	大型ショッピングモール	インターネット	通信販売	宅配	その他	無回答
全体		1,363	36.7	91.0	49.7	28.5	20.0	11.4	6.3	19.6	2.2	1.1
性／年代	男性 29歳以下	44	25.0	86.4	75.0	25.0	31.8	20.5	6.8	13.6	-	2.3
	30歳代	59	22.0	94.9	64.4	28.8	18.6	25.4	10.2	25.4	1.7	-
	40歳代	100	35.0	89.0	57.0	28.0	24.0	16.0	4.0	11.0	2.0	-
	50歳代	79	32.9	93.7	54.4	19.0	12.7	6.3	2.5	13.9	-	-
	60歳代	112	44.6	90.2	52.7	25.0	18.8	8.9	6.3	8.9	-	-
	70歳以上	129	52.7	86.8	49.6	27.1	18.6	0.8	8.5	17.1	1.6	3.9
	女性 29歳以下	63	36.5	93.7	65.1	28.6	17.5	9.5	3.2	12.7	1.6	-
	30歳代	122	30.3	95.9	59.0	32.0	29.5	23.0	6.6	25.4	3.3	-
	40歳代	156	28.8	97.4	40.4	21.2	22.4	17.9	2.6	27.6	2.6	0.6
	50歳代	121	34.7	94.2	47.9	30.6	27.3	11.6	9.9	21.5	0.8	-
60歳代	157	44.6	91.7	47.8	42.0	17.8	10.2	8.3	22.9	2.5	1.3	
70歳以上	167	37.7	86.8	32.3	27.5	13.2	1.8	7.2	21.0	4.8	1.2	
居住地区	青木	125	32.0	89.6	48.0	39.2	16.0	17.6	9.6	22.4	2.4	3.2
	大口七島	82	61.0	90.2	50.0	25.6	14.6	11.0	1.2	17.1	1.2	1.2
	片倉三枚	105	31.4	88.6	54.3	32.4	28.6	9.5	3.8	15.2	3.8	1.0
	神奈川幸ヶ谷	141	29.1	90.8	56.7	46.8	21.3	13.5	7.1	14.9	-	-
	神之木西寺尾	88	27.3	97.7	39.8	19.3	20.5	10.2	8.0	13.6	4.5	-
	子安入江	136	39.7	93.4	51.5	18.4	19.9	12.5	3.7	19.9	4.4	-
	白幡浦島丘	87	46.0	92.0	50.6	21.8	10.3	6.9	2.3	21.8	-	2.3
	神西神北	94	33.0	93.6	42.6	22.3	18.1	9.6	5.3	24.5	1.1	1.1
	神大寺	85	37.6	91.8	49.4	29.4	20.0	5.9	9.4	24.7	2.4	-
	菅田	96	29.2	93.8	52.1	15.6	27.1	5.2	8.3	15.6	1.0	1.0
	羽沢	93	25.8	87.1	50.5	29.0	23.7	14.0	8.6	23.7	5.4	-
	松見	71	43.7	91.5	42.3	18.3	12.7	8.5	9.9	16.9	2.8	2.8
	三ツ沢	66	37.9	86.4	47.0	21.2	18.2	13.6	3.0	28.8	1.5	-
六角橋	64	53.1	93.8	62.5	46.9	31.3	18.8	7.8	18.8	-	-	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	28.4	87.1	65.5	21.6	15.5	12.9	1.7	8.6	0.9	-
	ひとり暮らし(②)	84	42.9	79.8	31.0	31.0	11.9	1.2	4.8	21.4	7.1	2.4
	夫婦のみ(①)	121	33.9	95.9	47.9	36.4	20.7	14.0	7.4	17.4	2.5	-
	夫婦のみ(②)	190	45.3	88.9	44.2	37.4	16.8	3.7	7.9	21.1	2.1	2.1
	親と子(①)	124	33.9	95.2	53.2	21.8	33.1	23.4	7.3	34.7	4.8	-
	親と子(②)	189	29.1	96.3	48.7	23.3	22.8	18.0	6.3	24.9	0.5	-
	親と子(③)	259	38.6	89.6	47.1	28.2	17.0	7.7	7.7	15.8	3.1	1.5
	親と子(④)	112	42.9	94.6	53.6	23.2	23.2	14.3	7.1	17.0	-	0.9
	三世帯	73	37.0	95.9	50.7	30.1	26.0	8.2	2.7	20.5	1.4	-
その他	58	29.3	87.9	67.2	31.0	15.5	13.8	5.2	12.1	-	-	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

■ (イ) 日用雑貨の購入先〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「スーパーマーケット」である。それ以外では、女性の29歳以下で「スーパーマーケット」と「大型ショッピングモール」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下で「大型ショッピングモール (55.6%)」、男女の30歳代で「インターネット (45.8%・44.3%)」などである。

居住地区別でみると、いずれの地区も「スーパーマーケット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島で「近隣の商店街の店舗 (50.0%)」、神大寺で「スーパーマーケット (80.0%)」、羽沢で「大型ショッピングモール (46.2%)」などである。

世帯類型別でみると、いずれも「スーパーマーケット」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、ひとり暮らし (②) で「近隣の商店街の店舗 (36.9%)」、親と子 (②) で「大型ショッピングモール (46.6%)」、親と子 (①) で「インターネット (47.6%)」などである。

図 (イ) 日用雑貨の購入先〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

		調査数	近隣の商店街の店舗	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	デパート・百貨店等	大型ショッピングモール	インターネット	通信販売	宅配	その他	無回答
全体		1,363	24.9	68.9	15.6	17.9	34.2	24.1	12.5	9.3	4.0	4.0
性／年代	男性 29歳以下	44	11.4	54.5	34.1	31.8	38.6	43.2	15.9	9.1	-	6.8
	30歳代	59	18.6	61.0	16.9	18.6	30.5	45.8	16.9	15.3	1.7	3.4
	40歳代	100	19.0	67.0	19.0	24.0	41.0	41.0	12.0	4.0	1.0	2.0
	50歳代	79	13.9	68.4	19.0	20.3	32.9	29.1	12.7	5.1	3.8	1.3
	60歳代	112	33.0	79.5	24.1	13.4	34.8	17.0	9.8	0.9	0.9	0.9
	70歳以上	129	38.0	72.9	20.2	15.5	26.4	8.5	13.2	7.8	3.1	10.1
	女性 29歳以下	63	25.4	55.6	9.5	31.7	55.6	30.2	4.8	7.9	9.5	1.6
	30歳代	122	19.7	61.5	13.9	20.5	42.6	44.3	14.8	12.3	10.7	1.6
	40歳代	156	16.7	71.8	7.7	14.1	44.2	34.6	15.4	11.5	5.8	1.9
	50歳代	121	26.4	69.4	12.4	16.5	44.6	24.8	14.9	12.4	1.7	0.8
60歳代	157	34.4	80.9	14.0	15.9	24.8	11.5	12.1	11.5	3.2	3.2	
70歳以上	167	24.0	68.3	10.8	13.2	21.6	3.0	9.6	9.6	3.6	6.6	
居住地区	青木	125	24.0	60.0	14.4	28.0	36.0	28.8	10.4	14.4	6.4	3.2
	大口七島	82	50.0	63.4	17.1	20.7	26.8	25.6	11.0	9.8	2.4	7.3
	片倉三枚	105	17.1	60.0	10.5	13.3	41.0	22.9	13.3	10.5	6.7	4.8
	神奈川幸ヶ谷	141	14.2	71.6	21.3	28.4	35.5	29.1	11.3	8.5	-	4.3
	神之木西寺尾	88	22.7	79.5	10.2	10.2	31.8	20.5	11.4	3.4	6.8	2.3
	子安入江	136	28.7	64.0	11.0	12.5	36.8	30.1	11.0	7.4	4.4	4.4
	白幡浦島丘	87	34.5	72.4	18.4	8.0	21.8	12.6	10.3	9.2	3.4	3.4
	神西神北	94	24.5	69.1	6.4	17.0	34.0	26.6	16.0	5.3	6.4	3.2
	神大寺	85	25.9	80.0	20.0	17.6	35.3	20.0	11.8	9.4	2.4	2.4
	菅田	96	24.0	74.0	16.7	15.6	37.5	19.8	17.7	11.5	2.1	2.1
	羽沢	93	14.0	71.0	18.3	16.1	46.2	19.4	12.9	11.8	6.5	1.1
	松見	71	29.6	74.6	15.5	14.1	28.2	21.1	9.9	4.2	4.2	8.5
	三ツ沢	66	16.7	68.2	13.6	15.2	30.3	28.8	15.2	16.7	1.5	-
六角橋	64	32.8	71.9	25.0	26.6	37.5	26.6	15.6	7.8	3.1	3.1	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	16.4	64.7	16.4	23.3	30.2	30.2	9.5	6.9	5.2	1.7
	ひとり暮らし(②)	84	36.9	59.5	9.5	14.3	17.9	6.0	8.3	14.3	4.8	11.9
	夫婦のみ(①)	121	15.7	70.2	10.7	25.6	43.0	34.7	14.9	7.4	6.6	0.8
	夫婦のみ(②)	190	33.7	76.3	14.2	15.3	25.3	7.9	12.1	8.4	2.6	5.8
	親と子(①)	124	19.4	61.3	10.5	13.7	43.5	47.6	11.3	14.5	8.1	1.6
	親と子(②)	189	18.0	73.5	12.7	14.3	46.6	34.9	13.8	11.6	2.1	1.1
	親と子(③)	259	28.2	73.4	18.9	15.1	27.4	13.5	11.6	7.7	4.6	5.8
	親と子(④)	112	31.3	67.0	24.1	16.1	38.4	30.4	15.2	8.0	1.8	1.8
	三世帯	73	23.3	71.2	20.5	26.0	43.8	21.9	13.7	5.5	2.7	1.4
その他	58	20.7	53.4	15.5	29.3	36.2	29.3	17.2	6.9	1.7	3.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ (ウ) 衣類の購入先 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

性／年代別で最も多いのは、女性の50歳代と男女の60歳代、70歳以上で「デパート・百貨店等」、男女の29歳以下から40歳代と男性の50歳代で「大型ショッピングモール」である。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下と40歳代で「大型ショッピングモール (76.2%・71.2%)」、女性の30歳代で「インターネット (47.5%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「デパート・百貨店等」である。それ以外の地区では、片倉三枚、菅田、羽沢で「大型ショッピングモール」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、菅田で「スーパーマーケット (34.4%)」、神奈川幸ヶ谷で「デパート・百貨店等 (73.8%)」、六角橋で「通信販売 (37.5%)」などである。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「デパート・百貨店等」である。それ以外では、親と子(①)、親と子(②)、三世代で「大型ショッピングモール」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)、親と子(②)で「大型ショッピングモール (75.0%・70.9%)」、親と子(①)で「インターネット (43.5%)」などである。

図 (ウ) 衣類の購入先 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

		調査数	近隣の商店街の店舗	スーパーマーケット	アコンビニエンスストア	デパート・百貨店等	大型ショッピングモール	インターネット	通信販売	宅配	その他	無回答
全体		1,363	9.0	19.8	2.1	59.4	50.8	21.6	18.6	2.9	2.0	5.1
性／年代	男性 29歳以下	44	2.3	13.6	2.3	56.8	68.2	29.5	13.6	-	-	9.1
	30歳代	59	5.1	8.5	1.7	55.9	61.0	37.3	11.9	5.1	-	5.1
	40歳代	100	4.0	17.0	1.0	55.0	62.0	32.0	13.0	3.0	3.0	1.0
	50歳代	79	7.6	19.0	2.5	53.2	58.2	22.8	13.9	3.8	1.3	1.3
	60歳代	112	15.2	35.7	4.5	58.9	44.6	8.0	13.4	-	-	5.4
	70歳以上	129	18.6	27.9	2.3	58.1	31.8	5.4	16.3	2.3	2.3	10.9
	女性 29歳以下	63	3.2	1.6	3.2	60.3	76.2	34.9	14.3	3.2	3.2	3.2
	30歳代	122	3.3	6.6	1.6	65.6	69.7	47.5	15.6	4.1	2.5	0.8
	40歳代	156	3.2	12.8	0.6	58.3	71.2	35.3	24.4	1.9	1.3	1.3
	50歳代	121	2.5	19.8	1.7	67.8	54.5	24.0	25.6	4.1	0.8	1.7
60歳代	157	11.5	29.9	2.5	68.8	47.1	10.2	31.2	3.8	3.2	2.5	
70歳以上	167	16.8	22.8	1.8	53.3	19.2	4.2	16.8	3.6	3.0	11.4	
居住地区	青木	125	6.4	12.0	2.4	67.2	51.2	26.4	15.2	3.2	2.4	3.2
	大口七島	82	15.9	19.5	1.2	56.1	48.8	18.3	20.7	2.4	4.9	6.1
	片倉三枚	105	5.7	7.6	1.0	59.0	61.9	20.0	18.1	4.8	1.9	5.7
	神奈川幸ヶ谷	141	3.5	14.2	3.5	73.8	50.4	27.0	14.9	1.4	-	3.5
	神之木西寺尾	88	12.5	23.9	3.4	51.1	48.9	22.7	25.0	1.1	3.4	6.8
	子安入江	136	11.0	16.9	-	58.8	54.4	24.3	11.0	2.9	0.7	6.6
	白幡浦島丘	87	13.8	33.3	3.4	52.9	31.0	12.6	13.8	4.6	-	4.6
	神西神北	94	9.6	33.0	1.1	55.3	48.9	20.2	12.8	2.1	2.1	4.3
	神大寺	85	5.9	21.2	3.5	63.5	60.0	16.5	15.3	3.5	2.4	2.4
	菅田	96	11.5	34.4	2.1	41.7	50.0	18.8	27.1	6.3	1.0	5.2
	羽沢	93	4.3	15.1	2.2	57.0	61.3	18.3	26.9	2.2	4.3	4.3
	松見	71	14.1	23.9	1.4	54.9	52.1	21.1	16.9	1.4	2.8	8.5
	三ツ沢	66	6.1	13.6	-	72.7	42.4	24.2	19.7	1.5	-	1.5
	六角橋	64	9.4	15.6	3.1	67.2	51.6	28.1	37.5	3.1	3.1	3.1
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	2.6	14.7	3.4	56.0	55.2	26.7	15.5	4.3	0.9	4.3
	ひとり暮らし(②)	84	17.9	25.0	2.4	50.0	21.4	1.2	11.9	1.2	2.4	13.1
	夫婦のみ(①)	121	1.7	11.6	0.8	72.7	57.9	31.4	19.8	2.5	1.7	0.8
	夫婦のみ(②)	190	21.1	26.3	2.6	63.7	32.1	4.7	20.5	3.2	2.1	6.8
	親と子(①)	124	3.2	9.7	0.8	55.6	75.0	43.5	15.3	2.4	2.4	2.4
	親と子(②)	189	4.2	15.9	1.1	57.1	70.9	30.2	22.2	3.7	1.1	3.2
	親と子(③)	259	11.6	26.3	2.3	57.5	39.4	15.4	20.5	3.5	3.5	6.2
	親と子(④)	112	6.3	23.2	3.6	60.7	54.5	23.2	21.4	2.7	1.8	2.7
	三世代	73	4.1	20.5	1.4	61.6	68.5	21.9	13.7	1.4	1.4	2.7
その他	58	5.2	20.7	-	62.1	46.6	29.3	20.7	1.7	-	3.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

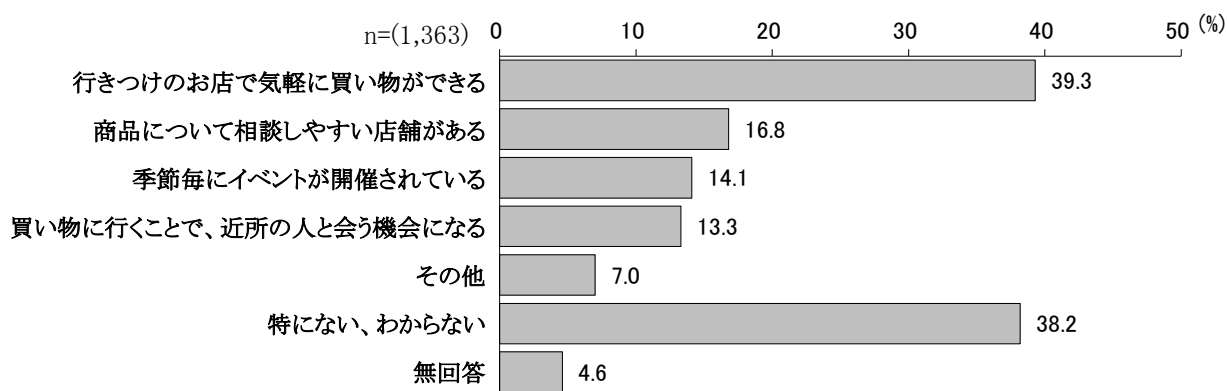
(2) 商店街の魅力

◇「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」を39.9%の人が挙げている

問18 神奈川区には24の商店街がありますが、商店街の魅力は何だと思えますか。
(あてはまるものすべてに○)

商店街の魅力は、「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」が39.3%で最も高くなっている。次いで、「商品について相談しやすい店舗がある」が16.8%、「季節毎にイベントが開催されている」が14.1%、「買い物に行くことで、近所の人と会う機会になる」が13.3%となっている。一方、「特にない、わからない」は38.2%となっている。

図 商店街の魅力 [全体] (複数回答)



■ 商店街の魅力 [性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

性/年代別で最も多いのは、男女の50歳代から70歳以上で「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」、男女の29歳以下から40歳代で「特にない、わからない」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の60歳代と70歳以上で「行きつけのお店で気軽に買い物ができる (50.9%・49.6%)」、男性の29歳以下で「季節毎にイベントが開催されている (25.0%)」である。

居住地区別で最も多いのは、大口七島、子安入江、白幡浦島丘、神大寺、松見、三ツ沢、六角橋で「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」である。それ以外の地区では「特にない、わからない」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、大口七島と松見で「行きつけのお店で気軽に買い物ができる (53.7%・50.7%)」である。

世帯類型別で最も多いのは、ひとり暮らし (②)、夫婦のみ (②)、親子 (③)、親子 (④)、三世帯で「行きつけのお店で気軽に買い物ができる」である。それ以外では「特にない、わからない」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親子 (①) で「季節毎にイベントが開催されている (25.8%)」である。

図 商店街の魅力 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別]

		調査数	買い物の 行きつけの お店で気軽 に行ける	商品につ いて相談し やすい	買い物に行 くことで、 近所の人と 会う機会に なる	季節毎にイ ベントが開 催される	その他	特にな い、わか らない	(%) 無回答	
全体		1,363	39.3	16.8	13.3	14.1	7.0	38.2	4.6	
性 ／ 年 代	男性									
	29歳以下	44	29.5	6.8	4.5	25.0	4.5	47.7	4.5	
	30歳代	59	30.5	16.9	13.6	18.6	10.2	42.4	-	
	40歳代	100	32.0	13.0	10.0	21.0	11.0	41.0	3.0	
	50歳代	79	44.3	13.9	8.9	11.4	8.9	34.2	5.1	
	60歳代	112	50.9	19.6	11.6	9.8	3.6	37.5	-	
	70歳以上	129	49.6	26.4	17.8	10.9	3.9	30.2	10.1	
	女性									
	29歳以下	63	34.9	15.9	17.5	14.3	6.3	39.7	3.2	
	30歳代	122	27.9	11.5	9.8	15.6	12.3	45.9	2.5	
40歳代	156	28.8	14.7	10.3	17.9	9.0	38.5	1.9		
50歳代	121	43.8	20.7	19.0	16.5	6.6	38.0	0.8		
60歳代	157	45.2	19.7	15.9	14.0	3.8	34.4	7.0		
70歳以上	167	44.9	15.0	13.2	7.2	6.0	37.7	7.2		
居 住 地 区	青木	125	32.8	14.4	11.2	8.8	5.6	44.0	4.8	
	大口七島	82	53.7	19.5	15.9	23.2	8.5	24.4	-	
	片倉三枚	105	42.9	16.2	14.3	12.4	2.9	43.8	1.0	
	神奈川幸ヶ谷	141	33.3	14.2	12.8	13.5	7.1	39.0	5.0	
	神之木西寺尾	88	29.5	13.6	11.4	19.3	9.1	47.7	3.4	
	子安入江	136	36.0	15.4	14.0	20.6	7.4	36.0	4.4	
	白幡浦島丘	87	42.5	21.8	13.8	12.6	8.0	31.0	6.9	
	神西神北	94	37.2	10.6	10.6	14.9	10.6	38.3	6.4	
	神大寺	85	48.2	23.5	10.6	21.2	4.7	34.1	3.5	
	菅田	96	38.5	15.6	17.7	5.2	5.2	44.8	6.3	
	羽沢	93	31.2	11.8	12.9	6.5	4.3	53.8	5.4	
	松見	71	50.7	19.7	12.7	15.5	8.5	18.3	7.0	
	三ツ沢	66	43.9	19.7	10.6	9.1	12.1	34.8	4.5	
六角橋	64	46.9	26.6	10.9	17.2	7.8	32.8	-		
世 帯 類 型	ひとり暮らし(①)	116	32.8	7.8	0.9	12.1	8.6	48.3	6.0	
	ひとり暮らし(②)	84	47.6	10.7	14.3	9.5	7.1	32.1	7.1	
	夫婦のみ(①)	121	28.9	14.0	10.7	16.5	12.4	39.7	2.5	
	夫婦のみ(②)	190	45.8	20.0	14.2	8.4	2.6	35.3	8.9	
	親と子(①)	124	31.5	18.5	12.1	25.8	11.3	34.7	1.6	
	親と子(②)	189	33.3	11.6	12.7	18.0	7.4	41.8	2.1	
	親と子(③)	259	46.3	23.6	16.2	10.4	5.8	35.9	5.0	
	親と子(④)	112	47.3	15.2	17.9	17.9	3.6	37.5	0.9	
	三世帯	73	39.7	19.2	16.4	12.3	11.0	31.5	4.1	
その他	58	31.0	20.7	12.1	13.8	5.2	48.3	3.4		

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

10. 地域での活動について

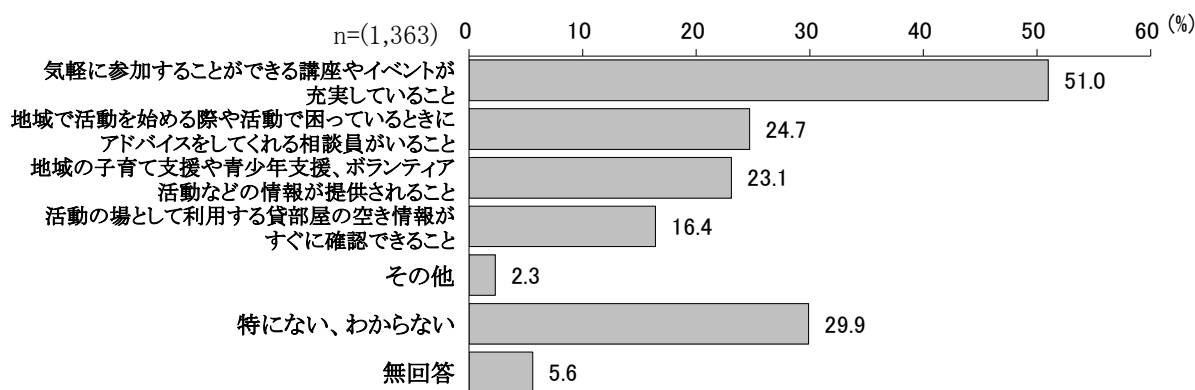
(1) 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること

◇「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」を51.0%の人が挙げている

問19 地域活動・交流の場として、地域ケアプラザを利用する際に、重要と感ずることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずることは、「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」が51.0%で最も高くなっている。次いで、「地域で活動を始める際や活動で困っているときにアドバイスをしてくれる相談員がいること」が24.7%、「地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること」が23.1%、「活動の場として利用する貸部屋の空き情報がすぐに確認できること」が16.4%となっている。一方、「特にない、わからない」は29.9%となっている。

図 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること [全体] (複数回答)



■ 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること [性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

性/年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」である。それ以外では、男性の29歳以下で「特にない、わからない」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の30歳代で「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること (66.4%)」、女性の29歳以下と30歳代で「地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること (36.5%・50.0%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」である。それ以外の地区では、菅田で「特にない、わからない」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、神大寺で「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること (63.5%)」と「活動の場として利用する貸部屋の空き情報がすぐに確認できること (29.4%)」である。

世帯類型別で最も多いのは、いずれも「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること」である。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること(67.7%)」や「地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること(57.3%)」、三世代で「地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること(37.0%)」などとなっている。

図 地域ケアプラザを利用する際に重要と感ずること [性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

		調査数	や気軽に参加することが充実していること	活動の場として利用確認できる貸部屋の空き情報	提供されること	地域の子ども子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること	困窮しているときにアドバイスをし始める活動	その他	特にない、わからない	無回答
全体		1,363	51.0	16.4	23.1	24.7	2.3	29.9	5.6	
性/年代	男性 29歳以下	44	40.9	22.7	20.5	13.6	-	43.2	-	
	30歳代	59	44.1	20.3	30.5	23.7	5.1	33.9	-	
	40歳代	100	51.0	13.0	18.0	25.0	-	31.0	2.0	
	50歳代	79	43.0	10.1	17.7	19.0	2.5	41.8	2.5	
	60歳代	112	48.2	17.9	13.4	24.1	0.9	36.6	2.7	
	70歳以上	129	46.5	19.4	14.0	30.2	5.4	28.7	14.0	
	女性 29歳以下	63	47.6	20.6	36.5	25.4	6.3	30.2	1.6	
	30歳代	122	66.4	21.3	50.0	28.7	2.5	17.2	-	
	40歳代	156	61.5	19.2	33.3	29.5	0.6	21.8	1.3	
	50歳代	121	57.9	17.4	28.9	29.8	1.7	28.1	3.3	
60歳代	157	56.1	12.7	16.6	21.0	2.5	28.0	4.5		
70歳以上	167	44.9	13.8	12.0	22.8	1.8	32.3	12.0		
居住地区	青木	125	57.6	18.4	28.8	28.8	1.6	28.0	1.6	
	大口七島	82	47.6	14.6	17.1	23.2	2.4	34.1	4.9	
	片倉三枚	105	60.0	15.2	28.6	28.6	1.0	24.8	6.7	
	神奈川幸ヶ谷	141	54.6	16.3	25.5	24.8	1.4	26.2	4.3	
	神之木西寺尾	88	50.0	15.9	23.9	28.4	3.4	27.3	5.7	
	子安入江	136	53.7	19.1	26.5	19.1	4.4	26.5	5.1	
	白幡浦島丘	87	48.3	16.1	19.5	29.9	2.3	32.2	8.0	
	神西神北	94	44.7	11.7	19.1	18.1	2.1	34.0	7.4	
	神大寺	85	63.5	29.4	22.4	32.9	1.2	21.2	4.7	
	菅田	96	39.6	11.5	15.6	16.7	-	42.7	7.3	
	羽沢	93	44.1	16.1	20.4	24.7	2.2	35.5	4.3	
	松見	71	45.1	14.1	15.5	19.7	2.8	29.6	7.0	
	三ツ沢	66	54.5	13.6	27.3	27.3	6.1	30.3	-	
六角橋	64	50.0	20.3	32.8	26.6	3.1	31.3	1.6		
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	42.2	15.5	22.4	15.5	0.9	39.7	3.4	
	ひとり暮らし(②)	84	39.3	6.0	6.0	27.4	1.2	34.5	16.7	
	夫婦のみ(①)	121	61.2	19.0	25.6	34.7	2.5	25.6	0.8	
	夫婦のみ(②)	190	52.1	16.3	14.2	23.7	2.6	25.8	10.5	
	親と子(①)	124	67.7	19.4	57.3	25.0	3.2	16.9	-	
	親と子(②)	189	51.9	19.0	23.8	24.3	1.1	29.6	1.6	
	親と子(③)	259	49.8	16.2	15.4	25.1	3.5	31.3	7.7	
	親と子(④)	112	48.2	18.8	24.1	19.6	0.9	34.8	1.8	
三世代	73	45.2	16.4	37.0	24.7	2.7	34.2	2.7		
その他	58	43.1	12.1	15.5	31.0	5.2	29.3	6.9		

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

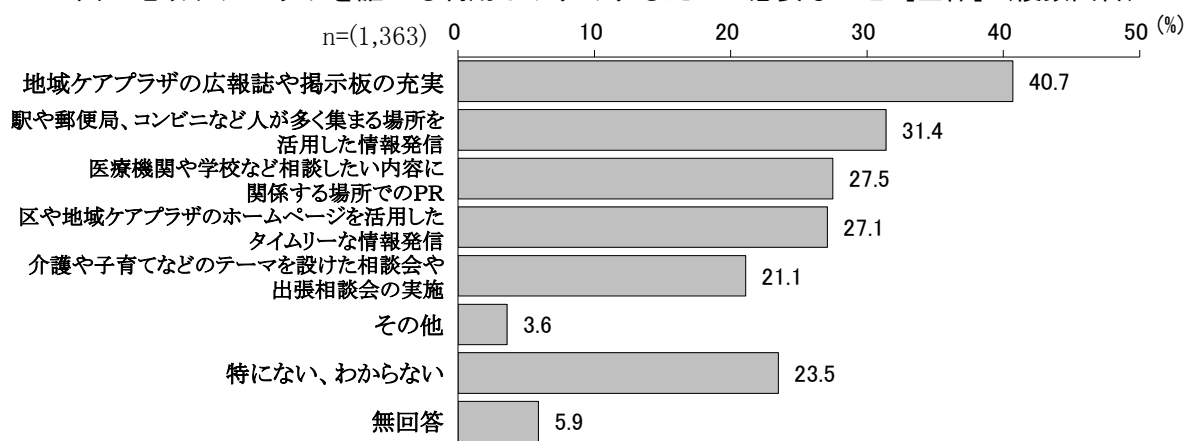
(2) 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと

◇「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」を40.7%の人が挙げている

問20 地域ケアプラザは、子どもから高齢者までの身近な相談機関です。誰でも身近に利用しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なことは、「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」が40.7%で最も高くなっている。次いで、「駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信」が31.4%、「医療機関や学校など相談したい内容に関する場所でのPR」が27.5%、「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信」が27.1%、「介護や子育てなどのテーマを設けた相談会や出張相談会の実施」が21.1%となっている。一方、「特にない、わからない」は23.5%となっている。

図 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと [全体] (複数回答)



■ 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと [性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

性/年代別で最も多いのは、男女の40歳代から70歳以上で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」である。それ以外では、男性の29歳以下で「特にない、わからない」、男性の30歳代で「駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信」、女性の29歳以下で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」と「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信」が並び、女性の30歳代で「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の30歳代で「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信 (44.3%)」と「医療機関や学校など相談したい内容に関する場所でのPR (42.6%)」、男性の29歳以下で「特にない、わからない (45.5%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」である。それ以外の地区では、羽沢で「特にない、わからない」、大口七島で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」と「駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、神大寺で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実 (51.8%)」、羽沢と六角橋で「特にない、わからない (35.5%・37.5%)」である。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実」である。それ以外では、親と子(①)で「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信」、ひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)、その他で「駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、夫婦のみ(②)で「地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実(51.6%)」、親と子(①)で「区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信(43.5%)」と「介護や子育てなどのテーマを設けた相談会や出張相談会の実施(37.1%)」である。

図 地域ケアプラザを誰でも利用しやすくするために必要なこと
[性/年代別・居住地区別・世帯類型別]

		調査数	地域ケアプラザの充実	地域ケアプラザのホームページの情報発信	区や地域ケアプラザの活用	診療機関や学校などの相談	医療機関や学校などの相談	駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所	相談会の実施	介護や子育てなどのテーマ	その他	特にない、わからない	無回答
全体		1,363	40.7	27.1	27.5	31.4	21.1	3.6	23.5	5.9			
性/年代	男性 29歳以下	44	27.3	25.0	18.2	31.8	4.5	4.5	45.5	-			
	30歳代	59	33.9	32.2	37.3	44.1	32.2	6.8	18.6	-			
	40歳代	100	38.0	32.0	29.0	35.0	17.0	6.0	19.0	2.0			
	50歳代	79	36.7	30.4	19.0	27.8	10.1	5.1	32.9	3.8			
	60歳代	112	42.0	29.5	30.4	27.7	17.0	1.8	25.0	3.6			
	70歳以上	129	51.9	20.2	25.6	24.0	19.4	4.7	20.9	12.4			
	女性 29歳以下	63	33.3	33.3	31.7	30.2	19.0	6.3	20.6	3.2			
	30歳代	122	40.2	44.3	42.6	38.5	32.8	1.6	13.9	-			
	40歳代	156	38.5	37.2	34.6	34.6	23.1	3.8	17.9	1.9			
	50歳代	121	50.4	30.6	27.3	39.7	27.3	1.7	22.3	3.3			
60歳代	157	45.2	21.7	25.5	31.8	26.8	1.9	24.2	5.7				
70歳以上	167	43.7	9.0	15.6	22.8	17.4	3.6	27.5	14.4				
居住地区	青木	125	47.2	32.8	28.0	28.0	22.4	0.8	19.2	1.6			
	大口七島	82	34.1	18.3	31.7	34.1	18.3	4.9	26.8	4.9			
	片倉三枚	105	45.7	33.3	28.6	39.0	27.6	2.9	14.3	5.7			
	神奈川幸ヶ谷	141	39.7	32.6	33.3	36.2	22.0	3.5	20.6	3.5			
	神之木西寺尾	88	42.0	22.7	33.0	28.4	26.1	2.3	20.5	9.1			
	子安入江	136	41.9	27.2	25.0	29.4	16.2	4.4	21.3	5.9			
	白幡浦島丘	87	41.4	27.6	24.1	28.7	19.5	5.7	23.0	8.0			
	神西神北	94	28.7	23.4	25.5	23.4	21.3	5.3	27.7	7.4			
	神大寺	85	51.8	30.6	30.6	37.6	17.6	-	17.6	4.7			
	菅田	96	39.6	21.9	20.8	28.1	19.8	3.1	28.1	7.3			
	羽沢	93	34.4	28.0	24.7	22.6	21.5	6.5	35.5	4.3			
	松見	71	36.6	23.9	23.9	29.6	22.5	2.8	23.9	8.5			
	三ツ沢	66	48.5	24.2	25.8	37.9	21.2	4.5	25.8	1.5			
六角橋	64	42.2	29.7	28.1	35.9	21.9	4.7	37.5	1.6				
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	31.9	32.8	24.1	40.5	12.9	0.9	26.7	5.2			
	ひとり暮らし(②)	84	36.9	9.5	13.1	28.6	11.9	3.6	31.0	16.7			
	夫婦のみ(①)	121	32.2	35.5	32.2	36.4	22.3	4.1	21.5	0.8			
	夫婦のみ(②)	190	51.6	19.5	24.7	22.6	18.9	2.1	22.6	9.5			
	親と子(①)	124	41.9	43.5	33.9	33.9	37.1	5.6	12.9	-			
	親と子(②)	189	38.1	25.9	30.2	23.8	20.1	4.8	24.3	5.3			
	親と子(③)	259	45.9	22.4	27.8	32.4	23.6	3.1	23.2	6.9			
	親と子(④)	112	40.2	31.3	26.8	37.5	14.3	1.8	30.4	1.8			
三世代	73	47.9	34.2	32.9	35.6	27.4	2.7	23.3	2.7				
その他	58	25.9	29.3	25.9	31.0	19.0	12.1	19.0	5.2				

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

(3) 地域の活動について

◇「地域のイベント」に参加経験のある人が41.1%、「災害に備えた地域での防災訓練」を特に重要と挙げた人が44.1%

問21 地域の活動についておたずねします。

(ア)参加している(したことがある)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(イ)今後参加してみたい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

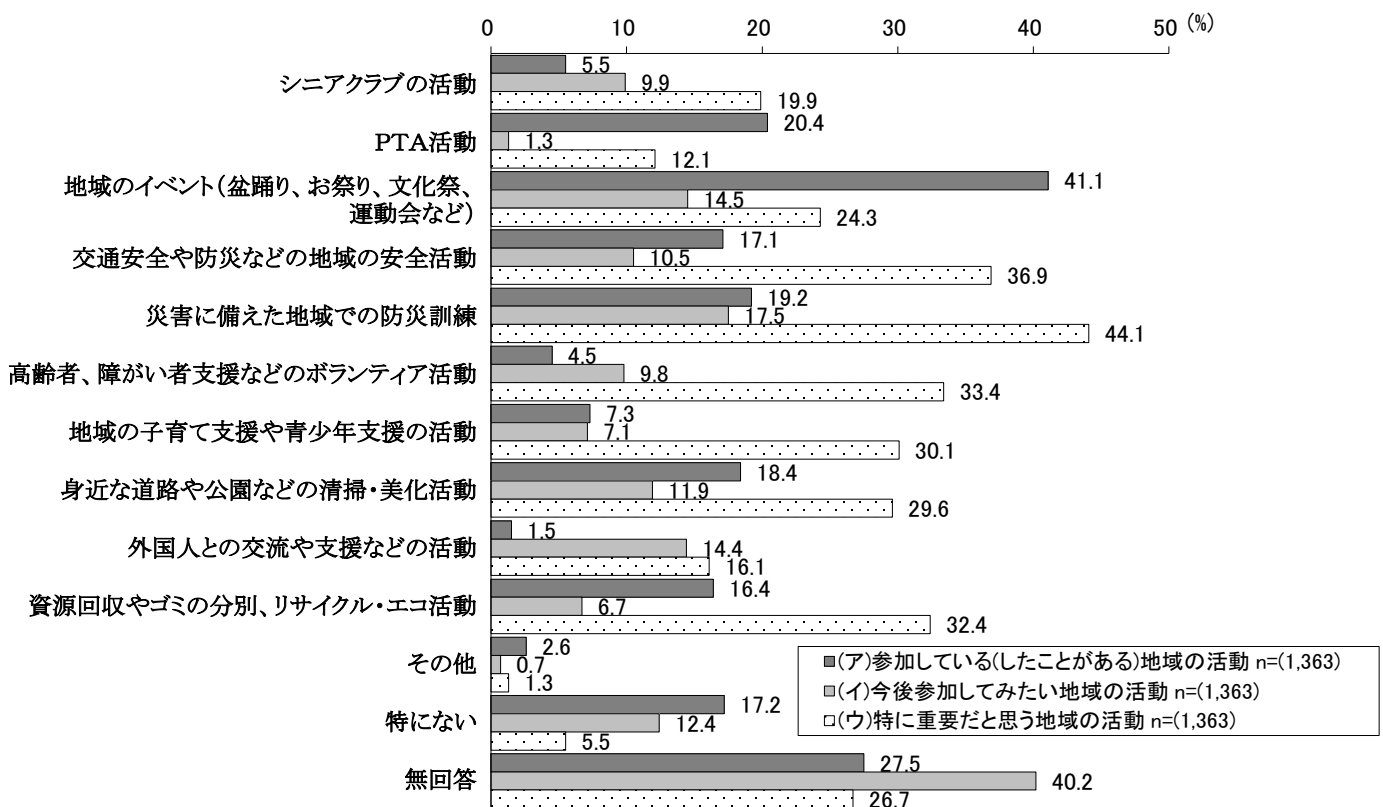
(ウ)特に重要だと思う活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

参加している(したことがある)活動で最も高くなっているのは、「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(41.1%)」である。次いで、「PTA活動(20.4%)」、「災害に備えた地域での防災訓練(19.2%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(18.4%)」となっている。一方、「特にない」は17.2%となっている。

今後参加してみたい活動で最も高くなっているのは、「災害に備えた地域での防災訓練(17.5%)」である。次いで、「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(14.5%)」、「外国人との交流や支援などの活動(14.4%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(11.9%)」となっている。一方、「特にない」は12.4%となっている。

特に重要だと思う活動で最も高くなっているのは、「災害に備えた地域での防災訓練(44.1%)」となっている。次いで、「交通安全や防災などの地域の安全活動(36.9%)」、「高齢者、障がい者支援などのボランティア活動(33.4%)」、「資源回収やゴミの分別、リサイクル・エコ活動(32.4%)」、「地域の子育て支援や青少年支援の活動(30.1%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(29.6%)」となっている。一方、「特にない」は5.5%となっている。

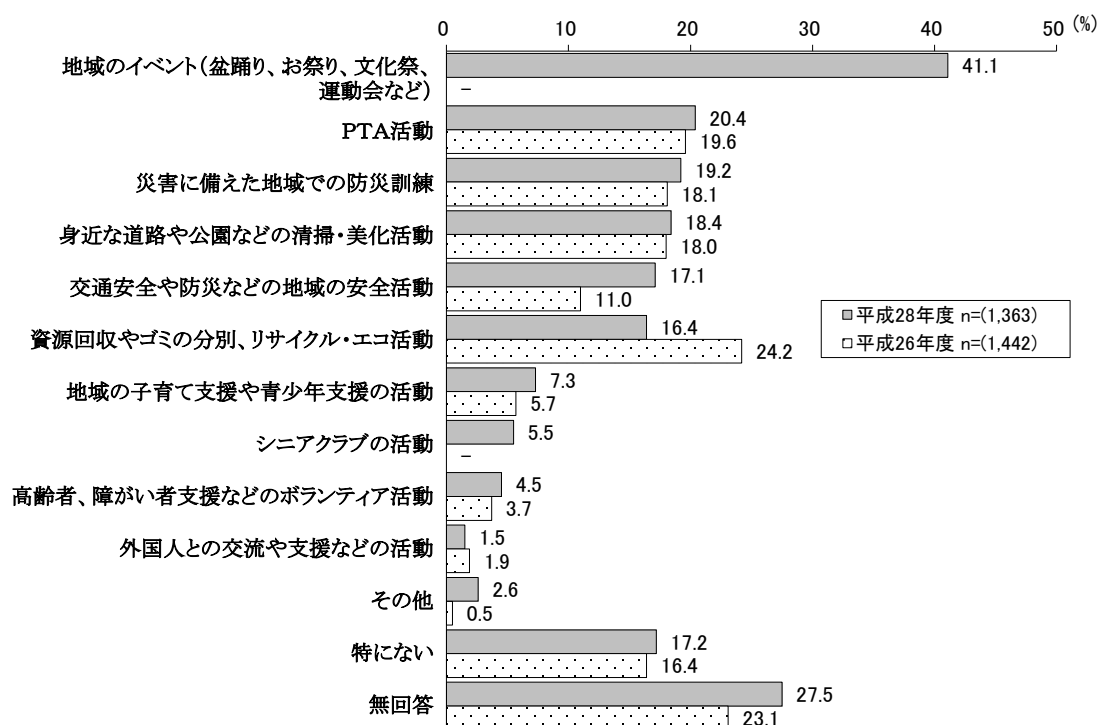
図 地域の活動について [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、参加している（したことがある）活動では、「交通安全や防災などの地域の安全活動」は平成26年11.0%→平成28年17.1%と6.1ポイント増加している。一方、「資源回収やゴミの分別、リサイクル・エコ活動」は平成26年24.2%→平成28年16.4%と7.8ポイント減少している。

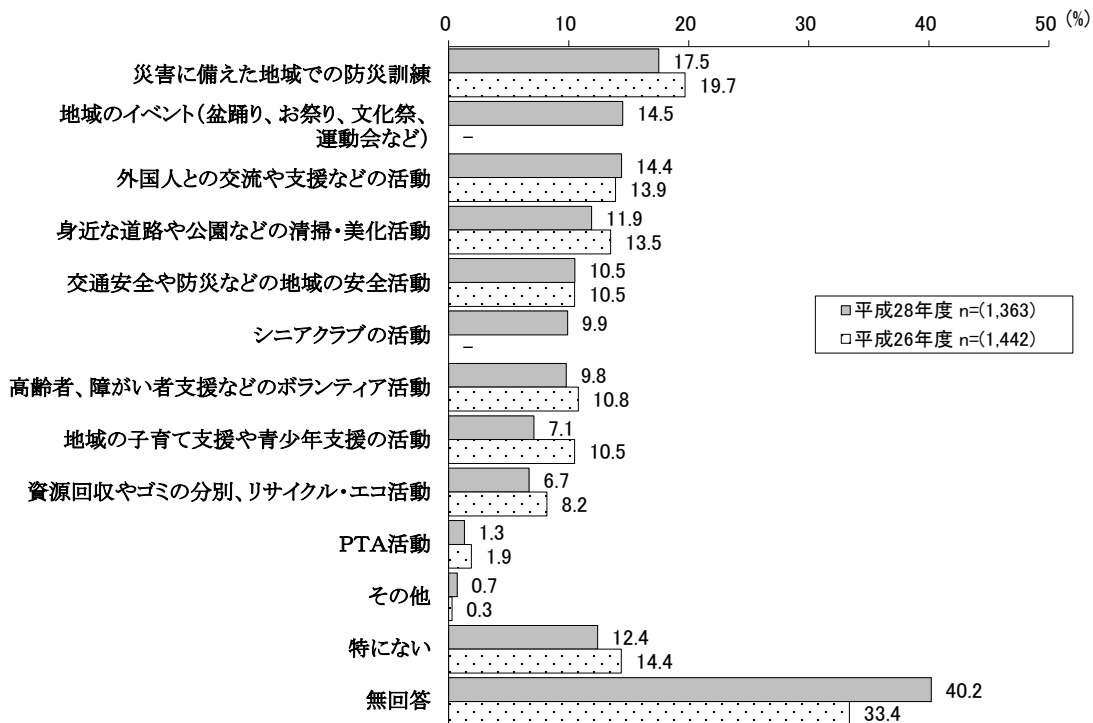
図 (ア) 参加している（したことがある）活動（過去の調査との比較）



第2章 調査結果の詳細

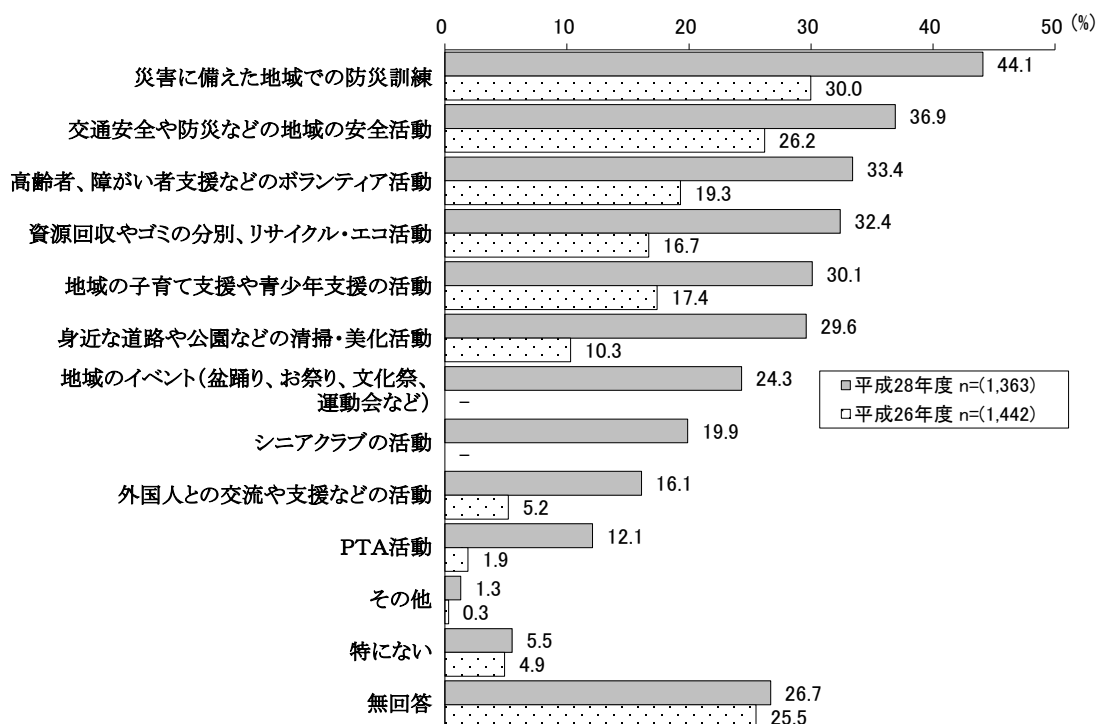
今後参加してみたい活動では、「地域の子育て支援や青少年支援の活動」で平成26年10.5%→平成28年7.1%と3.4ポイント減少している。

図 (イ) 今後参加してみたい活動（過去の調査との比較）



特に重要だと思う活動では、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動」は平成26年10.3%→平成28年29.6%と19.3ポイント増加、「資源回収やゴミの分別、リサイクル・エコ活動」は平成26年16.7%→平成28年32.4%と15.7ポイント増加など、主な項目において10ポイント以上の増加となっている。

図 (ウ) 特に重要だと思う活動（過去の調査との比較）



■ (ア) 参加している(したことがある)活動 [性/年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性/年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)」となっている。男性の29歳以下と30歳代では、「特にない」が最も多い。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の40歳代と50歳代で「PTA活動(44.2%・50.4%)」、女性の40歳代で「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(57.1%)」、男性の29歳以下で「特にない(34.1%)」である。

居住地区別でみると、いずれの地区でも「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、神大寺と羽沢で「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(55.3%・52.7%)」、松見で「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(29.6%)」となっている。

図 (ア) 参加している(したことがある)活動 [性/年代別・居住地区別]

		(%)													
		調査数	シニアクラブの活動	PTA活動	地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)	交通安全や防災などの地域の安全活動	防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	地域の子育て支援や青少年支援の活動	身近な道路や公園などの清掃・美化活動	外国人との交流や支援などの活動	資源回収やゴミの分別リサイクル・エコ活動	その他	特にない	無回答
全体		1,363	5.5	20.4	41.1	17.1	19.2	4.5	7.3	18.4	1.5	16.4	2.6	17.2	27.5
性/年代	男性 29歳以下	44	-	4.5	25.0	-	-	-	-	6.8	-	4.5	-	34.1	36.4
	30歳代	59	-	-	20.3	5.1	3.4	-	5.1	5.1	1.7	11.9	-	25.4	42.4
	40歳代	100	1.0	13.0	35.0	13.0	14.0	1.0	6.0	14.0	1.0	15.0	-	24.0	31.0
	50歳代	79	1.3	16.5	44.3	11.4	22.8	2.5	5.1	13.9	1.3	15.2	1.3	20.3	21.5
	60歳代	112	2.7	12.5	30.4	14.3	17.0	2.7	3.6	8.9	1.8	11.6	-	23.2	32.1
	70歳以上	129	19.4	7.0	44.2	24.0	25.6	5.4	3.9	27.1	-	21.7	7.8	10.9	28.7
	女性 29歳以下	63	1.6	1.6	38.1	14.3	6.3	6.3	11.1	17.5	3.2	19.0	1.6	23.8	27.0
	30歳代	122	-	10.7	36.9	11.5	9.8	3.3	16.4	10.7	3.3	17.2	-	18.9	31.1
	40歳代	156	0.6	44.2	57.1	23.1	18.6	3.8	16.0	23.1	-	18.6	0.6	15.4	14.1
	50歳代	121	-	50.4	53.7	24.0	30.6	5.8	5.0	24.0	2.5	18.2	2.5	18.2	12.4
60歳代	157	3.8	29.9	44.6	22.9	28.7	7.6	5.1	24.2	1.9	17.2	3.8	10.8	26.1	
70歳以上	167	18.0	18.0	41.3	18.6	25.7	7.2	4.8	25.1	1.8	16.2	4.8	8.4	33.5	
居住地区	青木	125	8.8	20.8	32.8	16.8	15.2	5.6	11.2	19.2	0.8	17.6	2.4	25.6	25.6
	大口七島	82	6.1	15.9	41.5	19.5	25.6	6.1	4.9	25.6	1.2	18.3	4.9	13.4	30.5
	片倉三枚	105	3.8	25.7	41.0	18.1	21.9	2.9	5.7	17.1	1.0	15.2	1.9	12.4	25.7
	神奈川幸ヶ谷	141	2.1	13.5	31.9	11.3	21.3	1.4	7.1	7.8	2.1	16.3	2.1	16.3	34.0
	神之木西寺尾	88	4.5	25.0	39.8	18.2	23.9	4.5	5.7	19.3	1.1	20.5	2.3	14.8	27.3
	子安入江	136	3.7	16.9	41.9	16.9	18.4	3.7	8.8	21.3	0.7	16.2	0.7	19.1	26.5
	白幡浦島丘	87	6.9	21.8	39.1	21.8	25.3	3.4	5.7	20.7	1.1	14.9	2.3	20.7	29.9
	神西神北	94	5.3	19.1	38.3	16.0	13.8	7.4	4.3	14.9	-	14.9	2.1	20.2	28.7
	神大寺	85	8.2	30.6	55.3	17.6	21.2	4.7	7.1	14.1	4.7	12.9	7.1	11.8	23.5
	菅田	96	6.3	16.7	49.0	20.8	26.0	4.2	4.2	20.8	-	15.6	2.1	11.5	28.1
	羽沢	93	5.4	24.7	52.7	16.1	15.1	5.4	5.4	22.6	3.2	20.4	3.2	16.1	21.5
	松見	71	8.5	28.2	46.5	22.5	21.1	1.4	14.1	29.6	2.8	16.9	2.8	14.1	28.2
	三ツ沢	66	6.1	13.6	47.0	12.1	9.1	10.6	9.1	19.7	-	10.6	1.5	19.7	21.2
六角橋	64	1.6	20.3	35.9	17.2	12.5	1.6	9.4	12.5	3.1	18.8	1.6	23.4	23.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの地区で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」である。ひとり暮らし（①）と夫婦のみ（①）では、「特にない」が最も多い。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子（②）で「PTA活動（50.3%）」、親と子（①）で「地域の子育て支援や青少年支援の活動（31.5%）」、ひとり暮らし（①）で「特にない（38.8%）」となっている。

自治会町内会加入状況別でみると、加入者で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」が最も多く、未加入者より30.5ポイント高くなっている。未加入者では「特にない」が最も多い。

図（ア）参加している（したことがある）活動〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

	調査数	シニアクラブの活動	PTA活動	地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）	地域の安全や防災などの活動	交通安全や防災などの活動	災害に備えた地域での防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	地域の子育て支援や青少年支援の活動	身近な道路や公園などの清掃・美化活動など	外国人との交流や支援などの活動	資源回収やゴミの分別活動	その他	特にない	無回答
全体	1,363	5.5	20.4	41.1	17.1	19.2	4.5	7.3	18.4	1.5	16.4	2.6	17.2	27.5	
世帯類型	ひとり暮らし①	116	-	1.7	9.5	2.6	4.3	0.9	1.7	0.9	-	5.2	-	38.8	43.1
	ひとり暮らし②	84	17.9	7.1	28.6	13.1	22.6	4.8	1.2	14.3	1.2	10.7	7.1	16.7	38.1
	夫婦のみ①	121	-	10.7	20.7	7.4	17.4	2.5	0.8	9.9	1.7	9.9	1.7	34.7	28.1
	夫婦のみ②	190	13.2	24.2	49.5	25.3	31.6	5.8	5.3	23.7	1.1	22.6	6.8	9.5	23.2
	親と子①	124	-	15.3	51.6	13.7	12.9	0.8	31.5	13.7	2.4	16.1	0.8	10.5	23.4
	親と子②	189	3.7	50.3	61.9	22.8	21.7	3.7	9.0	27.5	-	24.3	1.6	8.5	14.8
	親と子③	259	9.7	12.0	36.7	15.8	18.1	6.2	3.5	18.9	1.2	16.2	2.7	15.1	32.0
	親と子④	112	0.9	25.9	51.8	25.0	18.8	7.1	8.0	25.0	4.5	16.1	0.9	20.5	17.9
三世帯	73	1.4	34.2	61.6	28.8	24.7	11.0	12.3	30.1	2.7	19.2	2.7	11.0	20.5	
その他	58	-	10.3	29.3	10.3	15.5	1.7	1.7	13.8	3.4	13.8	-	17.2	39.7	
自治会	加入している	990	6.9	24.6	48.8	21.1	24.0	5.2	7.9	23.2	1.8	18.8	2.9	13.0	23.0
	加入していない	311	0.6	6.8	18.3	5.1	4.2	2.9	6.1	3.9	0.6	9.3	1.3	30.2	39.5

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ (イ) 今後参加してみたい活動 [性/年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性/年代別で最も多いのは、男女の60歳代と70歳以上で「シニアクラブの活動」、女性の29歳以下、男女の30歳代、男性の40歳代で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」、女性の40歳代、男女の50歳代で「災害に備えた地域での防災訓練」である。男性の29歳以下では、「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」と「外国人との交流や支援などの活動」が並んで多い。また、全体の値を特に上回っているのは、男性の70歳以上で「シニアクラブの活動（24.0%）」、男女の30歳代で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）（28.8%・31.1%）」はある。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「災害に備えた地域での防災訓練」である。それ以外では、片倉三枚で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」と「災害に備えた地域での防災訓練」が並び、神奈川幸ヶ谷で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」、白幡浦島丘で「特にない」、神大寺で「身近な道路や公園などの清掃・美化活動」、羽沢で「災害に備えた地域での防災訓練」と「外国人との交流や支援などの活動」が並び、三ツ沢で「外国人との交流や支援などの活動」、六角橋で「地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）」と「特にない」が並んで多くなっている。

図 (イ) 今後参加してみたい活動 [性/年代別・居住地区別]

		調査数	シニアクラブの活動	P T A 活動	地域のイベント（盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など）	交通安全や防災などの地域の安全活動	災害に備えた地域での防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	少年支援の活動	地域の子育て支援や青少年の育成活動	の身近な道路や公園などの清掃・美化活動	外国人との交流や支援などの活動	活動別資源回収やゴミの分別	その他	特にない	無回答
全体		1,363	9.9	1.3	14.5	10.5	17.5	9.8	7.1	11.9	14.4	6.7	0.7	12.4	40.2	
性/年代	男性 29歳以下	44	2.3	2.3	27.3	9.1	18.2	4.5	4.5	13.6	27.3	9.1	-	15.9	25.0	
	30歳代	59	1.7	1.7	28.8	15.3	25.4	8.5	10.2	11.9	16.9	13.6	-	18.6	28.8	
	40歳代	100	1.0	5.0	25.0	12.0	18.0	11.0	7.0	16.0	11.0	6.0	-	17.0	33.0	
	50歳代	79	6.3	-	8.9	12.7	16.5	6.3	3.8	15.2	10.1	6.3	-	15.2	41.8	
	60歳代	112	17.9	2.7	11.6	8.9	16.1	7.1	4.5	12.5	8.9	6.3	-	13.4	42.0	
	70歳以上	129	24.0	-	13.2	10.9	13.2	10.9	3.1	11.6	7.0	4.7	3.1	5.4	48.8	
	女性 29歳以下	63	1.6	1.6	27.0	15.9	19.0	11.1	9.5	9.5	23.8	7.9	-	12.7	30.2	
	30歳代	122	3.3	4.9	31.1	15.6	26.2	11.5	19.7	12.3	23.8	13.9	-	12.3	24.6	
	40歳代	156	1.3	-	8.3	9.6	23.7	10.9	9.6	10.3	22.4	5.1	-	15.4	32.7	
	50歳代	121	8.3	-	9.1	9.1	19.0	9.9	7.4	10.7	14.0	5.8	-	17.4	36.4	
60歳代	157	22.3	0.6	9.6	9.6	15.9	16.6	5.7	15.3	12.1	7.6	0.6	10.8	40.8		
70歳以上	167	12.6	-	6.0	7.2	10.8	6.0	3.0	8.4	8.4	1.8	2.4	6.6	59.3		
居住地区	青木	125	8.8	0.8	16.8	9.6	19.2	9.6	5.6	10.4	14.4	5.6	-	14.4	37.6	
	大口七島	82	13.4	-	11.0	9.8	14.6	9.8	7.3	9.8	13.4	7.3	1.2	12.2	40.2	
	片倉三枚	105	11.4	1.0	21.0	14.3	21.0	9.5	11.4	10.5	16.2	5.7	1.0	9.5	35.2	
	神奈川幸ヶ谷	141	8.5	2.8	19.9	11.3	17.7	8.5	13.5	12.8	16.3	8.5	-	9.9	39.0	
	神之木西寺尾	88	11.4	2.3	17.0	19.3	22.7	10.2	9.1	14.8	15.9	6.8	1.1	11.4	38.6	
	子安入江	136	8.8	1.5	19.9	11.8	22.1	13.2	8.1	15.4	17.6	5.1	-	11.8	32.4	
	白幡浦島丘	87	10.3	3.4	9.2	9.2	12.6	9.2	6.9	12.6	11.5	10.3	-	16.1	44.8	
	神西神北	94	7.4	2.1	12.8	9.6	20.2	9.6	9.6	8.5	13.8	8.5	-	11.7	44.7	
	神大寺	85	16.5	1.2	11.8	9.4	16.5	9.4	8.2	21.2	14.1	9.4	1.2	14.1	34.1	
	菅田	96	10.4	-	9.4	7.3	13.5	7.3	3.1	5.2	7.3	4.2	1.0	8.3	52.1	
	羽沢	93	10.8	-	9.7	14.0	16.1	10.8	3.2	12.9	16.1	7.5	1.1	12.9	43.0	
	松見	71	7.0	1.4	12.7	8.5	16.9	15.5	1.4	12.7	11.3	4.2	1.4	11.3	47.9	
	三ツ沢	66	7.6	-	9.1	3.0	16.7	9.1	3.0	7.6	22.7	1.5	-	19.7	36.4	
	六角橋	64	6.3	1.6	17.2	7.8	15.6	7.8	3.1	12.5	10.9	7.8	3.1	17.2	31.3	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、夫婦のみ(①)、親と子(②)、親と子(③)で「災害に備えた地域での防災訓練」である。ひとり暮らし(①)では「特にない」、ひとり暮らし(②)と夫婦のみ(②)では「シニアクラブの活動」、親と子(①)とその他では「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)」、親と子(④)では「外国人との交流や支援などの活動」、三世代では「地域の子育て支援や青少年支援の活動」と「外国人との交流や支援などの活動」が並んで多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)とその他で「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)(33.9%・31.0%)」、ひとり暮らし(①)で「特にない(31.0%)」である。

自治会町内会加入状況別でみると、加入者では「災害に備えた地域での防災訓練」が最も多い。未加入者では「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)」が最も多く、加入者より9.6ポイント高くなっている。

図 (イ) 今後参加してみたい活動〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		調査数	シニアクラブの活動	P T A 活動	運動会など 地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)	交通安全や防災などの地域の安全活動	災害に備えた地域での防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	地域の子育て支援や青少年支援の活動	身近な道路や公園などの清掃・美化活動	外国人との交流や支援などの活動	活動別資源回収やゴミの分別	その他	特にない	無回答
全体		1,363	9.9	1.3	14.5	10.5	17.5	9.8	7.1	11.9	14.4	6.7	0.7	12.4	40.2
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	5.2	0.9	18.1	4.3	11.2	4.3	0.9	10.3	7.8	6.9	-	31.0	32.8
	ひとり暮らし(②)	84	16.7	-	6.0	4.8	10.7	7.1	2.4	8.3	8.3	-	1.2	10.7	53.6
	夫婦のみ(①)	121	4.1	1.7	16.5	15.7	24.0	10.7	11.6	14.9	21.5	12.4	-	20.7	24.0
	夫婦のみ(②)	190	21.6	1.1	5.8	7.9	13.2	11.1	6.3	13.2	11.6	4.2	1.1	4.7	51.1
	親と子(①)	124	4.0	4.8	33.9	14.5	27.4	9.7	18.5	16.1	18.5	8.1	-	6.5	30.6
	親と子(②)	189	5.8	1.1	14.3	12.7	19.6	10.6	7.4	11.6	15.3	7.4	-	10.1	41.3
	親と子(③)	259	10.0	0.8	12.0	11.2	16.2	10.4	4.2	10.8	10.8	6.2	1.5	10.8	46.3
	親と子(④)	112	7.1	0.9	12.5	9.8	18.8	6.3	2.7	11.6	20.5	4.5	-	18.8	32.1
	三世代	73	11.0	2.7	6.8	9.6	17.8	16.4	19.2	12.3	19.2	9.6	1.4	4.1	42.5
その他	58	17.2	-	31.0	12.1	20.7	13.8	5.2	8.6	20.7	10.3	-	8.6	27.6	
自治会	加入している	990	11.9	1.1	12.6	10.4	17.5	10.0	7.0	12.6	13.5	6.1	0.8	10.2	41.8
	加入していない	311	4.5	1.9	22.2	10.0	19.3	9.6	7.7	10.0	18.0	9.0	-	19.3	31.5

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

■ (ウ) 特に重要だと思う活動 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、男性の29歳以下を除き「災害に備えた地域での防災訓練」である。男性の29歳以下では「身近な道路や公園などの清掃・美化活動」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の40歳代で「災害に備えた地域での防災訓練 (59.6%)」、女性の30歳代で「地域の子育て支援や青少年支援の活動 (45.1%)」、男性の29歳以下で「身近な道路や公園などの清掃・美化活動 (50.0%)」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「災害に備えた地域での防災訓練」である。神之木西寺尾では「交通安全や防災などの地域の安全活動」、松見では「交通安全や防災などの地域の安全活動」と「災害に備えた地域での防災訓練」が並んで多い。また、全体の値を特に上回っているのは、片倉三枚で「地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など) (36.2%)」や「身近な道路や公園などの清掃・美化活動 (43.8%)」、神之木西寺尾で「交通安全や防災などの地域の安全活動 (48.9%)」などである。

図 (ウ) 特に重要だと思う活動 [性／年代別・居住地区別]

		調査数	シニアクラブの活動	P T A 活動	運動会など(地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭)	交通安全や防災などの地域の安全活動	災害に備えた地域での防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	地域の子育て支援や青少年支援の活動	身近な道路や公園などの清掃・美化活動	外国人との交流や支援などの活動	別資源回収やゴミの分別活動	その他	特にない	無回答
全体		1,363	19.9	12.1	24.3	36.9	44.1	33.4	30.1	29.6	16.1	32.4	1.3	5.5	26.7
性／年代	男性 29歳以下	44	13.6	6.8	34.1	31.8	47.7	43.2	27.3	50.0	22.7	40.9	-	4.5	15.9
	30歳代	59	20.3	18.6	39.0	42.4	44.1	32.2	37.3	37.3	22.0	33.9	-	11.9	15.3
	40歳代	100	14.0	12.0	29.0	38.0	40.0	31.0	30.0	32.0	21.0	35.0	1.0	5.0	24.0
	50歳代	79	16.5	16.5	20.3	32.9	43.0	26.6	20.3	27.8	13.9	20.3	-	6.3	32.9
	60歳代	112	22.3	11.6	24.1	38.4	43.8	35.7	28.6	34.8	11.6	30.4	-	6.3	25.0
	70歳以上	129	20.2	11.6	20.9	27.9	38.0	35.7	25.6	20.2	12.4	25.6	3.1	3.9	34.9
	女性 29歳以下	63	30.2	23.8	36.5	44.4	54.0	34.9	36.5	39.7	20.6	36.5	-	4.8	19.0
	30歳代	122	21.3	11.5	29.5	45.1	52.5	30.3	45.1	41.0	19.7	38.5	-	5.7	13.9
	40歳代	156	26.3	11.5	30.1	49.4	59.6	42.9	36.5	39.7	19.2	40.4	0.6	4.5	12.8
	50歳代	121	24.0	17.4	25.6	40.5	54.5	38.0	34.7	29.8	16.5	41.3	0.8	7.4	14.0
60歳代	157	20.4	10.2	19.1	39.5	40.1	35.0	30.6	21.7	14.6	32.5	2.5	5.7	26.1	
70歳以上	167	14.4	6.6	12.0	24.0	30.5	24.0	19.8	16.8	12.6	26.9	3.0	3.6	50.3	
居住地区	青木	125	21.6	10.4	23.2	40.0	49.6	37.6	32.0	28.8	20.0	32.8	-	7.2	20.0
	大口七島	82	24.4	12.2	24.4	37.8	42.7	37.8	35.4	30.5	17.1	35.4	1.2	4.9	28.0
	片倉三枚	105	26.7	14.3	36.2	44.8	47.6	39.0	29.5	43.8	16.2	35.2	1.0	3.8	19.0
	神奈川幸ヶ谷	141	16.3	12.1	28.4	38.3	49.6	30.5	28.4	29.1	17.7	36.9	0.7	5.0	23.4
	神之木西寺尾	88	25.0	21.6	28.4	48.9	46.6	36.4	30.7	33.0	19.3	33.0	1.1	5.7	21.6
	子安入江	136	16.9	8.1	25.0	39.7	45.6	31.6	30.1	31.6	14.0	27.9	1.5	5.1	22.8
	白幡浦島丘	87	14.9	9.2	17.2	29.9	37.9	28.7	26.4	29.9	12.6	31.0	1.1	5.7	37.9
	神西神北	94	12.8	9.6	19.1	29.8	39.4	28.7	28.7	25.5	14.9	27.7	-	5.3	33.0
	神大寺	85	23.5	12.9	29.4	40.0	47.1	38.8	35.3	30.6	15.3	40.0	4.7	4.7	22.4
	菅田	96	21.9	15.6	20.8	34.4	43.8	37.5	33.3	30.2	19.8	35.4	1.0	5.2	29.2
	羽沢	93	21.5	15.1	15.1	33.3	40.9	34.4	23.7	24.7	11.8	24.7	2.2	6.5	30.1
	松見	71	22.5	8.5	23.9	35.2	35.2	33.8	28.2	19.7	14.1	31.0	-	4.2	33.8
	三ツ沢	66	15.2	10.6	21.2	27.3	37.9	24.2	27.3	27.3	16.7	31.8	-	6.1	31.8
	六角橋	64	20.3	14.1	28.1	37.5	53.1	26.6	37.5	31.3	14.1	35.9	3.1	7.8	18.8

凡例 1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例 2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「災害に備えた地域での防災訓練」である。それ以外では、親と子(③)で「交通安全や防災などの地域の安全活動」、三世帯で「交通安全や防災などの地域の安全活動」と「災害に備えた地域での防災訓練」が並んで最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(①)で「災害に備えた地域での防災訓練(57.3%)」、「地域の子育て支援や青少年支援の活動(51.6%)」、「身近な道路や公園などの清掃・美化活動(42.7%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「災害に備えた地域での防災訓練」である。また、「高齢者、障がい者支援などのボランティア活動」は加入者の方が未加入者より11.0ポイント高くなっている。

図 (ウ) 特に重要だと思う活動〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		(%)														
		調査数	シニアクラブの活動	P T A 活動	運動会など(地域のお祭り、文化祭)	地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭)	交通安全や防災などの地域の安全活動	災害に備えた地域での防災訓練	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	地域の子育て支援や青少年支援の活動	身近な道路や公園などの清掃・美化活動	外国人との交流や支援などの活動	資源回収やゴミの分別、リサイクル、エコ活動	その他	特になし	無回答
全 体		1,363	19.9	12.1	24.3	36.9	44.1	33.4	30.1	29.6	16.1	32.4	1.3	5.5	26.7	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	13.8	8.6	27.6	30.2	40.5	24.1	21.6	34.5	10.3	29.3	-	10.3	22.4	
	ひとり暮らし(②)	84	14.3	7.1	15.5	21.4	32.1	26.2	15.5	14.3	4.8	20.2	1.2	6.0	51.2	
	夫婦のみ(①)	121	20.7	11.6	25.6	43.8	57.0	31.4	31.4	36.4	20.7	38.0	1.7	6.6	10.7	
	夫婦のみ(②)	190	17.9	8.9	18.9	33.7	38.4	29.5	26.3	18.4	15.8	24.7	2.1	3.7	36.8	
	親と子(①)	124	25.8	20.2	37.1	48.4	57.3	39.5	51.6	42.7	23.4	40.3	-	1.6	17.7	
	親と子(②)	189	17.5	12.7	23.3	35.4	49.7	33.9	27.0	31.7	15.3	33.9	-	5.3	22.2	
	親と子(③)	259	19.3	10.8	17.8	35.5	35.1	35.1	25.5	24.3	13.9	30.1	1.5	5.0	33.2	
	親と子(④)	112	30.4	20.5	34.8	43.8	52.7	42.0	39.3	35.7	19.6	36.6	1.8	8.0	18.8	
	三世帯	73	24.7	15.1	32.9	46.6	46.6	39.7	38.4	38.4	19.2	45.2	4.1	4.1	17.8	
その他	58	20.7	10.3	24.1	37.9	48.3	36.2	37.9	39.7	19.0	37.9	1.7	1.7	17.2		
自治会	加入している	990	21.8	13.3	25.4	39.0	46.1	36.7	32.4	29.6	16.4	33.3	1.5	3.8	26.3	
	加入していない	311	16.1	9.3	23.5	32.8	42.1	25.7	25.1	32.5	16.1	31.5	0.3	9.6	22.5	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

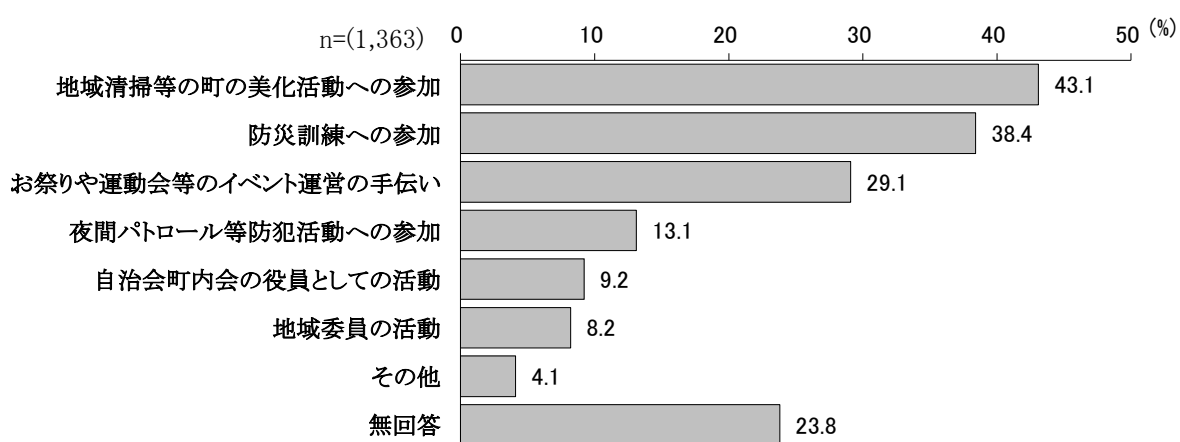
(4) 地域のために関われること

◇「地域清掃等の町の美化活動への参加」、「防災訓練への参加」が上位

問22 あなたは地域のためにどのようなことであれば関われると思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

地域のために関われることは、「地域清掃等の町の美化活動への参加」が43.1%で最も高くなっている。次いで、「防災訓練への参加」が38.4%、「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い」が29.1%、「夜間パトロール等防犯活動への参加」が13.1%となっている。

図 地域のために関われること [全体] (複数回答)



第2章 調査結果の詳細

■ 地域のために関われること [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「地域清掃等の町の美化活動への参加」である。それ以外では、女性の29歳以下と30歳代で「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い」、男性の50歳代で「防災訓練への参加」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の29歳以下と男性の30歳代で「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い（54.0%・44.1%）」、男性の50歳代で「夜間パトロール等防犯活動への参加（29.1%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「地域清掃等の町の美化活動への参加」である。それ以外の地区では、神之木西寺尾、子安入江で「地域清掃等の町の美化活動への参加」と「防災訓練への参加」が並び、片倉三枚、神西神北で「防災訓練への参加」が最も多くなっている。

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「地域清掃等の町の美化活動への参加」である。それ以外では、親と子（④）で「地域清掃等の町の美化活動への参加」と「防災訓練への参加」が並び、三世代で「地域清掃等の町の美化活動への参加」と「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い」が並び、夫婦のみ（①）で「防災訓練への参加」、親と子（①）「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子（①）、親と子（④）、三世代で「お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い（54.0%・40.2%・45.2%）」などである。

自治会町内会加入状況別でみると、ともに「地域清掃等の町の美化活動への参加」が最も多く、加入者の方が未加入者より13.4ポイント高くなっている。

図 地域のために関われること [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

		調査数	地域清掃等の町美化	お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い	夜間パトロール等防犯活動への参加	防災訓練への参加	自治会町内会の役員としての活動	地域委員の活動	その他	(%) 無回答
全体		1,363	43.1	29.1	13.1	38.4	9.2	8.2	4.1	23.8
性／年代	男性 29歳以下	44	38.6	31.8	9.1	20.5	4.5	4.5	2.3	22.7
	30歳代	59	47.5	44.1	23.7	35.6	10.2	13.6	3.4	16.9
	40歳代	100	44.0	33.0	18.0	40.0	5.0	10.0	5.0	18.0
	50歳代	79	35.4	24.1	29.1	40.5	7.6	1.3	1.3	24.1
	60歳代	112	44.6	25.0	23.2	39.3	14.3	12.5	2.7	17.9
	70歳以上	129	54.3	25.6	17.8	43.4	14.7	10.1	1.6	27.1
	女性 29歳以下	63	34.9	54.0	7.9	38.1	-	3.2	7.9	15.9
	30歳代	122	38.5	41.8	8.2	40.2	2.5	6.6	4.1	16.4
	40歳代	156	44.2	34.6	7.1	39.1	5.8	8.3	5.1	13.5
	50歳代	121	49.6	20.7	9.9	47.9	9.9	14.9	3.3	19.0
60歳代	157	54.8	26.8	14.0	43.9	14.0	7.0	1.3	24.8	
70歳以上	167	31.1	17.4	4.8	29.9	10.8	5.4	6.6	44.3	
居住地区	青木	125	44.0	30.4	14.4	40.0	8.0	4.8	1.6	21.6
	大口七島	82	47.6	25.6	13.4	35.4	12.2	8.5	4.9	28.0
	片倉三枚	105	39.0	26.7	15.2	43.8	11.4	7.6	1.0	21.9
	神奈川幸ヶ谷	141	44.7	31.9	12.8	40.4	7.8	7.1	5.0	19.9
	神之木西寺尾	88	36.4	31.8	13.6	36.4	9.1	11.4	4.5	22.7
	子安入江	136	38.2	34.6	12.5	38.2	5.1	9.6	5.1	22.1
	白幡浦島丘	87	48.3	21.8	10.3	36.8	6.9	8.0	6.9	24.1
	神西神北	94	29.8	24.5	12.8	35.1	10.6	7.4	2.1	31.9
	神大寺	85	47.1	30.6	15.3	44.7	7.1	10.6	3.5	23.5
	菅田	96	52.1	36.5	18.8	46.9	15.6	9.4	3.1	15.6
	羽沢	93	52.7	24.7	10.8	31.2	10.8	9.7	4.3	25.8
	松見	71	46.5	25.4	12.7	45.1	5.6	8.5	1.4	28.2
三ツ沢	66	45.5	30.3	12.1	25.8	10.6	6.1	6.1	28.8	
六角橋	64	40.6	29.7	6.3	39.1	6.3	4.7	6.3	20.3	
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	34.5	20.7	8.6	26.7	1.7	6.0	4.3	32.8
	ひとり暮らし(②)	84	34.5	8.3	4.8	26.2	13.1	3.6	7.1	44.0
	夫婦のみ(①)	121	40.5	25.6	13.2	43.8	5.0	5.8	5.8	13.2
	夫婦のみ(②)	190	52.6	28.4	13.7	44.7	15.3	6.8	1.6	22.6
	親と子(①)	124	43.5	54.0	12.1	42.7	9.7	10.5	2.4	11.3
	親と子(②)	189	43.4	32.3	13.2	40.2	7.4	7.4	2.6	17.5
	親と子(③)	259	43.6	18.5	17.8	35.5	10.4	12.0	5.0	30.9
	親と子(④)	112	42.9	40.2	17.9	42.9	8.0	9.8	3.6	24.1
	三世帯	73	45.2	45.2	15.1	42.5	11.0	11.0	4.1	12.3
その他	58	53.4	32.8	6.9	43.1	8.6	5.2	6.9	19.0	
自治会	加入している	990	46.8	30.3	14.7	41.4	11.5	9.6	3.1	22.2
	加入していない	311	33.4	27.0	9.3	30.9	1.3	4.5	5.1	27.0

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

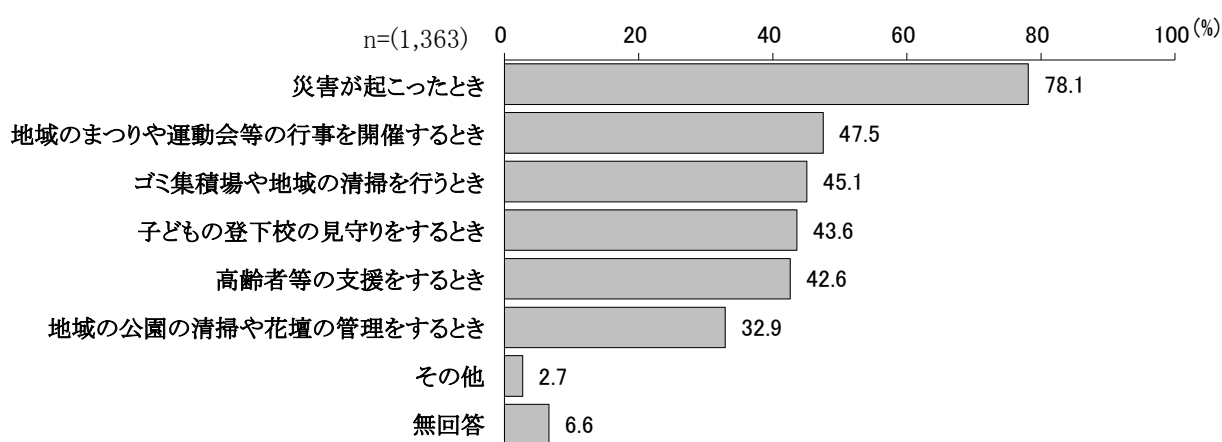
(5) 自治会町内会を必要と感じる時

◇「災害が起こったとき」を78.1%の人が挙げている

問23 自治会町内会をどんな時に必要と感じますか。(あてはまるものすべてに○)

自治会町内会を必要と感じる時は、「災害が起こったとき」が78.1%で最も高くなっている。次いで、「地域のまつりや運動会等の行事を開催するとき」が47.5%、「ゴミ集積場や地域の清掃を行うとき」が45.1%、「子どもの登下校の見守りをするとき」が43.6%、「高齢者等の支援をするとき」が42.6%、「地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき」が32.9%となっている。

図 自治会町内会を必要と感じる時 [全体] (複数回答)



■ 自治会町内会を必要と感じる時 [性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

性／年代別では、いずれも「災害が起こったとき」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、女性の70歳代で「高齢者等の支援をするとき (58.7%)」、女性の30歳代で「子どもの登下校の見守りをするとき (63.9%)」、男性の70歳以上で「地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき (48.1%)」などである。

居住地区別でみると、いずれの地区でも「災害が起こったとき」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、松見で「高齢者等の支援をするとき (54.9%)」、菅田で「ゴミ集積場や地域の清掃を行うとき (59.4%)」、大口七島で「地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき (43.9%)」などである。

世帯類型別でみると、いずれも「災害が起こったとき」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子 (①) で「子どもの登下校の見守りをするとき (70.2%)」と「地域のまつりや運動会等の行事を開催するとき (65.3%)」、三世代 (60.3%) で「子どもの登下校の見守りをするとき (60.3%)」などである。

自治会町内会加入状況別でみると、ともに「災害が起こったとき」が最も多くなっている。また、「高齢者等の支援をするとき」は加入者の方が未加入者より17.4ポイント高くなっている。

図 自治会町内会を必要と感じる時

[性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別]

		調査数	災害が起こったとき	高齢者等の支援をするとき	子どもの登下校の見守りをするとき	地域のまつりや運動会等の行事を開催するとき	ゴミ集積場や地域の清掃を行うとき	地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき	その他	無回答
全体		1,363	78.1	42.6	43.6	47.5	45.1	32.9	2.7	6.6
性／年代	男性 29歳以下	44	65.9	27.3	36.4	38.6	34.1	13.6	2.3	6.8
	30歳代	59	74.6	23.7	45.8	50.8	42.4	30.5	3.4	5.1
	40歳代	100	75.0	32.0	45.0	41.0	42.0	31.0	3.0	7.0
	50歳代	79	73.4	35.4	35.4	44.3	35.4	17.7	-	6.3
	60歳代	112	75.9	38.4	32.1	42.0	43.8	35.7	2.7	6.3
	70歳以上	129	80.6	55.8	51.2	50.4	54.3	48.1	5.4	7.8
	女性 29歳以下	63	73.0	33.3	54.0	52.4	50.8	28.6	1.6	6.3
	30歳代	122	82.0	32.0	63.9	54.1	44.3	34.4	1.6	3.3
	40歳代	156	76.9	42.3	40.4	48.1	42.9	32.1	3.2	2.6
	50歳代	121	81.0	47.1	43.8	55.4	50.4	34.7	2.5	5.8
60歳代	157	87.9	51.0	42.0	51.0	45.2	37.6	1.9	2.5	
70歳以上	167	83.8	58.7	41.9	48.5	49.1	33.5	0.6	10.2	
居住地区	青木	125	83.2	42.4	47.2	48.8	49.6	33.6	1.6	4.0
	大口七島	82	81.7	47.6	42.7	46.3	53.7	43.9	2.4	6.1
	片倉三枚	105	78.1	36.2	41.9	44.8	41.0	32.4	1.9	7.6
	神奈川幸ヶ谷	141	78.7	36.9	46.8	51.1	36.2	33.3	2.8	5.7
	神之木西寺尾	88	78.4	43.2	44.3	42.0	39.8	27.3	2.3	6.8
	子安入江	136	74.3	41.9	45.6	47.8	38.2	38.2	2.2	5.1
	白幡浦島丘	87	80.5	51.7	42.5	50.6	49.4	37.9	4.6	4.6
	神西神北	94	80.9	40.4	42.6	35.1	40.4	28.7	2.1	4.3
	神大寺	85	76.5	47.1	45.9	43.5	49.4	36.5	8.2	7.1
	菅田	96	81.3	49.0	38.5	55.2	59.4	36.5	3.1	5.2
	羽沢	93	77.4	36.6	43.0	58.1	52.7	26.9	1.1	9.7
	松見	71	83.1	54.9	38.0	42.3	38.0	35.2	1.4	7.0
	三ツ沢	66	74.2	34.8	53.0	57.6	53.0	25.8	3.0	3.0
	六角橋	64	76.6	43.8	43.8	46.9	37.5	21.9	1.6	6.3
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	71.6	31.9	26.7	38.8	34.5	23.3	3.4	12.1
	ひとり暮らし(②)	84	76.2	58.3	26.2	35.7	35.7	26.2	4.8	11.9
	夫婦のみ(①)	121	77.7	31.4	35.5	38.8	45.5	31.4	1.7	5.0
	夫婦のみ(②)	190	85.3	57.4	44.2	50.5	48.9	41.6	2.6	5.3
	親と子(①)	124	80.6	37.9	70.2	65.3	44.4	41.9	-	1.6
	親と子(②)	189	78.8	33.3	54.0	51.3	45.5	31.2	0.5	1.6
	親と子(③)	259	77.6	45.9	41.3	44.8	48.3	34.7	4.2	6.9
	親と子(④)	112	78.6	44.6	39.3	50.0	40.2	27.7	2.7	8.0
	三世帯	73	82.2	41.1	60.3	54.8	53.4	38.4	4.1	4.1
その他	58	72.4	39.7	34.5	43.1	50.0	19.0	5.2	10.3	
自治会	加入している	990	81.7	47.3	46.2	50.9	48.7	35.6	1.9	4.2
	加入していない	311	70.4	29.9	38.6	37.6	33.8	24.4	4.5	10.9

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

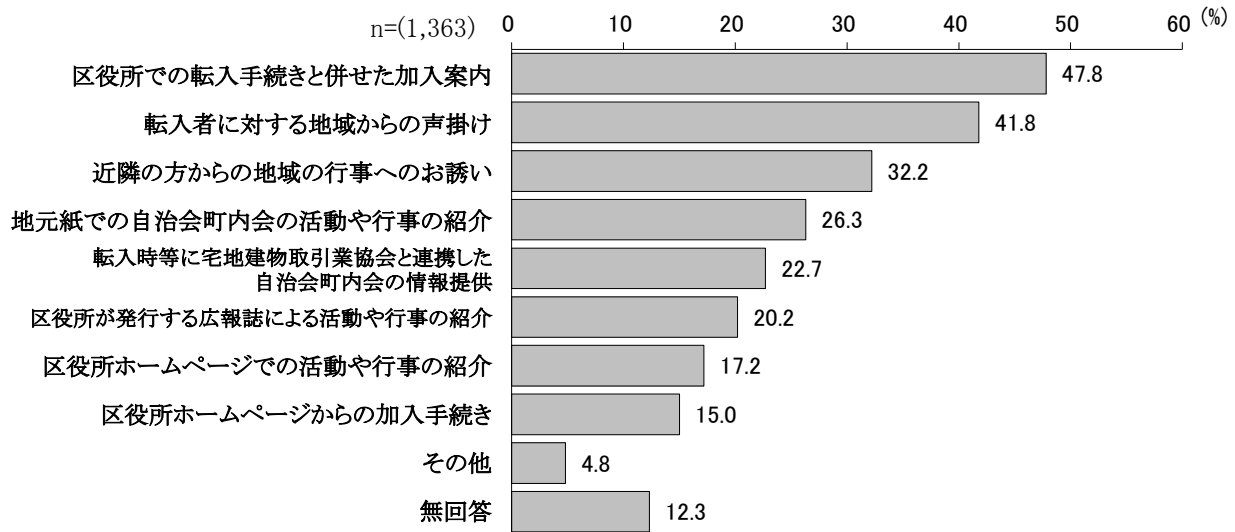
(6) 自治会町内会への加入促進に必要なこと

◇「区役所での転入手続きと併せた加入案内」、「転入者に対する地域からの声掛け」が上位

問24 自治会町内会への加入促進にはどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

自治会町内会への加入促進に必要なことは、「区役所での転入手続きと併せた加入案内」が47.8%で最も高く、次いで「転入者に対する地域からの声掛け」が41.8%となっている。以下、「近隣の方からの地域の行事へのお誘い」が32.2%、「地元紙での自治会町内会の活動や行事の紹介」が26.3%となっている。

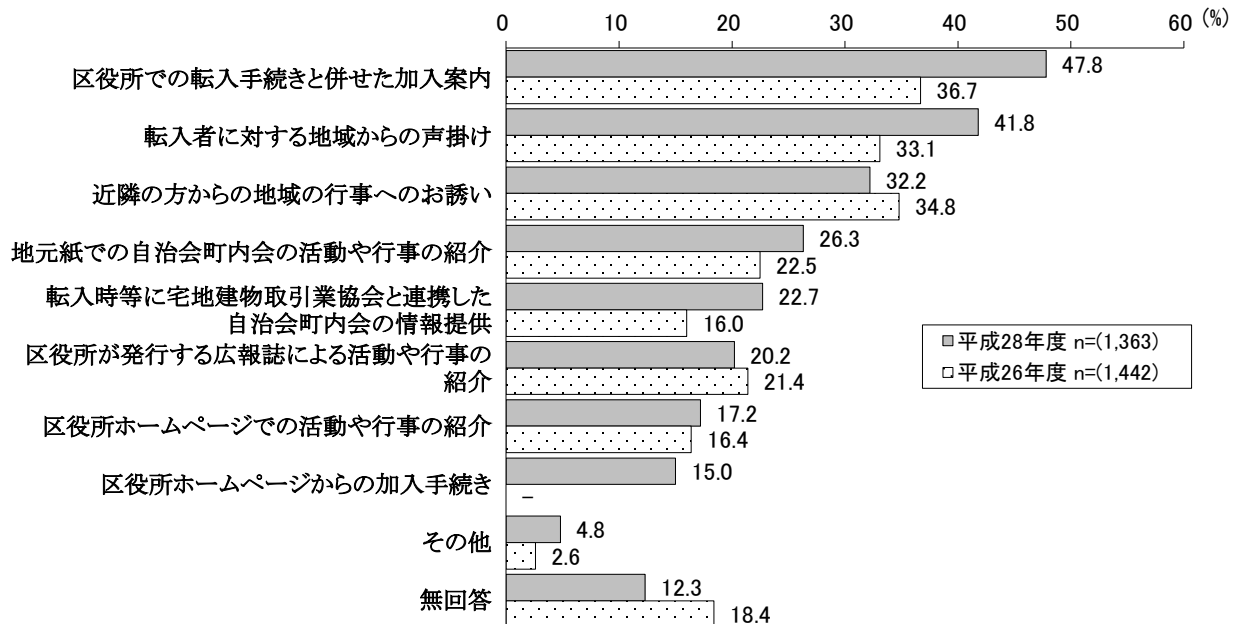
図 自治会町内会への加入促進に必要なこと [全体] (複数回答)



■ 過去の調査との比較

平成26年度調査と比較すると、「区役所での転入手続きと併せた加入案内」は平成26年36.7%→平成28年47.8%と11.1ポイント増加、「転入者に対する地域からの声掛け」は平成26年33.1%→平成28年41.8%と8.7ポイント増加している。

図 自治会町内会への加入促進に必要なこと (過去の調査との比較)



■ 自治会町内会への加入促進に必要なこと〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

性／年代別で最も多いのは、ほとんどの年代で「区役所での転入手続きと併せた加入案内」である。それ以外では、男性の29歳以下と男女の70歳以上で、「転入者に対する地域からの声掛け」である。また、全体の値を特に上回っているのは、男女の30歳代で「区役所ホームページからの転入手続き（30.5%・27.9%）」、男性の70歳以上で「区役所が発行する広報誌による活動や行事の紹介（33.3%）」、女性の50歳代で「転入時等に宅地建物取引業協会と連携した自治会町内会の情報提供（36.4%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「区役所での転入手続きと併せた加入案内」である。それ以外の地区では、菅田で「区役所での転入手続きと併せた加入案内」と「転入者に対する地域からの声掛け」と「近隣の方からの地域の行事へのお誘い」が並び、神之木西寺尾、白幡浦島丘、神大寺で「転入者に対する地域からの声掛け」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、白幡浦島丘で「転入者に対する地域からの声掛け（54.0%）」、神大寺で「転入時等に宅地建物取引業協会と連携した自治会町内会の情報提供（32.9%）」などである。

図 自治会町内会への加入促進に必要なこと〔性／年代別・居住地区別〕

		調査数	と区併役 併せた 加入 案内 手 続 き	ら転 入者 の 声 掛 け に 対 す る 地 域 か	行近 事隣 へ の 方 お か ら の 地 域 の	ら区 役所 加 入 手 続 き ペ ー ジ か	の区 役所 ホ ー ム ペ ー ジ で	紹誌 介に よる が活 動 行 事 の 報	会地 元紙 の活 動 や 行 自 治 会 の 紹 介 内	治引 会業 町協 内会 等 に 宅 地 建 物 取 引 業 協 会 と 連 携 し た 自 治 会 町 内 会 の 情 報 提 供	そ の 他	無 回 答
全 体		1,363	47.8	41.8	32.2	15.0	17.2	20.2	26.3	22.7	4.8	12.3
性 ／ 年 代	男性 29歳以下	44	38.6	40.9	36.4	25.0	25.0	15.9	13.6	13.6	9.1	6.8
	30歳代	59	54.2	37.3	39.0	30.5	20.3	11.9	16.9	32.2	8.5	5.1
	40歳代	100	52.0	40.0	25.0	20.0	20.0	13.0	24.0	13.0	4.0	10.0
	50歳代	79	53.2	35.4	22.8	13.9	16.5	17.7	34.2	29.1	2.5	11.4
	60歳代	112	47.3	39.3	29.5	9.8	16.1	20.5	18.8	26.8	5.4	8.9
	70歳以上	129	42.6	47.3	41.1	10.1	17.1	33.3	34.9	24.0	6.2	14.0
	女性 29歳以下	63	46.0	39.7	38.1	15.9	22.2	9.5	12.7	19.0	3.2	7.9
	30歳代	122	49.2	38.5	30.3	27.9	22.1	17.2	24.6	18.9	2.5	7.4
	40歳代	156	57.1	42.9	24.4	17.9	14.7	12.2	25.6	22.4	3.8	9.0
	50歳代	121	60.3	44.6	28.1	16.5	16.5	23.1	24.8	36.4	2.5	9.1
60歳代	157	52.9	48.4	35.7	10.8	14.6	25.5	35.0	27.4	5.7	10.8	
70歳以上	167	32.9	41.9	41.3	6.6	15.6	27.5	31.7	15.0	6.6	21.6	
居 住 地 区	青木	125	54.4	49.6	33.6	16.0	17.6	25.6	30.4	25.6	0.8	4.0
	大口七島	82	46.3	36.6	41.5	14.6	19.5	18.3	26.8	24.4	4.9	12.2
	片倉三枚	105	53.3	45.7	28.6	17.1	16.2	18.1	31.4	22.9	2.9	14.3
	神奈川幸ヶ谷	141	56.0	39.0	25.5	17.7	19.9	21.3	27.0	18.4	6.4	9.9
	神之木西寺尾	88	38.6	46.6	37.5	10.2	14.8	22.7	23.9	26.1	4.5	9.1
	子安入江	136	51.5	38.2	30.1	19.1	19.9	16.9	16.9	19.1	2.9	11.8
	白幡浦島丘	87	47.1	54.0	32.2	11.5	16.1	19.5	26.4	27.6	2.3	11.5
	神西神北	94	37.2	26.6	31.9	13.8	14.9	23.4	27.7	20.2	5.3	19.1
	神大寺	85	42.4	44.7	32.9	14.1	16.5	25.9	28.2	32.9	8.2	10.6
	菅田	96	39.6	39.6	39.6	15.6	17.7	21.9	31.3	19.8	5.2	14.6
	羽沢	93	57.0	50.5	35.5	14.0	17.2	17.2	29.0	26.9	5.4	12.9
	松見	71	47.9	43.7	25.4	15.5	16.9	23.9	26.8	15.5	5.6	14.1
	三ツ沢	66	45.5	43.9	34.8	13.6	18.2	13.6	24.2	21.2	9.1	9.1
六角橋	64	48.4	29.7	31.3	17.2	18.8	17.2	17.2	23.4	7.8	9.4	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第2章 調査結果の詳細

世帯類型別で最も多いのは、ほとんどの類型で「区役所での転入手続きと併せた加入案内」である。それ以外では、ひとり暮らし(②)と夫婦のみ(②)で「転入者に対する地域からの声掛け」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、親と子(②)で「区役所での転入手続きと併せた加入案内(63.0%)」などである。

自治会町内会加入状況別で最も多いのは、ともに「区役所での転入手続きと併せた加入案内」である。また、「転入者に対する地域からの声掛け」や「近隣の方からの地域の行事へのお誘い」は、加入者と未加入者との差が大きくなっている。

図 自治会町内会への加入促進に必要なこと〔世帯類型別・自治会町内会加入状況別〕

		(%)											
		調査数	と区役所 併せた加入 案内手続 き	ら転入者 の声を掛 け対する 地域か	行近隣へ の方から のお誘い の地域	ら区役所 加入手続 きページ	の区役所 活動やホ ムページ の紹介	誌に役所 紹介が活 動や行 事広報	会元紙で の自治会 の紹介	治業協等 と連携し 情報提供	転入時等 に宅地建 物取扱	その他	無回答
全体		1,363	47.8	41.8	32.2	15.0	17.2	20.2	26.3	22.7	4.8	12.3	
世帯 類型	ひとり暮らし(①)	116	50.0	31.0	15.5	17.2	20.7	17.2	13.8	24.1	4.3	12.9	
	ひとり暮らし(②)	84	28.6	36.9	33.3	8.3	13.1	25.0	28.6	15.5	7.1	23.8	
	夫婦のみ(①)	121	52.9	38.8	20.7	21.5	20.7	18.2	25.6	30.6	5.8	5.8	
	夫婦のみ(②)	190	40.0	47.4	38.9	7.4	15.3	26.8	26.8	21.1	5.3	15.3	
	親と子(①)	124	50.8	44.4	34.7	22.6	19.4	16.9	30.6	20.2	2.4	5.6	
	親と子(②)	189	63.0	42.9	32.8	18.0	18.0	14.8	25.4	23.3	3.2	4.2	
	親と子(③)	259	47.5	43.6	38.2	13.5	17.8	25.1	28.6	21.6	6.2	15.1	
	親と子(④)	112	48.2	42.0	37.5	15.2	15.2	15.2	23.2	25.9	3.6	17.0	
	三世帯	73	50.7	46.6	31.5	20.5	15.1	21.9	35.6	24.7	5.5	5.5	
その他	58	43.1	39.7	27.6	12.1	19.0	12.1	22.4	22.4	5.2	12.1		
自治 会	加入している	990	51.0	46.6	36.6	14.5	17.6	22.2	29.2	24.4	4.5	9.6	
	加入していない	311	41.2	28.6	19.3	18.3	17.4	15.1	17.7	17.7	5.8	16.7	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

11. 神奈川区の魅力について

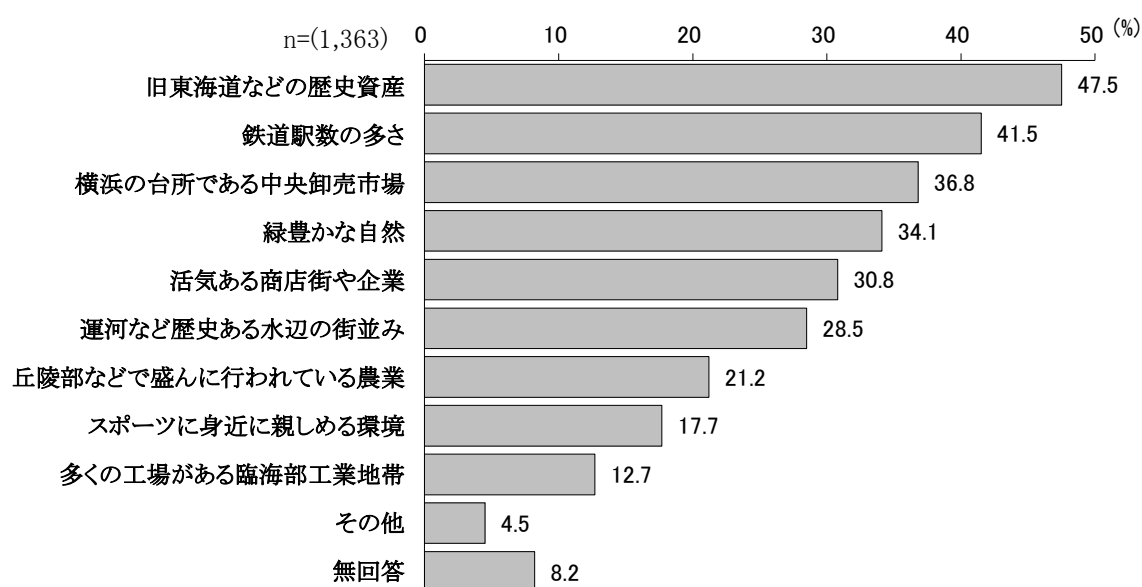
(1) 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴

◇「旧東海道などの歴史資産」、「鉄道駅数の多さ」がともに4割台で上位

問25 今後神奈川区の良さや特徴について、どのような所を積極的にPRしていくと良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴は、「旧東海道などの歴史資産」が47.5%で最も高く、次いで「鉄道駅数の多さ」が41.5%である。以下、「横浜の台所である中央卸売市場」が36.8%、「緑豊かな自然」が34.1%、「活気ある商店街や企業」が30.8%、「運河など歴史ある水辺の街並み」が28.5%となっている。

図 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴 [全体] (複数回答)



第2章 調査結果の詳細

■ 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴〔性／年代別・居住地区別・世帯類型別〕

性／年代別で最も多いのは、男女の29歳以下から30歳代、男性の40歳代で「鉄道駅数の多さ」、女性の40歳代、男女の50歳代から70歳以上で「旧東海道などの歴史資産」である。また、全体の値を特に上回っているのは、男女の30歳代で「鉄道駅数の多さ（57.6%・56.6%）」、男性の30歳代で「スポーツに身近に親しめる環境（32.2%）」などである。

居住地区別で最も多いのは、ほとんどの地区で「旧東海道などの歴史資産」である。それ以外の地区では、子安入江、神西神北、松見で「鉄道駅数の多さ」、六角橋で「活気ある商店街や企業」、片倉三枚、菅田、羽沢で「緑豊かな自然」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、羽沢で「丘陵部などで盛んに行われている農業（43.0%）」、片倉三枚と菅田で「緑豊かな自然（53.3%・58.3%）」などである。

図 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴〔性／年代別・居住地区別〕

		調査数	鉄道駅数の多さ	旧東海道などの歴史資産	運河など歴史ある水	多くの工場がある臨海工業地帯	活気ある商店街や企業	横浜の台所である中央卸売市場	丘陵部などで盛んに行われている農業	緑豊かな自然	スポーツに身近に親しめる環境	その他	無回答
全体		1,363	41.5	47.5	28.5	12.7	30.8	36.8	21.2	34.1	17.7	4.5	8.2
性／年代	男性 29歳以下	44	52.3	36.4	22.7	6.8	25.0	43.2	11.4	29.5	9.1	4.5	4.5
	30歳代	59	57.6	47.5	28.8	6.8	33.9	33.9	11.9	25.4	32.2	10.2	3.4
	40歳代	100	51.0	39.0	36.0	21.0	31.0	36.0	17.0	27.0	18.0	2.0	6.0
	50歳代	79	30.4	55.7	38.0	11.4	19.0	32.9	20.3	32.9	20.3	3.8	7.6
	60歳代	112	40.2	55.4	30.4	8.9	28.6	32.1	22.3	36.6	16.1	3.6	6.3
	70歳以上	129	32.6	58.9	24.8	15.5	38.0	41.1	24.0	41.9	19.4	7.8	9.3
	女性 29歳以下	63	52.4	30.2	22.2	12.7	36.5	27.0	9.5	30.2	7.9	1.6	1.6
	30歳代	122	56.6	27.9	23.0	6.6	27.9	39.3	13.9	29.5	12.3	4.1	5.7
	40歳代	156	41.7	46.2	25.6	7.7	34.0	40.4	18.6	29.5	16.7	3.8	7.1
	50歳代	121	47.1	52.9	30.6	15.7	36.4	33.1	22.3	33.1	15.7	2.5	8.3
60歳代	157	33.1	59.2	35.0	14.6	29.9	33.8	29.3	38.2	19.7	4.5	8.3	
70歳以上	167	34.1	52.1	26.9	18.6	30.5	44.9	33.5	41.9	24.0	5.4	12.0	
居住地区	青木	125	53.6	64.0	31.2	6.4	31.2	39.2	16.8	25.6	18.4	3.2	4.0
	大口七島	82	37.8	51.2	29.3	14.6	41.5	28.0	19.5	22.0	17.1	6.1	8.5
	片倉三枚	105	36.2	35.2	19.0	9.5	27.6	27.6	29.5	53.3	18.1	5.7	9.5
	神奈川幸ヶ谷	141	52.5	59.6	42.6	9.2	19.9	55.3	14.9	20.6	21.3	2.8	4.3
	神之木西寺尾	88	34.1	45.5	29.5	17.0	29.5	29.5	13.6	34.1	22.7	2.3	11.4
	子安入江	136	54.4	45.6	28.7	19.9	27.9	36.8	8.8	16.2	11.0	4.4	5.1
	白幡浦島丘	87	50.6	56.3	32.2	14.9	42.5	29.9	18.4	37.9	13.8	2.3	5.7
	神西神北	94	55.3	44.7	26.6	9.6	33.0	40.4	22.3	24.5	13.8	7.4	8.5
	神大寺	85	34.1	54.1	36.5	15.3	41.2	42.4	34.1	51.8	24.7	9.4	5.9
	菅田	96	19.8	34.4	21.9	14.6	29.2	35.4	27.1	58.3	19.8	3.1	12.5
	羽沢	93	17.2	33.3	24.7	16.1	20.4	34.4	43.0	52.7	15.1	4.3	11.8
	松見	71	45.1	40.8	25.4	9.9	35.2	38.0	21.1	33.8	19.7	1.4	12.7
三ツ沢	66	36.4	54.5	19.7	10.6	25.8	33.3	19.7	36.4	28.8	3.0	9.1	
六角橋	64	40.6	45.3	25.0	10.9	46.9	32.8	17.2	28.1	9.4	7.8	4.7	

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

世帯類型別で最も多いのは、ほぼ半数の類型で「旧東海道などの歴史資産」である。それ以外では、三世代で「鉄道駅数の多さ」と「旧東海道などの歴史資産」と「横浜の台所である中央卸売市場」が並び、ひとり暮らし(①)、夫婦のみ(①)、親と子(①)、親と子(④)で「鉄道駅数の多さ」が最も多くなっている。また、全体の値を特に上回っているのは、夫婦のみ(①)、親と子(①)で「鉄道駅数の多さ(52.1%・54.0%)」、夫婦のみ(②)で「旧東海道などの歴史資産(57.9%)」である。

図 積極的にPRしていくとよい神奈川区の良さや特徴 [世帯類型別]

		(%)											
調査数		鉄道駅数の多さ	旧東海道などの歴史資産	運河など歴史ある水辺の街並み	多くの工場がある臨海部の工業地帯	活気ある商店街や企業	中央卸売市場	横浜の台所である中	丘陵部などで盛んに稼働している農業	緑豊かな自然	スポーツに身近に親しめる環境	その他	無回答
全体		1,363	41.5	47.5	28.5	12.7	30.8	36.8	21.2	34.1	17.7	4.5	8.2
世帯類型	ひとり暮らし(①)	116	47.4	41.4	22.4	8.6	16.4	31.0	8.6	21.6	12.1	4.3	8.6
	ひとり暮らし(②)	84	34.5	52.4	33.3	16.7	28.6	34.5	19.0	40.5	22.6	7.1	14.3
	夫婦のみ(①)	121	52.1	51.2	33.1	9.9	35.5	41.3	16.5	33.9	20.7	3.3	6.6
	夫婦のみ(②)	190	33.2	57.9	27.9	13.7	32.1	40.5	28.9	40.5	21.1	5.3	9.5
	親と子(①)	124	54.0	39.5	30.6	8.9	33.9	37.9	15.3	31.5	17.7	3.2	5.6
	親と子(②)	189	38.1	42.3	27.5	10.1	31.7	40.2	22.2	29.1	16.4	1.6	3.7
	親と子(③)	259	35.9	54.1	29.7	17.0	30.9	36.7	24.7	39.8	17.0	4.2	8.9
	親と子(④)	112	50.0	43.8	33.9	17.9	37.5	31.3	24.1	35.7	17.9	4.5	5.4
	三世代	73	39.7	39.7	19.2	12.3	37.0	39.7	27.4	38.4	17.8	5.5	5.5
	その他	58	43.1	44.8	25.9	8.6	19.0	31.0	19.0	29.3	17.2	8.6	6.9

凡例1 … 選択肢の中で、第1位の項目

凡例2 … 属性別にみて、全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目

第 3 章 調査票

平成28年度 横浜市神奈川区 区民意識調査

～アンケート調査ご協力のお願～

盛夏の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より区政の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

神奈川区役所では、少子・高齢化の進展や、地震・風水害の頻発など、社会の変化から生まれた区民のみなさまの多様なニーズに対応したさまざまな取組を行っております。

このたび、今後の区政を進める際の基礎資料とするため、「神奈川区区民意識調査」を実施させていただきたいと思っております。

この調査は、住民基本台帳から、区内にお住まいの18歳以上の方々3,000人を無作為に選ばせていただいております。今年度は、あなたに調査へのご協力をお願いすることになりましたので、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

このアンケート票に直接ご記入の上、同封の封筒にてご返信ください。

アンケートの回答につきましては、統計的に処理し、アンケート票そのものを公表することは一切ありませんので、個人にご迷惑をおかけすることはございません。(アンケート票や返信用封筒に、ご住所やお名前をご記入いただく必要はありません。)

なお、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。

ご希望の方は同封の応募カードにご住所・お名前をご記入の上、アンケート票と一緒にご返信ください。応募カードは回答の集計前に抜き取ってアンケート票とは別に取り扱い、抽選及び図書カードの発送以外の目的には一切使用いたしませんのでご安心ください。

また、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【調査項目】

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1 定住意向 | 2 現在のお住まいの環境 | 3 神奈川区の行政サービス |
| 4 防災 | 5 健康づくり | 6 高齢期について |
| 7 ご近所との関わり | 8 買い物場所 | 9 地域での活動 |
| 10 神奈川区の魅力 | 11 あなた自身について | |

◎アンケート調査のご記入方法について◎

- (1) 各設問の回答は、該当する番号に○印を付けていただく形式になっています。
- (2) 番号に○印を付けていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○を付けていただく場合があります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて()内に具体的な内容をご記入ください。
- (3) ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、**7月29日(金)**までにポストにご投函ください。(切手は不要です。)
- (4) アンケート調査に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当：横浜市神奈川区役所 区政推進課 企画調整係 いけしょうじ 池庄司・飯田
 電話：045-411-7027 FAX：045-314-8890
 Eメール：kg-kusei@city.yokohama.jp

定住意向についておたずねします

問1 あなたは、現在お住まいの地域(あるいは周辺の地域)に住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 住み続けたい | 2 たぶん住み続ける |
| 3 たぶん住み続けない | 4 住み続けたくない |
| 5 わからない | |

問2 問1で「3 たぶん住み続けない」「4 住み続けたくない」と答えた方におたずねします。移転先としては、どちらを希望されますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------|---------|
| 1 神奈川区内 | 2 横浜市内 | 3 横浜市以外 |
| 4 具体的にはわからない | | |

現在のお住まいの環境についておたずねします

問3 あなたは、現在のお住まいの環境に関する次の項目について、どのように感じていますか。現在の状況と以前と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○をつけてください。
(○はそれぞれ1つずつ)

		(ア) 現在の状況					(イ) 以前と比べて		
		よい	どちらかといふとよい	どちらかといふと悪い	どちらかといふと悪い	悪い	よくなった	かわらない	悪くなった
(記入例) ①周辺の静けさ		①	2	3	4	5	①	2	3
①	周辺の静けさ	1	2	3	4	5	1	2	3
②	緑や自然、オープンスペースの豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3
③	まちなみなどの景観のよさ	1	2	3	4	5	1	2	3
④	保育所や公園などの子育て環境のよさ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑤	学校、図書館など教育・学習環境のよさ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑥	近所づきあいのしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑦	交通・通勤などの便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑧	病院・医院の近さ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑨	ふだん買い物をする場所の近さ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑩	飲食やショッピングの便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑪	遊びや余暇活動の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3
⑫	防災・防犯などの安心さ	1	2	3	4	5	1	2	3

神奈川県行政サービスについておたずねします

問4 神奈川県の行政サービスの中で、(ア)あなたが満足しているサービス、(イ)今後、充実すべきだと思うサービスは何ですか。【(ア)、(イ)それぞれあてはまるものすべてに○】

		(ア) 満足している 神奈川県の 行政サービス	(イ) 今後、充実す べきだと思う神奈川 県の行政サービス
①	道路の整備・安全性	1	1
②	公園・広場の整備	2	2
③	日常の買い物の利便性	3	3
④	緑の保全と緑化の推進	4	4
⑤	ごみの分別収集・リサイクル	5	5
⑥	ごみの不法投棄対策や街の美化	6	6
⑦	地震や火災などの災害対策	7	7
⑧	防犯対策	8	8
⑨	子育て支援	9	9
⑩	青少年の健全育成	10	10
⑪	病院や救急医療など地域医療	11	11
⑫	高齢者福祉	12	12
⑬	障がい者福祉	13	13
⑭	経済的に困っている人への生活支援	14	14
⑮	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の充実	15	15
⑯	スポーツ・レクリエーション施設の整備	16	16
⑰	国際交流・協力の推進	17	17
⑱	広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の促進	18	18
⑲	区役所サービス（窓口での対応、庁舎の使いやすさなど）	19	19
⑳	その他	20	20
㉑	わからない	21	21

選択肢	具体的に
(ア) 満足しているサービス	()
(イ) 充実すべきだと思うサービス	()

防災についておたずねします

問5 お住まいの地域の避難場所を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 いっつき避難場所
- 2 地域防災拠点
- 3 広域避難場所
- 4 津波避難施設

避難場所等の役割

1 いっつき避難場所	地震が起きたとき、一時的に地域の方々が避難する場所として自治会・町内会が選定した近くの公園や駐車場・空き地 ※自宅では生活できない場合は、地域防災拠点へ避難します。
2 広域避難場所	地震による火災が延焼拡大したときに、その熱や煙から生命・身体を守るため、公園やグラウンドなど一時的に避難する場所
3 地域防災拠点	家屋の倒壊などにより自宅で生活できない人が一定期間生活をする場所
4 津波避難施設	津波が発生または発生するおそれのある際に、津波からの避難者を一時的に受け入れる施設

<参考>

5 帰宅困難者 一時滞在施設	交通機関の運休などにより帰宅できない人が一時的に滞在する場所で主要駅の近隣に設置
6 災害時帰宅支援 ステーション	徒歩帰宅者の支援拠点として、水、トイレ、一時的な休憩場所を提供する施設（コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなど）

※1～5は神奈川区防災マップ（区役所で配布、区HPでも公開）などで、区内の施設及び避難場所を確認することができます。

※6は市HPなどで、協定締結事業者について確認することができます。

問6 あなたのご家庭での日ごろの防災対策（自助）についてお伺いします。

あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、現在どのような対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅を耐震化している
- 2 家具類（タンスや食器棚等）を固定している
- 3 感震ブレーカー（自動的に電気の供給を遮断する器具）を設置している
- 4 食料、飲料水を3日分以上備蓄している
- 5 トイレパックを備蓄している
- 6 家族との連絡方法を決めている
- 7 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- 8 消火器を準備している
- 9 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付けている
- 10 その他（具体的に)

問7 あなたのお住まいの地域で、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	避難場所が分からない
2	近くに避難できる小広場などがない
3	スタンドパイプ式初期消火器具等、初期消火のための資機材がない(場所が分からない)
4	道路の幅が狭く避難できるか心配
5	道路の幅が狭く消防車が進入できない
6	津波による被害
7	怪我人や負傷者などの搬送方法がわからない
8	怪我人や負傷者などの応急手当の方法がわからない(止血手当、AEDの使い方がわからない)
9	その他(具体的に)
10	特に心配はない

問8 災害が発生したときに、あなたができる手助けはどのようなものですか。また、各年代の方が地域でできる手助け(あなたが期待している手助け)はどのようなものですか。

(あなたと各年代ごとにあてはまるものすべてに○)

	あなたが できる手助け	あなたが各年代の方に期待する地域での手助け		
		学生 (中・高校生)	社会人 (65歳未満)	高齢者 (65歳以上)
①	安否の確認	1	1	1
②	家族や親族・知人への連絡	2	2	2
③	初期消火活動	3	3	3
④	倒壊家屋からの救出	4	4	4
⑤	介助・応急手当	5	5	5
⑥	医療機関までの搬送	6	6	6
⑦	避難場所での活動(炊き出し、情報の伝達など)	7	7	7
⑧	避難場所での活動(物資搬入、トイレ等資機材の設置)	8	8	8
⑨	災害状況や避難場所などの地域への伝達	9	9	9
⑩	備蓄品などの供給	10	10	10
⑪	被災者への相談相手や話し相手	11	11	11
⑫	その他	12	12	12
⑬	協力できそうにない	13	13	13

年代	具体的に
あなた	()
学生(中・高校生)	()
社会人(65歳未満)	()
高齢者(65歳以上)	()

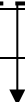
健康づくりについておたずねします

問9 あなたは健康だと思いますか。(〇は1つ)

1 健康だと思う	3 あまり健康ではないと思う
2 まあまあ健康だと思う	4 健康ではないと思う

問10 あなたは日頃から健康のために(ア)取り組んでいること、(イ)取り組みたいと思うことはありますか。【(ア)、(イ)それぞれあてはまるものすべてに〇】

	(ア) 取り組んでいる	(イ) 取り組みたいと思う
① ほとんど毎日、朝・昼・晩の3食、食べるようにしている	1	1
② 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を、1日2回以上ほぼ毎日食べるようにしている	2	2
③ 野菜は、毎食一皿食べるようにしている	3	3
④ 食事の時に、塩分をとりすぎないように気をつけている	4	4
⑤ 睡眠により休養を十分とるようにしている	5	5
⑥ 年1回の健康診断を受けるようにしている	6	6
⑦ 年1回のがん検診を受けるようにしている	7	7
⑧ 年1回の歯科検診を受けるようにしている	8	8
⑨ 週2回以上、1回30分以上の運動をしている	9	9
⑩ 1日の歩数を計っている	10	10
⑪ 特に取り組んでいない、取り組みたくない	11	11



(ア) 1日どのくらい歩いていますか (〇は1つ)	1 5,000歩未満 2 5,000～8,000歩未満 3 8,000歩以上
---------------------------	--

問11 健康のための取組をするにはどのようなことができるようになると思いますか。

(あてはまるものすべてに〇)

1 時間の確保ができる	
2 費用負担が少なく取り組むことができる	
3 取り組む場所がある	
4 参加できる講座や教えてくれる人がいる	
5 一緒に取り組む仲間がいる	
6 健康の情報が入手しやすいこと (情報を入手したい媒体にあてはまるものすべてに〇)	
① 広報・新聞・テレビ・ラジオ・本 ② インターネット ③ ロコミ	
④ その他 (具体的に _____)	
⑦ その他 (具体的に _____)	

高齢期についておたずねします

問12 高齢期に関して不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 病気や健康のこと | |
| 2 | 生活や財産など経済的なこと | |
| 3 | 住まいのこと | |
| 4 | 一人暮らしになったり地域から孤立したりすること | |
| 5 | 医療が十分に受けられるか | |
| 6 | 趣味や生きがいを持ち続けられるか | |
| 7 | その他（具体的に |) |
| 8 | 不安や心配事はない | |

問13 高齢期においてどんな支援（サービス）を受けたいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 1 | 在宅で医療を受けられる | |
| 2 | ご近所の見守りや声かけ | |
| 3 | 身近な場所での健康づくりや介護予防活動（例：ウォーキング、体操教室等） | |
| 4 | サロンや茶話会などご近所の人とおしゃべりができる場 | |
| 5 | 買い物サービスや配食サービス等の生活支援 | |
| 6 | 子どもや若い世代と交流する場や機会 | |
| 7 | その他（具体的に |) |

問14 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | 自宅 | |
| 2 | 子どもの家 | |
| 3 | 高齢者向けのケア付き住宅（※） | |
| 4 | 病院などの医療施設 | |
| 5 | 特別養護老人ホームなどの福祉施設（※） | |
| 6 | 分からない | |
| 7 | その他（具体的に |) |

【(※) 参考】 用語説明

用語	説明
高齢者向けケア付き住宅	緊急時の通報システムや介護サービス、給食サービスなど、各種のケアサービスを提供する住宅のこと
特別養護老人ホームなどの福祉施設	入浴・排せつ・食事の介護等、日常生活の世話、機能訓練、健康管理および療養上の世話を行う施設のこと

ご近所との関わりについておたずねします

問15 隣近所とのつき合い方についておたずねします。

(ア) 普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

(イ) 今後、どうありたいと考えていますか。(〇は1つ)

		(ア)	(イ)
		普段の つき合い方	今後の つき合い方
①	顔も知らない	1	1
②	道で会えば挨拶ぐらいはする	2	2
③	たまに立ち話をする	3	3
④	気のあった人と仲良くしている	4	4
⑤	困ったとき、相談したり助け合ったりする	5	5

問16 近所の助け合いについておたずねします。

(ア) ちょっとした困りごとがあった場合に、近所で手助けできそうなことはありますか。

(あてはまるものすべてに〇)

(イ) ちょっとした困りごとがあった場合に、手助けをしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてに〇)

		(ア)	(イ)
		手助け できそうな こと	手助けをして もらいたい こと
①	声かけや安否確認	1	1
②	ごみ出しの手伝い	2	2
③	買い物の手伝い	3	3
④	こどもの預かり	4	4
⑤	通院や施設などへの外出の付き添い	5	5
⑥	電球や網戸の交換	6	6
⑦	部屋の掃除の手伝いや草むしり	7	7
⑧	話し相手やちょっとした相談相手	8	8
⑨	その他	9	9
⑩	特にない	10	10

選択肢	具体的に
(ア) 手助けできそうなこと	()
(イ) 手助けをしてもらいたいこと	()

買い物場所についておたずねします

問17 日常の買い物についてお聞きします。

(ア) 食料品はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

(イ) 日用雑貨はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

(ウ) 衣類はどこで購入しますか。(あてはまるものすべてに○)

		(ア)	(イ)	(ウ)
		食料品	日用雑貨	衣類
①	近隣の商店街の店舗	1	1	1
②	スーパーマーケット	2	2	2
③	コンビニエンスストア	3	3	3
④	デパート・百貨店等	4	4	4
⑤	大型ショッピングモール	5	5	5
⑥	インターネット	6	6	6
⑦	通信販売	7	7	7
⑧	宅配	8	8	8
⑨	その他	9	9	9

選択肢	具体的に
(ア) 食料品	()
(イ) 日用雑貨	()
(ウ) 衣類	()

問18 神奈川区には24の商店街がありますが、商店街の魅力は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	行きつけのお店で気軽に買い物ができる
2	商品について相談しやすい店舗がある
3	買い物に行くことで、近所の人と会う機会になる
4	季節毎にイベントが開催されている
5	その他 (具体的に)
6	特にない、わからない

地域での活動についておたずねします

地域ケアプラザについて ～身近な福祉保健の拠点～

誰もが住み慣れたまちで、安心して暮らせる地域をつくっていくための拠点として、地域の福祉・保健活動への支援や交流の場を提供しています。また、身近な場所で、福祉保健に関する相談の窓口となり、サービス等を総合的に提供する役割も担っています。

[3つの機能]

①地域活動・交流

活動の場の提供、地域の福祉保健活動の支援やネットワークづくり、ボランティア活動の担い手の育成

②福祉・保健の相談・支援（地域包括支援センター）

介護保険に関する相談・助言・調整、介護予防の取組、権利擁護、ケアマネジャーや事業者、地域関係者などとの支援ネットワークの構築

③福祉・保健サービス

高齢者デイサービス等

問19 地域活動・交流の場として、地域ケアプラザを利用する際に、重要と感じることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 気軽に参加することができる講座やイベントが充実していること
- 2 活動の場として利用する貸部屋の空き情報がすぐに確認できること
- 3 地域の子育て支援や青少年支援、ボランティア活動などの情報が提供されること
- 4 地域で活動を始める際や活動で困っているときにアドバイスをしてくれる相談員がいること
- 5 その他（具体的に _____）
- 6 特にない、わからない

問20 地域ケアプラザは、子どもから高齢者までの身近な相談機関です。誰でも身近に利用しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 地域ケアプラザの広報誌や掲示板の充実
- 2 区や地域ケアプラザのホームページを活用したタイムリーな情報発信
- 3 医療機関や学校など相談したい内容に関係する場所でのPR
- 4 駅や郵便局、コンビニなど人が多く集まる場所を活用した情報発信
- 5 介護や子育てなどのテーマを設けた相談会や出張相談会の実施
- 6 その他（具体的に _____）
- 7 特にない、わからない

問21 地域の活動についておたずねします。

(ア)参加している(したことがある)活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(イ)今後参加してみたい活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(ウ)特に重要だと思う活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

		(ア)	(イ)	(ウ)
		参加している(したことがある)活動	参加してみたい活動	重要だと思う活動
①	シニアクラブの活動	1	1	1
②	P T A活動	2	2	2
③	地域のイベント(盆踊り、お祭り、文化祭、運動会など)	3	3	3
④	交通安全や防災などの地域の安全活動	4	4	4
⑤	災害に備えた地域での防災訓練	5	5	5
⑥	高齢者、障がい者支援などのボランティア活動	6	6	6
⑦	地域の子育て支援や青少年支援の活動	7	7	7
⑧	身近な道路や公園などの清掃・美化活動	8	8	8
⑨	外国人との交流や支援などの活動	9	9	9
⑩	資源回収やゴミの分別、リサイクル・エコ活動	10	10	10
⑪	その他	11	11	11
⑫	特になし	12	12	12

選択肢	具体的に
(ア) 参加している(したことがある)活動	()
(イ) 参加してみたい活動	()
(ウ) 重要だと思う活動	()

問22 あなたは地域のためにどのようなことであれば関われると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1	地域清掃等の町の美化活動への参加
2	お祭りや運動会等のイベント運営の手伝い
3	夜間パトロール等防犯活動への参加
4	防災訓練への参加
5	自治会町内会の役員としての活動
6	地域委員の活動(スポーツ推進委員、青少年指導員、環境事業推進委員、保健活動推進員、民生委員・児童委員、子ども会育成者、地域防災拠点役員など)
7	その他(具体的に)

地域で活動する地域委員の役割	
スポーツ推進委員	市民のスポーツ・レクリエーションへの理解・関心を高めるため、主に自治会町内会の推薦により市長が委嘱する非常勤の特別公務員で、普及活動等を行います。
青少年指導員	青少年の健全育成を図るために、主に自治会町内会の推薦により市長が委嘱し、青少年の自主活動とその育成活動を推進します。
環境事業推進委員	地域のごみの減量・リサイクルを進め、きれいなまち・横浜をつくっていくため、ごみ集積所での分別・ごみ出しマナーの啓発や地域清掃などの活動を各自治会・町内会と連携を図りながら行っています。
保健活動推進員	地域における市民の健康づくりを推進するため、自ら健康づくりを実践するとともに、健康づくりのための知識の普及啓発や健康づくり活動を企画・実践します。
民生委員・児童委員	地域において支援を必要とする人と、区役所や専門機関をつなぐパイプ役として活動しています。厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、無報酬のボランティアです。
子ども会育成者	主に自治会・町内会の内部組織である子ども会の活動等を支援します。
地域防災拠点役員	防災資機材を活用した救助・救出活動や、安全で秩序ある避難生活をおくことを目的に、地域防災拠点ごとに、地域・学校・区役所で構成された「地域防災拠点運営委員会」が設置されており、震災発生時の混乱の中で、スムーズに活動ができるように、運営マニュアルの作成を進めています。

問23 自治会町内会をどんな時に必要と感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害が起こったとき
- 2 高齢者等の支援をするとき
- 3 子どもの登下校の見守りをするとき
- 4 地域のまつりや運動会等の行事を開催するとき
- 5 ゴミ集積場や地域の清掃を行うとき
- 6 地域の公園の清掃や花壇の管理をするとき
- 7 その他（具体的に _____)

問24 自治会町内会への加入促進にはどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 区役所での転入手続きと併せた加入案内
- 2 転入者に対する地域からの声掛け
- 3 近隣の方からの地域の行事へのお誘い
- 4 区役所ホームページからの加入手続き
- 5 区役所ホームページでの活動や行事の紹介
- 6 区役所が発行する広報誌による活動や行事の紹介
- 7 地元紙での自治会町内会の活動や行事の紹介
- 8 転入時等に宅地建物取引業協会と連携した自治会町内会の情報提供
- 9 その他（具体的に _____)

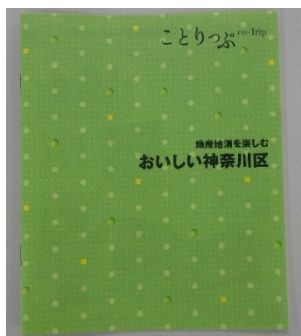
神奈川区の魅力についておたずねします

問25 今後神奈川区の良さや特徴について、どのような所を積極的にPRしていくと良いと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 鉄道駅数の多さ 2 旧東海道などの歴史資産 3 運河など歴史ある水辺の街並み 4 多くの工場がある臨海部工業地帯 5 活気ある商店街や企業 6 横浜の台所である中央卸売市場 7 丘陵部などで盛んに行われている農業 8 緑豊かな自然 9 スポーツに身近に親しめる環境 10 その他（具体的に |) |
|---|---|

神奈川区の魅力紹介

神奈川区では、様々なパンフレット等広報物を使って、神奈川区の魅力を発信しています。



ことりっぷ 地産地消を楽し
 むおいしい神奈川区

神奈川区で採れる野菜や野
 菜を使用したお店を紹介し
 ています。



わが町 かながわ とって
 おき 散歩ガイド

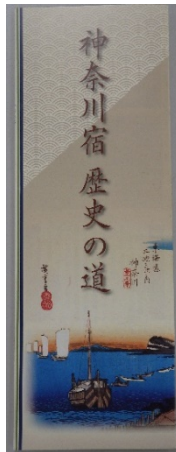
区内のとっておき資産を
 巡る散歩コースを紹介し
 ています。



神奈川区 商店街マップ

区内にある商店街や店舗を
 紹介しています。

※毎年、商店街ラリー開催に合
 わせて配布しています。



神奈川宿 歴史の道

区内にある旧東海道神奈
 川宿にまつわる資産を紹介
 しています。

[上記のパンフレットは、神奈川区役所のほか、区内公共施設等にて配布しています。]

最後にあなた自身についておたずねします

F1 性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F2 年齢をお答えください。(○は1つ)

1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳
4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳
7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳
10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
13 75歳以上		

F3 現在お住まいの町をお答えください。(○は1つ)

ア行	1 青木町	2 旭ヶ丘	3 出田町	4 泉町
	5 入江一～二丁目	6 浦島丘	7 浦島町	8 恵比須町
	9 大口通	10 大口仲町	11 大野町	
カ行	12 片倉一～五丁目	13 神奈川一～二丁目	14 神奈川本町	15 上反町1～2丁目
	16 神之木台	17 神之木町	18 亀住町	19 神大寺一～四丁目
	20 桐畑	21 金港町	22 栗田谷	23 幸ヶ谷
	24 子安台一～二丁目	25 子安通1丁目	26 子安通2～3丁目	
サ行	27 斎藤分町	28 栄町	29 沢渡	30 三枚町
	31 白幡上町	32 白幡仲町	33 白幡東町	34 白幡西町
	35 白幡南町	36 白幡向町	37 白幡町	38 新浦島町1～2丁目
	39 新子安一～二丁目	40 新町	41 菅田町	42 鈴繁町
タ行	43 台町	44 高島台	45 宝町	46 立町
	47 反町1～2丁目	48 反町3～4丁目	49 千若町1～3丁目	50 鶴屋町1～3丁目
	51 富家町	52 鳥越		
ナ行	53 中丸	54 七島町	55 西大口	56 西神奈川一丁目
	57 西神奈川二～三丁目	58 西寺尾一～四丁目	59 二本榎	
ハ行	60 白楽	61 羽沢町	62 羽沢南一～四丁目	63 橋本町1～3丁目
	64 東神奈川一～二丁目	65 平川町	66 広台太田町	67 二ツ谷町
	68 星野町			
マ行	69 松ヶ丘	70 松見町1～4丁目	71 松本町1～6丁目	72 瑞穂町
	73 三ツ沢上町	74 三ツ沢中町	75 三ツ沢下町	76 三ツ沢東町
	77 三ツ沢西町	78 三ツ沢南町	79 守屋町1～4丁目	
ヤ行	80 山内町			
ラ行	81 六角橋一～六丁目			

F4 現在のお住まいでの居住年数をお答えください。(○は1つ)

1 3年未満	2 3～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満	5 20年以上
--------	----------	-----------	------------	---------

F5 居住形態についてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 2 持家（マンション・共同住宅） |
| 3 借家（一戸建て） | 4 借家（県営・市営の共同住宅） |
| 5 借家（都市再生機構・公社の共同住宅） | 6 社宅、公務員住宅 |
| 7 民間アパート、民間賃貸マンション | 8 その他（具体的に) |

F6 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|----------------|----------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦のみ | 3 親と子（2世代） |
| 4 祖父母と親と子（3世代） | 5 その他（) | |

F7 同居されているご家族(回答者ご本人を含む)の人数をお答えください。(〇は1つ)

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|--------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 | 4 4人 | 5 5人 | 6 6人以上 |
|------|------|------|------|------|--------|

F8 現在同居しているご家族で、あなた自身を除き、下記にあてはまる方はいますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1 乳幼児・未就学児 | 2 小学生 | 3 中学生 |
| 4 高校生 | 5 専門学生、大学生 | 6 65歳～74歳の方 |
| 7 75歳以上の方 | 8 該当の家族はいない | |

F9 就労状況についてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 自営業 | 2 正社員・正職員（公務員・団体職員含む） |
| 3 契約社員・嘱託社員・派遣社員 | 4 パート・アルバイト等 |
| 5 専業主婦・専業主夫 | 6 学生 |
| 7 就業していない | 8 その他 |

F10 自治会町内会への加入状況をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
|----------|-----------|

アンケートはこれで終了です。
 長時間お疲れ様でした。
 アンケート用紙や返信用の封筒に、ご住所やお名前などを
 記入していただく必要はありません。
 回答の内容をご確認いただき、同封の返信用封筒に入れ、
 7月29日（金）までにポストにご投函ください。
 図書カード（抽選）を希望される方は、応募券にご住所・
 お名前をご記入の上、同封してください。
 ご協力ありがとうございました。

平成28年度

神奈川区区民意識調査 調査結果報告書

平成28年11月 【調査実施 平成28年7月】

横浜市神奈川区役所 区政推進課

〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町3-8

TEL 045-411-7027 (直通)

FAX 045-314-8890